

つくばみらい市 子ども子育てに関する ニーズ調査結果報告書

《就学前児童調査、小学生児童調査》

平成 26 年 2 月

つくばみらい市

目 次

第1章 調査実施の概要

1	調査の目的	1
2	調査の実施	1
3	調査の回収状況	2
4	報告書の見方について	2

第2章 調査前児童調査

1	回答者の属性	3
2	子どもの育ちをめぐる環境	6
3	保護者の就労状況	14
4	平日の定期的な教育・保育事業	24
5	地域の子育て支援事業	32
6	土曜や休日の定期的な教育・保育事業	40
7	病気の時の対応	45
8	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等	52
9	小学校就学後の放課後の過ごし方	61
10	育児と職場の両立	72
11	子育て環境	83

第3章 就学児童調査

1	回答者の属性	103
2	子どもの育ちをめぐる環境	106
3	保護者の就労状況	113
4	放課後児童クラブの利用	122
5	病気の時の対応	128
6	一時預かり	132
7	ファミリー・サポート・センター	136
8	子育て環境	138

第 1 章

調査実施の概要

1 調査の目的

本市では、平成 21 年度に策定した「つくばみらい市次世代育成支援行動計画（後期計画）」に基づき、次代を担う子どもが健やかに生まれ育つ環境の整備に、総合的に取り組んできました。

今回、平成 24 年 8 月の「子ども・子育て支援法」など「子ども・子育て関連 3 法」の成立を受けて、平成 26 年度に「つくばみらい市子ども・子育て支援事業計画」を策定することとなりました。

新計画策定に先立ち、より一層の子どもの育成支援と、教育・保育施設の環境整備、子育ての社会化を推し進めるため、前計画の評価を行うとともに、新たな子ども・子育て支援の施策動向を踏まえ、それらに対応し、かつ市独自の支援策を盛り込んだ計画内容の見直しが必要となっています。

そこで、前計画内容の見直しや新計画の策定に必要な情報を得るため、市民ニーズの動向分析等を行い、市の現状と今後の子ども・子育て育成支援における課題を整理することを目的としたアンケート調査を実施しました。

2 調査の実施

この調査は、「子ども・子育て支援事業計画」に関する基礎資料を得るためのものであり、「就学前児童用」と「就学児童用」の 2 種類の調査票を作成し、調査を実施しました。調査は保育・教育区域に着目し、地区別に割当法により実施しています。それぞれの調査の状況等は以下のとおりです。

また、調査期間は、平成 25 年 11 月 10 日～平成 25 年 11 月 25 日にかけて調査を実施し、調査票の配付・回収は以下のとおりです。

図表 1-1 調査対象の母数と抽出方法、調査内容等

①就学前児童調査 0～5 歳	
調査対象者	就学前児童の保護者
母数	平成 25 年 10 月 1 日現在、住民基本台帳 0～5 歳 3,503 人
調査件数	1,200 件
抽出法	割当法無作為抽出
調査方法	郵送法（配付、回収）

②小学校就学児調査	
調査対象者	小学校児童の保護者
母数	平成 25 年 10 月 1 日現在、住民基本台帳 7,686 人
調査件数	800 件
抽出法	割当法無作為抽出
調査方法	郵送法（配付、回収）

3 調査の回収状況

調査によるそれぞれの配付・回収状況は、以下のとおりです。

図表 1-3 調査票の配付・回収状況

調査対象者	配付数	有効回収数	有効回収率
就学前児童	1,200	457	38.1%
小学校児童	800	285	35.6%
計	2,000	742	37.1%

4 報告書の見方について

(1) 年齢・学年の定義

就学前児童の年齢定義は、アンケート調査において誕生日の年月を回答していますが、保育所、幼稚園等のクラス分けを基本として、下表による年齢区分により集計を行いました。したがって、0歳児が平成25年度生まれの乳児を含むため回答者数が多くなっています。

図表 1-4 年齢区分

年齢区分	該当する生年月日
0歳児	平成24年4月2日以降
1歳児	平成23年4月2日～平成24年4月1日
2歳児	平成22年4月2日～平成23年4月1日
3歳児	平成21年4月2日～平成22年4月1日
4歳児	平成20年4月2日～平成21年4月1日
5歳児	平成19年4月2日～平成20年4月1日

※調査期間（平成25年度）における年齢定義

(2) 図表の見方

調査結果の数値については小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。

図表の項目の部分に（n＝〇〇）とありますが、この数値はこの項目に対して回答した人数（〇〇人）を表しています。

複数回答の設問は回答者数で比率を出しているため、合計が100%を超える場合があります。

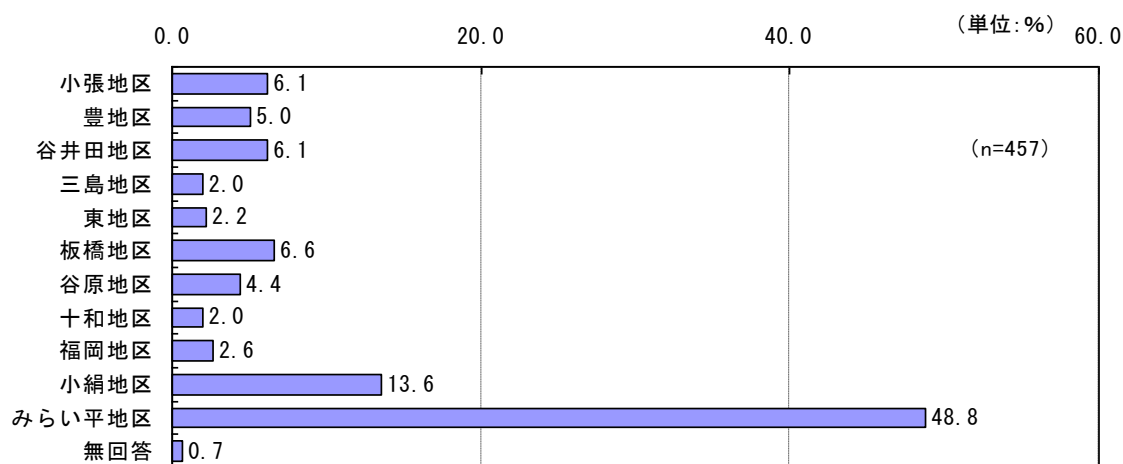
第2章

就学前児童調査

1 回答者の属性

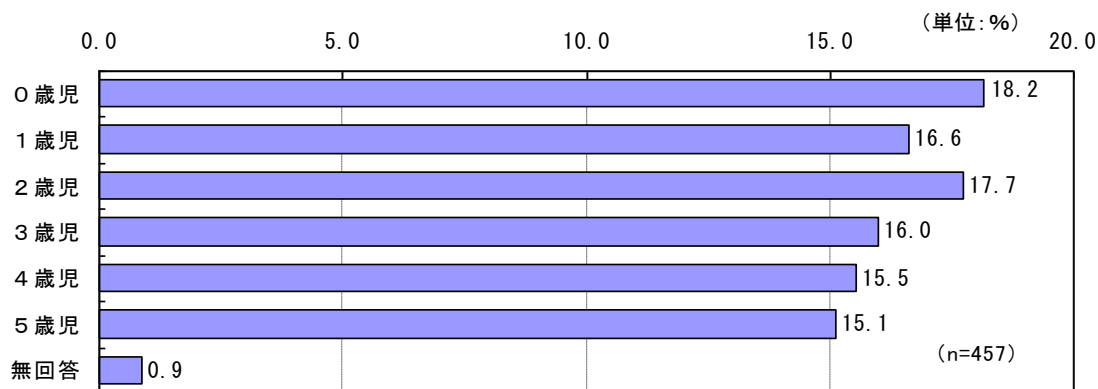
問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

今回調査回答者の居住地区は次のとおりです。人口増加地区の「みらい平」の割合が高くなっています。



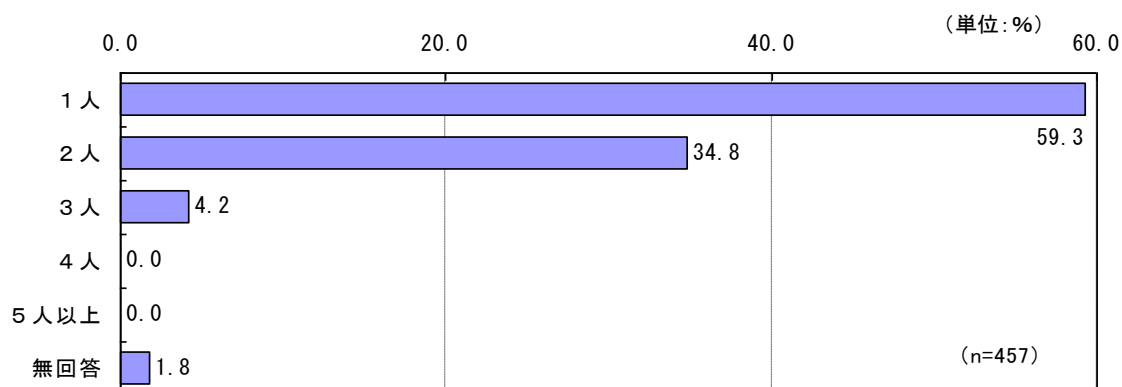
問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

回答者は概ね年齢ごとに均等に分布しています。



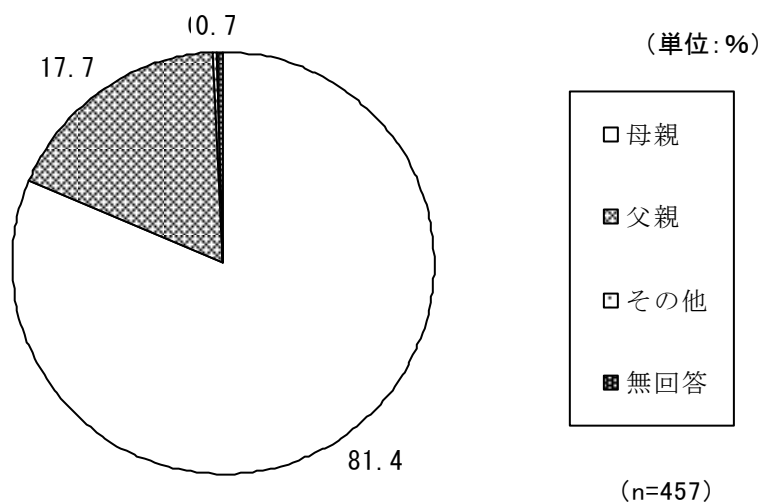
問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

兄弟数は「1人」が59.3%、「2人」が34.8%です。



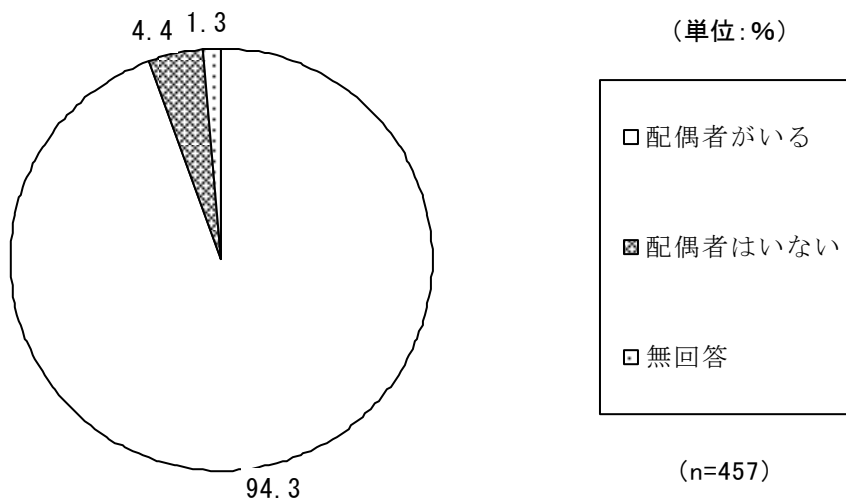
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

調査の回答者は「母親」が81.4%と大多数となっています。「父親」は17.7%です。



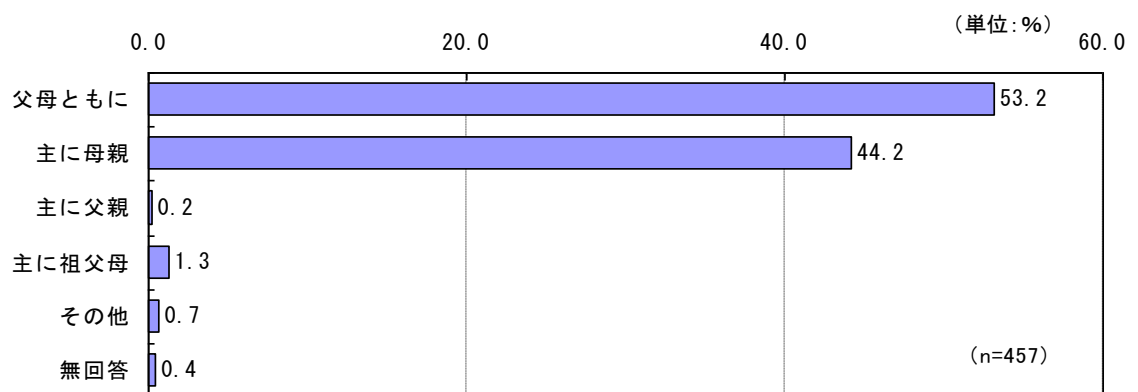
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」が94.3%となっており、「配偶者はいない」が4.4%です。



問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

主に子育てを行っているのは「父母ともに」が53.2%、「主に母親」が44.2%となっています。また、「主に父親」は0.2%、「主に祖父母」は1.3%です。

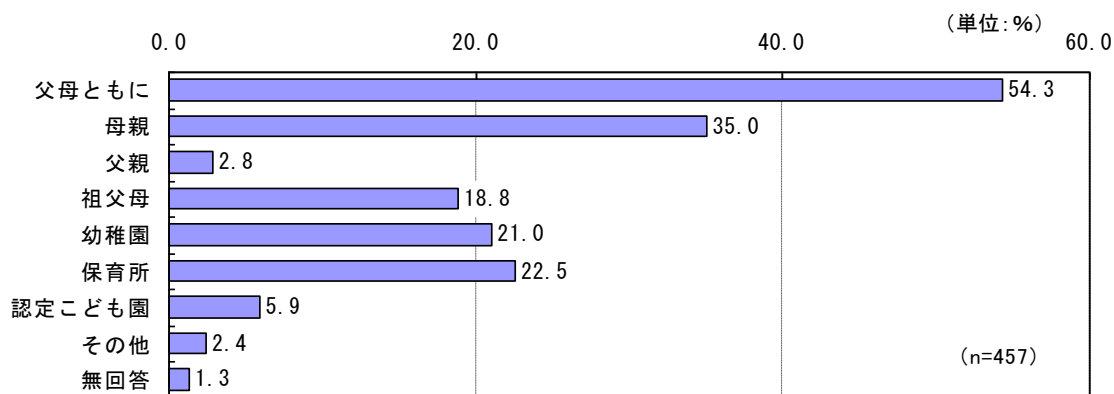


2 子どもの育ちをめぐる環境

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

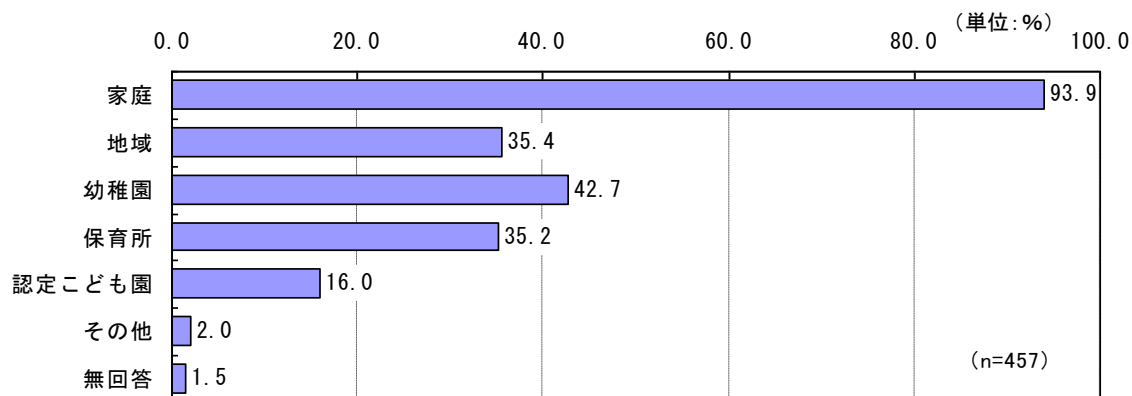
子どもの子育て（教育を含む）に日常的に関わっているのは「父母ともに」が54.3%、「母親」が35.0%となっています。「父親」は2.8%、「祖父母」は18.8%です。

また、「保育所」が22.5%、「幼稚園」が21.0%、「認定子ども園」が5.9%となっています。



問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

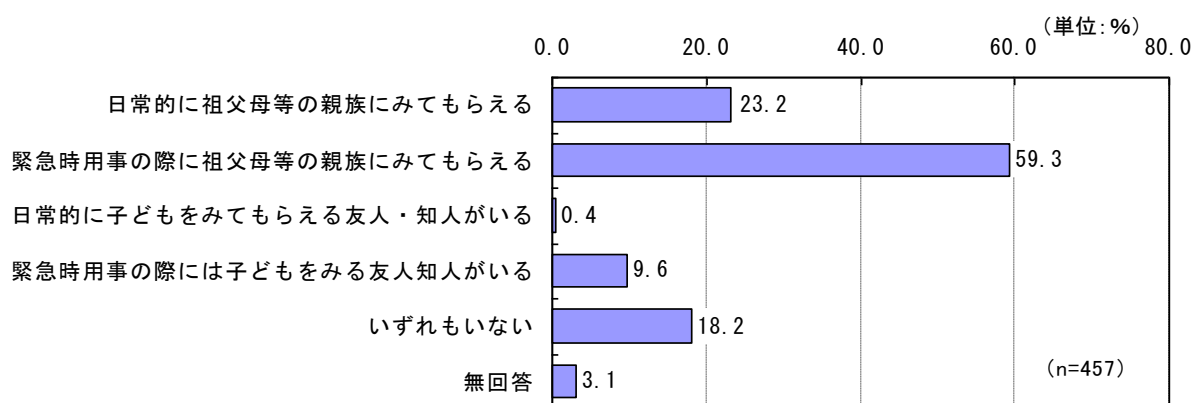
子どもの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境は「家庭」が93.9%と大多数を占めています。「幼稚園」が42.7%、「保育所」が35.2%となっており、「地域」も35.4%見られます。



問9 保育所等施設の有無に関わらず、日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

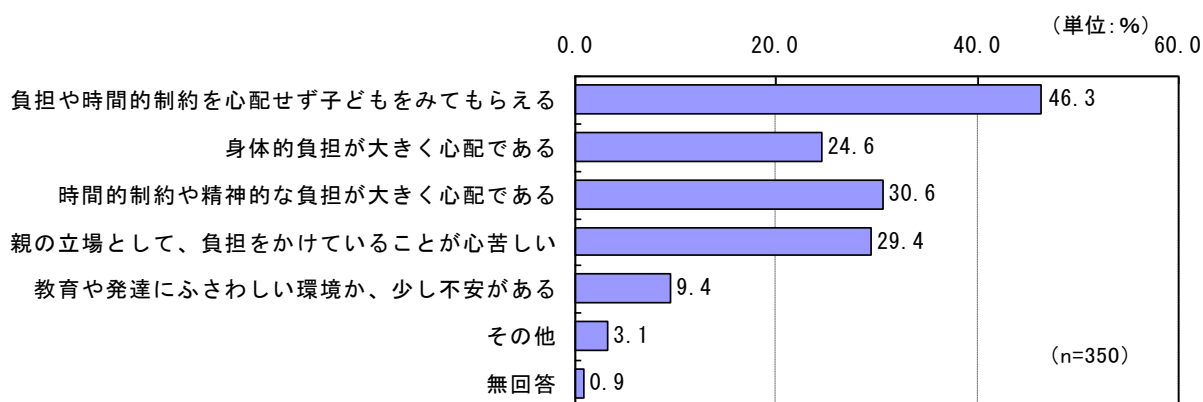
祖父母は「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が59.3%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が23.2%となっています。

友人・知人は「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が9.6%、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が0.4%となっており、祖父母、友人・知人とも緊急時等が多い結果となっています。



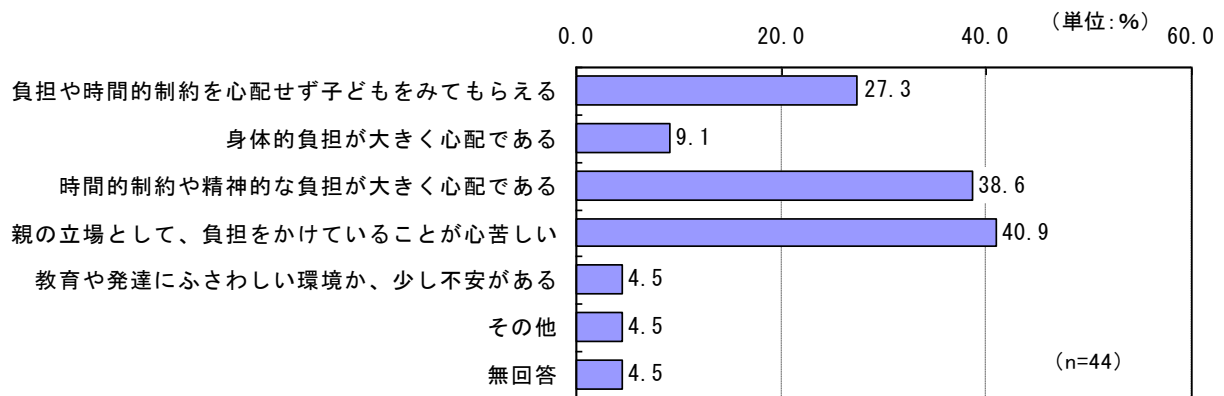
問9-1 問9で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が46.3%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が30.6%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が29.4%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が24.6%など各選択肢とも、高い回答となっています。「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」は9.4%と少数となっています。



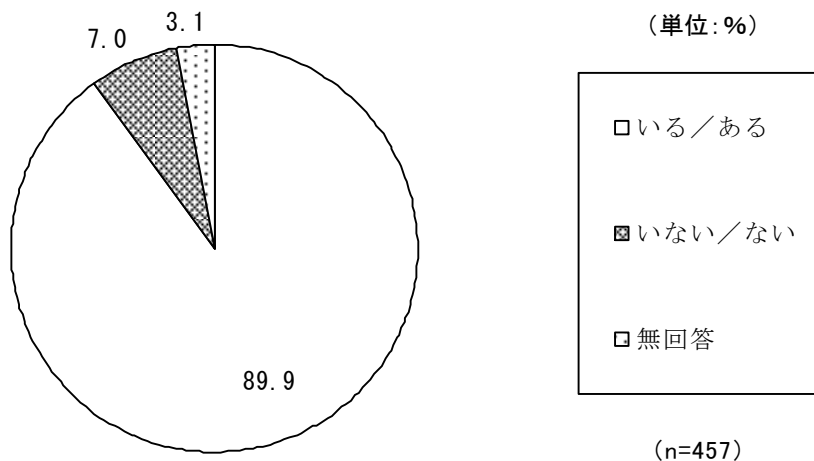
問9-2 問9で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が40.9%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が38.6%とこの2つの選択肢が4割前後となっています。「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」は27.3%です。



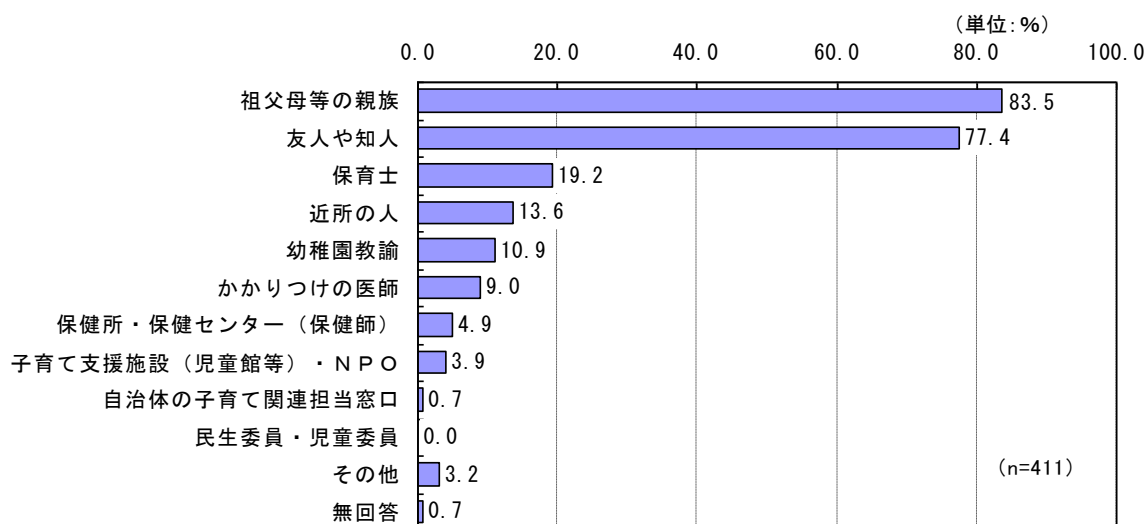
問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」は89.9%、「いない／ない」は7.0%です。



問10-1 問10で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族」が83.5%、「友人や知人」が77.4%でともに8割前後の高い回答となっています。次いで「保育士」が19.2%、「幼稚園教諭」が10.9%となっており、「近所の人」も13.6%となっています。



問 11 子育て (教育を含む) をする上で、周囲 (身近な人、行政担当者など) からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

教育・福祉施設

- ・どこの保育所でも子育て支援が週1ぐらいで受けられるとうれしい。
- ・緊急時に子供を保育園に迎えに行ったり預けたりできる。
- ・近くに託児施設が欲しい。
- ・近所に教育する施設が少ない。
- ・近隣の保育所と児童館が欲しかった。
- ・公立の幼稚園でも預かり保育 (長期休暇含) をして欲しい。
- ・公立の幼稚園をつくってほしい。
- ・公立幼稚園を増やしてほしい。
- ・仕事をしているので保育園に入れることや、小学生になった時の学童保育等について心配なく預けられる環境が必要。
- ・小絹地区は保育施設が少ない。共稼ぎの家庭にとっては非常に負担がある。夜の7時頃まで預かってくれる施設があれば大変助かります。
- ・待機児童をなくしてほしい。子供を保育所に預けられるか将来的に不安である。小学校の入学はどこに入れるのか心配。
- ・待機児童をなくしてほしいです。かかりやすい病気や育児に関する情報がほしいです。
- ・託児施設の拡充
- ・知識やクオリティの高い幼稚園の先生！我が子の幼稚園の担任は副担任とケンカを子どもの前でし、帰ってしまったたり子ども達をきつい言葉で怒ったりする為、信用できない。公立の先生は地方公務員という立場に甘んじてはいないかと考える。私立幼稚園等出むいて行事等の取り組み等少し学ぶべき。
- ・保育園の保育料を安くしてもらいたい。また、保育の時間を7時～20時にしてもらいたい。
- ・保育所の先生は親切ですが立場 (公平性・公務員) もあり深いところでの相談は不足であると感じます。利益にかかわらない立場の方の相談が気軽にできるサポートを望みます。みんなどうですよ、という言葉は安心を与えることもありますが無責任に聞こえることもあります (新生児訪問で感じました)。
- ・幼稚園や小学校での子供の様子を知ることができるとうれしいです (子育て相談室の開設等)。
- ・幼稚園を増やして希望者は全員が市内の幼稚園に通えるようにしていただきたいです。私立の場合、補助金の支給も考えていただきたいです。

相談・子育て支援サービス

- ・話を聞いてくれる。
- ・話、ぐちをきいてくれる。病児保育をしてくれる施設がある。
- ・例えば予防接種の助成金等、金銭的なサポートが充実していると、ありがたいです (インフルエンザ等)。
- ・用事の際に子供を見てもらえると助かる。

- ・幼稚園や保育園の一時預かりは、金額が高いのと、予約も急では取りづらいので、その点が改善されればありがたいです。
- ・幼稚園の情報が分からない為、幼稚園選びができず、守谷の幼稚園に入る事にしました。幼稚園の案内など、教えてもらえるサポートがほしいです。保育園を選ばずに幼稚園の時間外預りなどがあると、どういう教育をしていく幼稚園なのかなど。
- ・幼稚園に入るまでの間、家庭でどのような教育、育て方が子供にいいか、その年れいごとに教えてくれるような集いが定期的にほしい。
- ・預かり保育の時間延長。
- ・問い合わせをすれば教えていただけると思うのですが、幼稚園入園前の子供が対象のリトミックなどの情報がはがき、手紙でできてくれたら嬉しいです。
- ・黙って預かってくれる（理由を聞かない）とすごく助かりますが無理だと思うので大丈夫です。
- ・未就園児が子ども達と接する場が近くにあればいい。みらい平は色々子育て支援等、充実していると思うが下平柳（谷井田）は遅れているというかみらい平に手をかけすぎとってしまう。
- ・母親の精神、肉体系面を含むケアがあると嬉しい。妊娠、出産、育児と我が身をかえり見る暇がなく、あらゆる不調が立て続けに起こる。母親の不調は育児に悪影響を及ぼす。
- ・母親の1人の時間を持てるようなサポートがあればうれしいです。
- ・保護者が急病（インフルエンザやノロなど）にかかった時、直前でも（前日又は当日申込み）子供を預かってくれる様なサポートがあると助かります。
- ・保育所に毎日通わなくても子ども連れて集まって遊べる環境があればよいと思う。一時預かりがあれば尚よいが難しそうですね。例えば保育所の一室を開放してもらおうなど。
- ・悩み相談ができる。緊急時に子供の面倒を見てもらえる。
- ・日本ではまだまだベビーシッターの制度が浸透していないが、もう少し気軽に利用できるようになって欲しい。
- ・同年代の子がいる近所の家庭と交流出来る場をつくってほしい。
- ・同世代の子供どうし、遊ぶ所や行事などがあれば、お知らせなどが欲しいです。
- ・同じ年頃の子供を持つ親が集える場所があり、保育士さん等の専門家をまじえて、話ができる機会が定期的にあると良い。
- ・答えをすぐ教えず、子供が考える時間を待てるよゆう。
- ・土曜保育が通いの保育所に預ける事ができ人数が1組位そろえられるとうれしいです。
- ・土、日の一時保育があると助かります。
- ・土、日に空いている支援施設があれば、相談しやすいと思います（平日休みでもよい）。
- ・土、日あずけられる施設、泊り保育ができる施設がほしい。現在つくばみらいはシングルマザーに優しくない環境です。
- ・電話などであると良いです。
- ・電話で気軽に相談できるところがある。みらい平地区に子育て支援センターができるとよい。土曜日、子育て支援があると良い。
- ・定期的な集まり〇才〇ヶ月健診e t c。同じ年頃のママ友が必ず集まるような会（働いているママ友に出会う機会もない）。
- ・代表で、ある（責任ある人）がいてほしい。経験者でいいのです。連絡先がわかるとなおいいです。
- ・体調悪い時や病院（歯医者、産婦人科など）行く時に一緒に付いてきてくれるかもしくは見てもらえれば助かります。
- ・息づまった時に、気軽に利用できる一時預かりなど、不安や疑問があっても、相談できる先は限られてるため、相談する機会をふやしてほしい。
- ・相談などができる環境を設けてもらう。
- ・全ての幼稚園で未就園プレがあれば子供にとっても親にとってもいいと思う。
- ・親族や友人、知人に相談することが多いのですが、それでも解決しないような悩みを気軽に相談できる窓口が欲しい。子育て支援センターの育児相談は予約制になっているため、予約する程の内容でもないし、と思い予約しづらい。他には、土日でもやっている児童館や施設、プレイランドが欲しい。
- ・親が子どもの世話をできない時（病気、事故、仕事の面接、残業等）気兼ねなく子どもを頼めるシステム。お迎えや他の家であずかってもらうなど。
- ・常に集まれる場所があってそこに相談にのってくれる方がいるとうれしいです。
- ・常に開放されている支援施設に常駐の保育スタッフ、顔の見える関係で子育てをサポートしてくれるスタッフ、低年齢親子の体験プログラムを定期的に行う。
- ・常に安心して相談できる環境や施設などがあり、安心して話せる人間関係が築けていけば良いと思います。正直なところ、つくばみらい市はそういった施設が少ないと思います。

- ・少なくとも平日のみの窓口では、全く使えない。両親とも首都圏に出勤しているため、土日の対応が必要。また、市内や実家の対応だけでなく、サラリーマン家庭や東京出勤者の考えのわかる方が良い。これまで、つくばみらい市でずっと、という方には事情を理解してもらえないだろう。
- ・住所地区内に子育て関係支援センターがあると良い。核家族が増えている中、働きたいが働けない環境は望ましくない。
- ・守谷のキターレ等であるように1時間500円等で安心して子供を預かってもらえるような気軽に預けられる施設があればよい。また子育て広場も1才でおわりなのでその後もキターレであるようなプログラムを交えた広場のようなものがほしいです。
- ・守谷のキターレ、ミナーデのような児童館。毎月いろいろなイベントがあり、よくお世話になっている。
- ・室内でのびのび遊べる児童館のような場所が欲しい。現在、市立幼稚園に通っているのですが、有料でも良いので延長保育を設けて欲しい。
- ・自分の住んでいる地区ごとに子育てセンターなど気軽に行ける施設があると近所のお知り合いができてよい。引越してこられる方も多い場所なので。
- ・自分が病気（カゼなど）になって症状が重い時が一番困るので、サポートがあれば助かる。が、現実無理なので休まず育児（子どもと過ごしてしまう）ことがふつうになっている。
- ・自分が具合が悪くなった時や急用の場合に預けられる場所が近所にあるとよい。
- ・自分（母親）が体調不良のときに、家事、育児を自宅に来て手伝ってもらっていた。
- ・自治体の子育て関連担当窓口、民生委員、児童委員の存在、又はこれらの施設がどれだけ気軽に相談できる場所なのかを知らない。周知活動の工夫を頼む。
- ・時々子どもの面倒を見てもらい、自分の時間が欲しい。その時間を持つことで、また余裕をもって子育てができると思う。
- ・児童館等気軽に通える場所があればいい。
- ・児童館等の施設が近くにあれば良いと思う。
- ・児童館等に保育士さん栄養士さんなど専門家がいていつでも相談にのってもらえるとありがたい。一時保育所が駅の近くにあって手助けしてもらえるといい。
- ・児童館等が近くにあればよいと思う。
- ・児童館を作ってほしい。予約なしで気軽にその時の状況に合わせて行けることは親にとってうれしい。予約とか行く日が決められてしまうと、精神的にも負担になる。室内で、運動遊びや製作、おもちゃなどを用意してほしい。公園の遊具を増やしてほしい。
- ・児童センターで未就園児が交流できる場があると良い。
- ・支援室フラワーを一日中開放して欲しい。予防接種の公費接種を増やして欲しい。
- ・支援施設のような交流の場（親子サークル等）。
- ・市内に児童センターなどがあるとよい。もう少し公園など子供が遊べる場所が欲しい（みらい平だけでなく）。
- ・子供をいつでも預かってくれる環境。
- ・子供の体調がすぐれない時などに預けるのも含め頼れるサポートが欲しい。
- ・子供の出生届を出した時点で市や県で受けられる子供に対するサービス（丸福など）の説明をしっかりと頂きたい。
- ・子供と気楽に預けられる環境（時間、お金）
- ・子供たちだけでキャンプをしたり企画をして交流する場を作ってもらえればじめや孤立する子を防げるのでは。
- ・子育て支援を充実させてほしい。小さな子供と行けるイベントを行ってほしい。音楽会、映画、ベビーマッサージ等。
- ・子育て支援センターなど。
- ・子育て支援する場所があまり少ないと思う。ひよこ広場のような感じのを1歳以上も欲しい。
- ・子育て支援サービスの場所や集まる機会をつくってほしい。
- ・子育ての体験談や分からない事へのアドバイスなどが聞けると助かる。
- ・仕事をしているので義母に日中はめんどうを見てもらっていますが、急な用事、急な病気の時に気軽に子供を一時的に預けられる所があればいいなと思います。
- ・困った時相談できること。安全で安心してすごせる場の提供。
- ・行政、民間共さがせばサービスはそこそこあるのですがそこへつないでくれるライン（交通手段、あんない）がとぼしく感じます。車がないとバスの本数も少なくどこにも子供をつれていけません。
- ・広い視点で他自治体のとり組み等も見て、幅広い教育をしてほしい。子ども同士であそべる施設の必要性を強く感じる。
- ・公立保育所、小学校の時間外でも見てもらえる場所。特に土、日、祝。夏休みや年末年始など。サービス業の自営なのでその辺が不安です。
- ・公民館講座や地域のイベントで子育てに関連するものがあると良い。

- ・公民館などにいつでも子連れであそびにいけるスペースを作ってほしい。管理の保育士・保健師が常駐しており子供同士をあそばせたり母親同士のコミュニケーションの場になるようなオープンスペース。いつでも気軽に保育士に相談できたりする場があればよいと思う。
- ・経験者の年配の方が気軽に話せるような場所があればいいと思う。
- ・金銭面での負担をもっと減らしてほしい。（守谷市やつくば市は医療費や予防接種などの助成が進む中ここは、）児童館が1つもない。公園ばかり作るのではなく室内遊び場がない。
- ・近所付き合いが少なく、同年代の子供をもつ家庭もないので、行政によるサービスを利用（相談など）したいが、時間が合わず利用できず不便に感じている。週末にも窓口があると助かる（もしくは相談会など）。
- ・近所に子育て支援施設があったらいい。
- ・緊急時に見てもらえる施設があると助かる。
- ・緊急時に気軽に預けられるとありがたい。
- ・緊急時などの時に、預かってくれる施設があると良い。子育て相談が気軽に（メールなどのインターネットなど）できると良い。自宅訪問とか。
- ・緊急時、予約等なくても数時間預かってくれる所があると良い。又、その際、費用等の補助があったら良い。
- ・気軽に立ち寄れる相談窓口、オープンな感じのところがあると、構えずに相談がしやすい。
- ・気軽に利用出来る一時預かりがあればとても助かります。
- ・気軽に預けられる施設。
- ・気軽に相談できる友人・知人（子どもの年齢が一緒又は近い人）ができる又は出会える場所。子ども連れでもゆっくり話せる場所。
- ・気軽に相談できる窓口。
- ・気軽に集える場所、急な用事などの時に預けられる場所があると助かる（友人、知人には気を使う為）。
- ・気軽に子供を預けられる所があるといいなと思います。
- ・希望をきいた上で自宅訪問など（定期的に）
- ・一緒に遊べる場所・知人は一番ありがたい。児童館などはすごくありがたい。
- ・一時保育を利用しやすく、病児保育もやってほしい。
- ・一時保育を実施してくれる所をもっと増やしてほしい。特にみらい平地区に。
- ・一時保育をより利用出来れば有難いです（リフレッシュなどでも気軽に）。
- ・一時保育をお願いしたいです。特に土、日曜日。
- ・一時保育や、子育て支援施設を増やしてほしい。
- ・一時的に子どもを預かってもらえる施設を増やす。
- ・一時あずかりがもう少し気軽にできるようになってほしい。
- ・一時保育で預けられる人数を増やして欲しい。予約がいっぱい急な用事の時に預けられない。
- ・一歳未満時の一時保育。
- ・育休中の現在は特に気になりませんが、復職後に子供の面倒を見てくれるサポートがまだまだ少ないように思います。たとえば、9：00～17：00で行ける児童館などがあると良いと思います。
- ・以前取手に住んでいた時、活用していた子育て支援センターを引っ越し後利用できなくなり残念です。もっとつくばみらい市も同等の設備があったら良いと思う。
- ・以前2人の子供がまだ小さい時に病気の為、緊急で子育てサポーターを依頼したが、対応できず徹夜で10時間かけて車で実家に帰ったので、緊急時に助けてもらえると精神的なパニックが少しでも和らいだかもしれません。
- ・ゆとりのある保育施設。緊急時の一時保育サービス。
- ・もっと色々と場所に支援センター等があれば相談しやすくなる。
- ・もっと子育て支援施設を作ってほしい。
- ・もっとひよこ広場の回数を増やして欲しい。
- ・みらい平地区には、支援センターがないので、支援センターがあれば、母親同士、子供同士もっと仲良くなれると思います。皆、家にこもっている！新しい人ばかりなので、ママ友が居ない人が多い。
- ・ママの独りの時間が欲しい。一時保育でも今は急病等しか受付してもらえないですよ？なので2時間位預けられたら良い。そしてつくばみらいは広いので取手より水海道よりでは1ヶ所しか保健センターなく不便。
- ・ママが病気や通院の時に預けられる施設やサポートがほしいです。
- ・とても気軽に、簡易的に子供を預けられたりする所があるとありがたい。もっと子供が社会的に喜ばれる環境がないと、産んだり育てたりが難しい。

- ・つくばみらい市内だけでなく近隣の市で行われている児童センター等のイベント情報がクラブ活動情報等がもっと知りたい。
- ・つくばみらい市には日曜日に一時保育が出来ずつくば市にまで足をはこんだ。料金が高くても365日営業して頂けると助かる。
- ・たくさんの同年代の子供達が集まり、ふれあえる身近な場所が欲しい。
- ・セミナーなど。
- ・すでに実施されているが、一時保育が充実するといいい。
- ・シルバーサポートなどで、用事がある時等に、ベビーシッターとして自宅に来てもらえるとありがたいです。
- ・3歳を超えても子供1人に1万5千円の児童手当だとうれしいです。習い事にしても、学資保険にしても。もう少しもらえると嬉しいです。
- ・1才になるまでは、市のひよこ広場に毎月参加し、日々の悩みを相談できていたが、1才をすぎると参加できなくなるので、1才以降の未就園期間に参加できるひよこ広場的なものがあるとありがたい。
- ・0, 1, 2歳は特に子育てが大変なので気軽に預かってもらえる施設や親子共々伸び伸びとすごせる場所（保育士さん在中）があると本当に助かると思います。

遊び場・公園等

- ・きがるに子供を遊ばせられる所がいっぱいあるといい。又、1時保育などを出来る所がもっとたくさんあるといいです。
- ・板橋地区の遊ぶ場所がすくない。

病気や健康

- ・子供が病気になった時で、祖父母にも（祖父は、父方母方共に仕事をしている。祖母は無職だが、通院等で不在なときがある）見てもらえないことがある為、病児保育が可能な施設を整えてほしい。
- ・小さいうちは健診などで心配な事など聞く機会はあるが3才を過ぎると中々その様な機会も減るので定期的に心配に思っていることなどを相談できるとありがたいです。
- ・新生児健診や保健センターで行う健診の様に年齢や期間を決めて相談する場をもうけるだけでなく個別に相談しやすい予約カード的なものを作り気軽にいつでも行政担当に相談出来れば良いと思います。
- ・注射等の教育をしてくれる担当者があると大変助かると思います（病院の担当者はかなり冷たく、良く対応してくれない）。
- ・病気や困難な状況のときに、どうすればよいのか気軽に問い合わせることができる窓口が1つあるといいと思います（今でもあると思うけれど、まず最初にここ、というところがあると安心できると思います）。
- ・病児保育。学童保育（19時まで）。
- ・病児保育のサービスがある保育園。感染症の場合、症状が回復傾向でも保育園の出席停止期間が終わるまで休まないといけないので。
- ・病児保育の充実。仕事を急に休むことが難しく、近くに親族が住んでいないので、子供が病気になった時、毎回とても苦労している。
- ・病児保育の充実と、一時預かりの充実があれば、もしもの時も安心できる体制になると思う。

出産支援

- ・2人目（又は3人目）出産、入院などで利用できる24時間託児。
- ・出産支援

その他

- ・特別な事ではなく普段からのコミュニケーションが大切であると感じます。
- ・特にサポートは必要ありません。
- ・地域密着型。
- ・息子の場合は障害者なので障害福祉課の方で担当を決めてもらえるとありがたい。担当とは息子に対する担当で補助具担当、手当担当などではない。
- ・祖父母のサポートあるため今のところ具体的に思い浮かばない。
- ・成長。
- ・障害者への手当に関してはとてもたすかっています。肢体不自由なため周りの子が保育園、幼稚園に入っている中で、どのようにしたら良いのかわかりません。障がい児童デイサービスの設置をつくばみらい市もどうかお願いします。
- ・子供たちがやっではないけな事や間違ってる時は、放っておくのではなく、少しでも注意してほしいです。

- ・今は保育所だが来年度～小学校に入学するにあたって小学校の情報が乏しく不安である。学童等友人からの情報はあがる具体的な申込み時期や方法の説明がほしい。また学校の行事、一年生の勉強内容、時間等を入学前の早い段階で教えてもらいたい。
- ・今のところ会ったときに声をかけてくれるくらいで十分。
- ・広報の様な子育て専門の雑誌があるといいです。
- ・教育をする上で気を付けること。しつけ。
- ・危険示唆やタ刻の「帰れよ～」等田舎くさいあたたかい対応。
- ・みらい平地区は、人口の増加率が上昇している中で子供の数も多い。ゆえに友達関係を作り易いように思えるが、多種多様な家庭があるため一度できあがった人間関係の中に入って行くのは逆に難しい。親子参加型のイベントがあればいいなと思う。
- ・みらい平地区に学校施設。
- ・ウンウンと聞いてくれる人。アドバイスをしてくれる人。

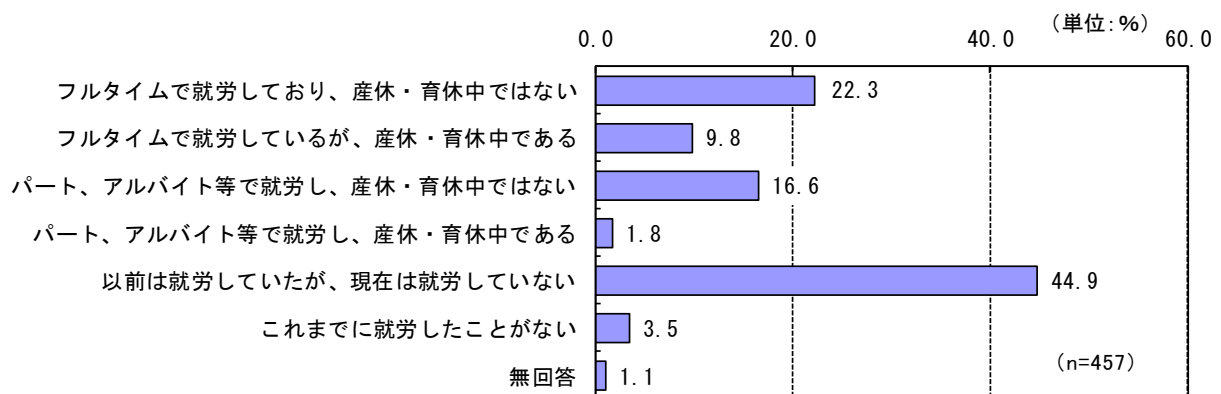
3 保護者の就労状況

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（1）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

就学前児童の母親は「以前は就労していたが、現在は就労していない」が44.9%と最も多く、フルタイムの就労は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が22.3%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が9.8%をあわせて32.1%です。

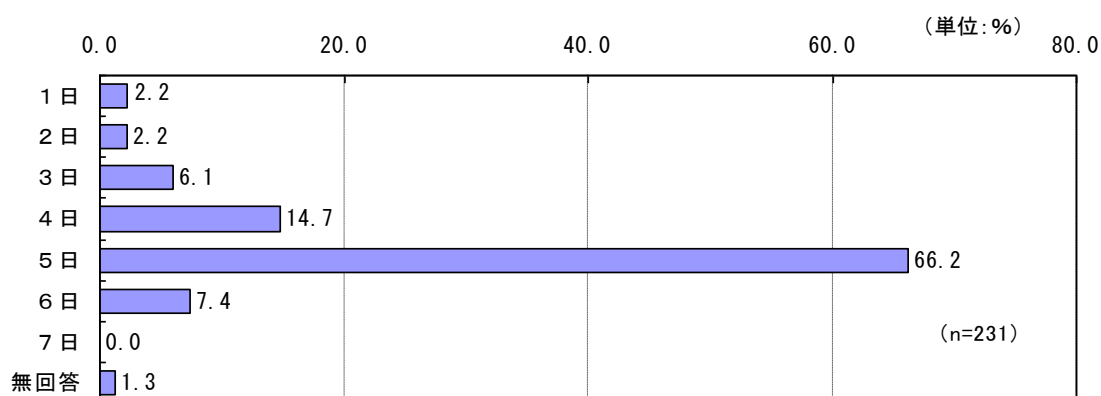
また、パート、アルバイト等は、「パート、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が16.6%、「パート、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が1.8%をあわせて18.4%です。



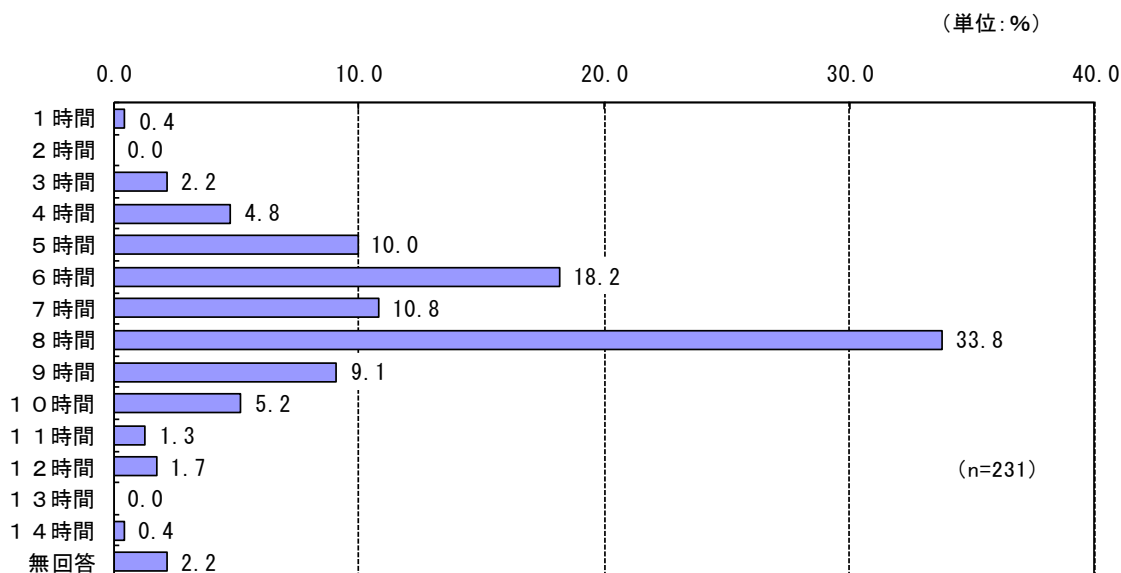
(1)-1 (1) で「1. ～4. 」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

就労している母親の1週間の就労日数は「5日」が66.2%と最も多くなっています。次いで「4日」が14.7%です。



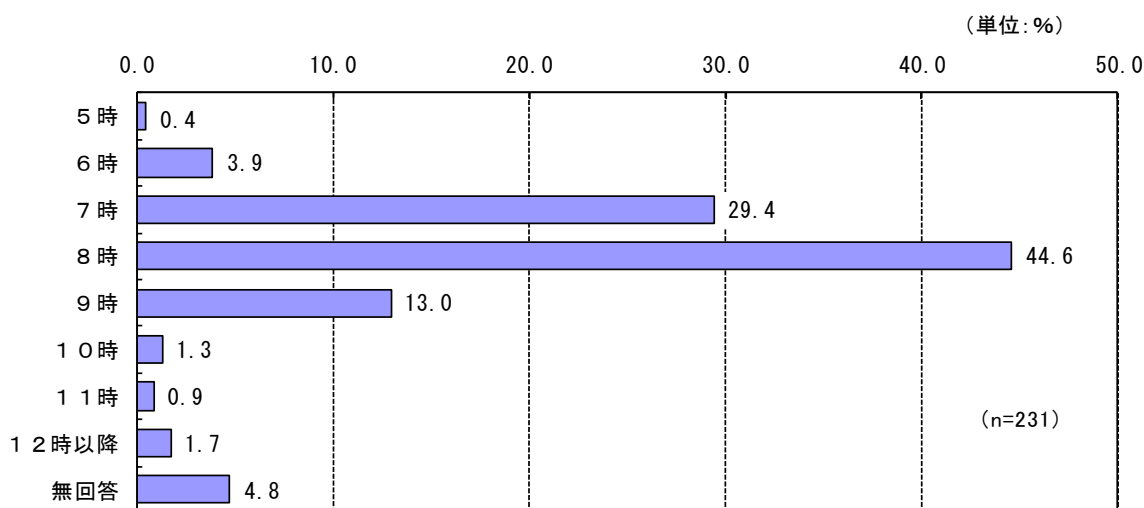
また、就労している母親の1日の就労時間は「8時間」が33.8%と最も多くなっています。母親の場合はパート・アルバイトも多いので、「6時間」が18.2%となっています。一方「12時間」が1.7%など長時間の人も見られます。



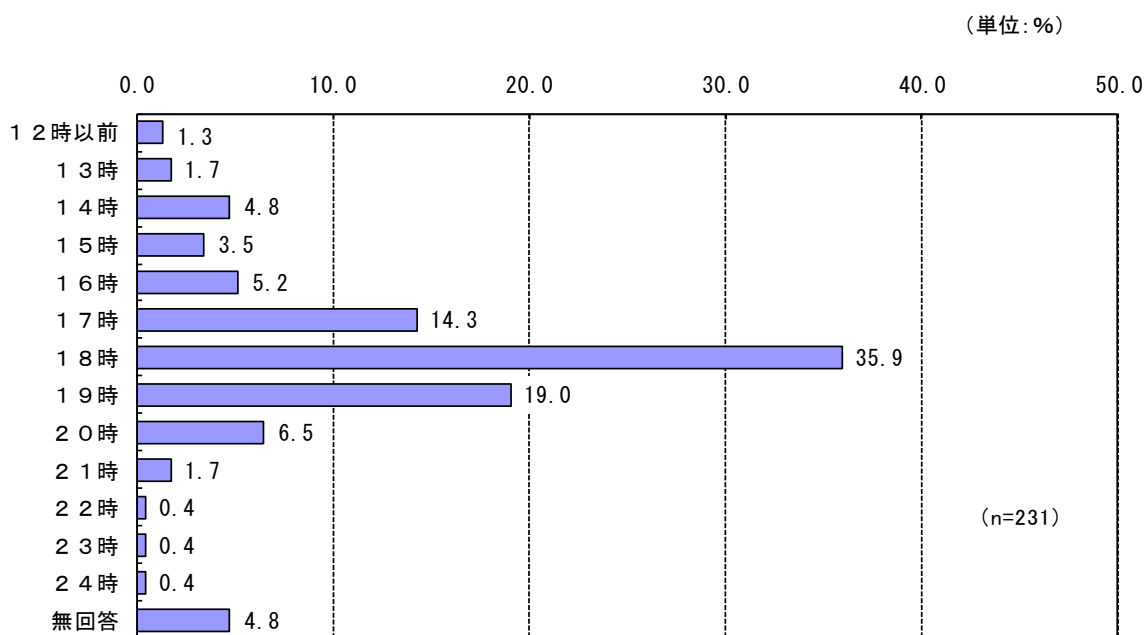
(1)-2 (1)で「1. ~4. 」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。

就労している母親が家を出る時刻は「7時台」が29.4%、「8時台」が44.6%、「9時台」が13.0%となっています。

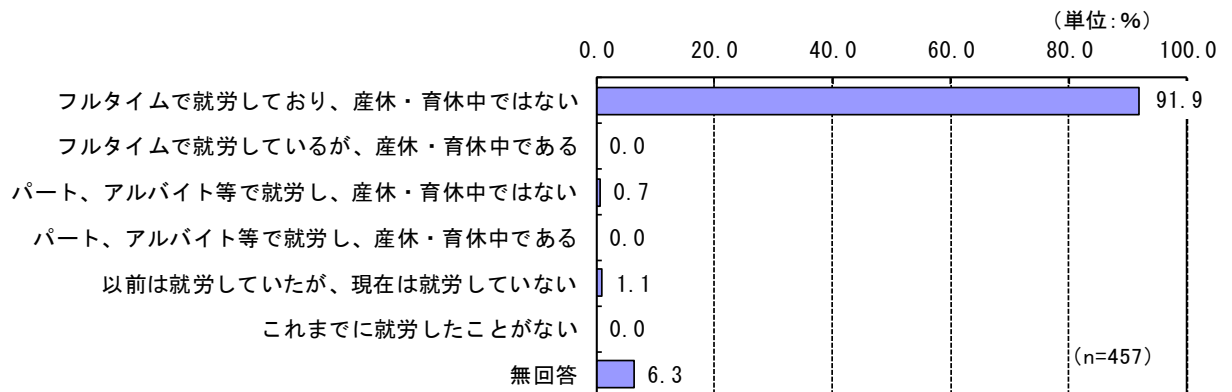


また帰宅時刻は「18時まで」が35.9%、「19時まで」が19.0%、「17時まで」が14.3%となっています。



(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

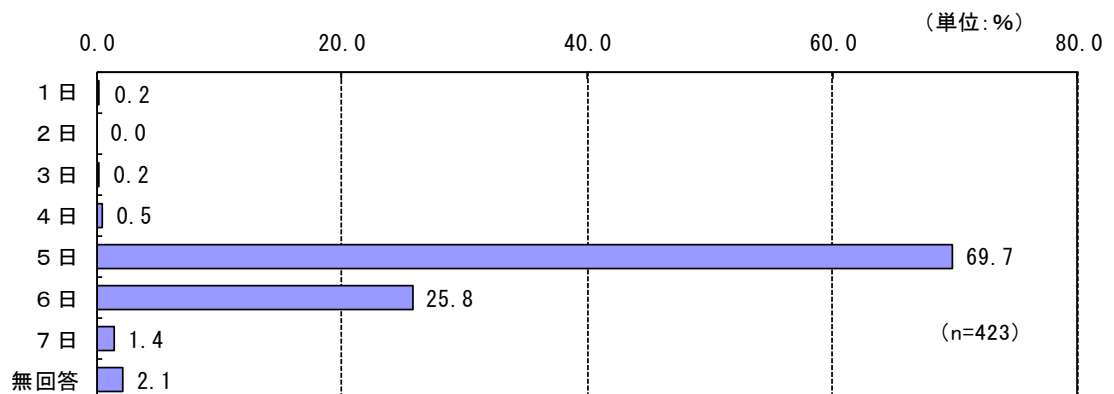
父親の場合は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が91.9%と大多数です。



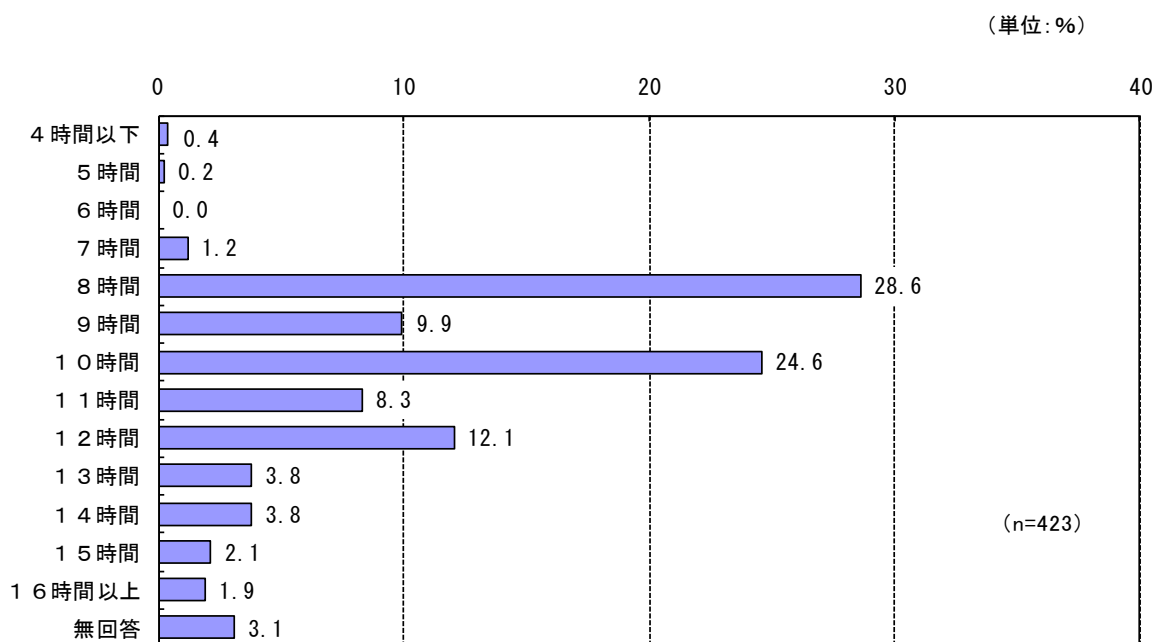
(2)-1 (2)で「1. ~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

父親は1週間で「5日」が69.7%と最も多く、「6日」も25.8%見られます。



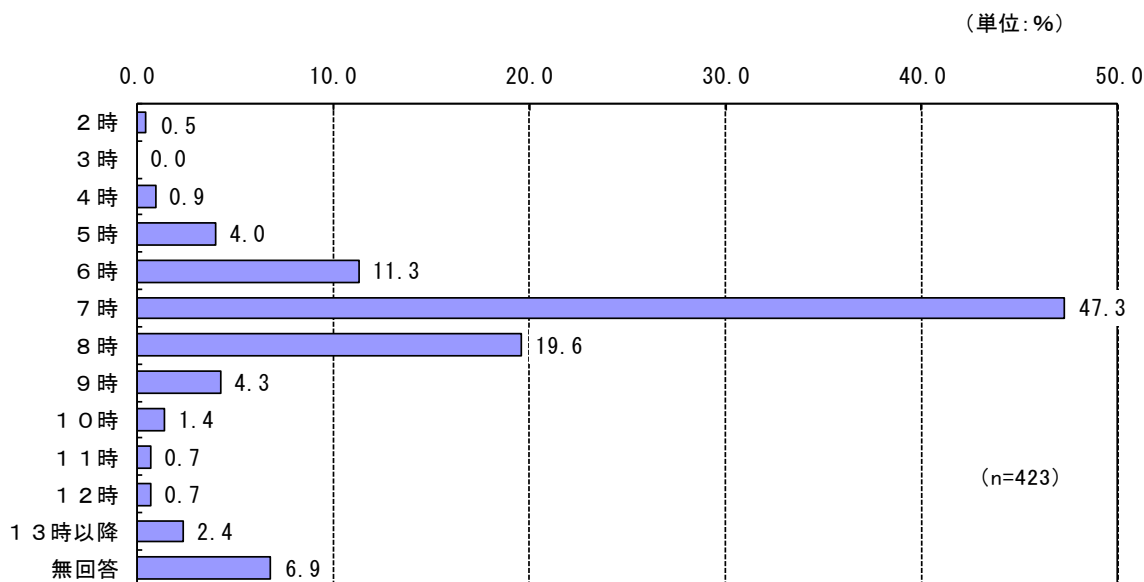
1日の就労時間は、「8時間」が28.6%、「10時間」が24.6%、「12時間」も12.1%となっています。



(2)-2 (2)で「1. ~4. 」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

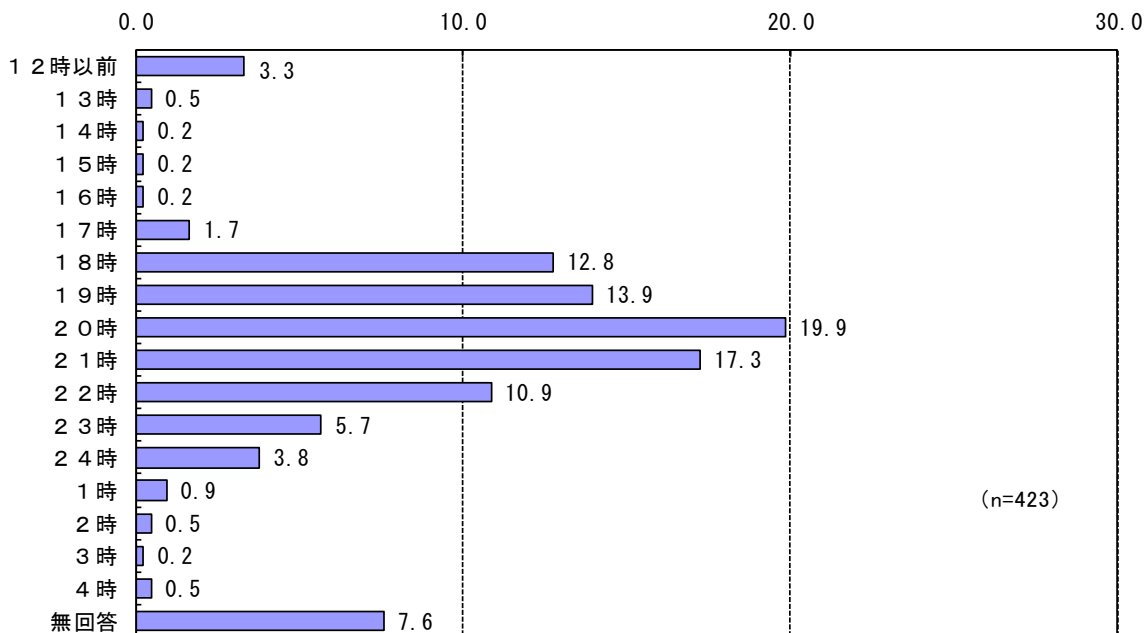
家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

就労している父親の家を出る時刻は、「6時台」が11.3%、「7時台」が47.3%、「8時台」が19.6%となっています。



帰宅時刻は、「20時まで」が最も多く19.9%、「21時まで」が17.3%、「19時まで」が13.9%です。

(単位:%)

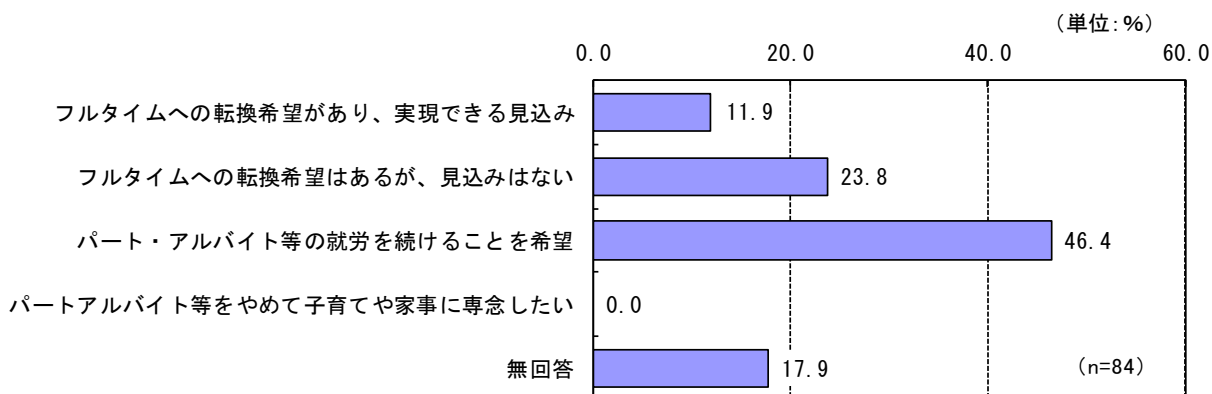


問13 問12の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方
にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

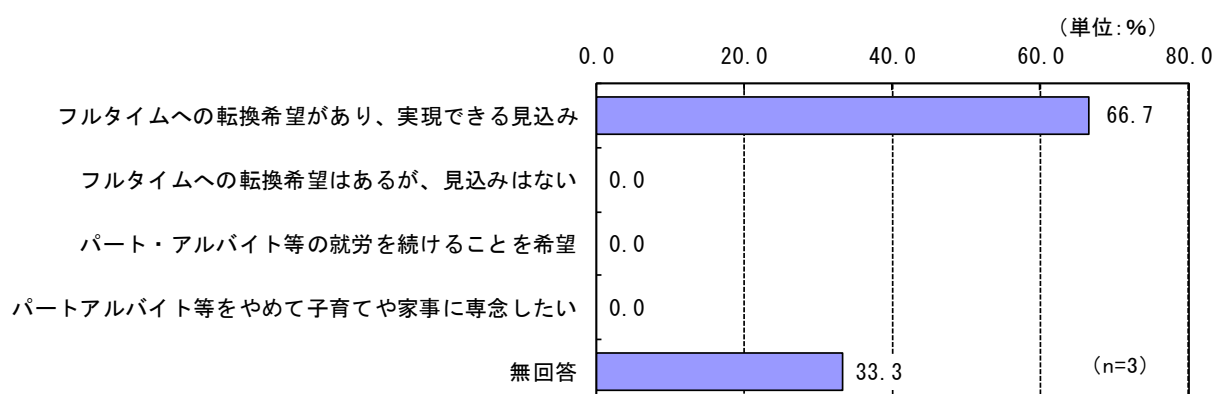
(1) 母親

パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等
(「フルタイム」以外の就労)の就労を続けることを希望」が46.4%と最も多くなっています。転換
希望は「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込み
がある」が11.9%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、
実現できる見込みはない」が23.8%をあわせて35.7%と3分の1の割合となっています。



(2) 父親

父親はパート・アルバイト等で就労は3人のみであり、うち2人が「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」と回答しています。

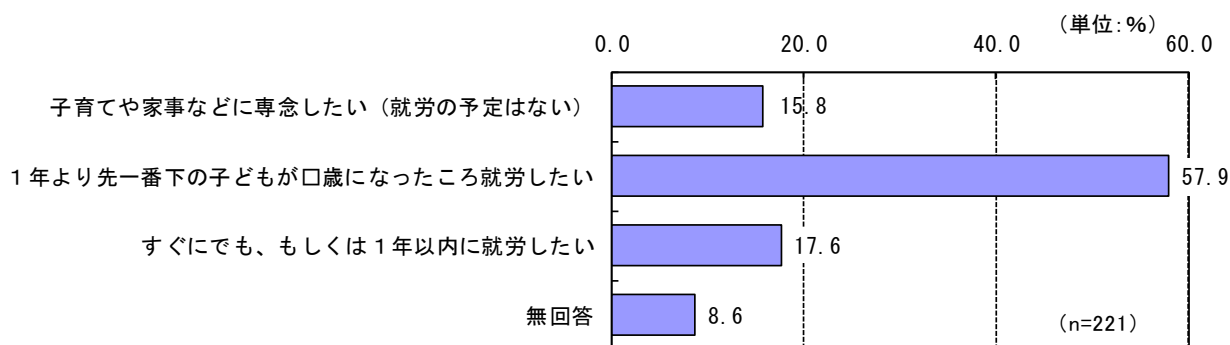


問14 問12の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は問15へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

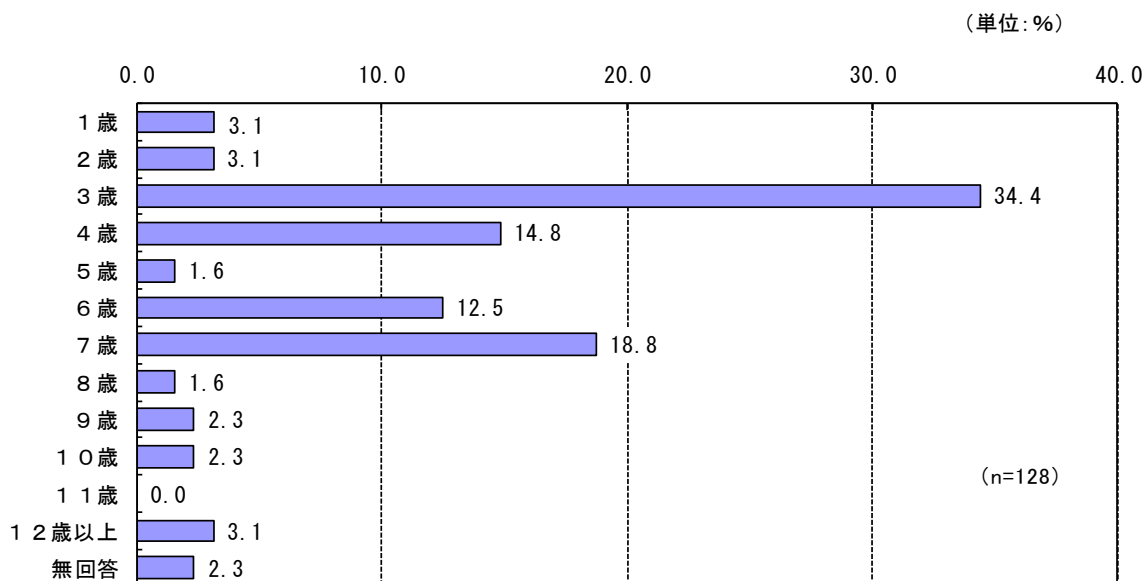
(1) 母親

「1年より先、一番下の子どもが□歳になったころに就労したい」が57.9%と最も多くなっています。

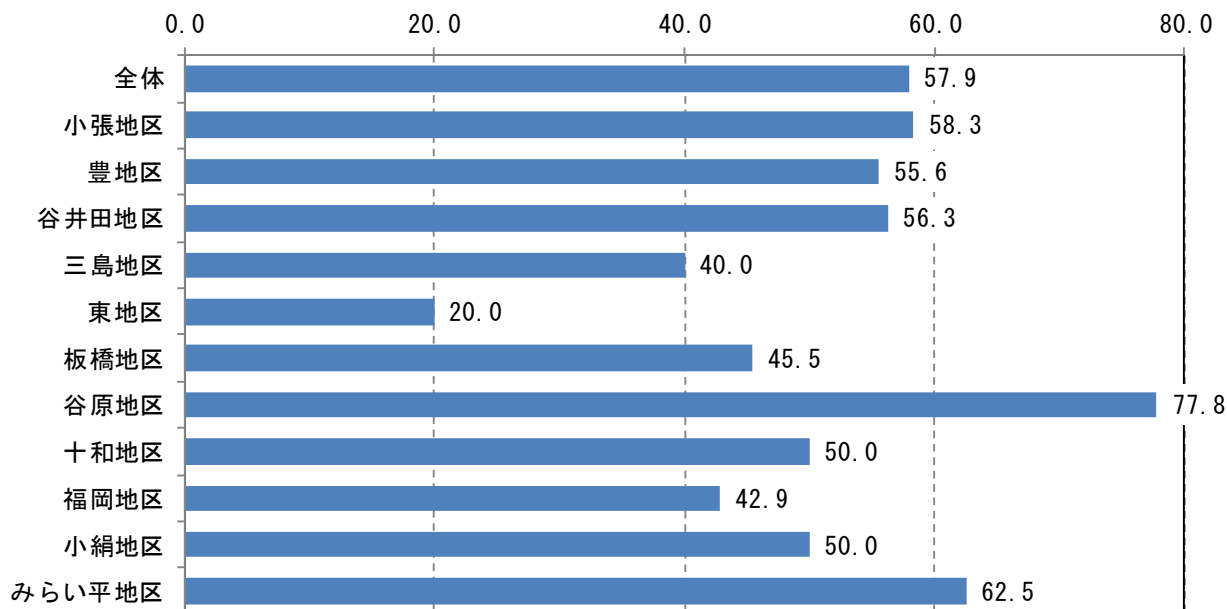


2 「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」

「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」と回答した母親が望む年齢は「3歳」になったところが34.4%と最も多く、次いで小学校入学時の「7歳」が18.8%となっています。

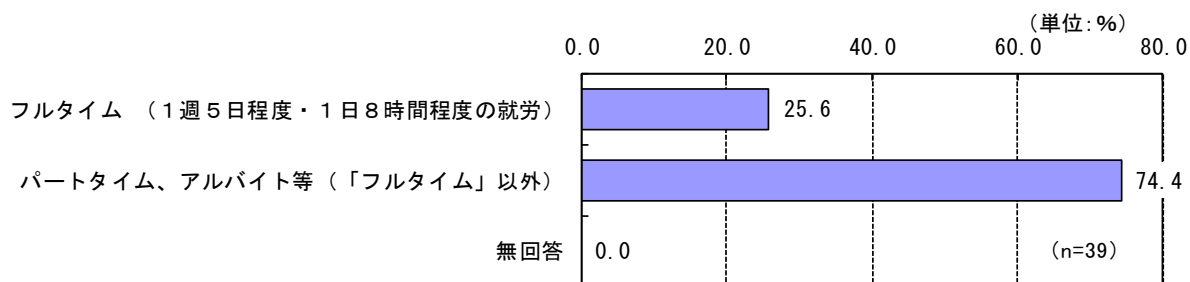


地区別に「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」と回答した母親の割合を見ると、「谷原地区」で77.8%と際立って高く、「みらい平地区」も62.5%と高くなっています。一方で「東地区」で20.0%、「三島地区」で40.0%、「福岡地区」で42.9%、「板橋地区」で45.5%と低くなっています。

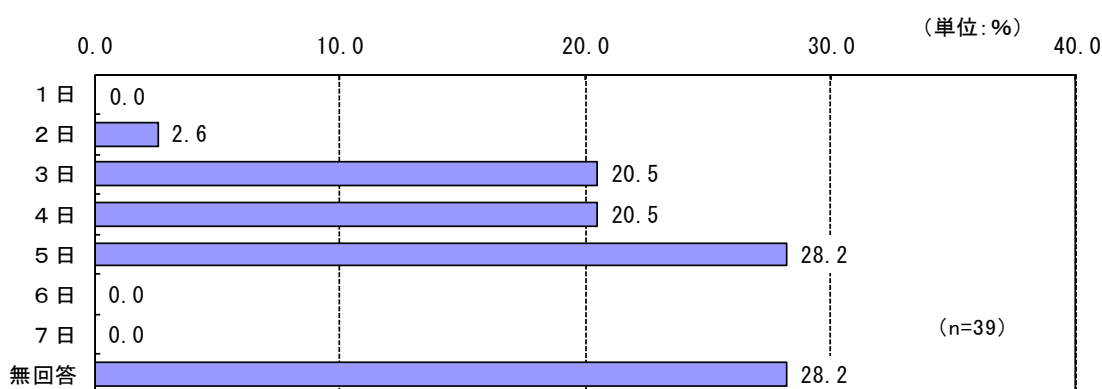


3 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」

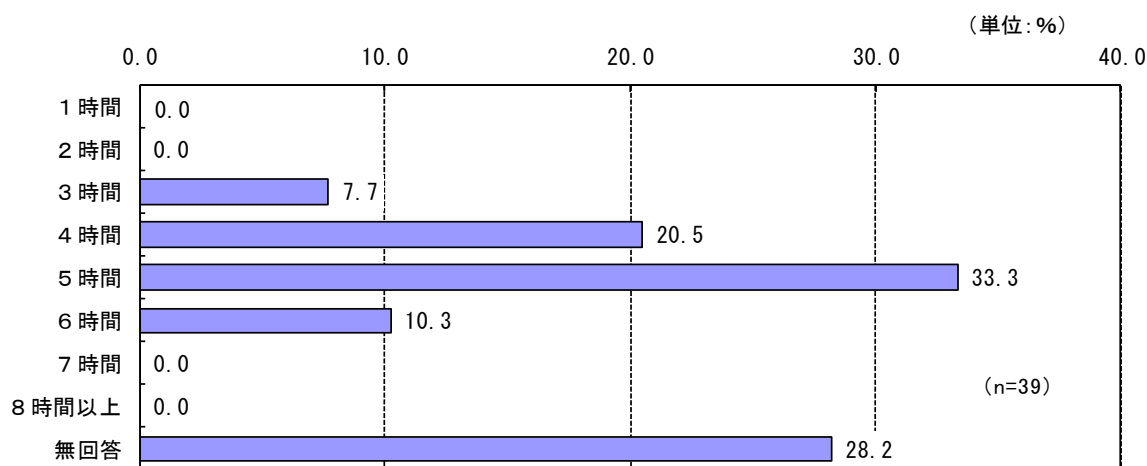
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」という母親は「パートタイム、アルバイト等」が74.4%、「フルタイム」が25.6%です。



パート・アルバイトで、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」という母親の1週間の希望就労日数は「5日」が28.2%、「3日」と「4日」が20.5%です。

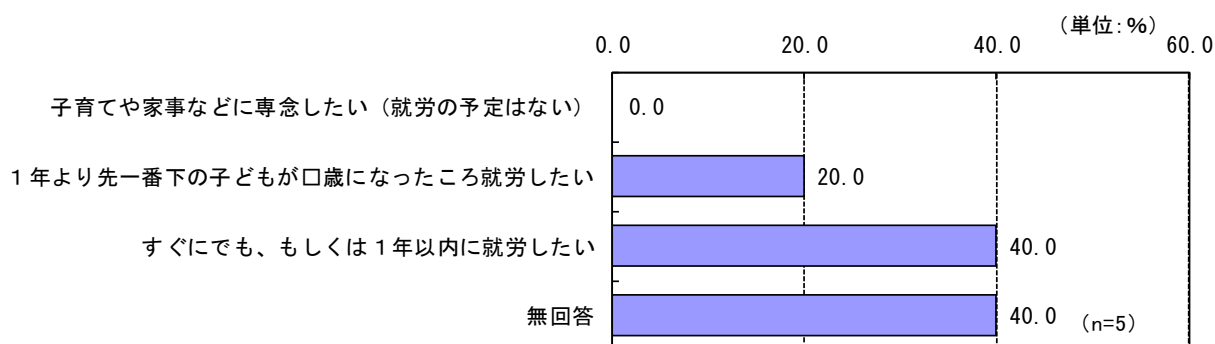


一日の時間は「5時間」が33.3%、「4時間」が20.5%などとなっています。



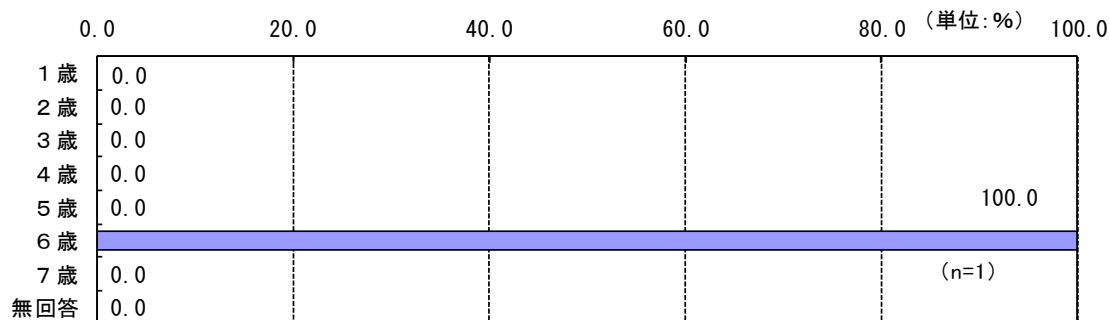
(2) 父親

就労していない父親は5人だけで、うち2人が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答し、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」が1人となっています。



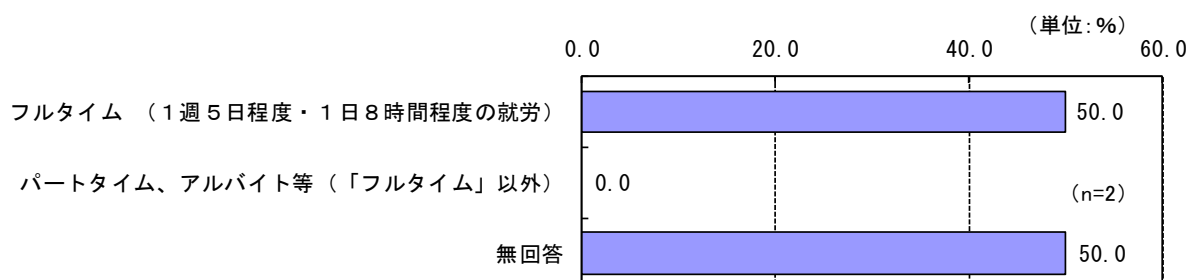
2 「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」

「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」と回答した父親は1人、望む年齢は「6歳」です。



3 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」

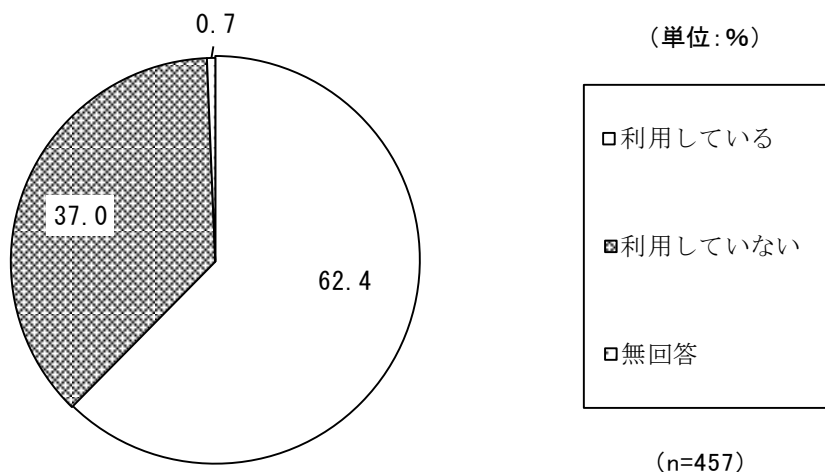
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」という父親は、2人でうち1人が「フルタイム」を希望しています。「パートタイム、アルバイト等」の希望は見られません。



4 平日の定期的な教育・保育事業

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「日中の定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」が62.4%、「利用していない」が37.0%です。

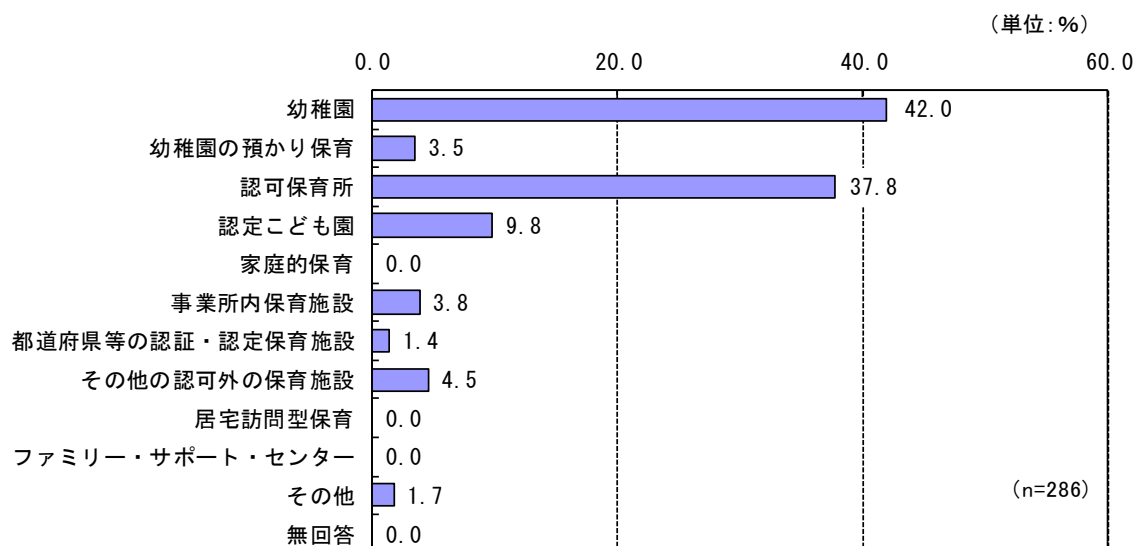


問15-1～問15-4は、問15で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。

問15-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに ○をつけてください。

「利用している」人の内訳は「幼稚園」が42.0%、「幼稚園の預かり保育」は3.5%、「認可保育所」は37.8%、「認定こども園」は9.8%となっています。

その他の施設では「事業所内保育施設」が3.8%、「都道府県等の認証・認定保育施設」が1.4%となっています。

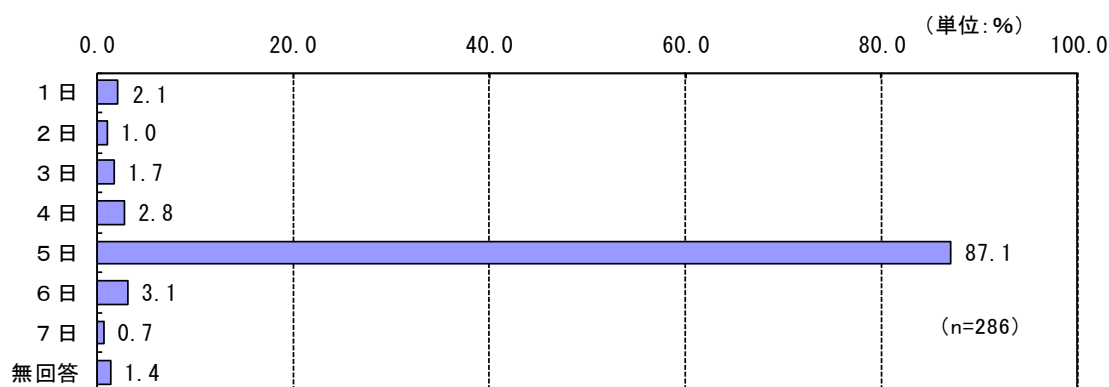


問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。時間は、必ず（例）08時20分～18時00分のように24時間制でご記入ください。

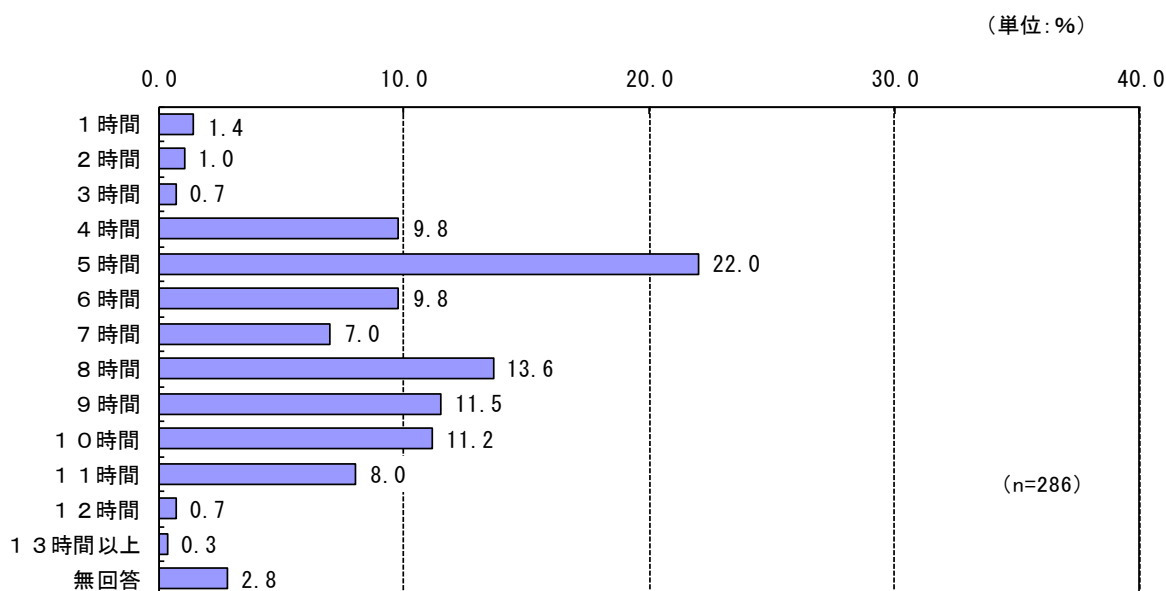
(1) 現在

1週当たり 日 1日当たり 時間 (時 分 ~ 時 分)

事業の利用は1週間で「5日」が87.1%と大多数です。

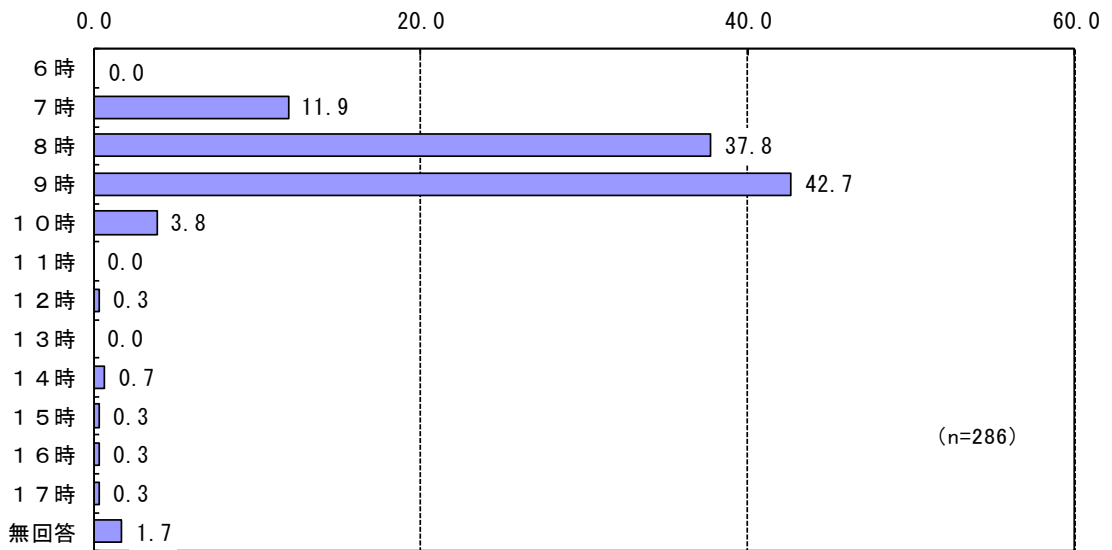


1日の利用時間は「5時間」が22.0%、「8時間」が13.6%となっています。「4時間」から「11時間」が中心となっていますが、「13時間以上」に及ぶ長時間の回答も見られます。



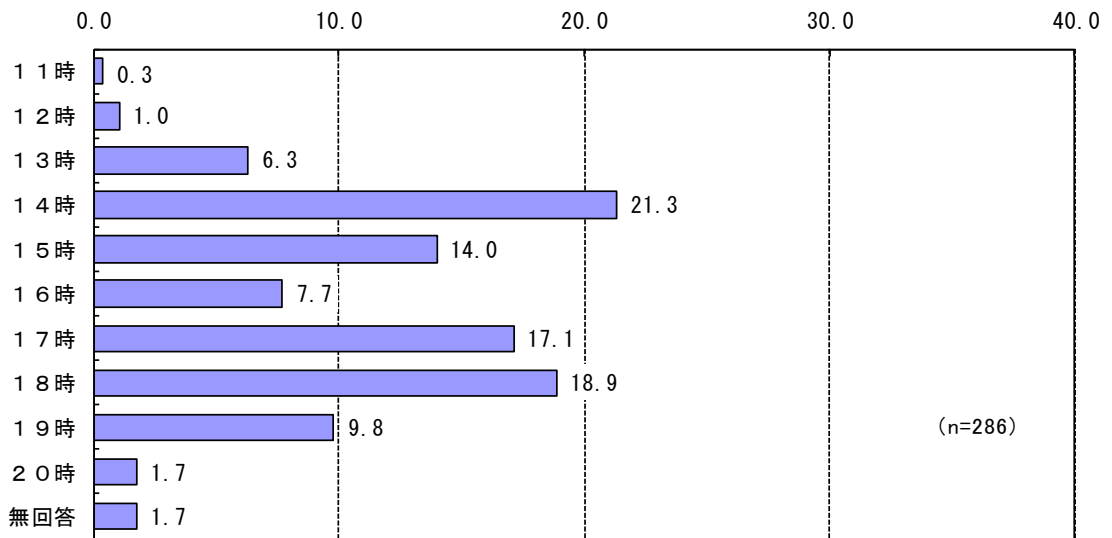
教育・保育の開始時刻は、「8時台」が37.8%、「9時台」が42.7%、「7時台」が11.9%です。

(単位:%)



終了時刻は、「14時まで」が21.3%、「18時」が18.9%、「17時」が17.1%です。

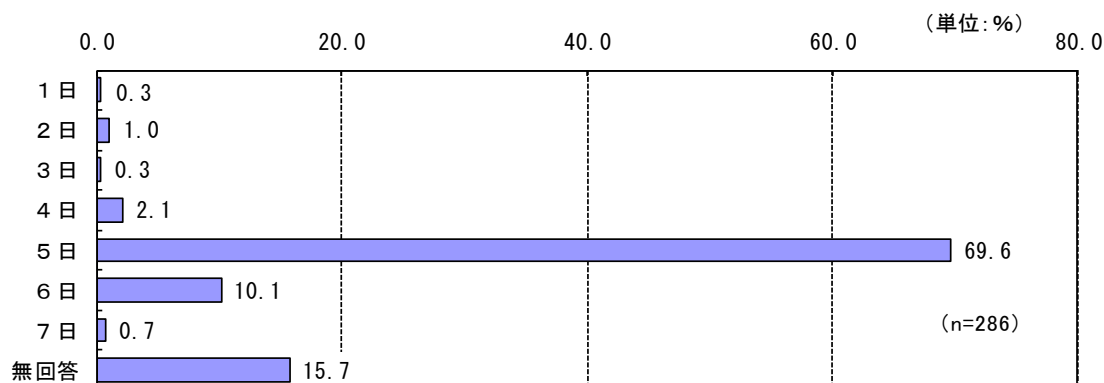
(単位:%)



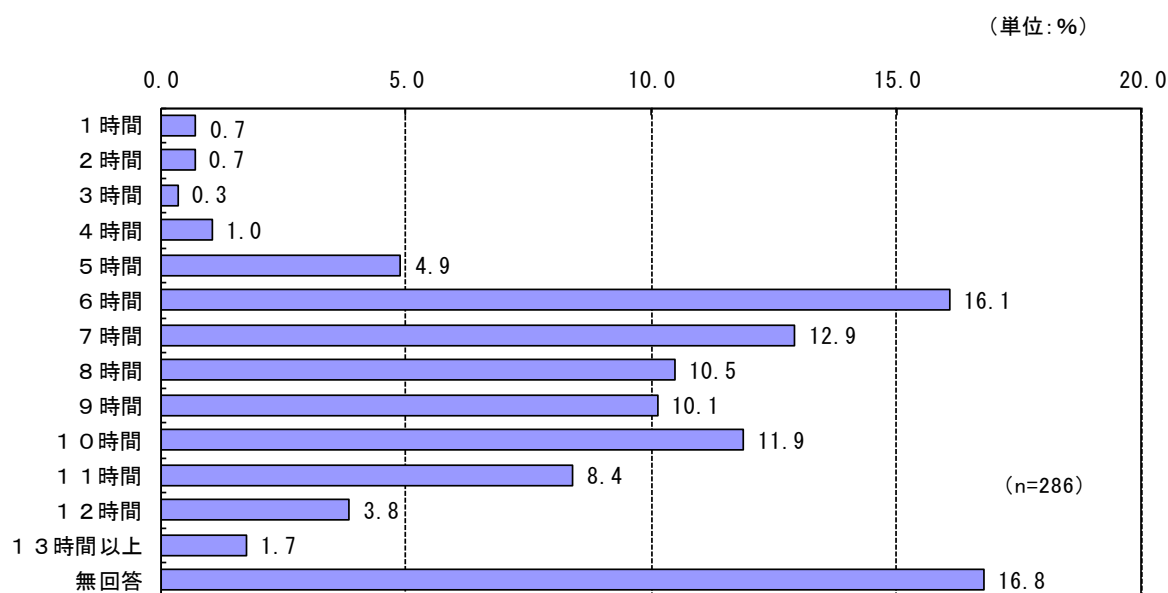
(2) 希望

1週当たり 日 1日当たり 時間 (時 分 ~ 時 分)

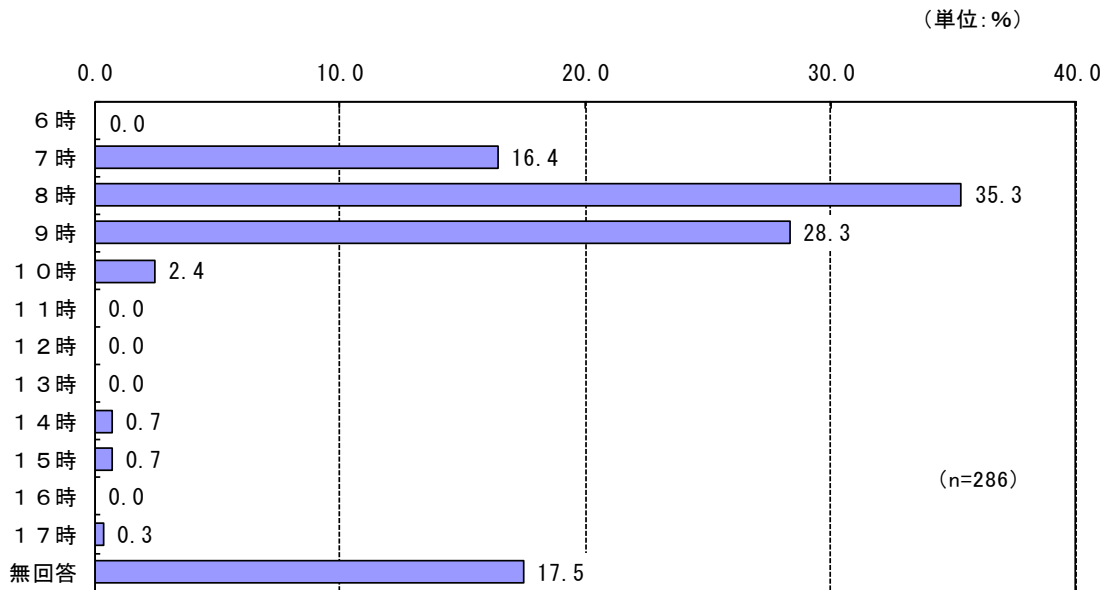
1週間の利用日数の希望は、「5日」が69.6%、「6日」が10.1%です。



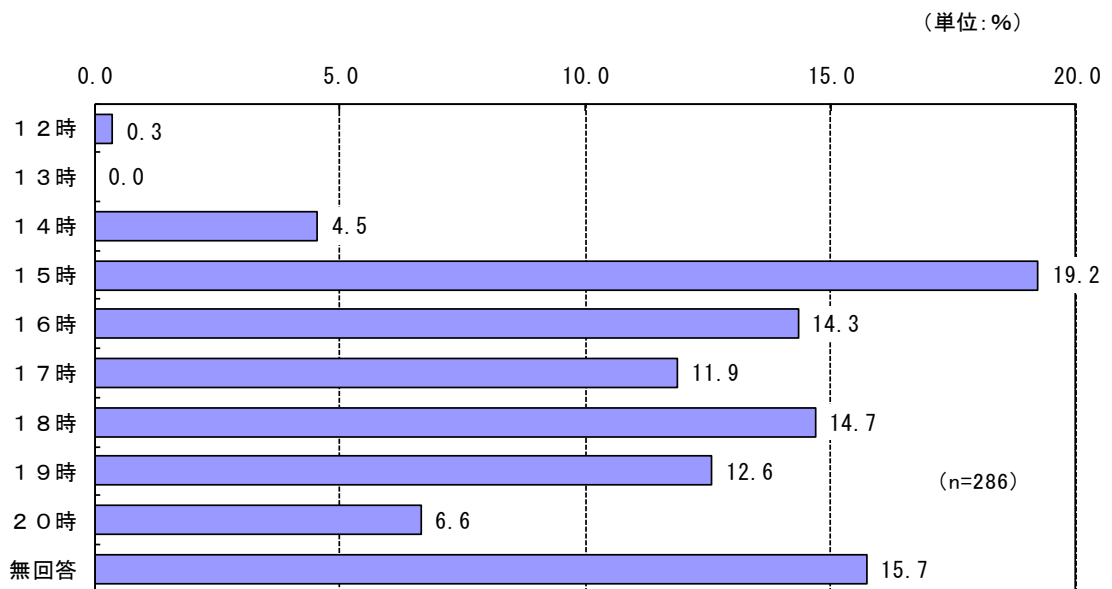
1日の時間は「6時間」が16.1%と最も多くなっており、現況で最も多い「5時間」の希望は4.9%と少数となっています。また「7時間」が12.9%、「10時間」が11.9%です。全体として、現況より長時間の教育・保育が求められています。



希望開始時刻は「7時」が16.4%、「8時」が35.3%、「9時」が28.3%です。

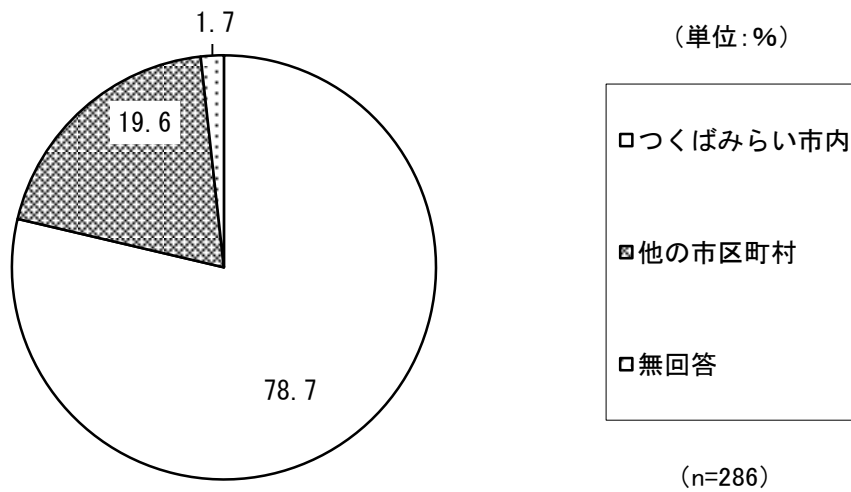


終了時刻の希望は「14時」が現況では21.3%となっていますが、希望では4.5%に低下しており、「15時」が19.2%と増えています。また、「18時」が14.7%です。



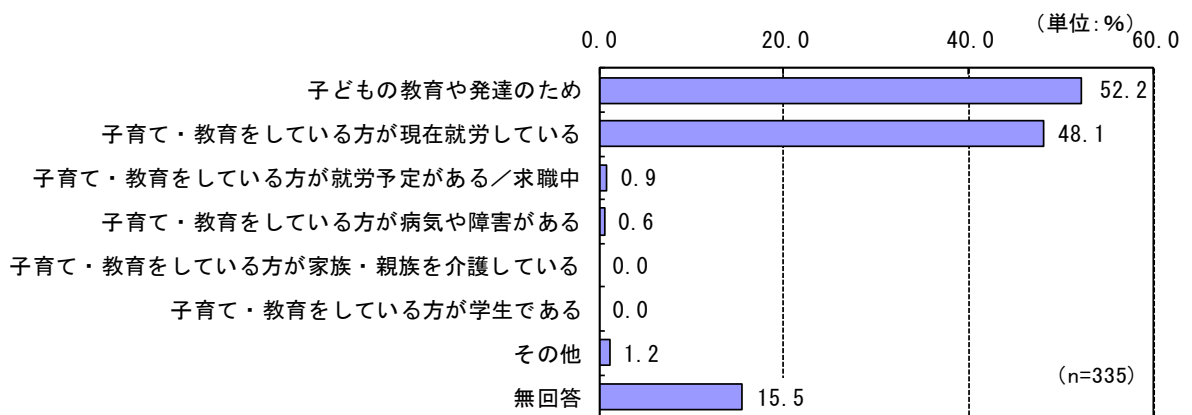
問 15-3 現在、利用している事業の実施場所についてうかがいます。「1. つくばみらい市内」「2. 他の市区町村」のいずれかに○をつけてください。

「つくばみらい市内」が78.7%、「他の市区町村」が19.6%となっています。



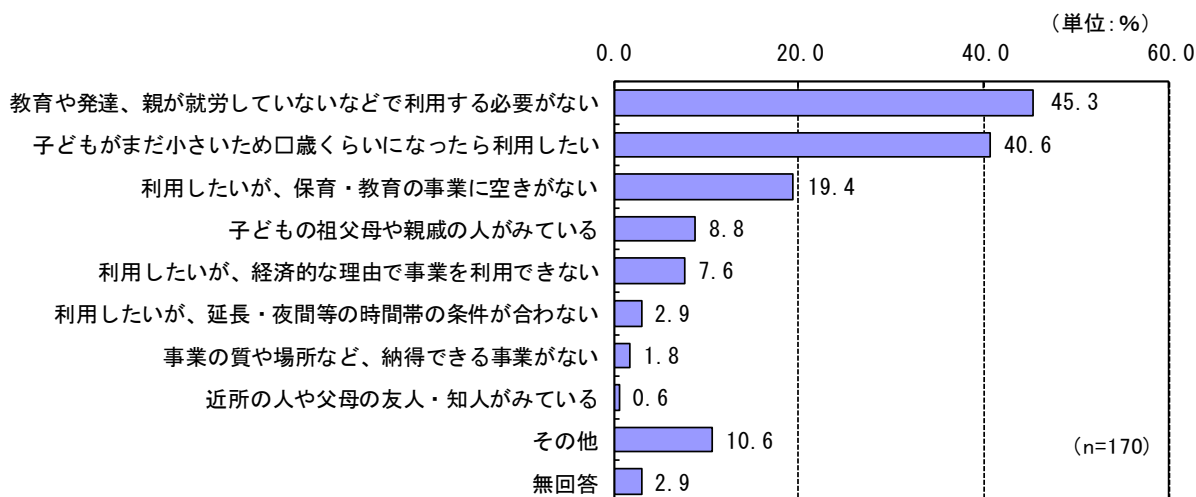
問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの教育や発達のため」が52.2%、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が48.1%で、回答はこの2つの選択肢に集中しています。



問 15-5 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

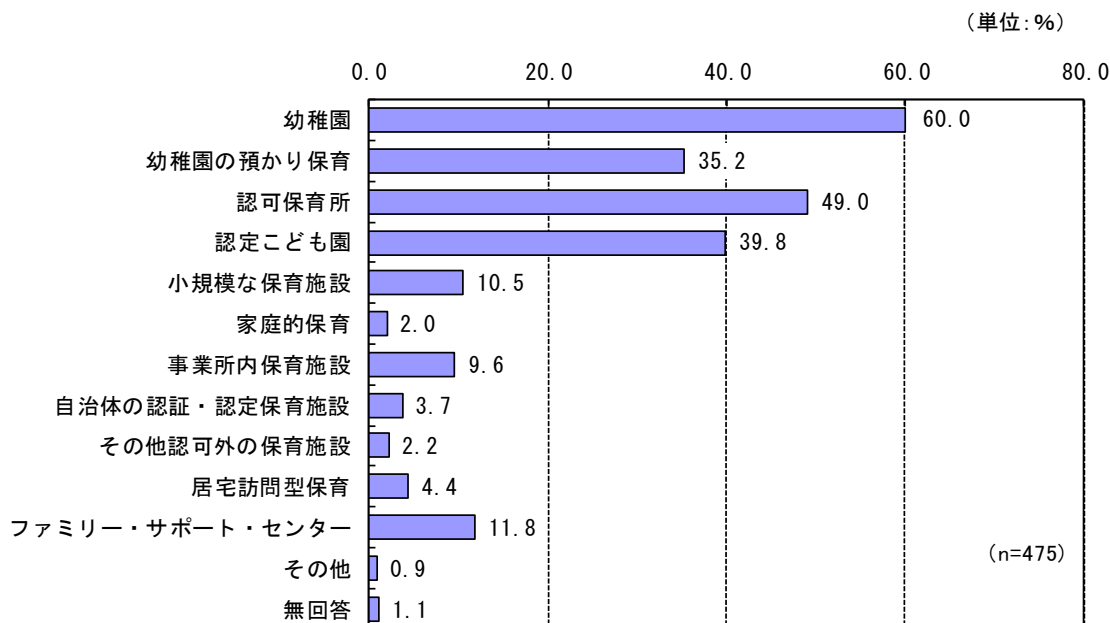
「子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で」利用する必要がない」が 45.3%、「子どもがまだ小さいため〇歳くらいになったら利用したいと考えている」が 40.6%となっています。また、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が 19.4%です。



問 16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的」に利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

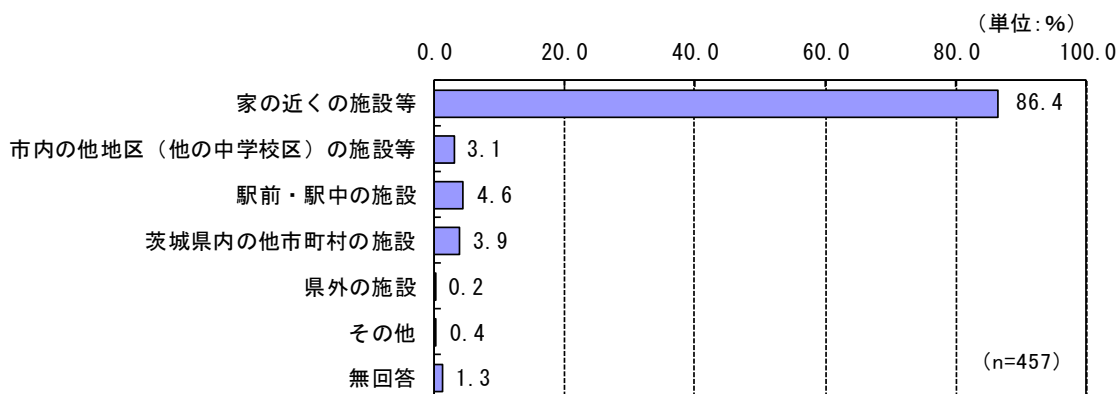
「幼稚園」が現況利用の 42.0%から希望では 60.0%となっています。特に「幼稚園の預かり保育」は 3.5%から 35.2%へと大きく希望を伸ばしています。また「認可保育所」も 49.0% (現況 37.8%) と高い希望が見られます。「認定こども園」は 39.8% (現況 9.8%) で希望が急増しています。

「ファミリー・サポート・センター」は 11.8%、「企業内保育施設」は 9.6%となっています。



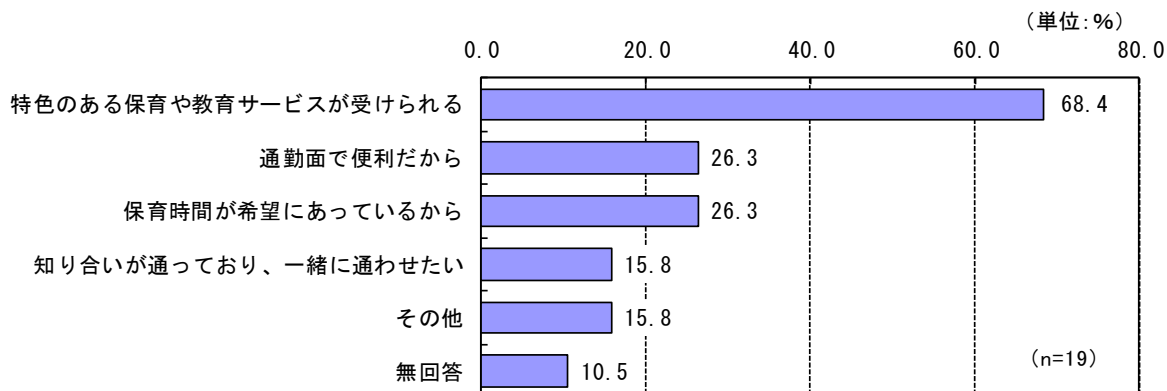
問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまるものいずれか1つに○をつけてください。実際には施設等のサービスがない場合でも希望でお答えください。

教育・保育事業を利用したい場所は、「家の近くの施設等」が86.4%と大多数です。



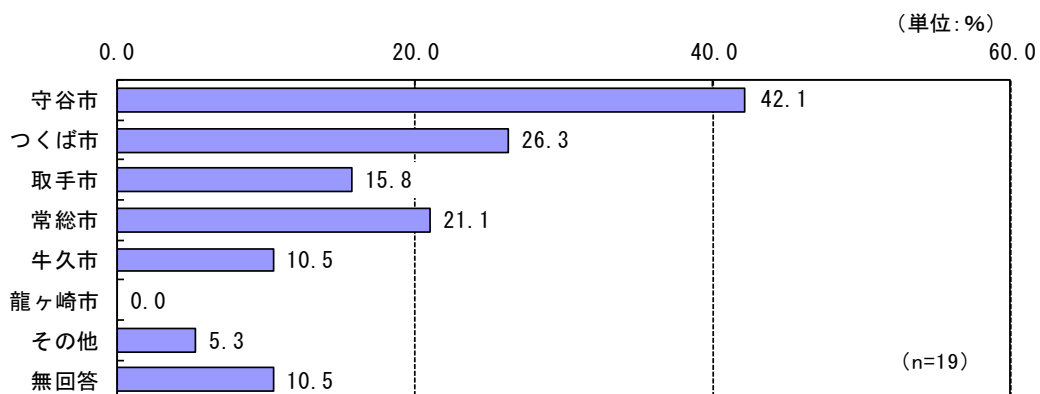
問 16-2 問 16-1 で「4. 茨城県内の他市町村の施設」「5. 県外の通勤先等の施設」を選んだ方に、市外の施設を利用したいその理由をうかがいます。当てはまるものすべてに○をつけてください。

市外の施設を希望する理由は「特色のある保育や教育サービスが受けられる」が68.4%と最も多くなっています。「通勤面で便利だから」と「保育時間が希望にあっているから」は26.3%です。



問 16-3 問 16-1 で「4. 茨城県内の他市町村の施設」を選んだ方にうかがいます。市外の施設を利用したい方はどこの施設を利用したいとお考えですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

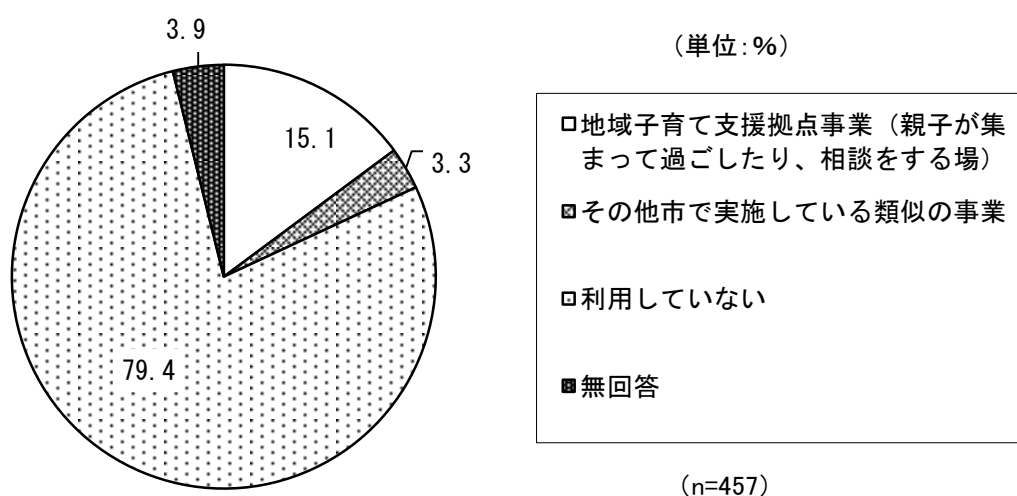
「守谷市」が 42.1%、「つくば市」が 26.3%、「常総市」が 21.1%です。



5 地域の子育て支援事業

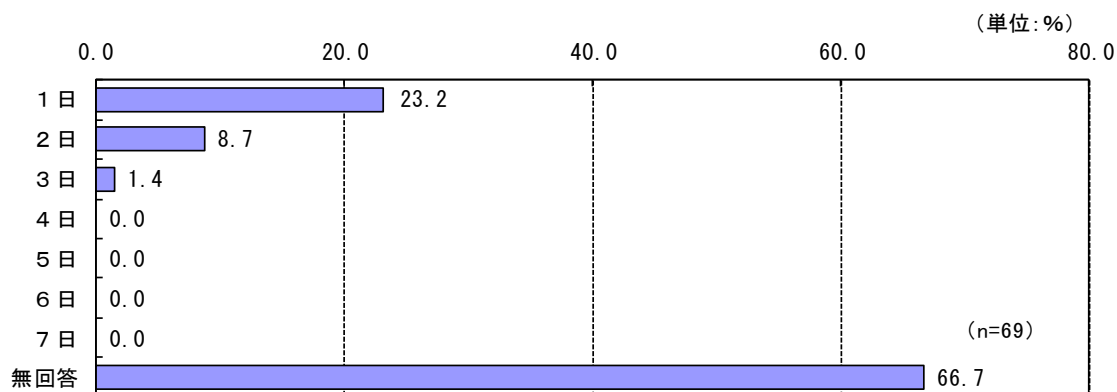
問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「利用していない」が 79.4%と大多数となっています。「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」が 15.1%、「その他当該自治体で実施している類似の事業」は 3.3%です。

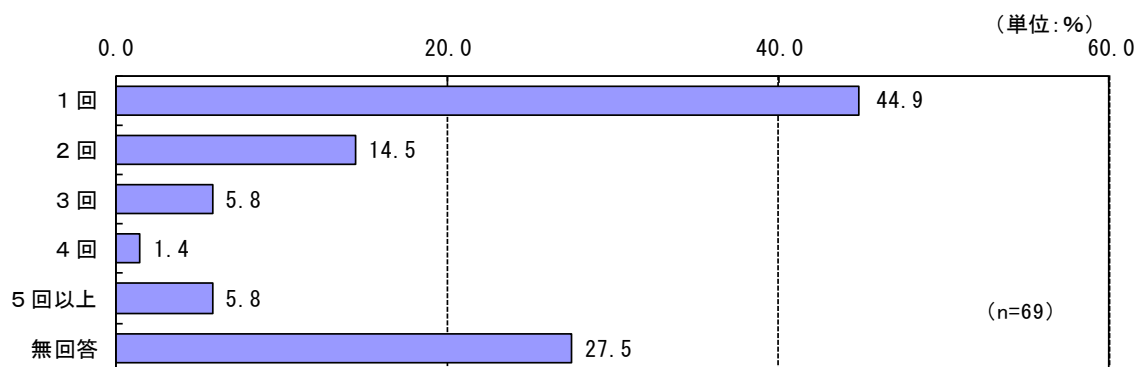


1. 地域子育て支援拠点事業

「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」の利用者の1週間の利用希望は「1日」が23.2%です。

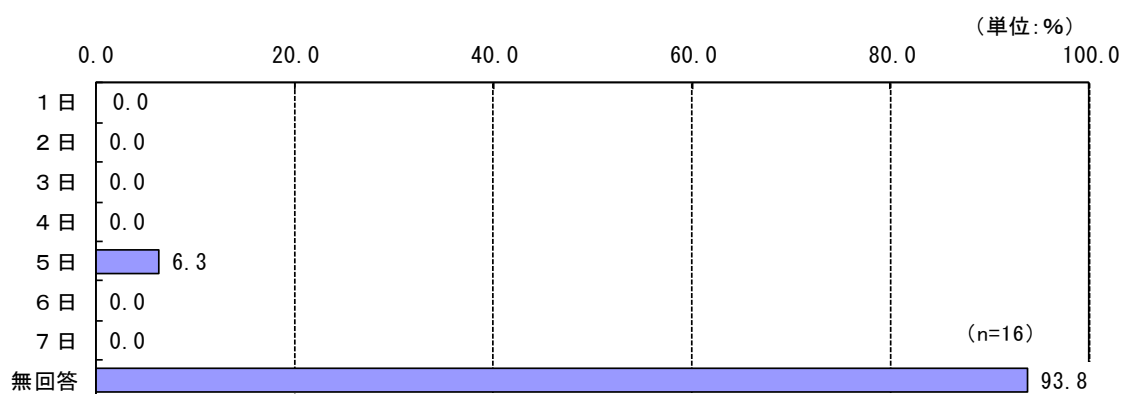


月の利用希望は、「1回」が44.9%、「2回」が14.5%です。

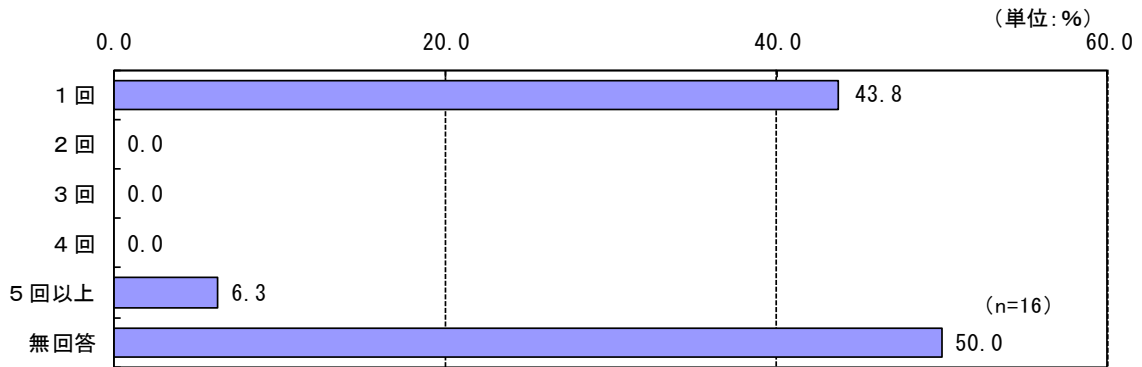


2. その他当該自治体で実施している類似の事業

その他の事業は「5日」が6.3%となっています。

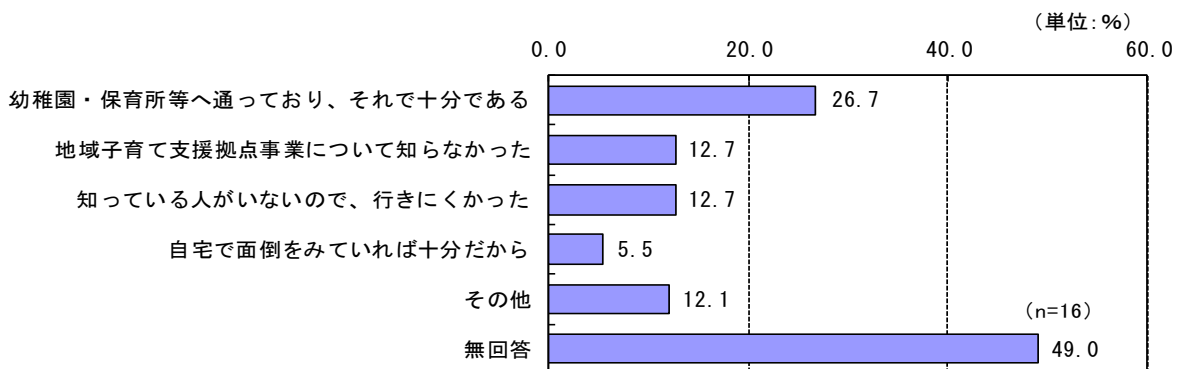


月の利用希望は「1回」が43.8%です。



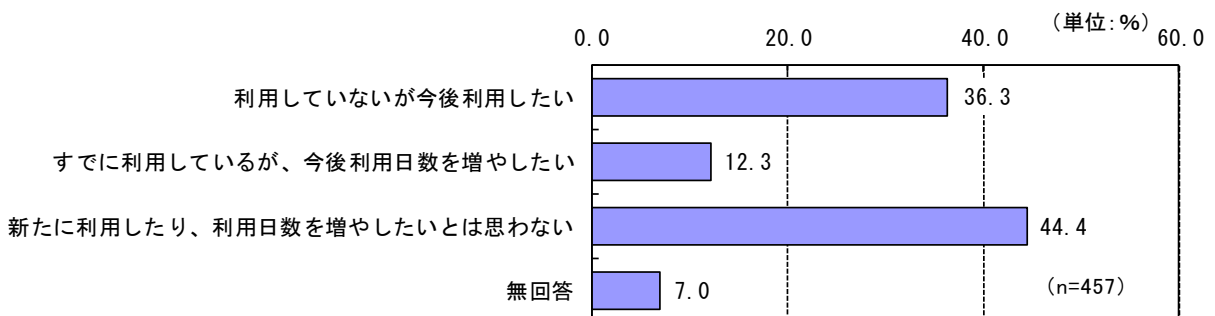
問17-1 問17で「3. 利用していない」を選んだ方にうかがいます。利用していない理由を、次の中から当てはまる番号すべてに○をつけてください。

利用していない人の理由は「幼稚園・保育所等へ通っており、それで十分であるから」が26.7%、「地域子育て支援拠点事業について知らなかった」と「知っている人がいないので、行きにくかった」が12.7%となっています。

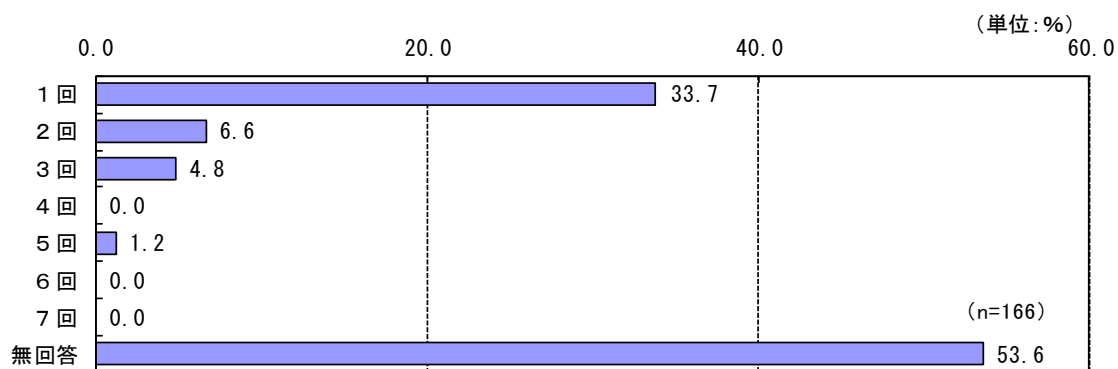


問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

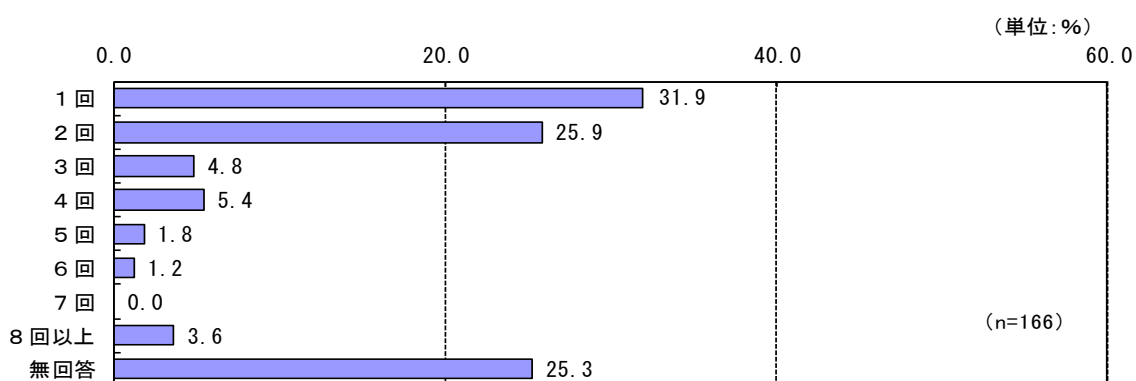
「利用していないが今後利用したい」が36.3%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が12.3%、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が44.4%です。



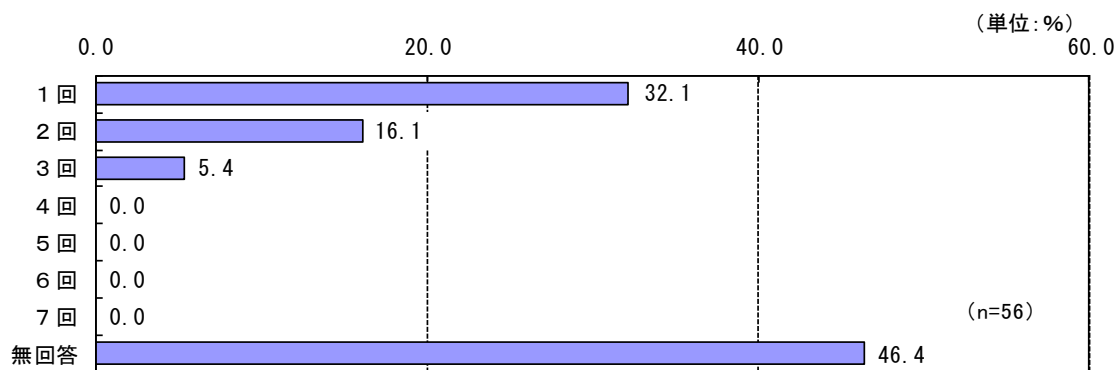
「利用していないが今後利用したい」人の1週間の利用希望は「1回」が33.7%、「2回」が6.6%などとなっています。



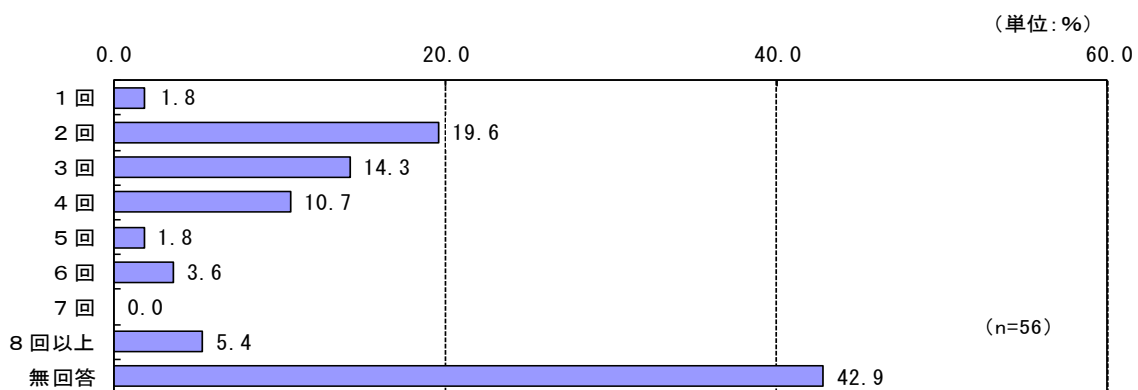
月当たりでは「1回」が31.9%、「2回」が25.9%です。



「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人が増やしたい回数は「1回」が32.1%、「2回」が16.1%です。



月当たりは「2回」が19.6%、「3回」が14.3%となっています。

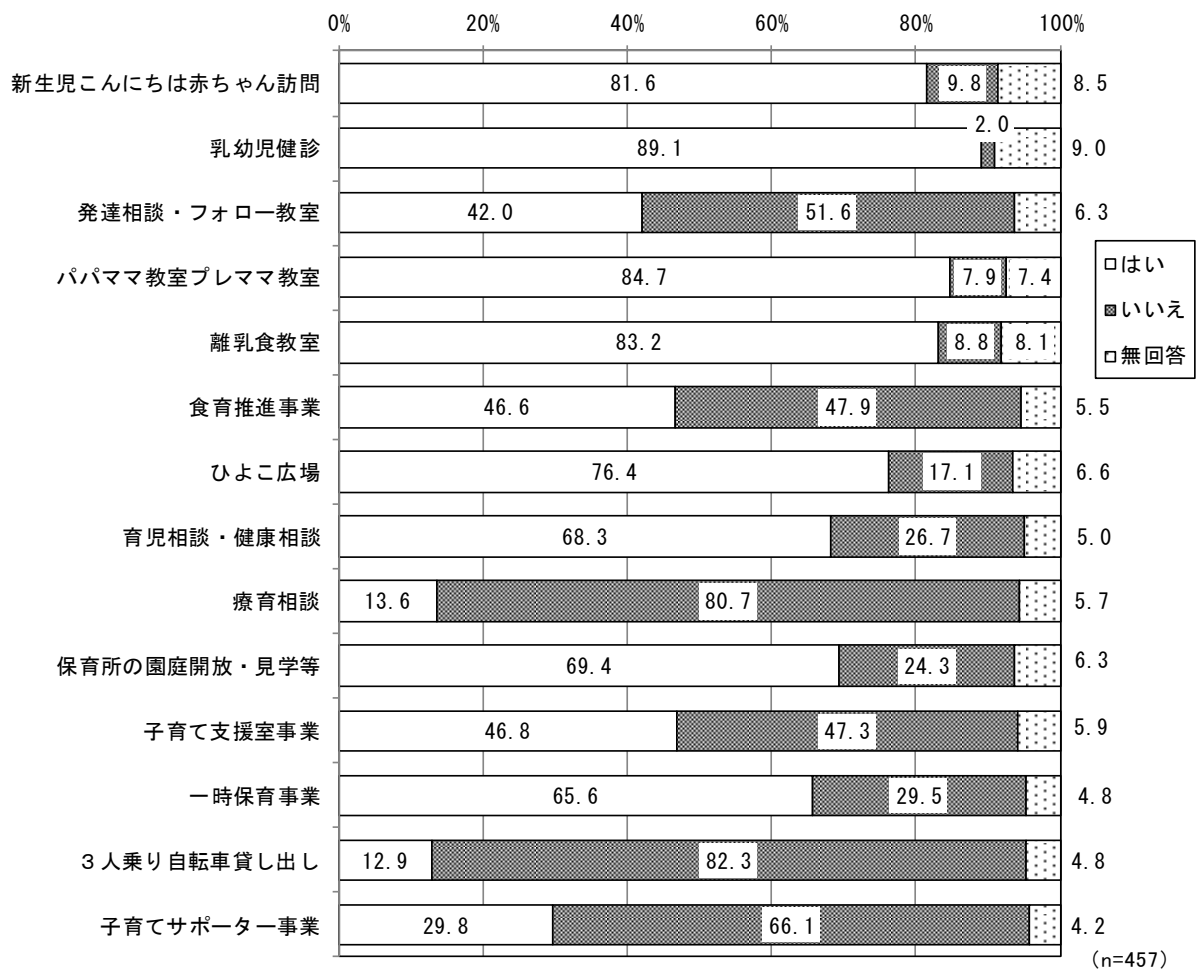


問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑭の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

A 知っている

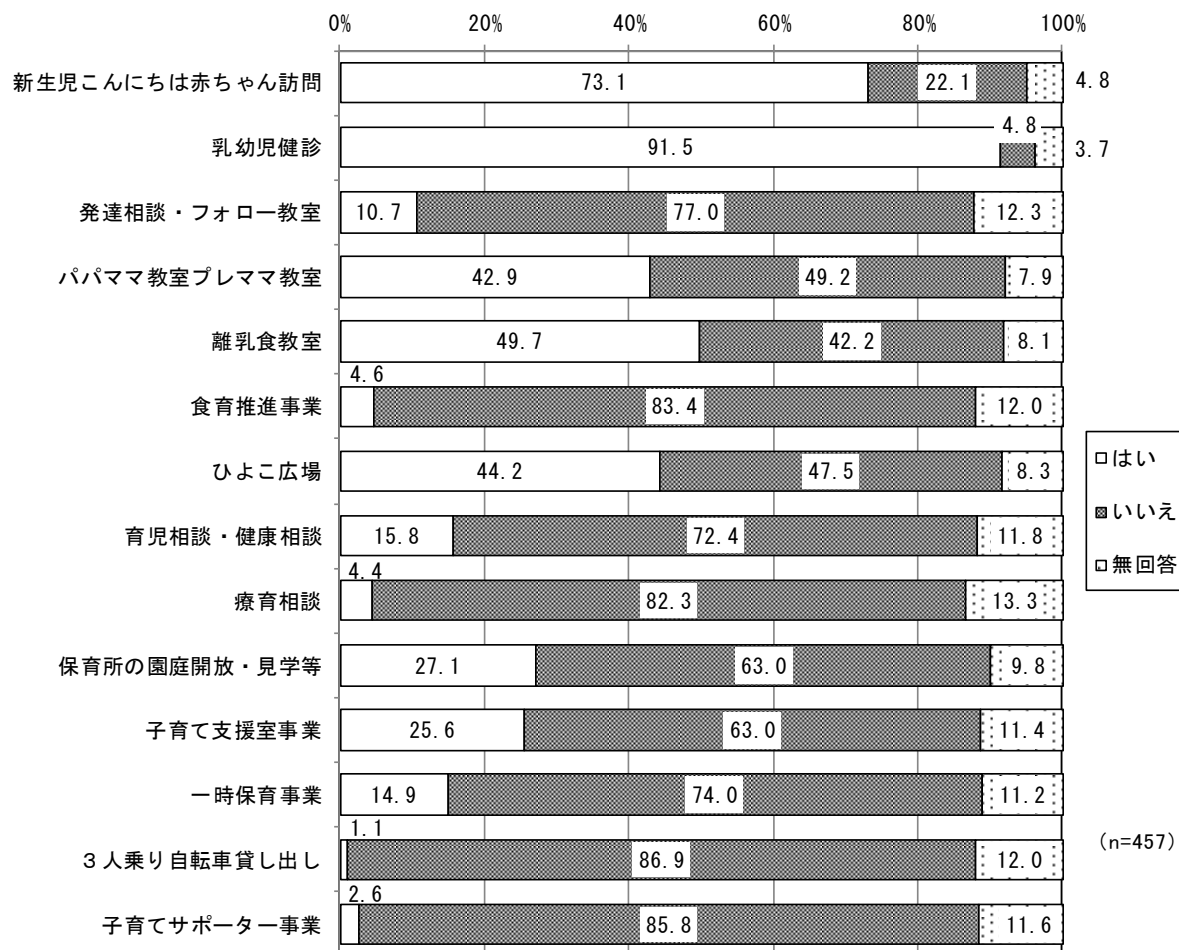
よく知られている事業は、「乳幼児健診」(89.1%)、「パパママ教室プレママ教室」(84.7%)、「離乳食教室」(83.2%)、「新生児こんにちは赤ちゃん訪問」(81.6%)が8割を超える高い回答となっています。また「ひよこ広場」も76.4%となっています。

逆に知られていない事業は「3人乗り自転車貸し出し」が12.9%、「療育相談」が13.6%、「子育てサポーター事業」が29.8%となっています。



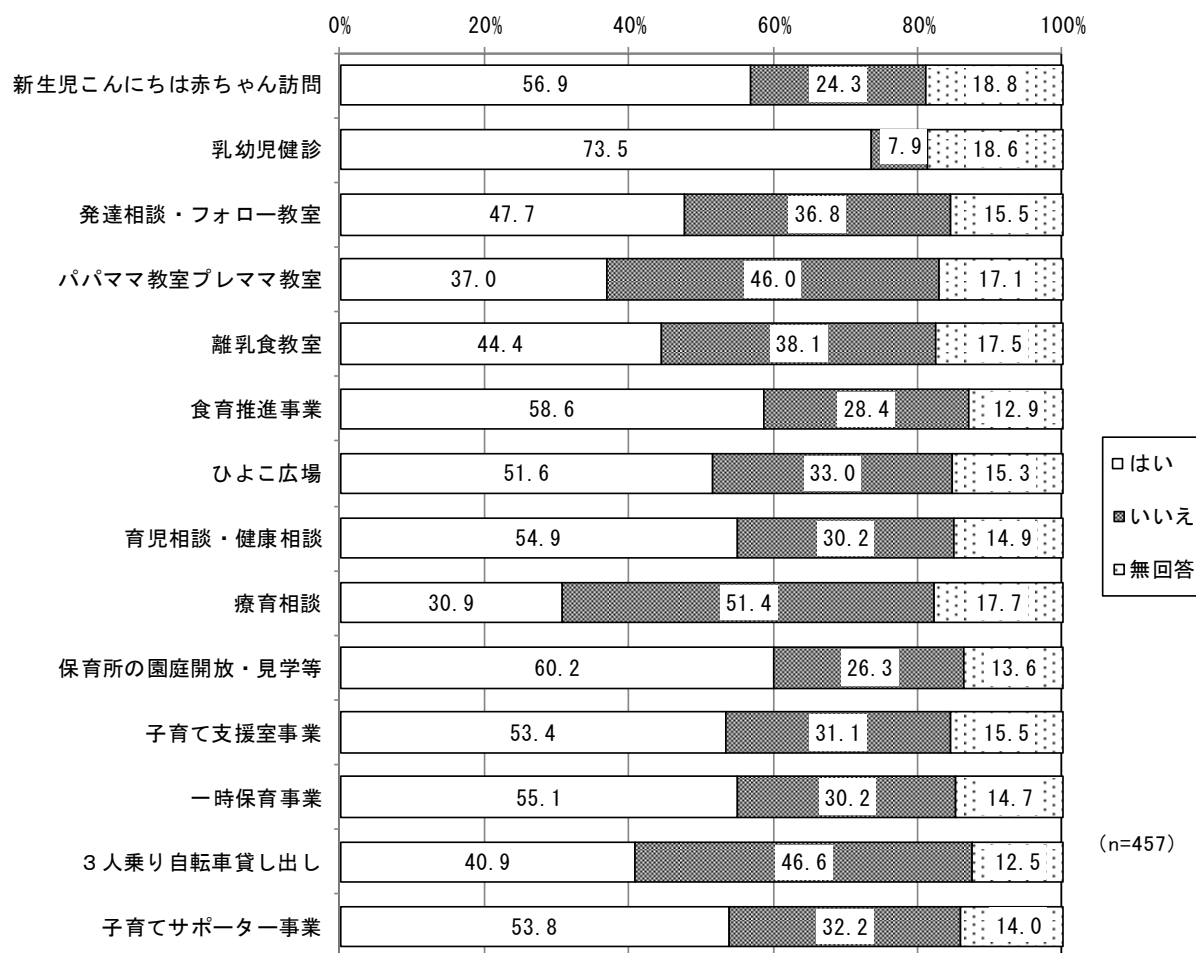
B これまでに利用したことがある

利用したことがある事業は、「乳幼児健診」が91.5%で最も高くなっています。また「新生児こんにちは赤ちゃん訪問」が73.1%となっています。「離乳食教室」(49.7%)、「ひよこ広場」(44.2%)、「パパママ教室プレママ教室」(42.9%)は4～5割です。「3人乗り自転車貸し出し」が1.1%と利用者が少なくなっています。



C 今後利用したい

利用希望は、「乳幼児健診」が73.5%と最も多くなっていますが、全体として3割から6割の利用希望が見られます。「食育推進事業」が4.6%（利用したことがある）から58.6%（今後）へ、「3人乗り自転車貸し出し」が1.1%から40.9%、「子育てサポーター事業」が2.6%から53.8%など利用率が低い事業にも高い利用希望が見られます。



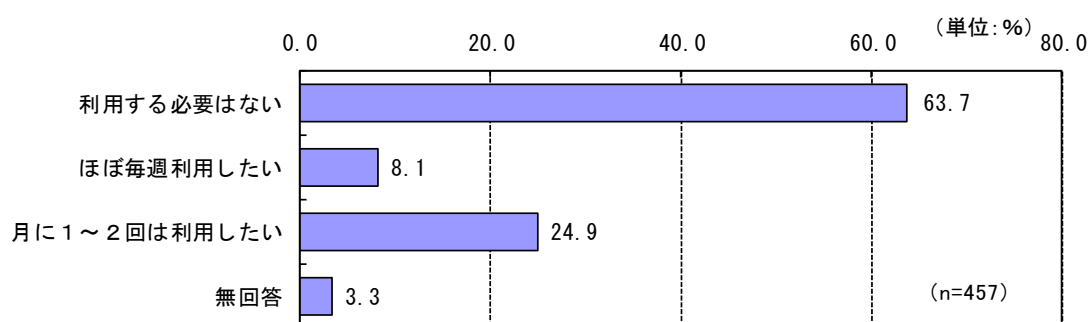
6 土曜や休日の定期的な教育・保育事業

問20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

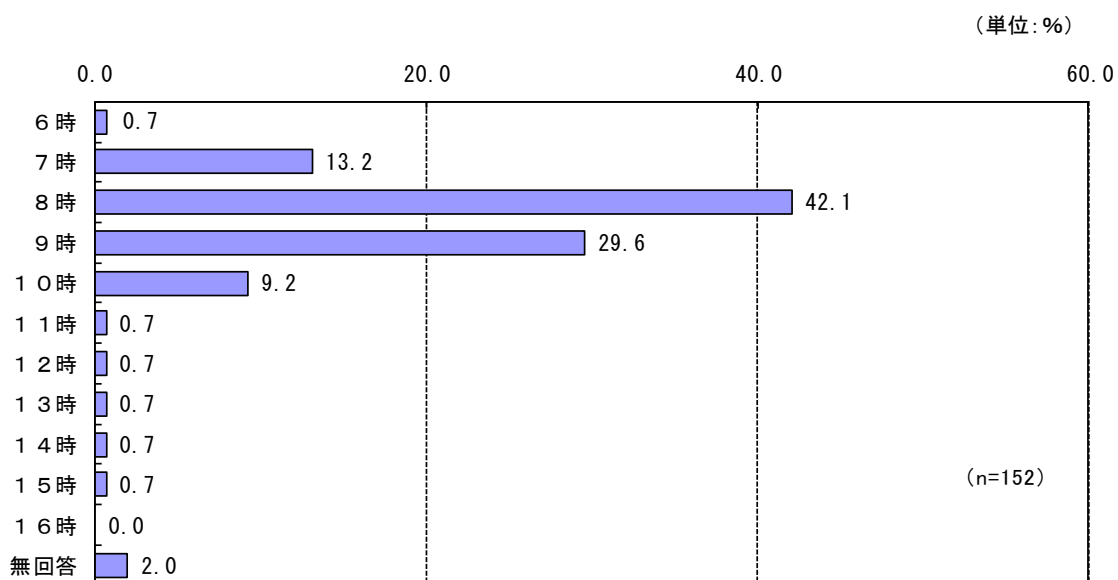
※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

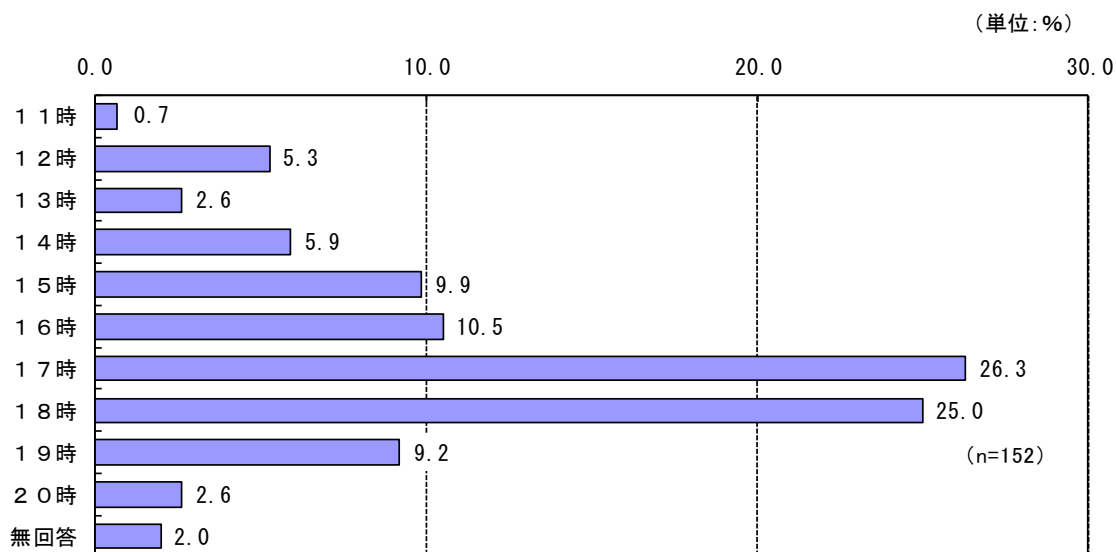
土曜日の教育・保育事業の利用は「利用する必要はない」が63.7%、「ほぼ毎日利用したい」が8.1%、「月に1～2回は利用したい」が24.9%となっています。



土曜日に「利用したい」という人の開始時刻の希望は「8時」が42.1%、「9時」が29.6%、「7時」が13.2%です。

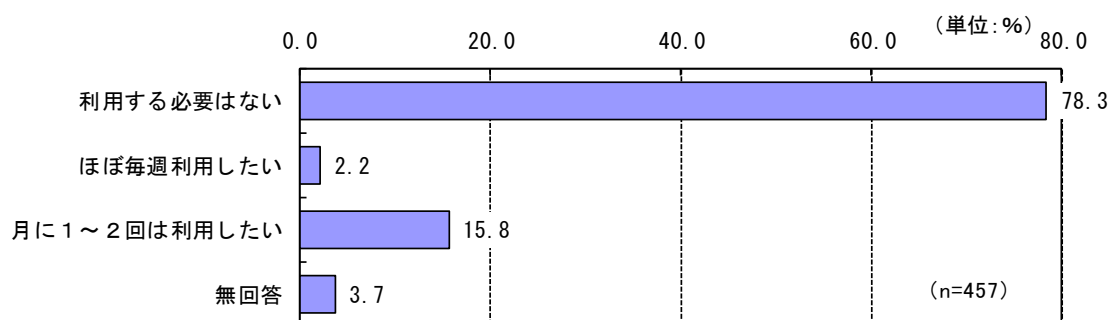


また、土曜日の終了時刻は「17時」が26.3%、「18時」が25.0%です。

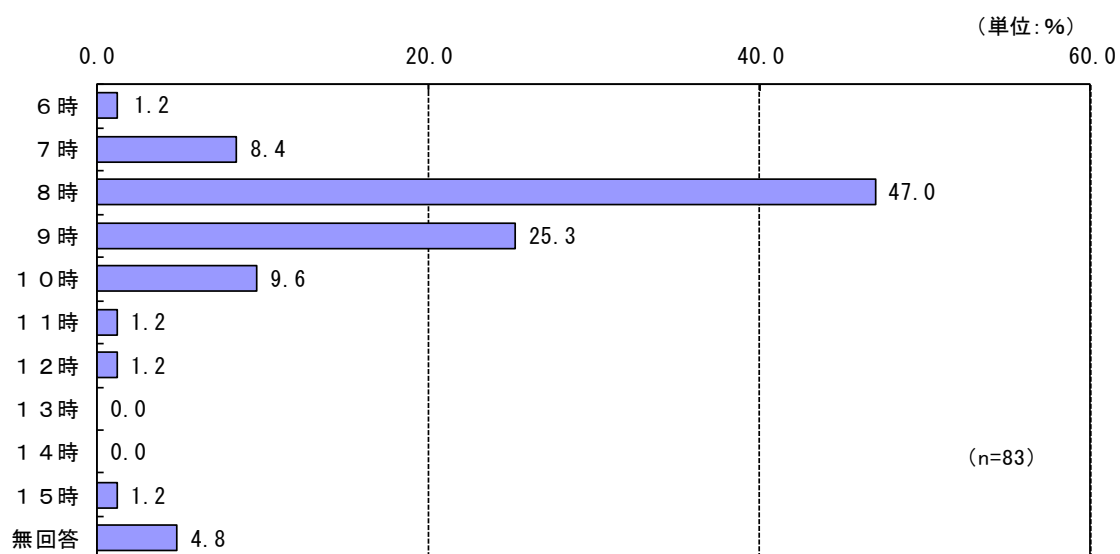


(2) 日曜・祝日

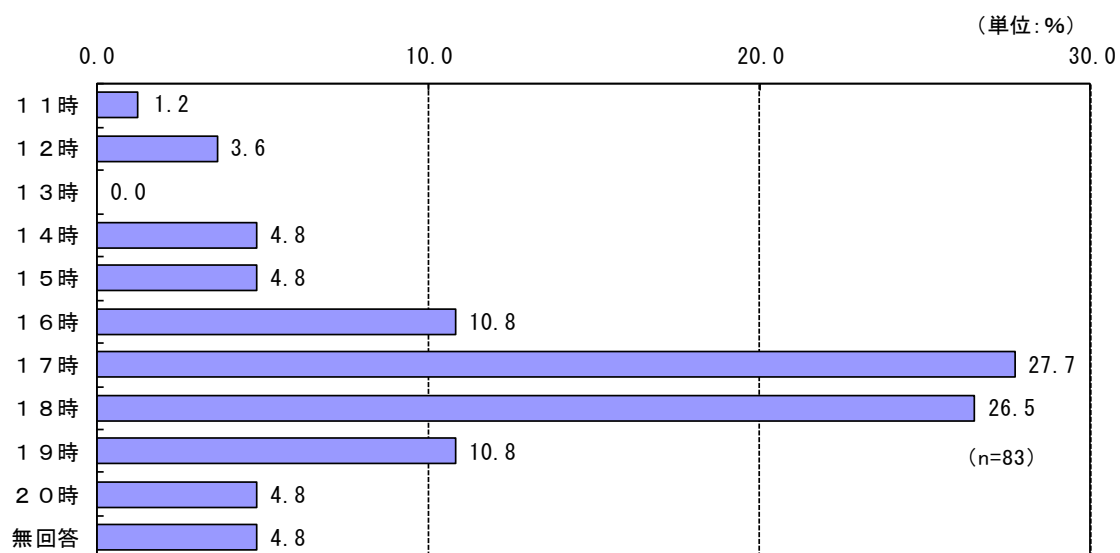
日曜・祝日の教育・保育事業の利用は「利用する必要はない」が78.3%、「ほぼ毎日利用したい」が2.2%、「月に1～2回は利用したい」が15.8%となっています。



日曜・祝日に「利用したい」という人の開始時刻の希望は「8時」が47.0%、「9時」が25.3%です。

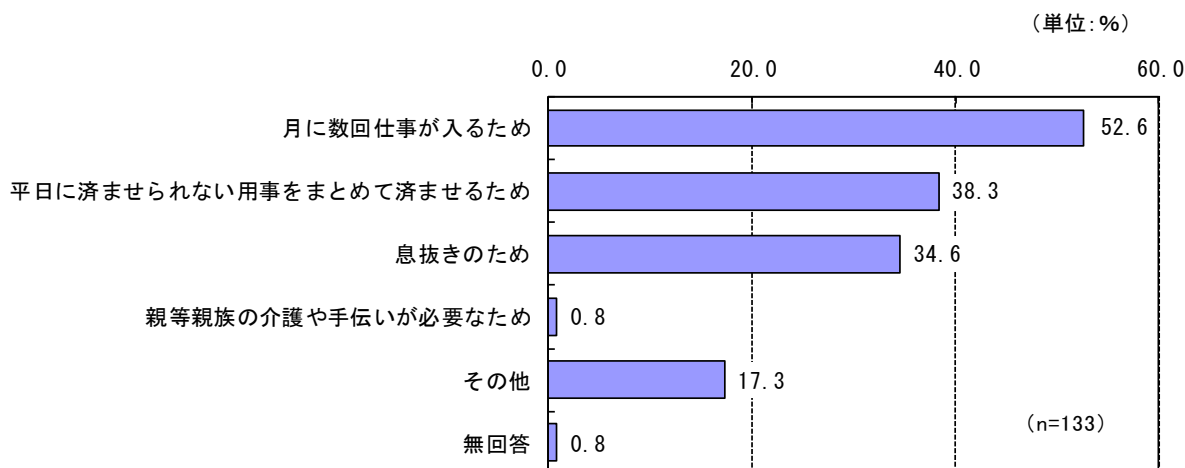


終了時刻の希望は、「17時」が27.7%、「18時」が26.5%となっています。



問 20-1 問 20 の(1)もしくは(2)で、「3. 月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

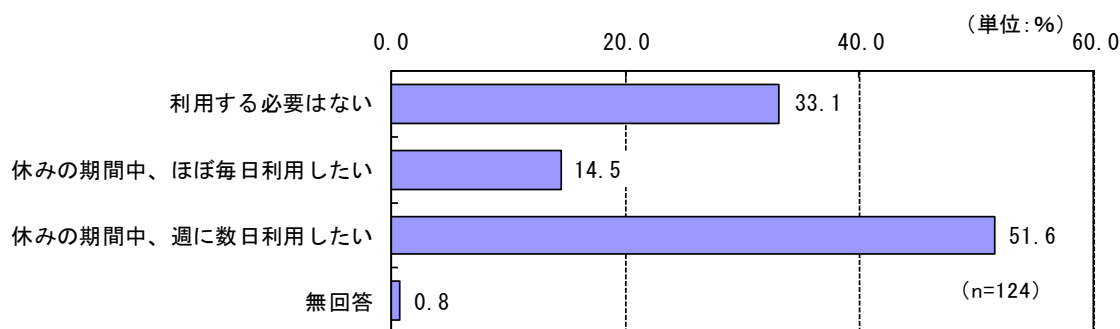
たまに利用したい理由は「月に数回仕事が入るため」が52.6%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が38.3%、「息抜きのため」が34.6%となっています。



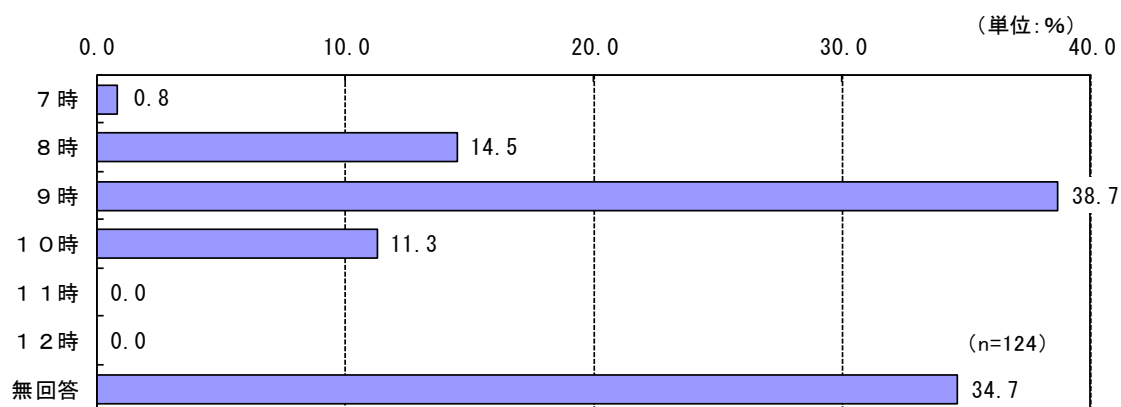
問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時~18時(例)のように24時間制でご記入ください。

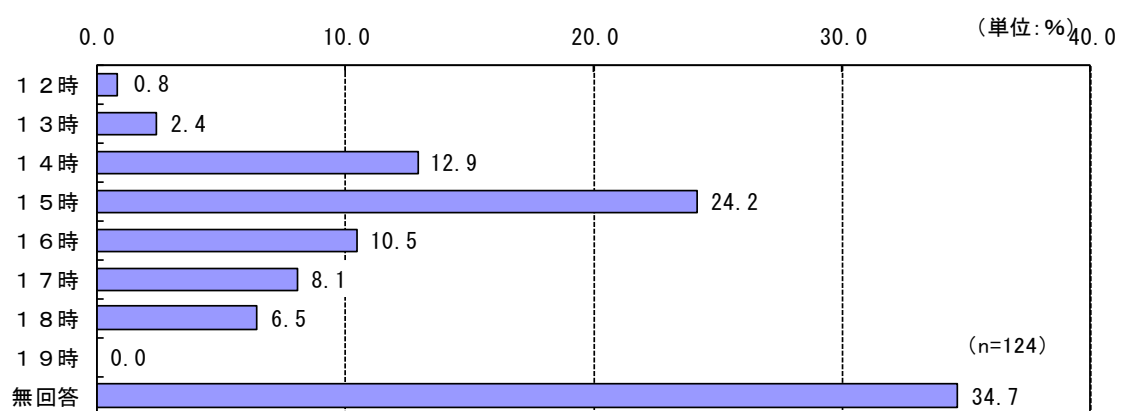
「利用する必要はない」は33.1%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が14.5%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が51.6%で利用希望をあわせて66.1%です。



長期の休暇中の教育・保育の事業の利用開始時刻は、「9時」が38.7%、「8時」が14.5%、「10時」が11.3%です。



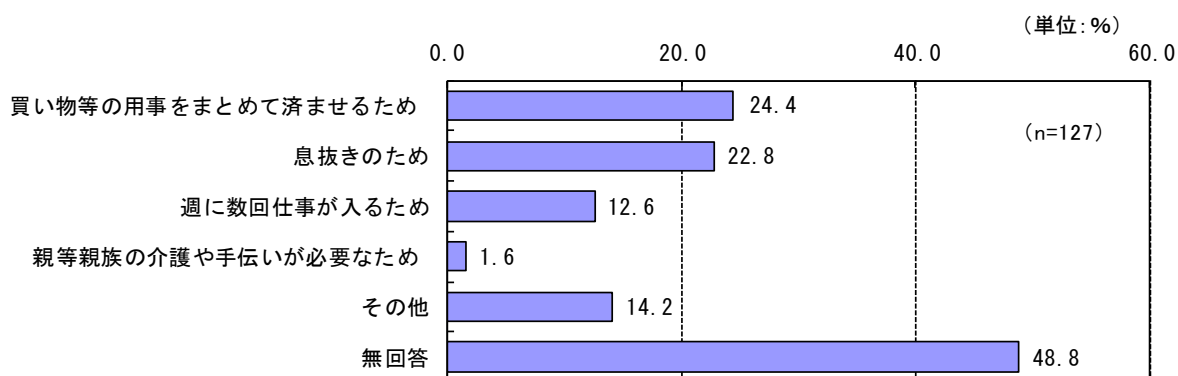
また終了時刻は「15時」が24.2%、「14時」が12.9%、「16時」が10.5%です。



問21-1 問21で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が24.4%、「息抜きのため」が22.8%となっています。

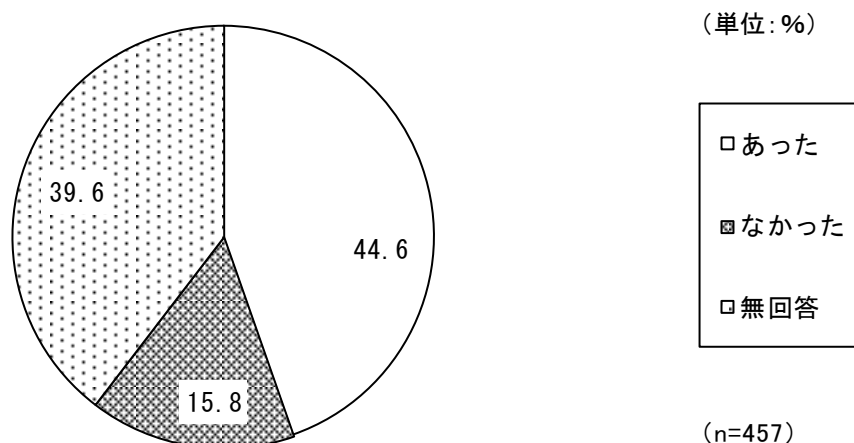


7 病気の時の対応

問22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問15で1に○をつけた方)にかがいます。利用していらない方は、問23にお進みください。

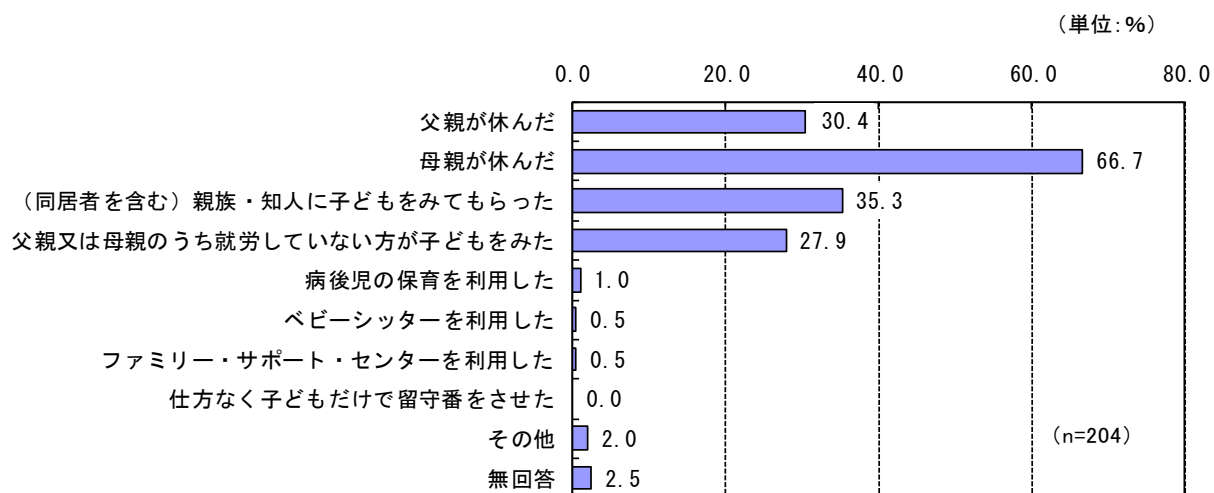
この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

「あった」が44.6%、「なかった」が15.8%です。



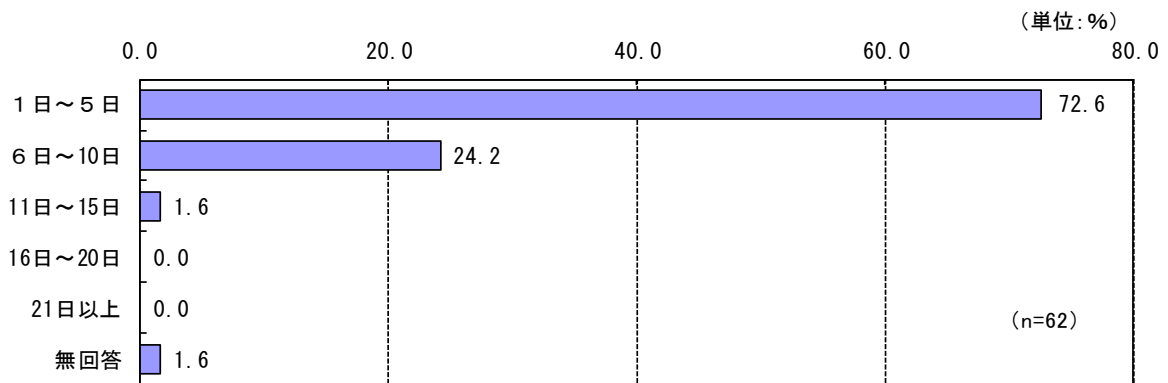
問22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字)。

対処の方法は、「母親が休んだ」が66.7%、「父親が休んだ」が30.4%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が35.3%、「父親又は母親のうち就労していない方がみてもらった」が27.9%など家族での対処が中心となっています。



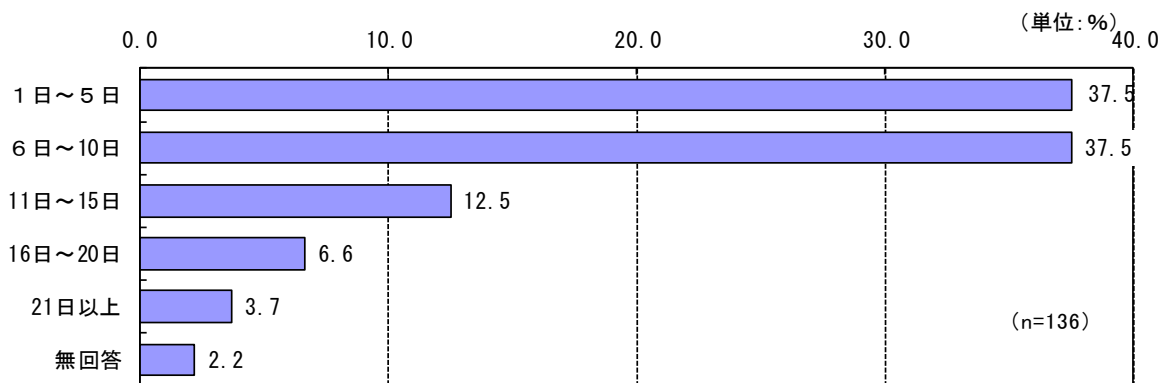
ア. 父親が休んだ

「1日～5日」が72.6%、「6日～10日」が24.2%です。平均は4.6日です。



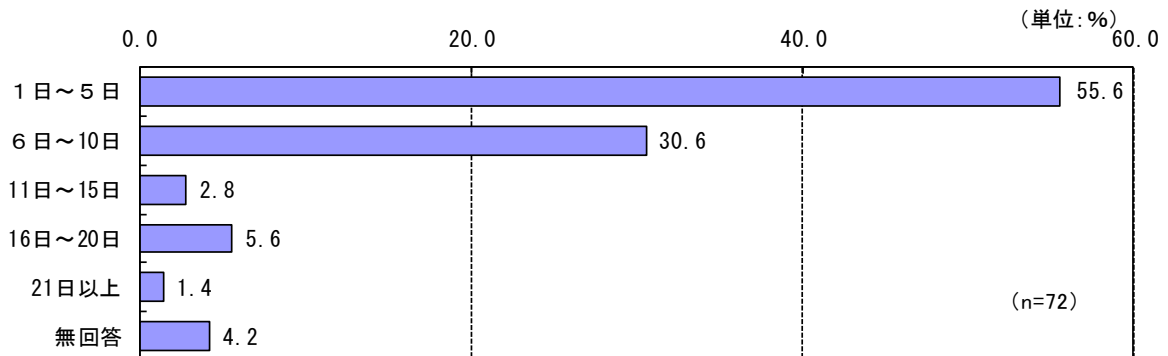
イ. 母親が休んだ

「1日から5日」と「6日～10日」がともに37.5%です。平均は9.6日です。



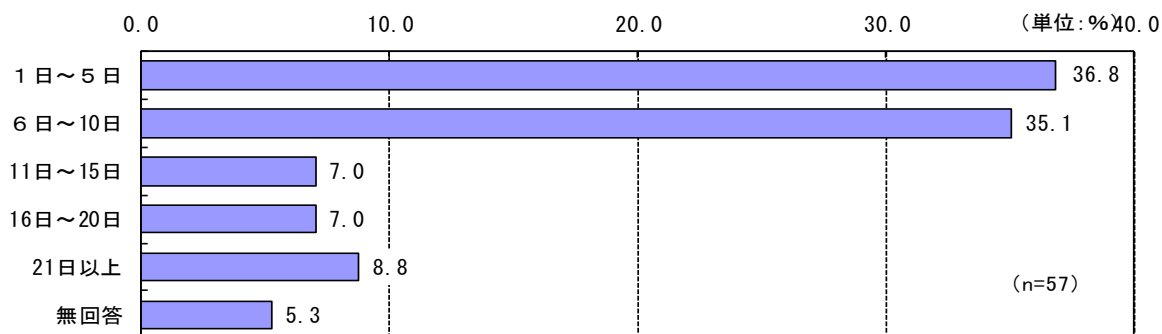
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった

「1日～5日」が55.6%、「6日～10日」が30.6%です。平均は6.9日です。



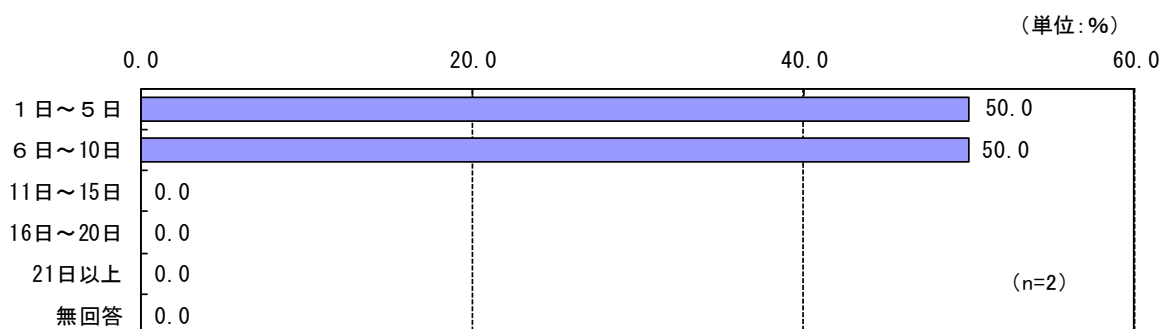
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた

「1日～5日」が36.8%、「6日～10日」が35.1%です。平均は11.3日です。



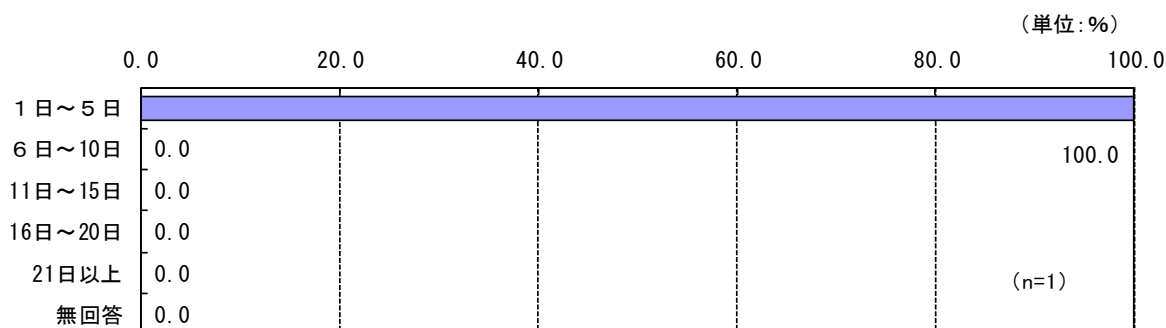
オ. 病後児保育

該当者は2人のみで「1日～5日」、「6日～10日」がともに1人です。平均は5.0日です。



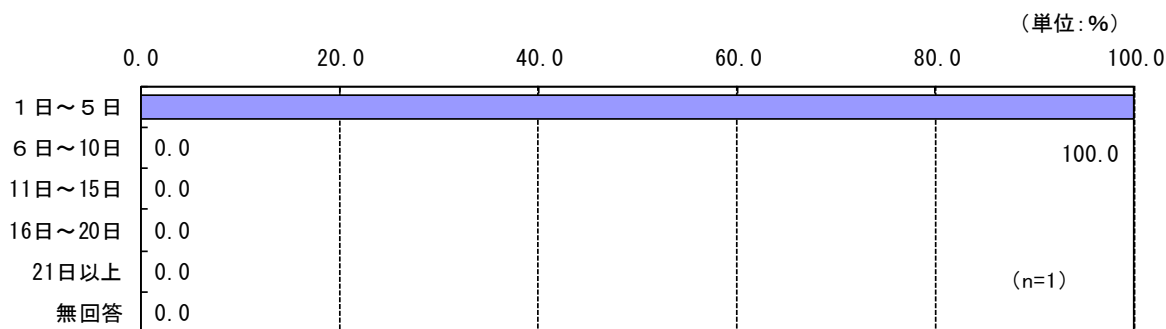
カ. ベビーシッター

該当者は1人のみで「1日～5日」の回答です。1.0日の利用です。



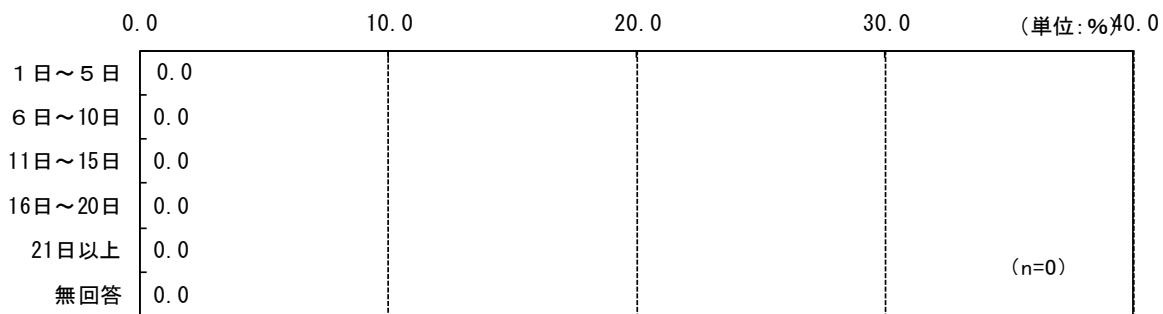
キ. ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターも該当者は1人のみで「1日～5日」の回答です。平均は2.0日です。



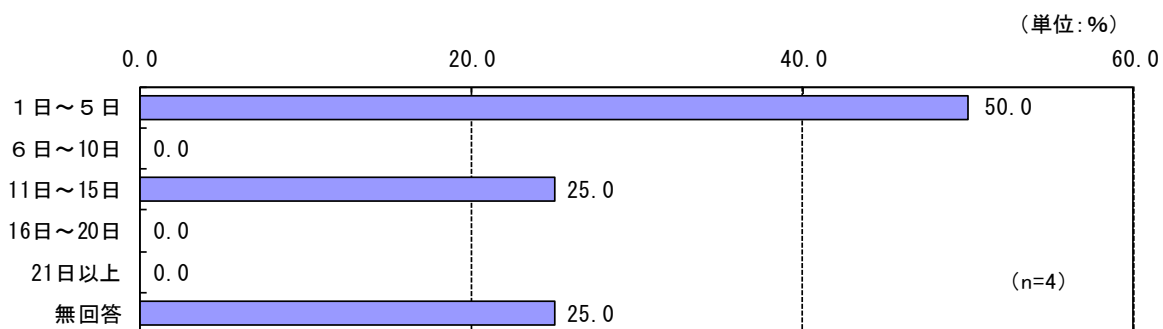
ク. 仕方なく子どもたちだけで留守番をした

回答者はゼロでした。



ケ. その他

該当者は4人で「1日～5日」が2人、「11日～15日」が25.0%です。平均は6.3です。

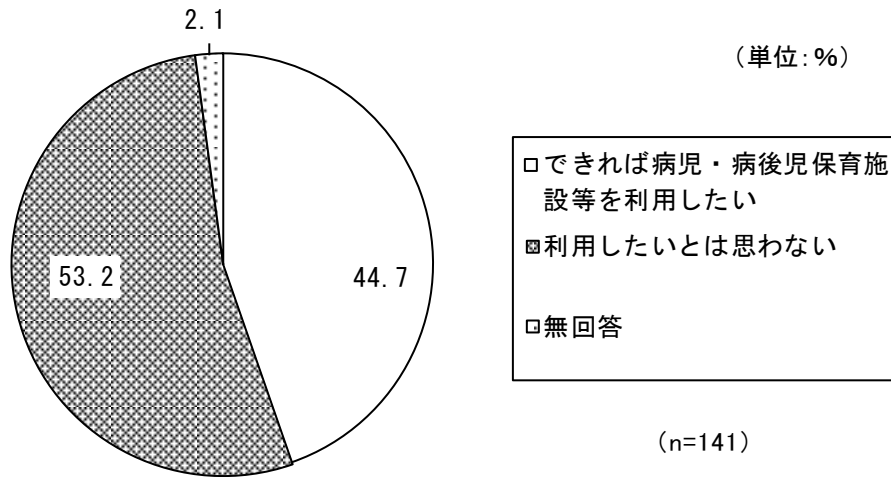


問 22-1 で「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

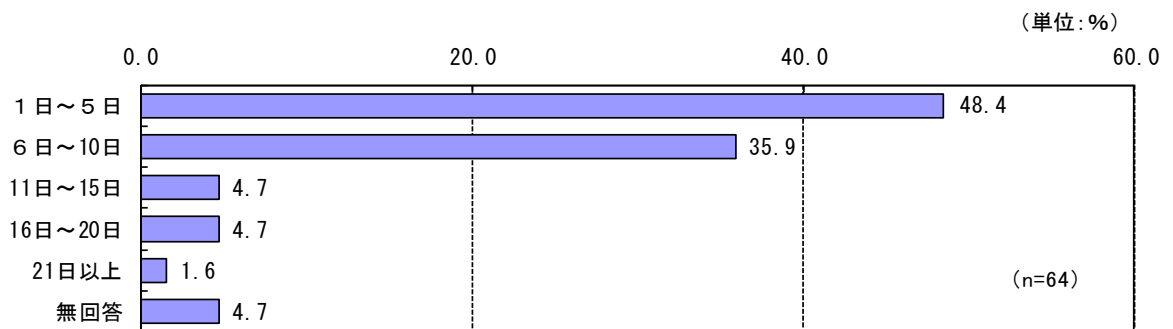
問

22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が44.7%、「利用したいとは思わない」が53.2%となっています。

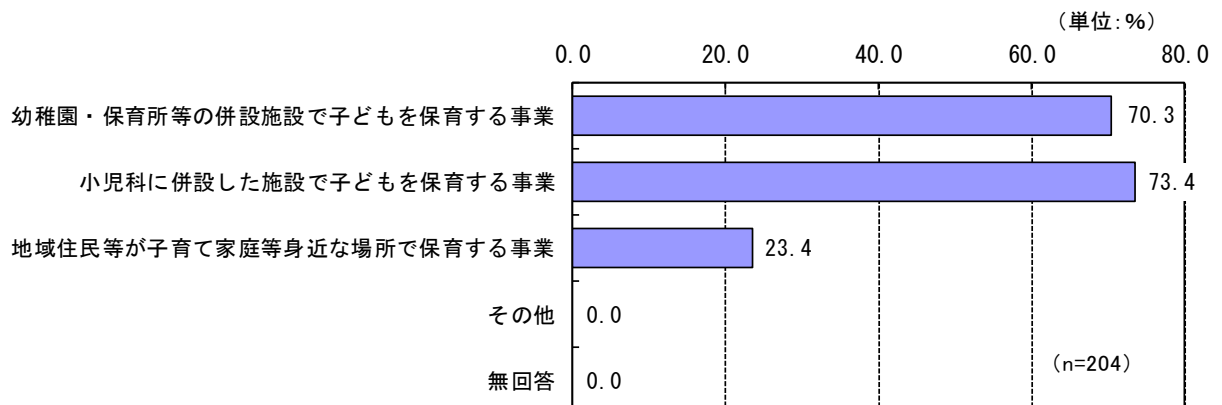


「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」場合の日数は、「1日～5日」が48.4%、「6日～10日」が35.9%です。平均は7.4日となっています。



問22-3 問22-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

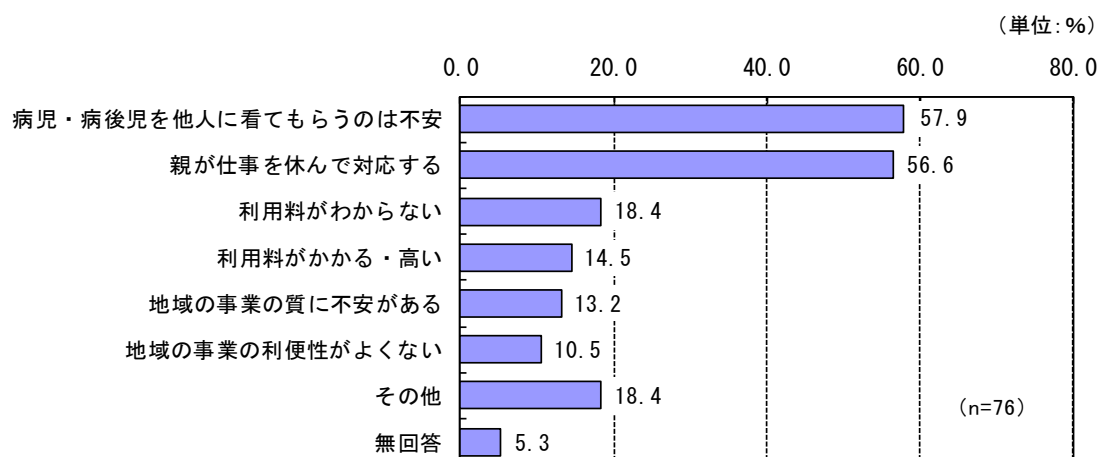
「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が70.3%、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が73.4%と高い回答が見られます。「地域住民等が子育て家庭等身近な場所で保育する預かる事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」は23.4%です。



問 22-4 問 22-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 57.9%、「親が仕事を休んで対応する」が 56.6% と半数を超える高い回答が見られます。

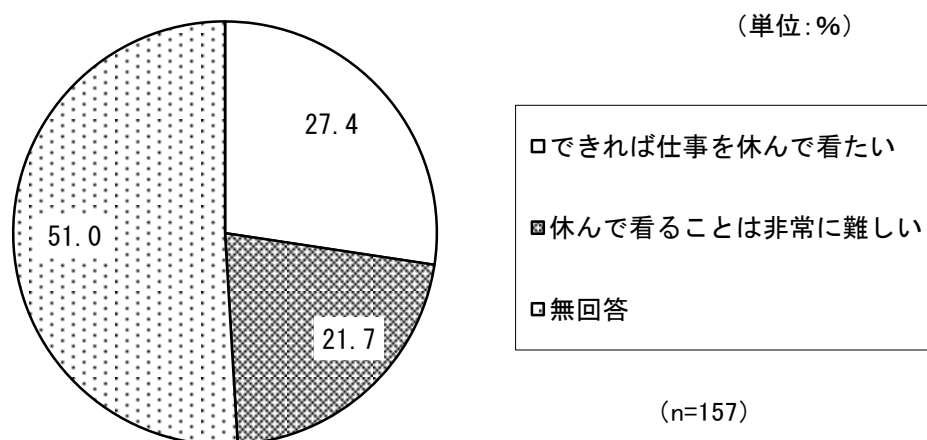
また「利用料がわからない」が 18.4%、「利用料がかかる・高い」が 14.5% など利用料に関わる回答も見られます。



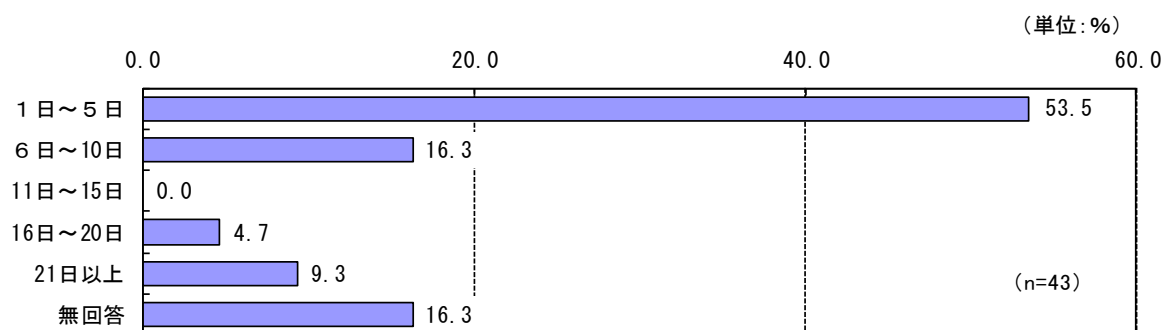
問 22-1 で「ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」から「ケ. その他」のいずれかに回答した方 (父母以外) にうかがいます。

問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「ウ」から「ケ」(父母以外) の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

「できれば仕事を休んで看たい」が 27.4%、「休んで看ることは非常に難しい」が 21.7% となっています。

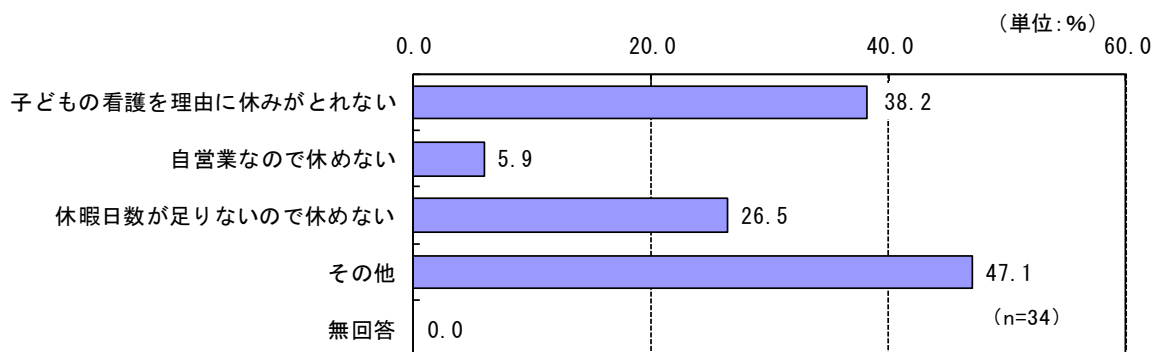


「できれば仕事を休んで看たい」という場合の日数は「1日～5日」が53.5%、「6日～10日」が16.3%となっています。平均は8.5日です。



問 22-6 問 22-5 で「2. 休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

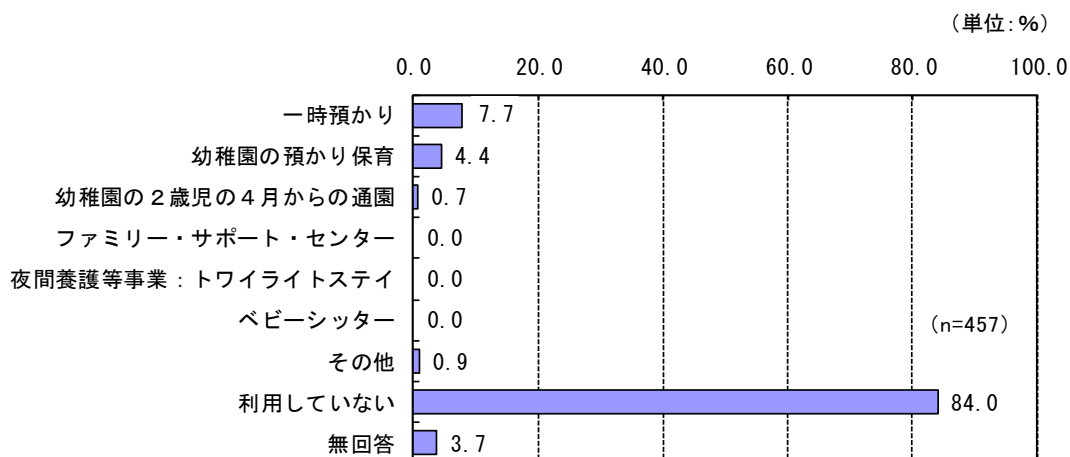
「子どもの看護を理由に休みがとれない」が38.2%、「休暇日数が足りないので休めない」が26.5%、「自営業なので休めない」が5.9%となっています。



8 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等

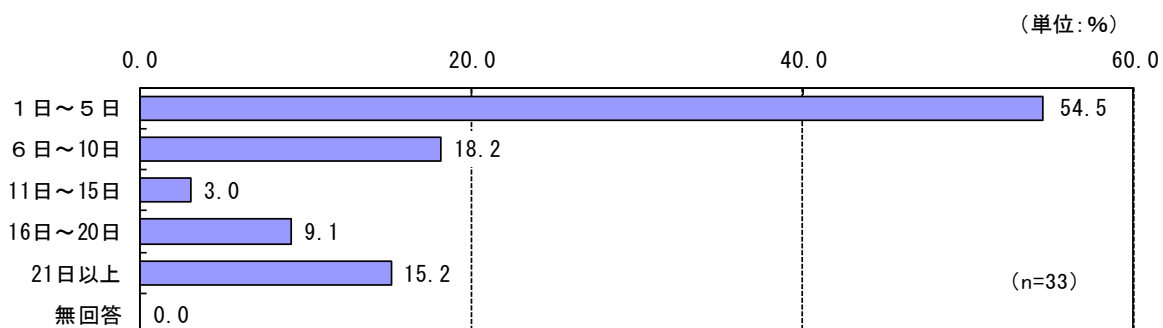
問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も□内に数字でご記入ください。

「一時預かり」が7.7%、「幼稚園の預かり保育」が4.4%となっています。



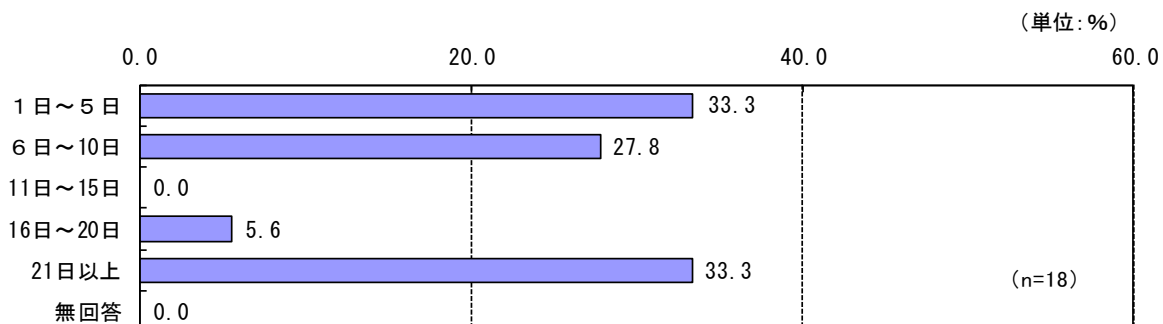
1 一時預かり

一時預かりの利用日数は「1日～5日」が54.5%、「6日～10日」が18.2%、「21日以上」が15.2%です。平均は14.4日です。



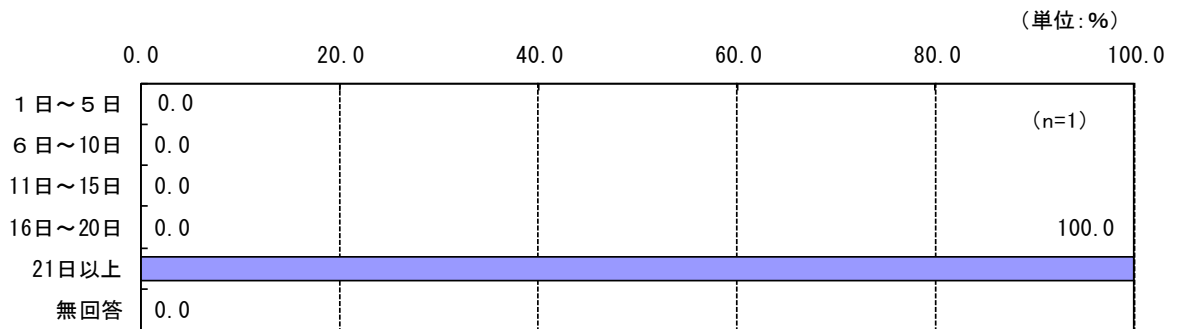
2 幼稚園の預かり保育

幼稚園の預かり保育の利用日数は「1日～5日」が33.3%、「6日～10日」が27.8%、「21日以上」が33.3%です。平均は21.2日です。



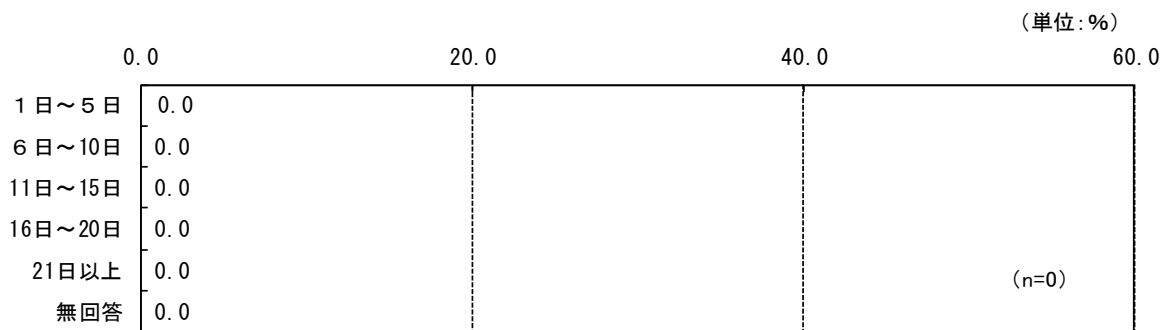
3 幼稚園の2歳児の4月からの通園

幼稚園の2歳児の4月からの通園の利用者は1人、日数は「21日以上」で40日となっています。



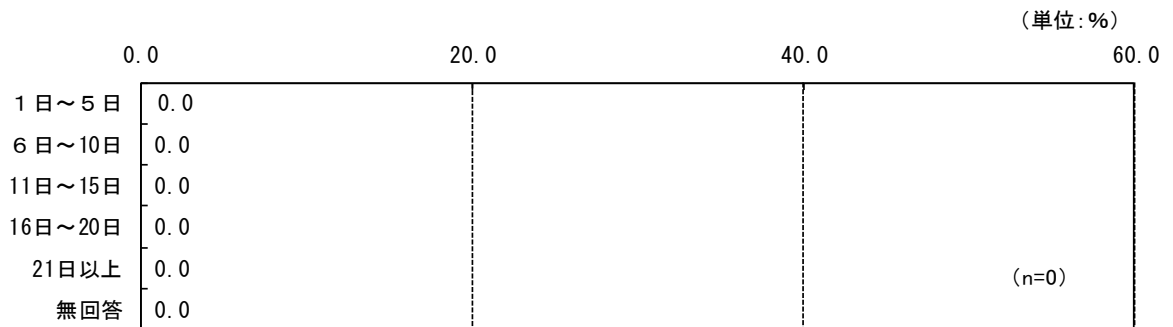
4 ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターの利用はありませんでした。



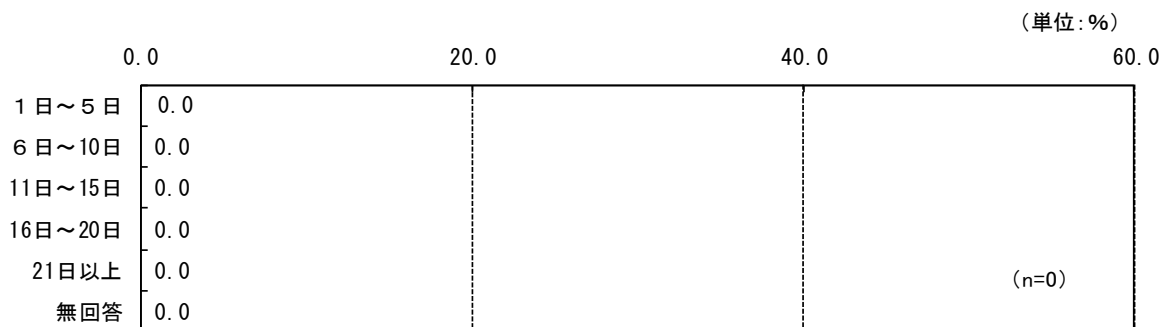
5 夜間養護等事業：トワイライトステイ

トワイライトステイの利用はありませんでした。



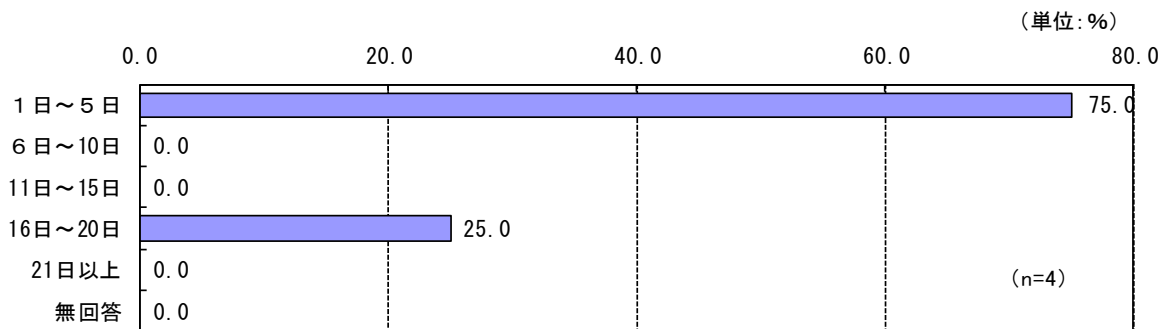
6 ベビーシッター

ベビーシッターの利用はありませんでした。



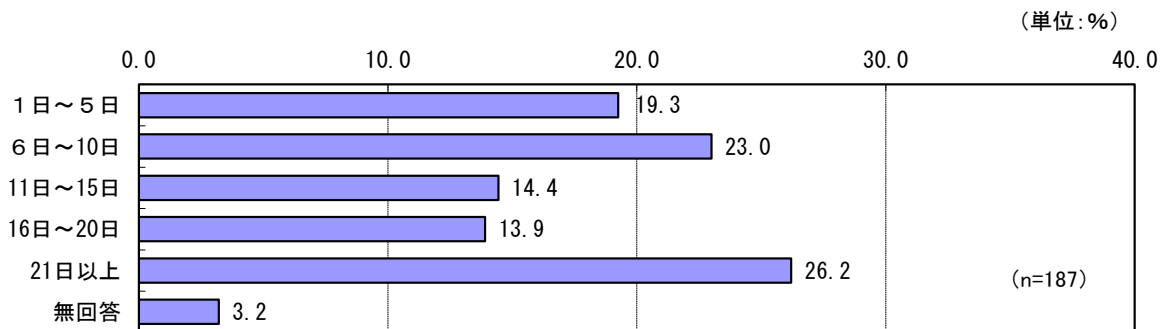
7 その他

その他の利用者は4人で、「1日～5日」が3人、「16日～20日」が1人です。平均は6.8日です。



8 合計

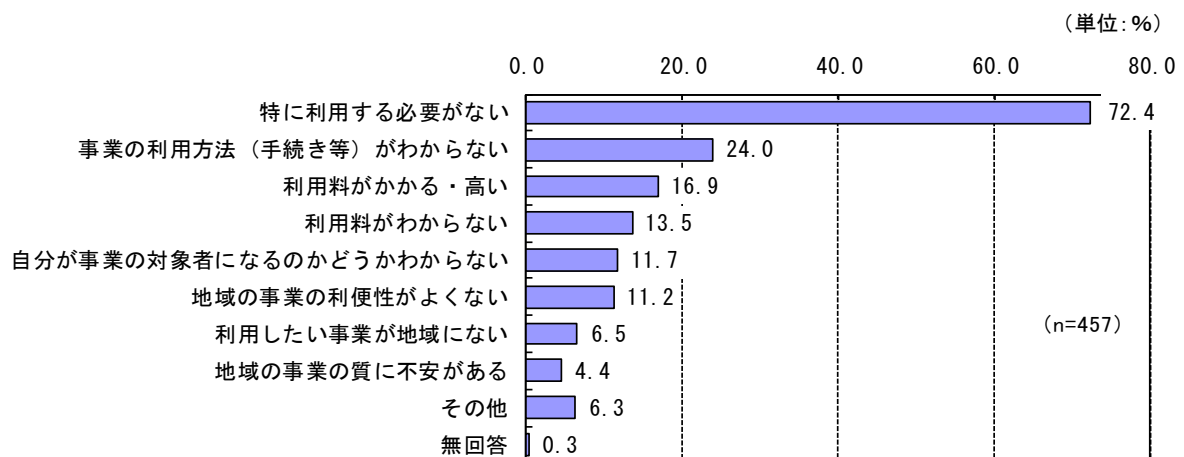
全体の日数は「21日以上」が26.2%と最も多く、「6日～10日」が23.0%となっており、「1日～5日」が19.3%です。



問23で「7. 利用していない」と回答した方にかがいます。

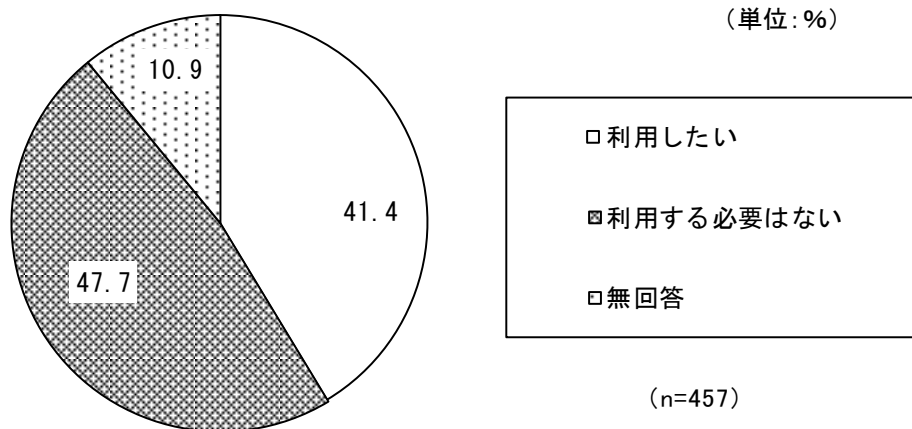
問23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」が最も多く72.4%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が24.0%、「利用料がかかる・高い」が16.9%などとなっています。

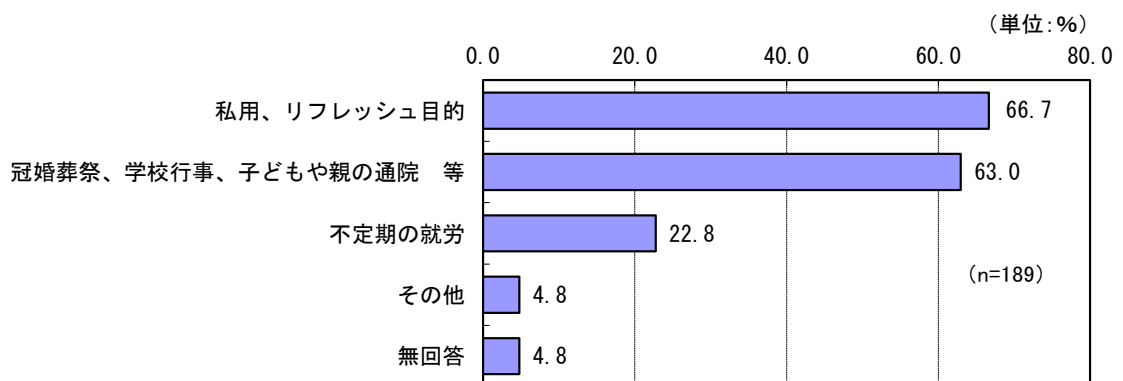


問24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」が41.4%、「利用する必要はない」が47.7%となっています。

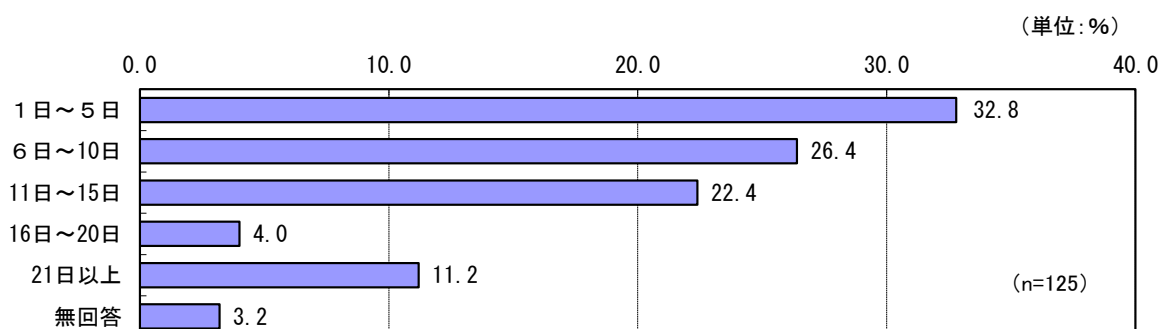


「利用したい」人の内訳は、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が66.7%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」が63.0%となっており、「不定期の就労」は22.8%です。



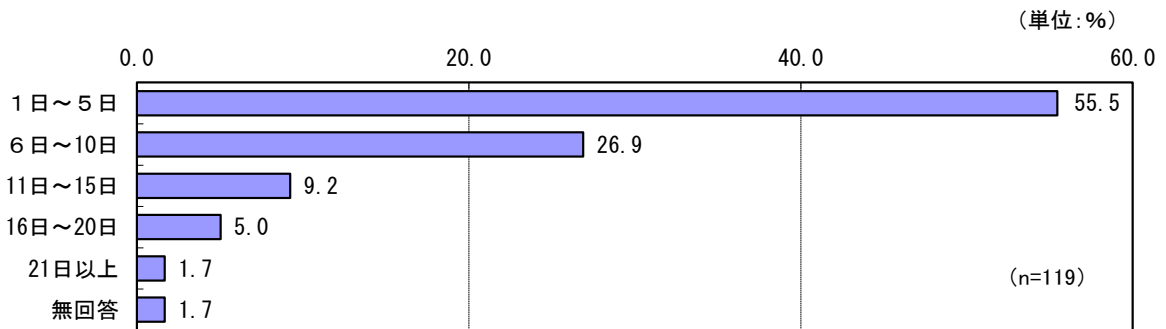
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的

私用やリフレッシュ目的の場合は「1日～5日」が32.8%、「6日～10日」が26.4%、「11日～15日」が22.4%となっており、平均は11.3日です。



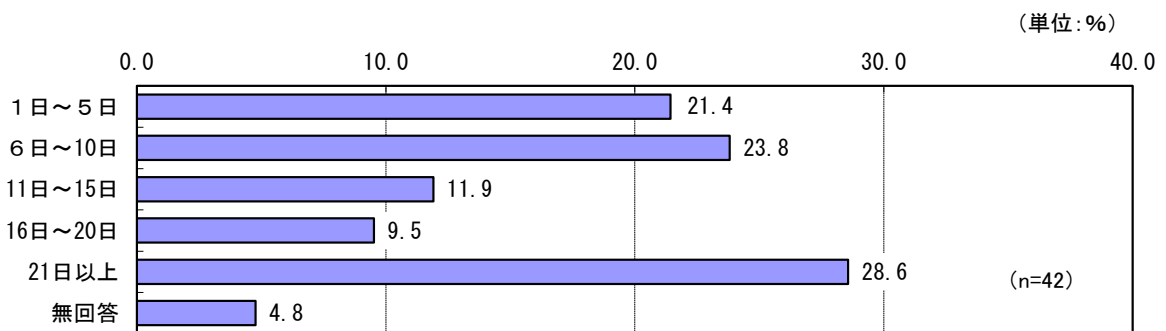
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等

冠婚葬祭、学校行事、通院等は「1日～5日」が55.5%と多く見られます。「6日～10日」が26.9%となっています。平均は7.6日です。



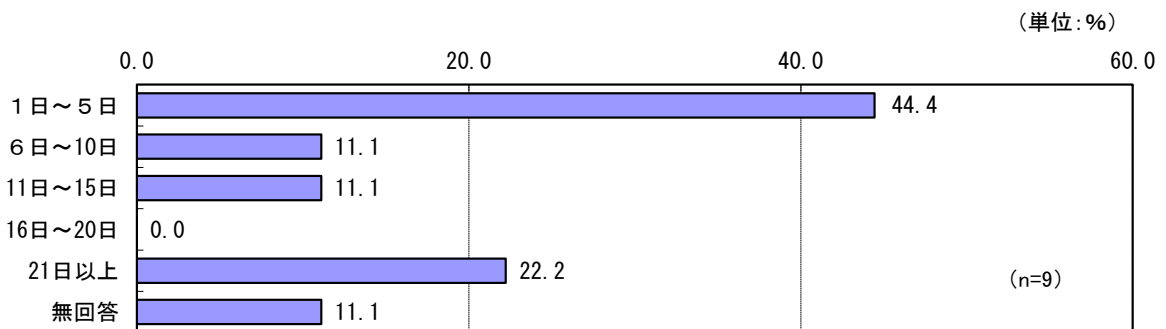
ウ. 不定期の就労

不定期の就労は、「21日以上」が最も多く28.6%となっています。「6日～10日」が23.8%です。平均は23.6日で私用や冠婚葬祭より長くなっています。



エ. その他

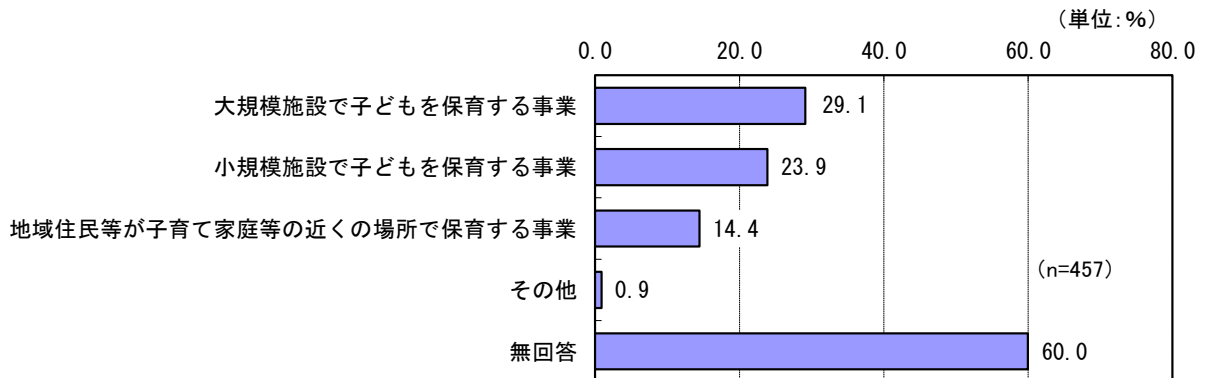
その他は「1日～5日」が44.4%で、平均は9.9日となっています。



問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいます。

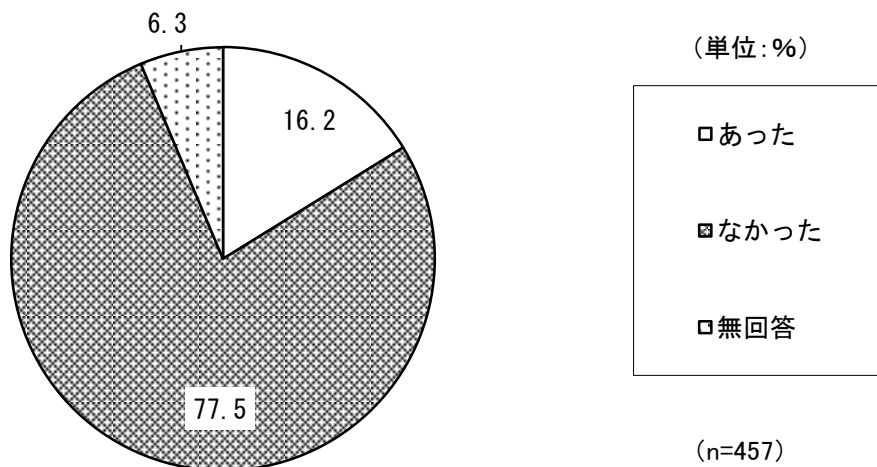
問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいます。問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」が 29.1%、「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）」が 23.9%、「地域住民が子育て家庭の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が 14.4%となっています。

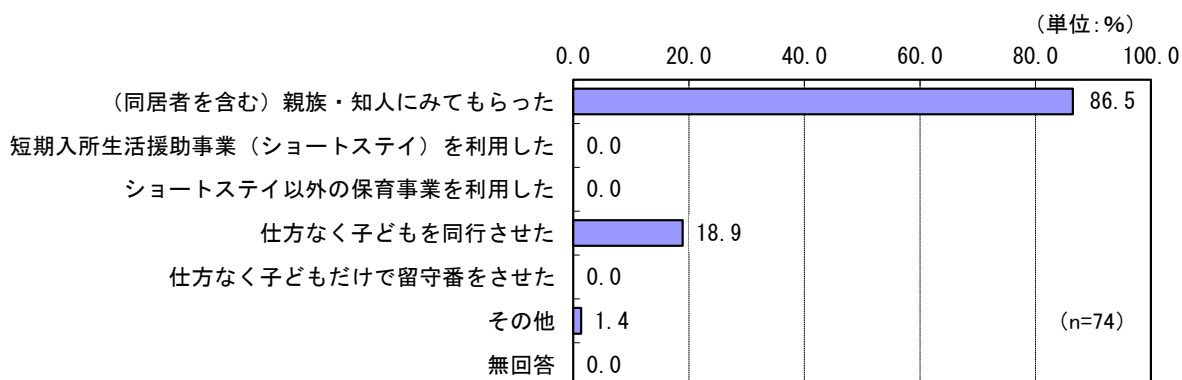


問 25 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含まれます)。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

「あった」が 16.2%となりおおよそ 6 人に 1 人の割合となっています。「なかった」は 77.5%です。

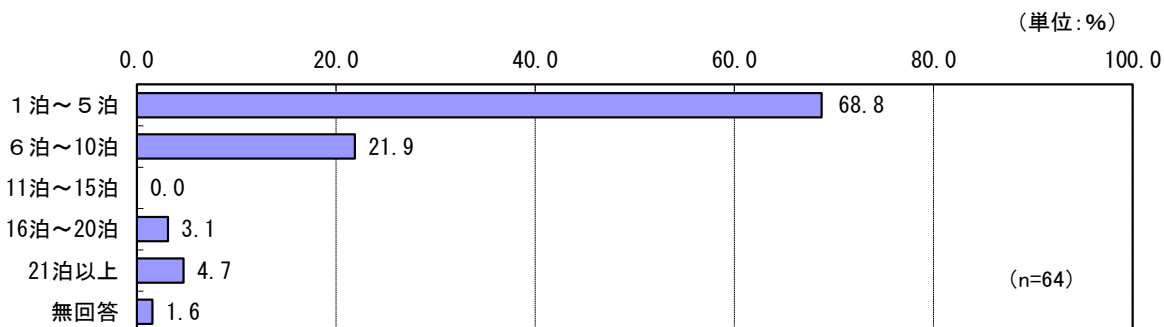


あった人 74 人の対処方法は「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が 86.5%、「仕方なく子どもを同行させた」が 18.9%、「その他」が 1.4%となっています。



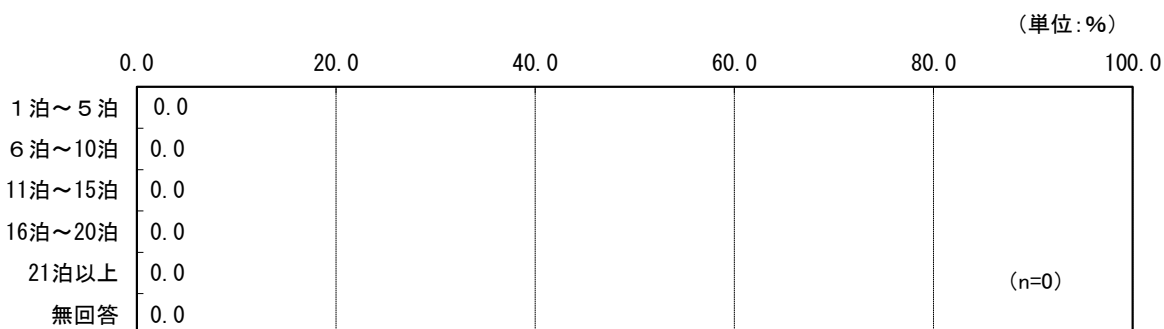
ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった

親族・知人の場合は「1泊～5泊」が 68.8%、「6泊～10泊」が 21.9%となっており、平均は 5.9 日です。



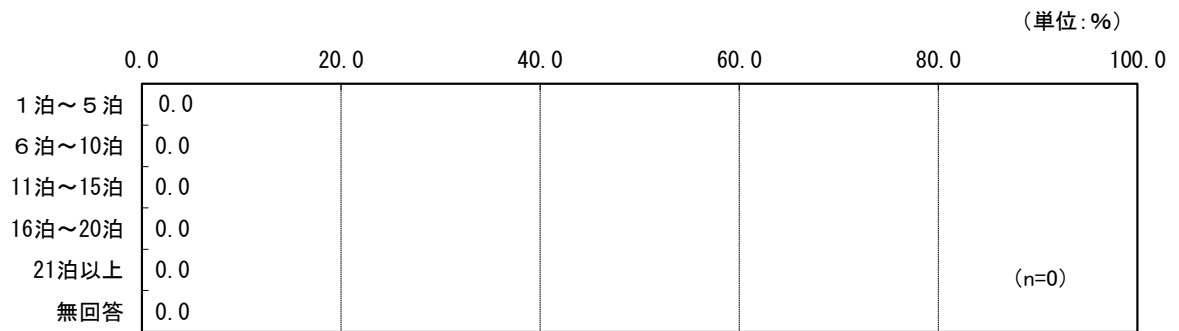
イ. 短期入所生活援助事業 (ショートステイ) を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)

ショートステイの利用はありません。



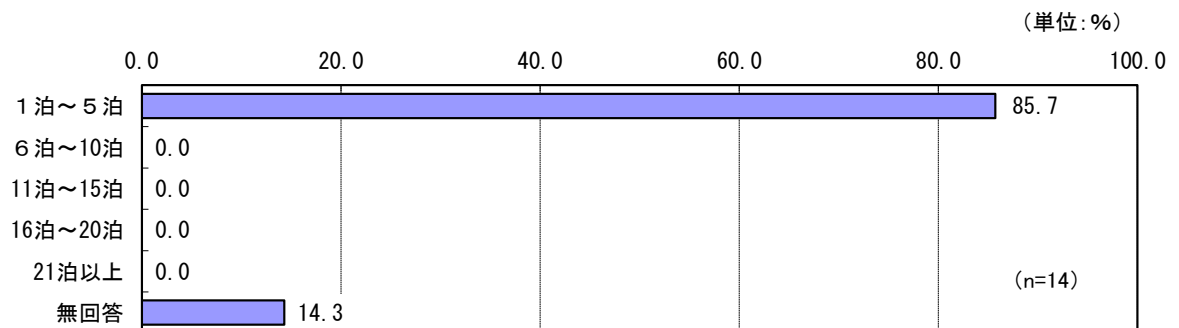
ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した

認可外保育施設、ベビーシッター等の利用はありません。



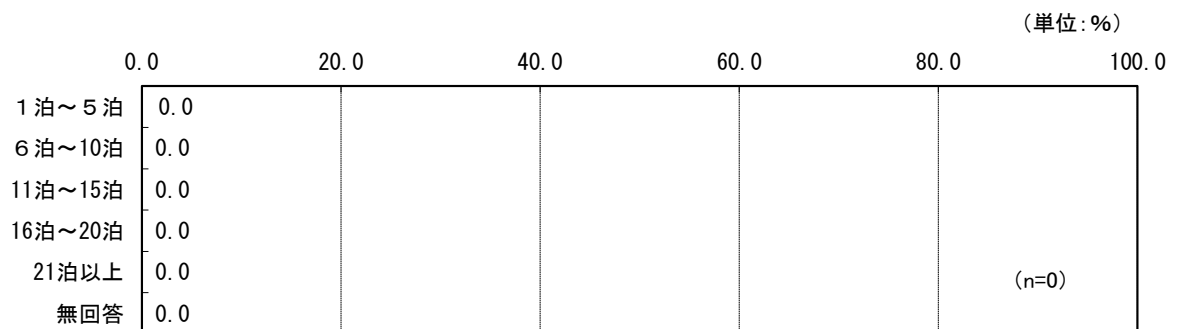
エ. 仕方なく子どもを同行させた

仕方なく子どもを同行させたと回答した14人のうち85.7%が「1泊～5泊」で、平均は2.3日となっています。



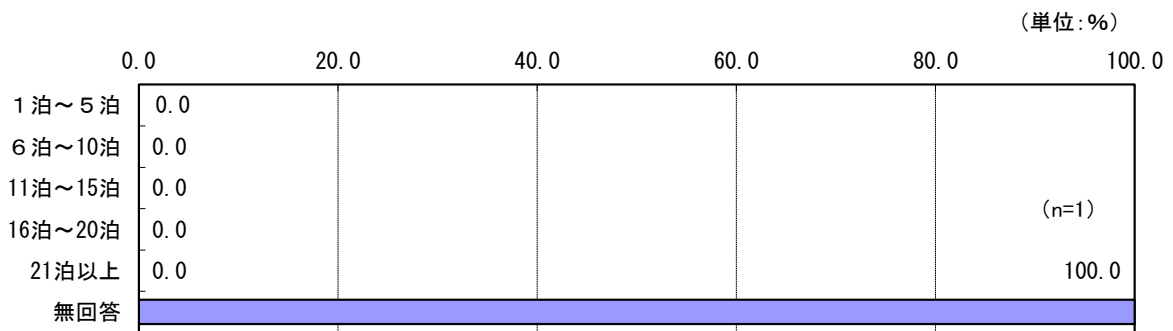
オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

仕方なく子どもだけで留守番をさせたという回答はありませんでした。



カ. その他

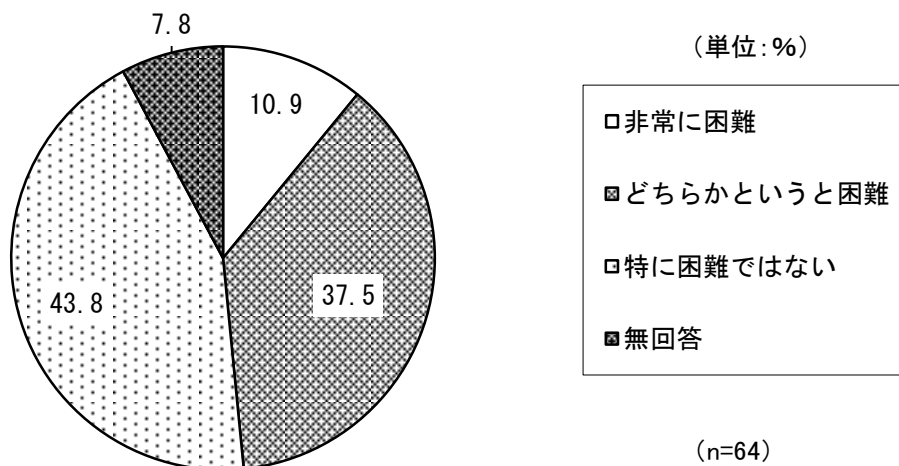
その他の回答者は1人、泊数は無回答です。



問 25 で「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と回答した方にうかがいます。

問 25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

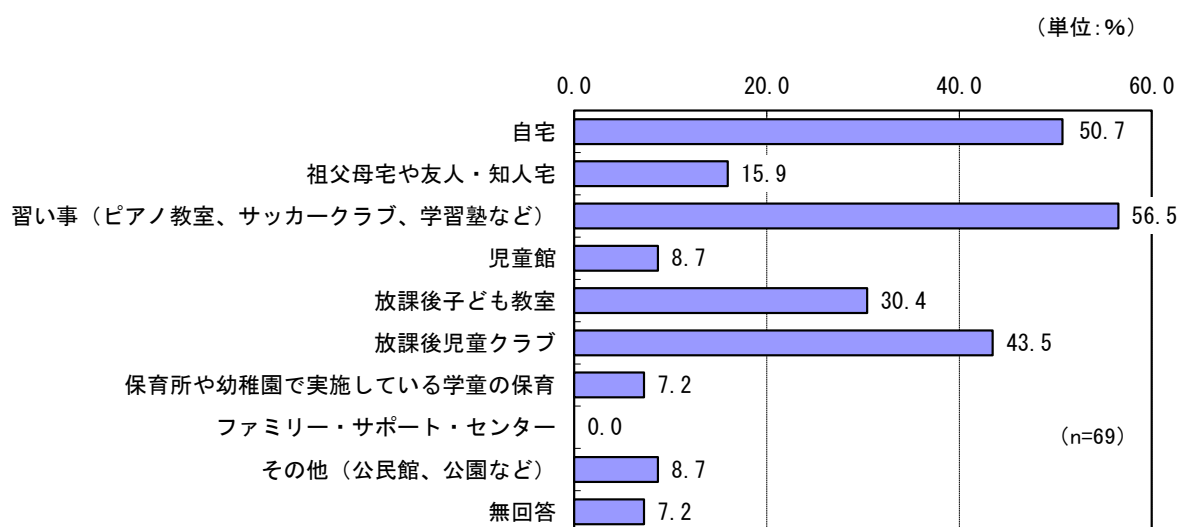
(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった場合の困難度は「非常に困難」が 10.9%、「どちらか」というと困難」が 37.5%、「特に困難ではない」が 43.8%です。「非常」に「とどちらかという」とを合わせると困難と感じる人は 48.4%と半数となっています。



9 小学校就学後の放課後の過ごし方

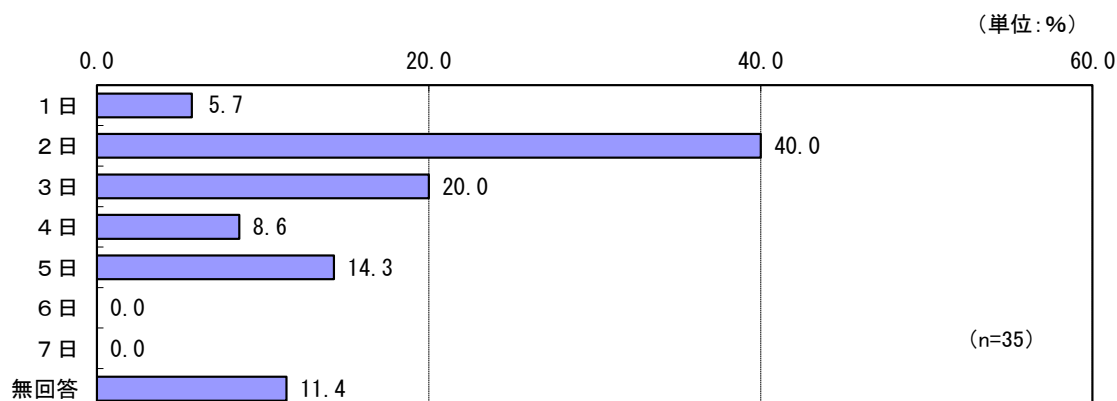
問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。

年長の5歳児の小学校就学後の放課後の過ごし方の希望は、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が56.5%、「自宅」が50.7%とそれぞれ半数を占めています。また「放課後児童クラブ」も43.5%と高い回答が見られます。「放課後子ども教室」も30.4%と多く、「祖父母宅や友人・知人宅」は15.9%となっています。



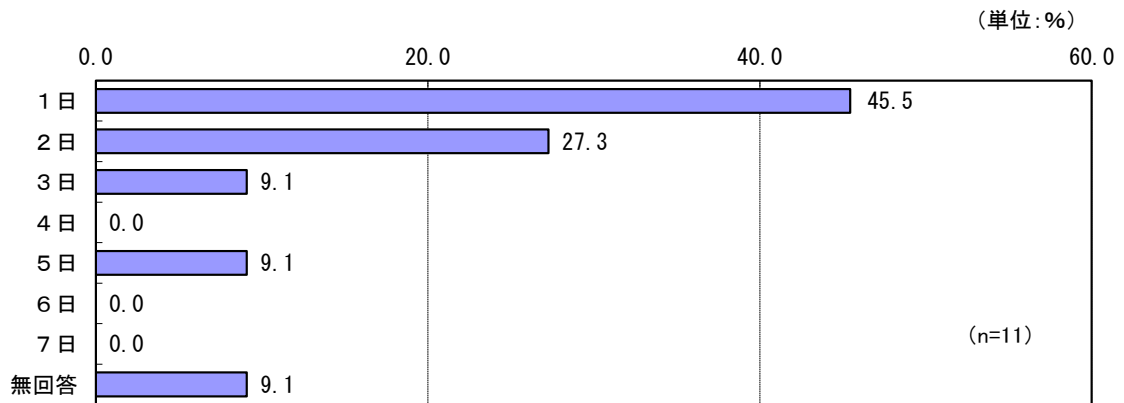
1. 自宅

自宅を希望する人は、1週間で「2日」が40.0%と最も多く、「3日」が20.0%となっており、平均は2.8日です。



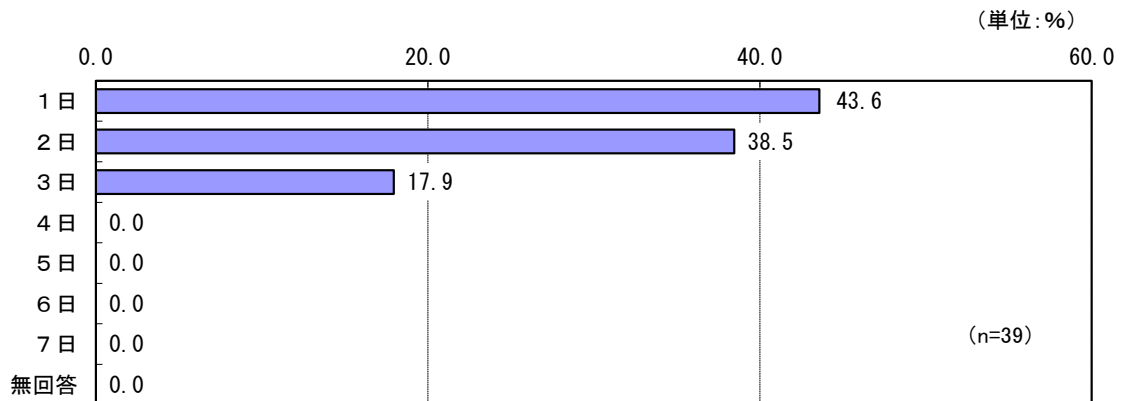
2. 祖父母宅や友人・知人宅

祖父母宅や友人・知人宅は、「1日」が45.5%と最も多く、「2日」が27.3%で平均は1.9日です。



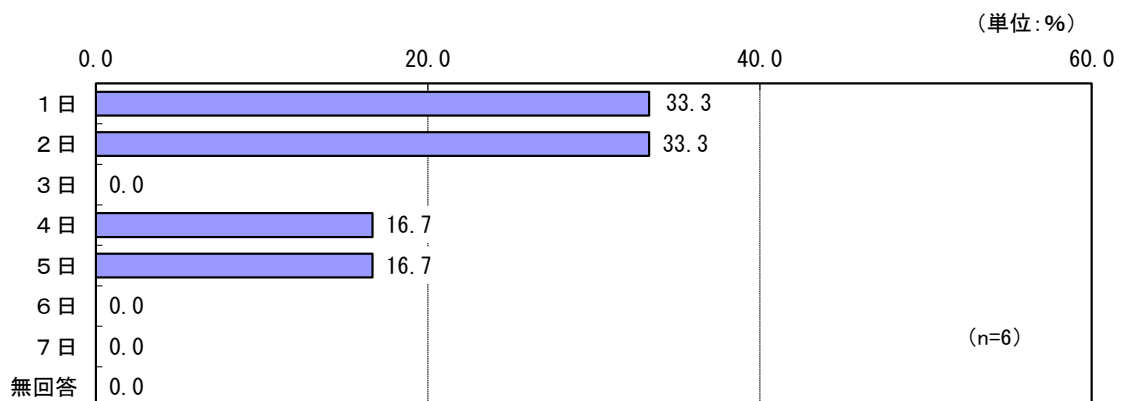
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

習い事は「1日」が43.6%、「2日」が38.5%、「3日」が17.9%で、平均は1.7日です。



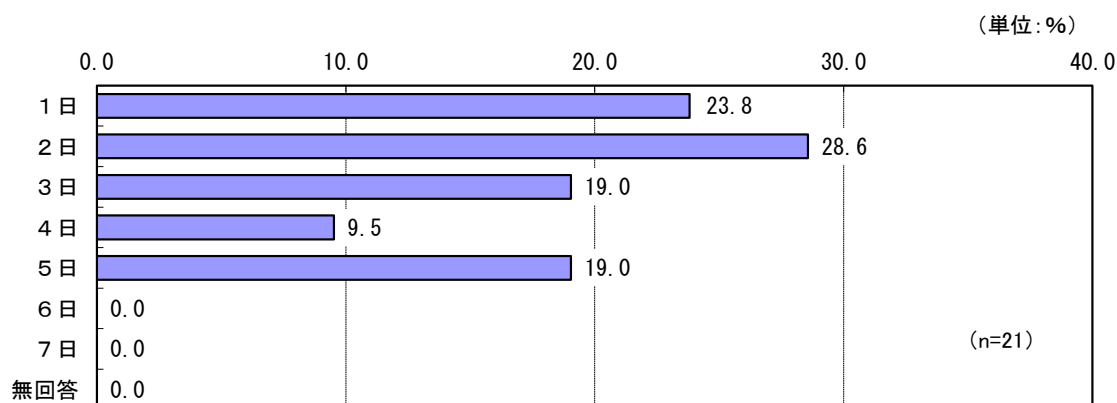
4. 児童館

児童館は「1日」と「2日」が2人 (33.3%)、「4日」と「5日」が1人 (16.7%)です。平均は2.5日です。



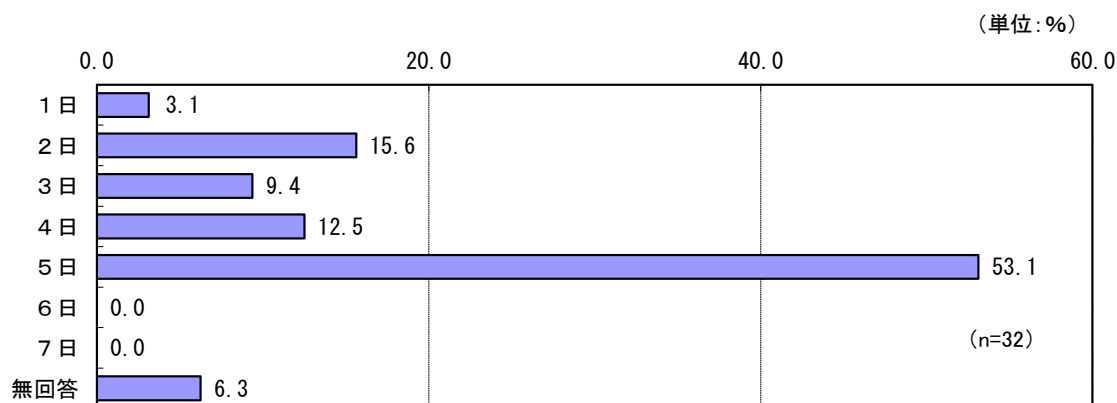
5. 放課後子ども教室

放課後子ども教室は「2日」が28.6%、「1日」が23.8%、「3日」と「5日」が19.0%などで、平均は2.7日です。

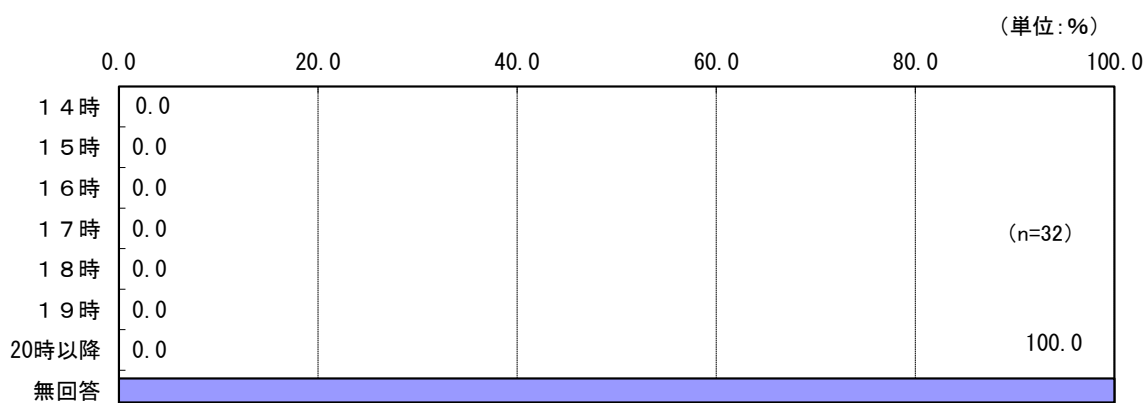


6. 放課後児童クラブ

放課後児童クラブは「5日」が最も多く53.1%となっており、「2日」が15.6%、「4日」が12.5%などとなっています。平均は4.3日です。

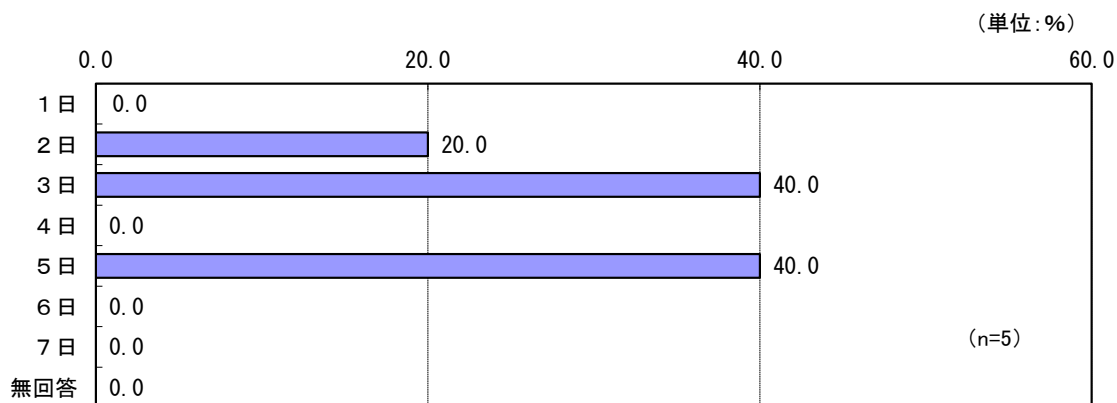


放課後児童クラブの終了時間の希望については、回答がありませんでした。



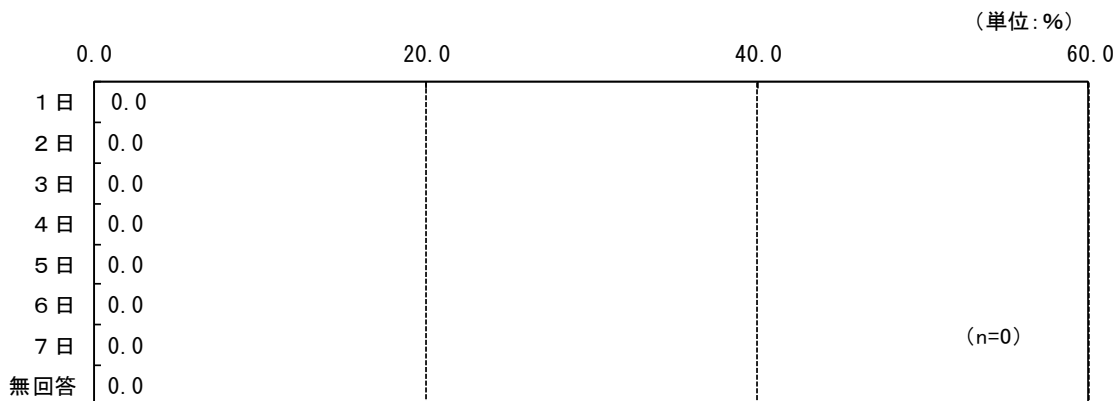
7. 保育所及び幼稚園で実施している学童の保育

保育所及び幼稚園で実施している学童の保育の希望は5人で「3日」と「5日」が2人ずつとなっています。平均は3.6日です。



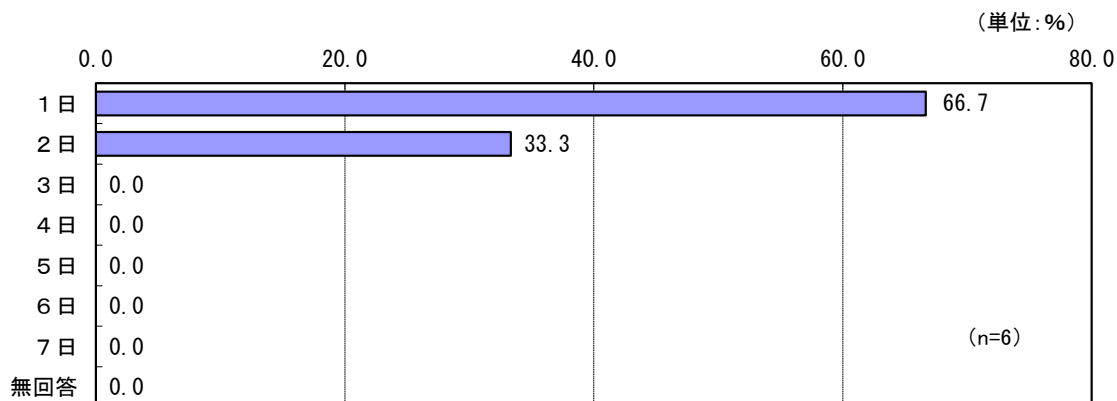
8. ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターの希望はありません。



9. その他（公民館、公園など）

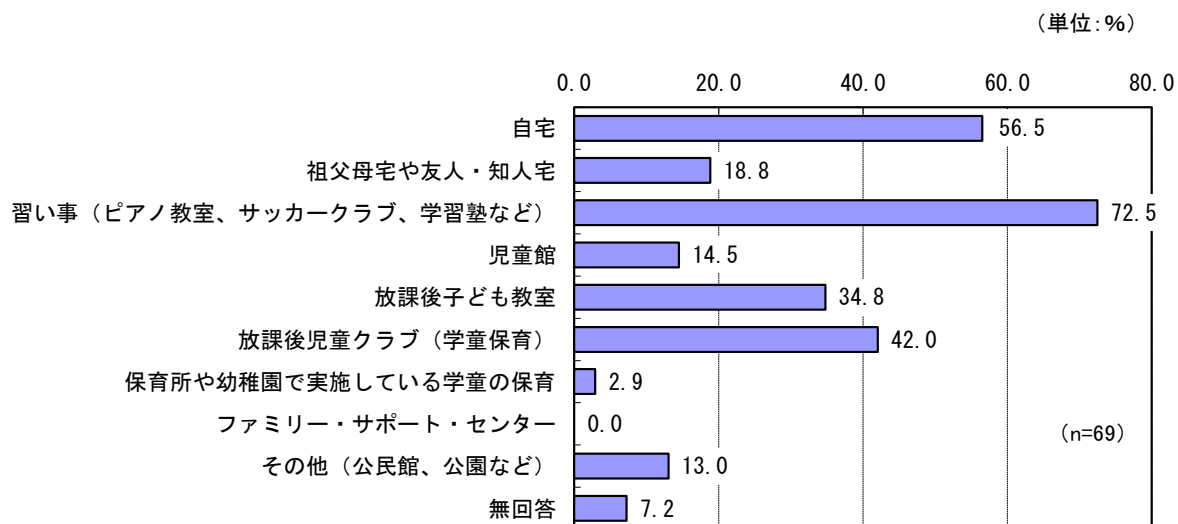
その他は6人中「1日」が4人、「2日」が2人で、平均は1.3日です。



問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日

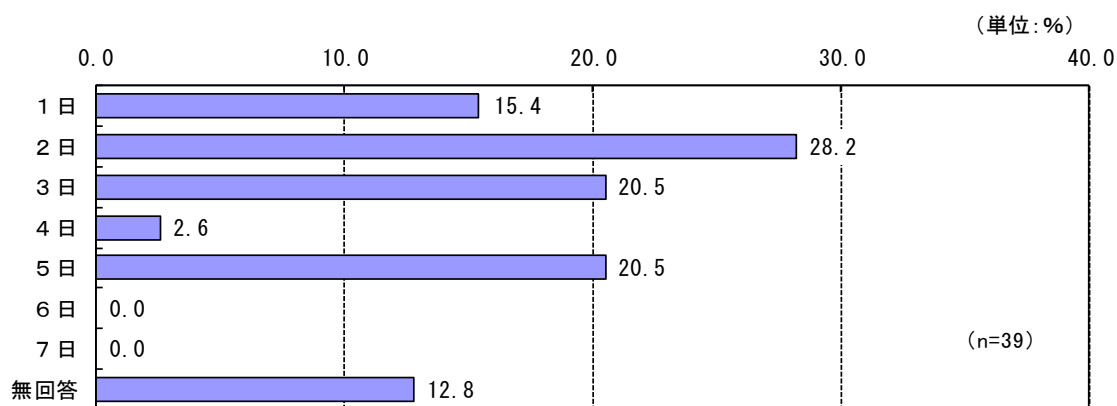
数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

高学年の希望は「習い事」が72.5%と増加していますが、「自宅」は56.5%で低学年とほぼ同じレベルです。また、「放課後児童クラブ」の希望も42.0%見られます。



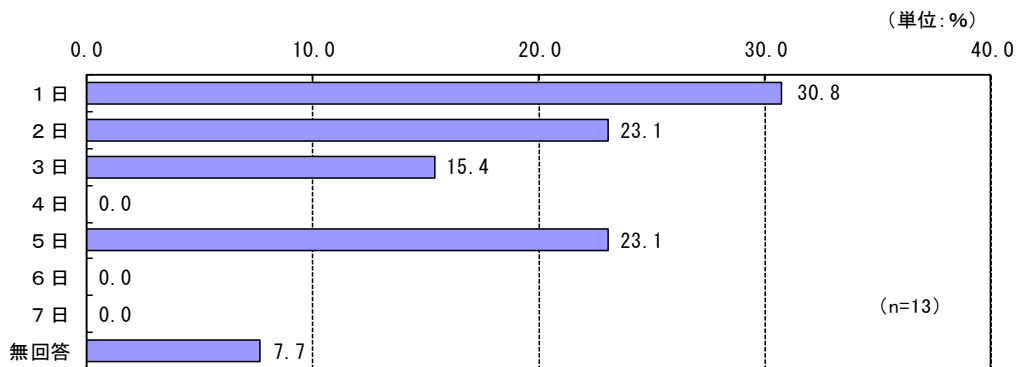
1. 自宅

低学年に比べると無回答が大きく増えていますが、最も多いのは低学年と同様の「2日」で28.2%となっています。



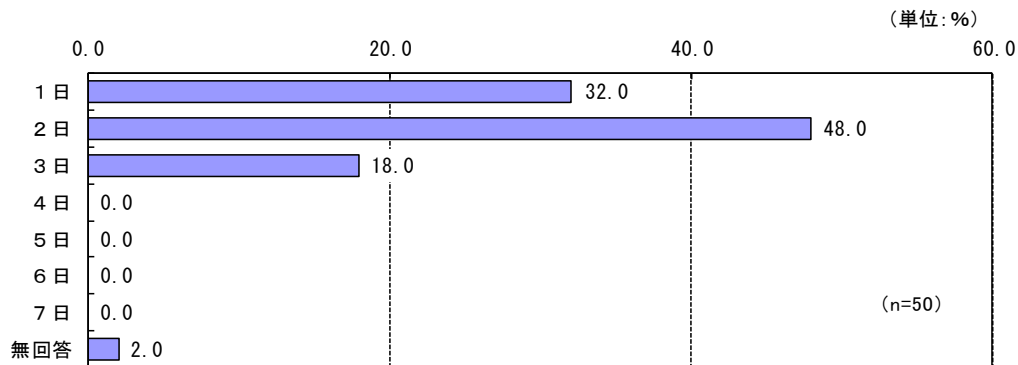
2. 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」が30.8%、「2日」と「5日」が23.1%です。平均は2.6日です。



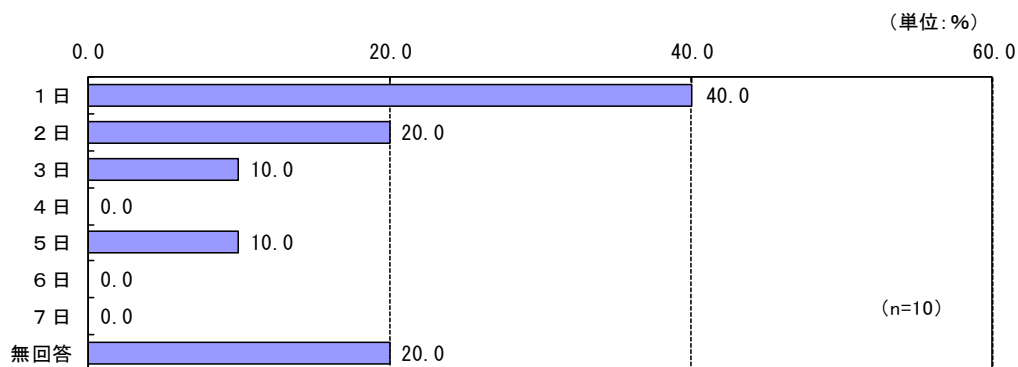
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

「1日」が32.0%、「2日」が48.0%となり低学年に比べ「1日」が減少し、「2日」が増えています。平均は低学年の1.7日から高学年では1.9日に伸びています。



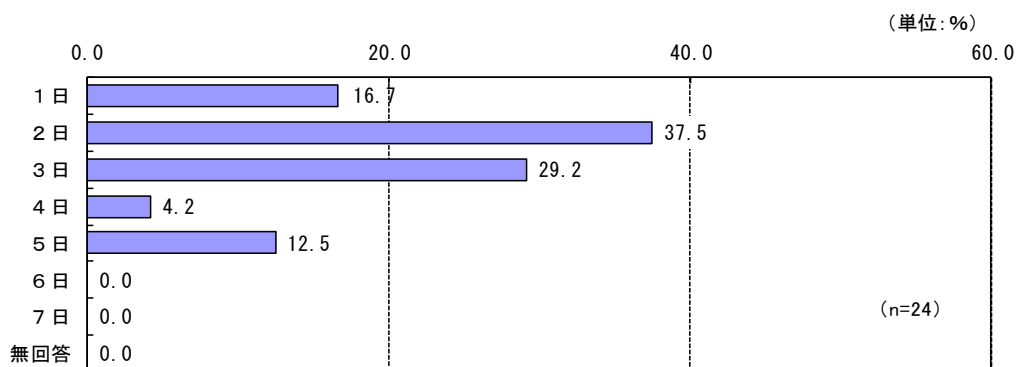
4. 児童館

児童館の利用希望は10人で、うち4人が「1日」、2人が「2日」です。平均は2.0日です。



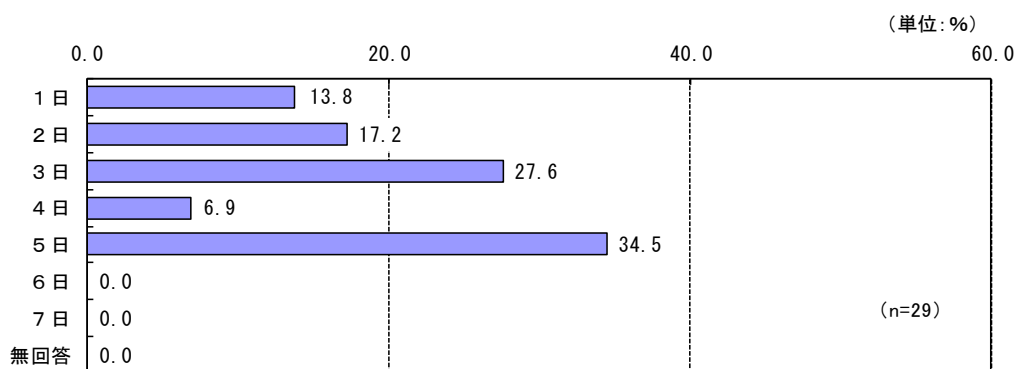
5. 放課後子ども教室

放課後子ども教室の利用希望は「1日」が16.7%、「2日」が37.5%、「3日」が29.2%となっています。平均は2.6日です。

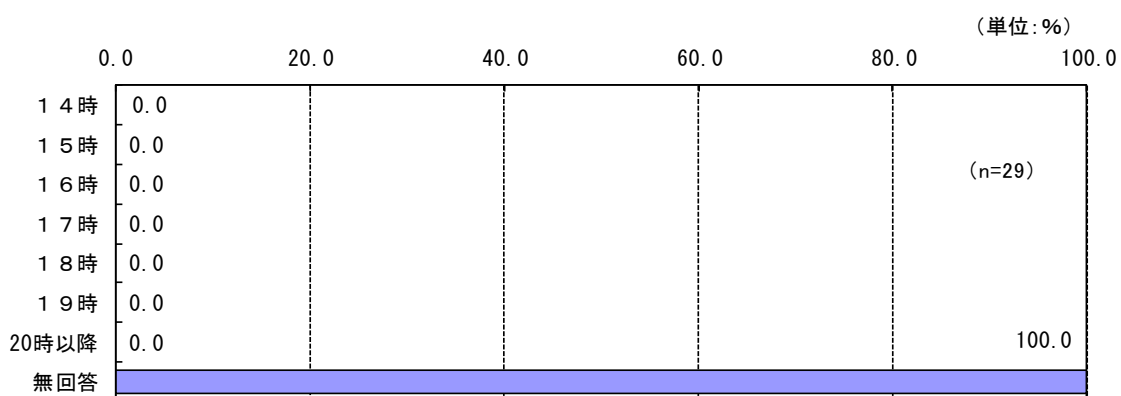


6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕

放課後児童クラブの利用希望日数は「5日」が34.5%、「3日」が27.6%などとなっています。平均は3.3日です。

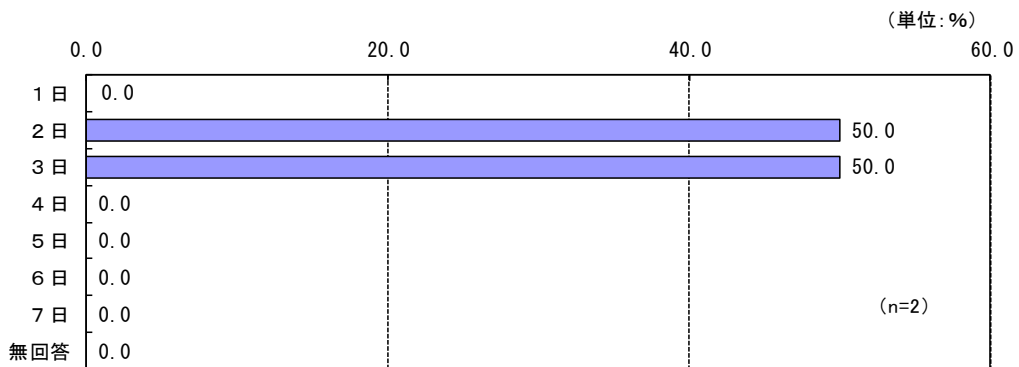


利用時間の希望は全員が無回答となっています。



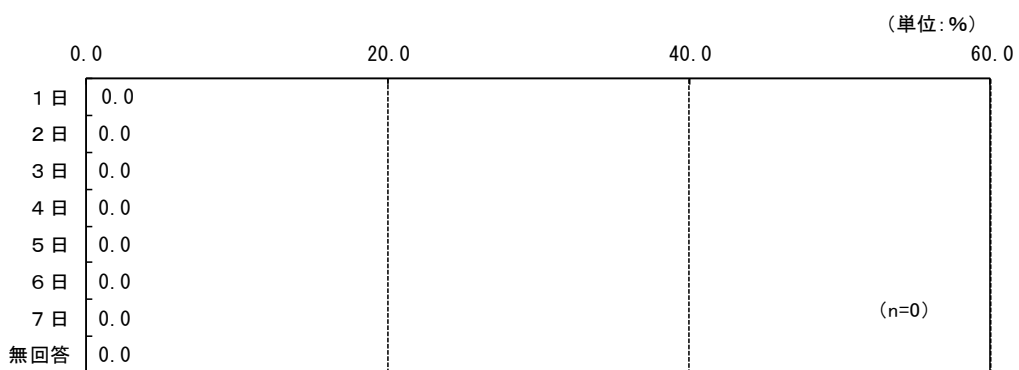
7. 保育所及び幼稚園で実施している学童の保育

学童保育は希望が2人で「2日」と「3日」が1人ずつとなっています。



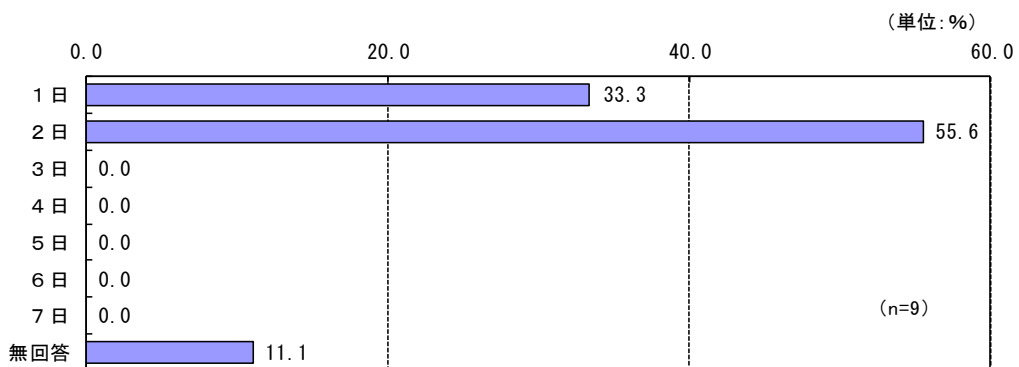
8. ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターの利用希望はありません。



9. その他（公民館、公園など）

その他は「2日」が55.6%、「1日」が33.3%です。平均は1.6日となっています。

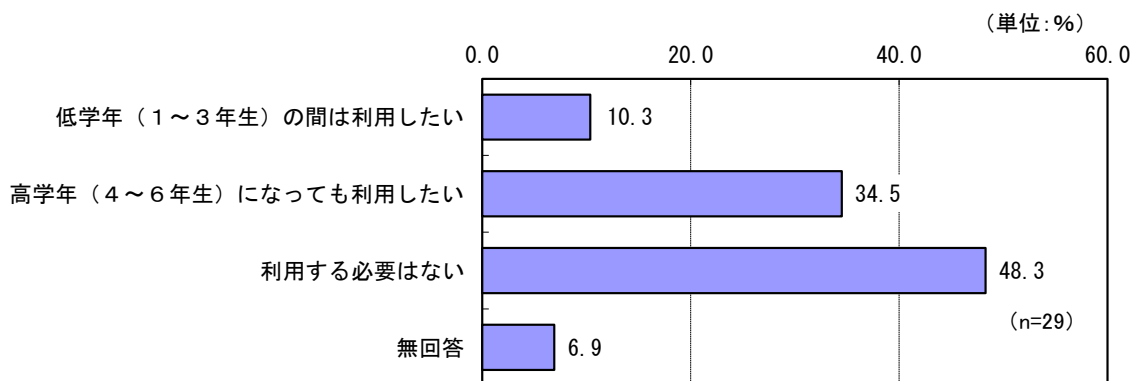


問28 問26または問27で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

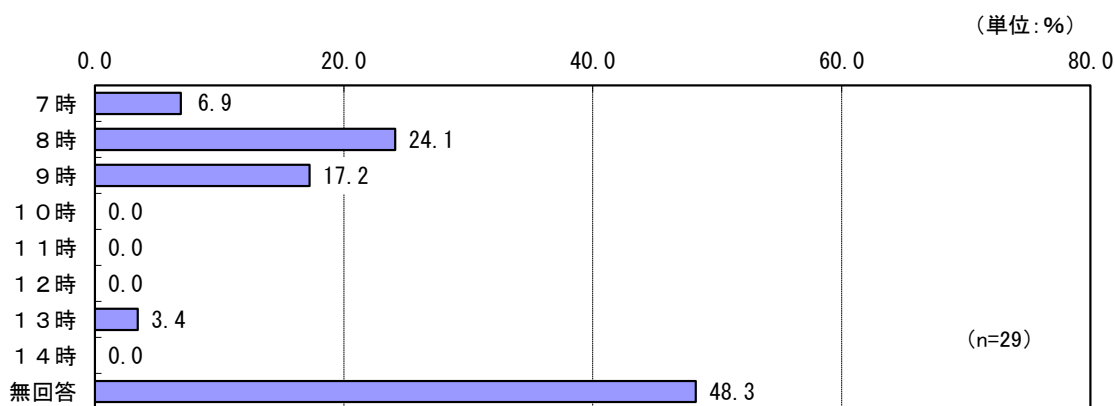
宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）土曜日

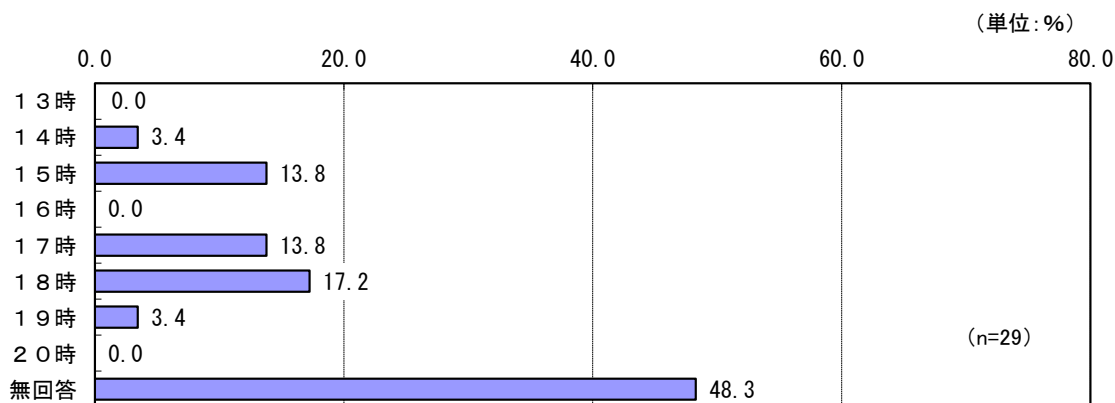
「利用する必要はない」が48.3%と最も多く、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が10.3%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が34.5%です。



利用したいという人の開始希望時刻は「8時」が24.1%、「9時」が17.2%、「7時」が6.9%です。

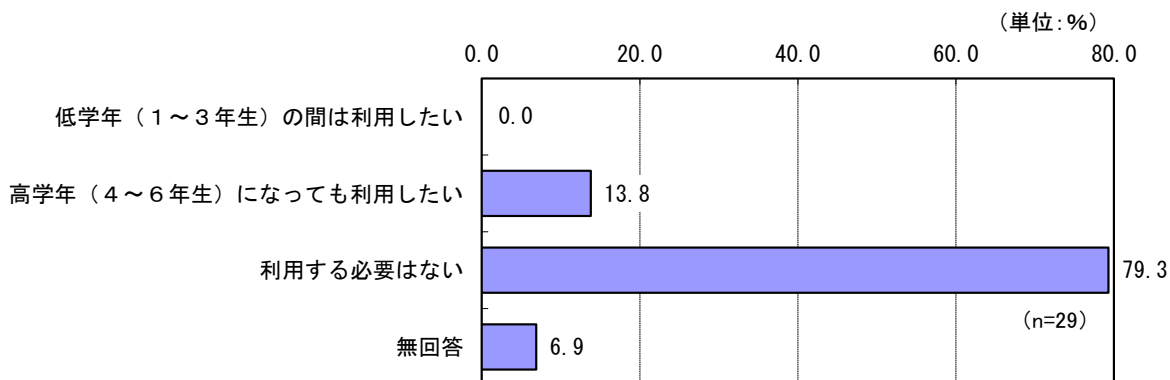


終了時刻は、「18時」が17.2%、「17時」と「15時」が13.8%となっています。

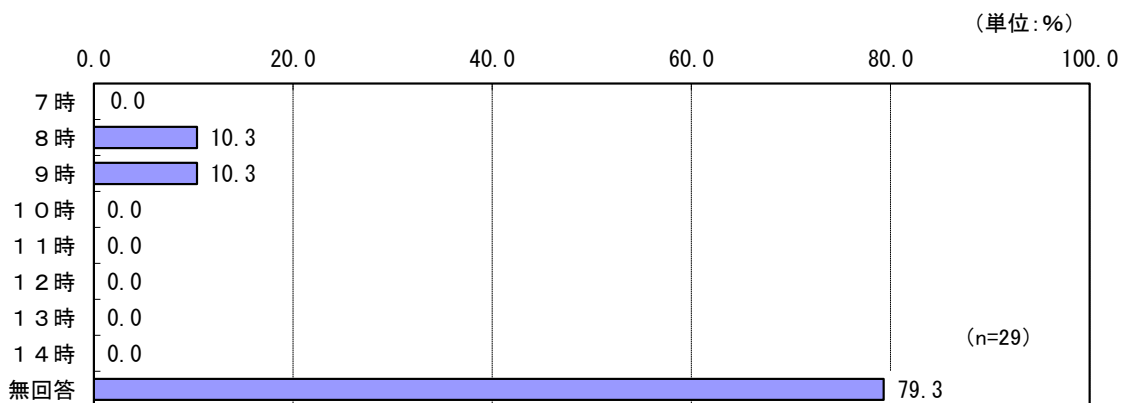


(2) 日曜・祝日

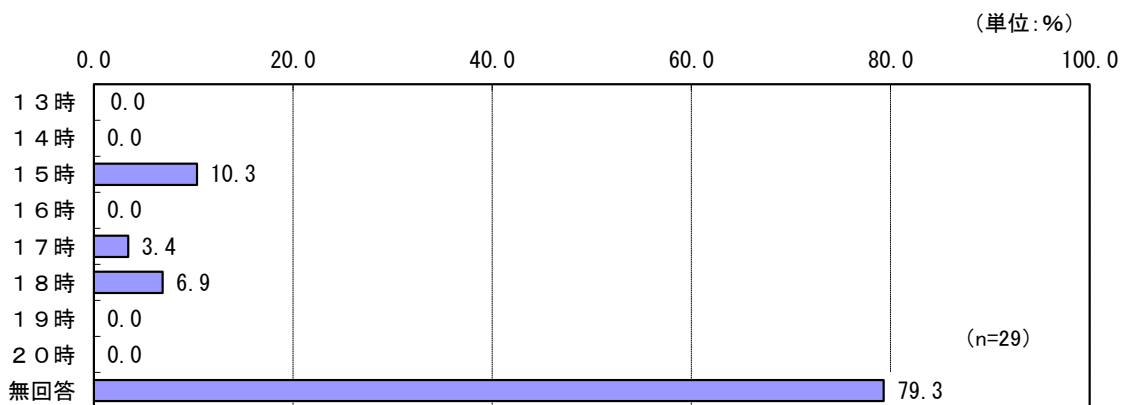
日曜・祝日の利用は「利用する必要はない」が79.3%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が13.8%で、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」は回答がありません。



日曜・祝日の利用開始時刻は「8時」と「9時」が10.3%です。

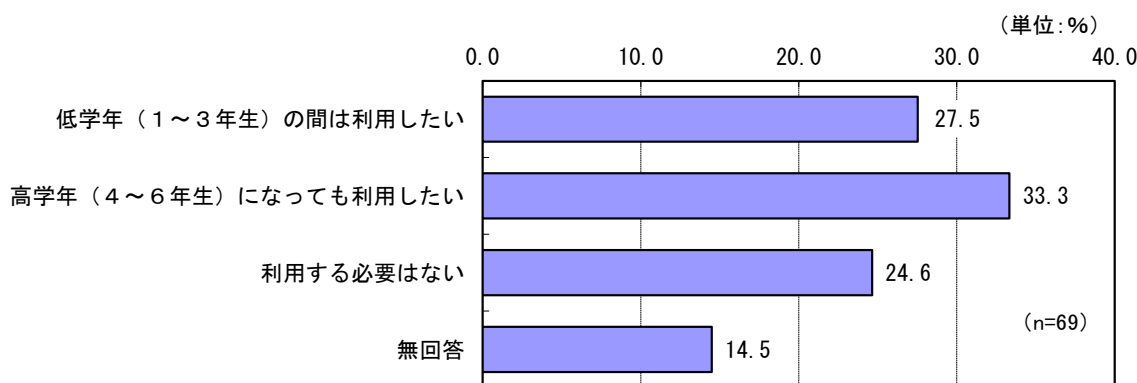


日曜・祝日の終了時刻は「15時」が10.3%、「18時」が6.9%です。

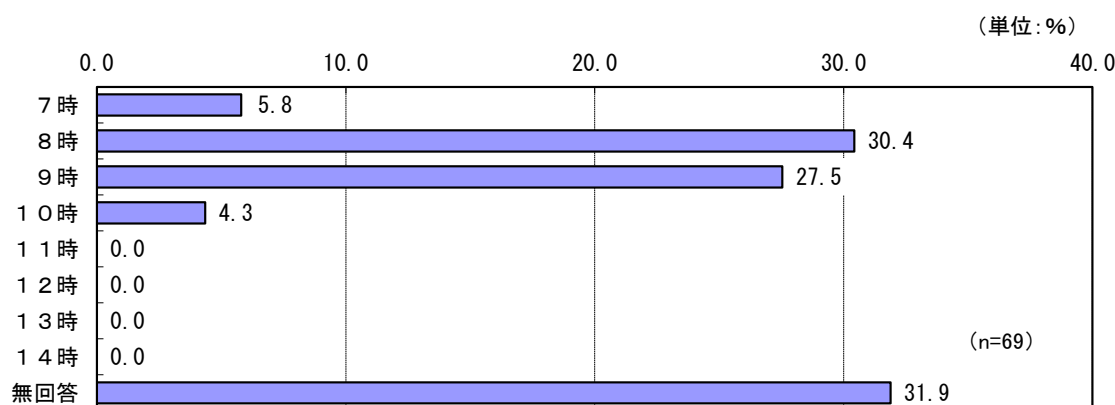


問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例)9時～18時 のように24時間制でご記入ください。

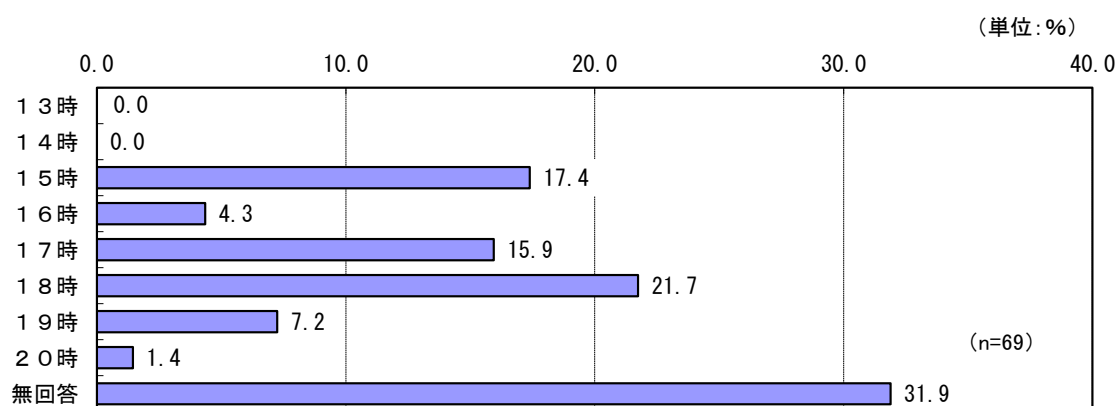
長期の休暇期間中は「利用する必要はない」は、普段の土曜日・日曜日と比べ24.6%に低下し、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が27.5%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が33.3%と普段の土曜日・日曜日より高い希望が見られます。



長期の休暇期間中の利用開始時刻の希望は「8時」が30.4%、「9時」が27.5%となっています。



終了時刻は「18時」が最も多く21.7%、「15時」が17.4%、「17時」が15.9%です。

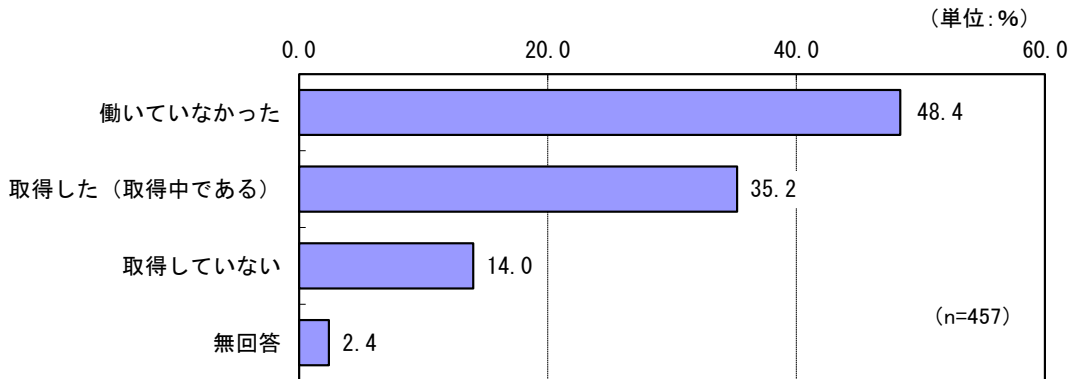


10 育児と職場の両立

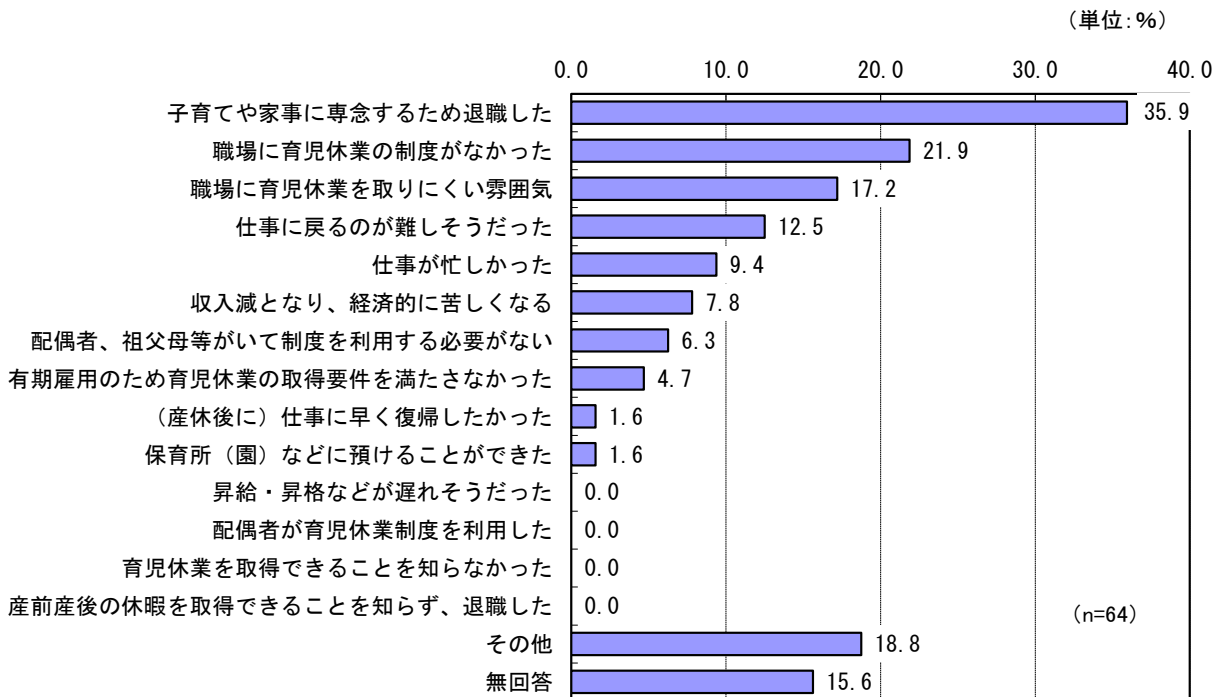
問30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください。

(1) 母親

母親は「働いていなかった」が48.4%、「取得した（取得中である）」は35.2%、「取得していない」は14.0%となっています。

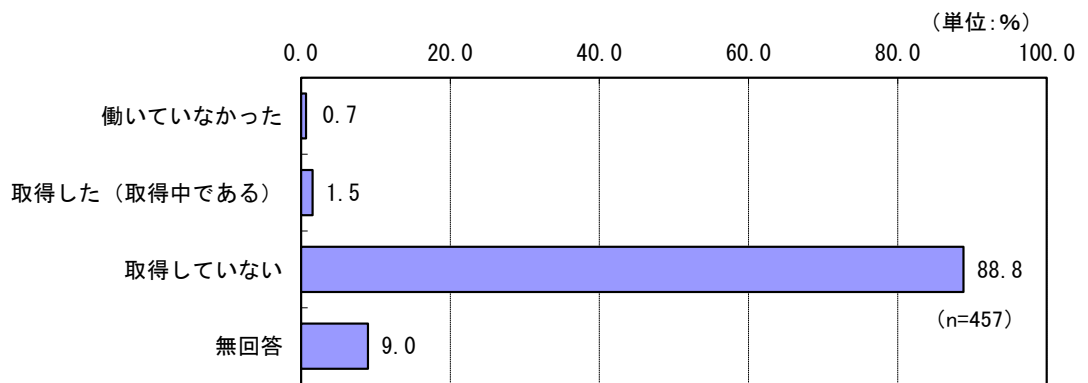


取得していない母親の理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が35.9%と最も多くなっています。「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が21.9%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が17.2%、「仕事に戻るのが難しそうだった」が12.5%などとなっており、上位は職場の環境に関する項目が上げられています。

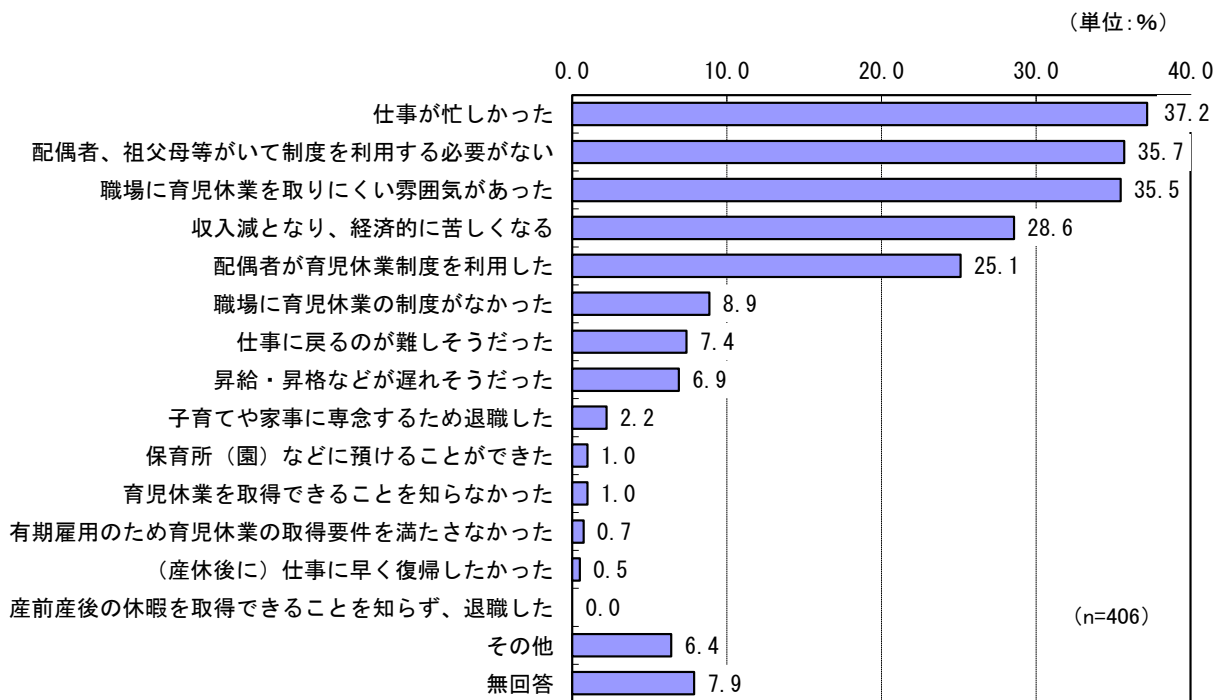


(2) 父親

父親の場合は「取得していない」が88.8%と大多数です。

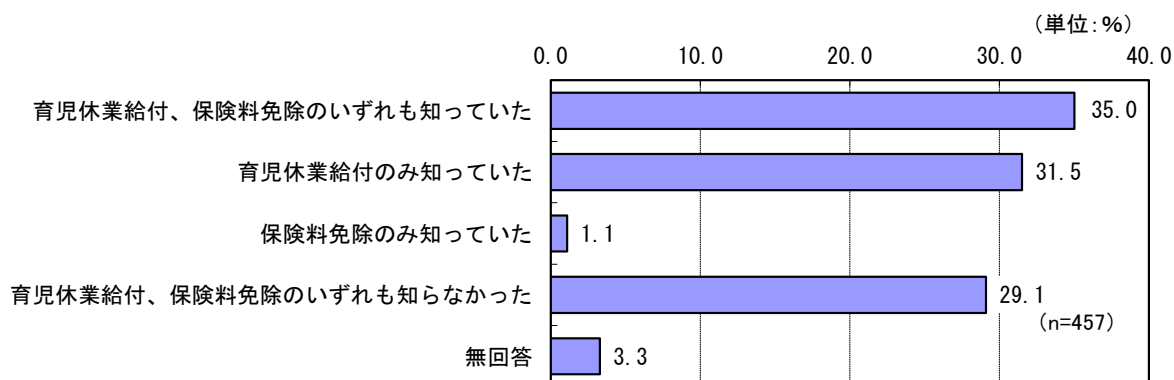


取得しなかった理由は、「仕事が忙しかった」が37.2%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が35.7%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が35.5%などとなっています。また、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が28.6%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が25.1%となっています。



問 30-1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月)になるまで育児休業給付が支給される仕組みや、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が35.0%、「育児休業給付のみ知っていた」が31.5%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が29.1%となっており、制度の周知が進んでいないことがわかります。

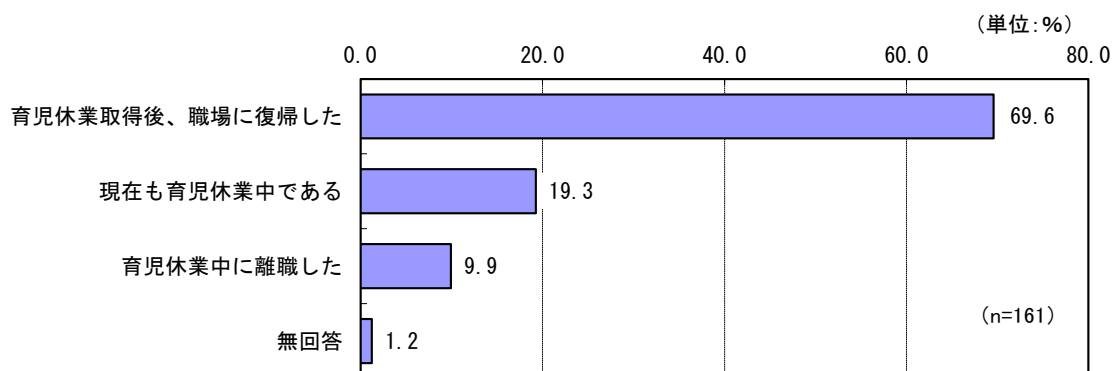


問 30 で、「2. 取得した (取得中である)」と回答した方にうかがいます。

問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

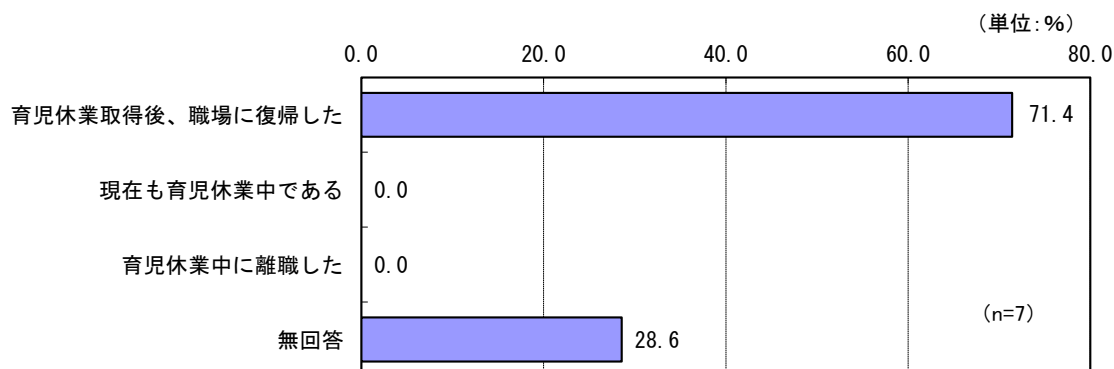
(1) 母親

育児休業を取得した(取得中である)母親は「育児休業取得後、職場に復帰した」が69.6%と7割を占めています。これに対し「育児休業中に離職した」は9.9%と1割に達しています。



(2) 父親

育児休業を取得した（取得中の）父親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が71.4%です。「現在も育児休業中である」と「育児休業中に離職した」は0件でした。

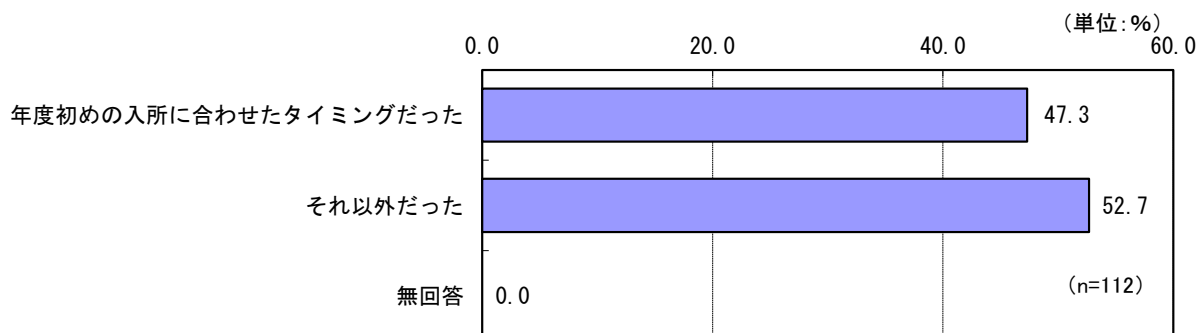


問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか？あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

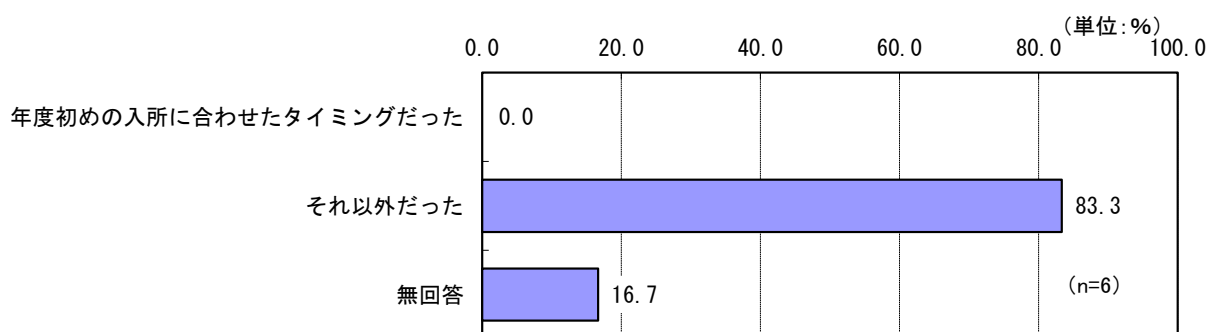
(1) 母親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が47.3%と高く、多くの母親が入所にあわせています。「それ以外だった」は52.7%です。



(2) 父親

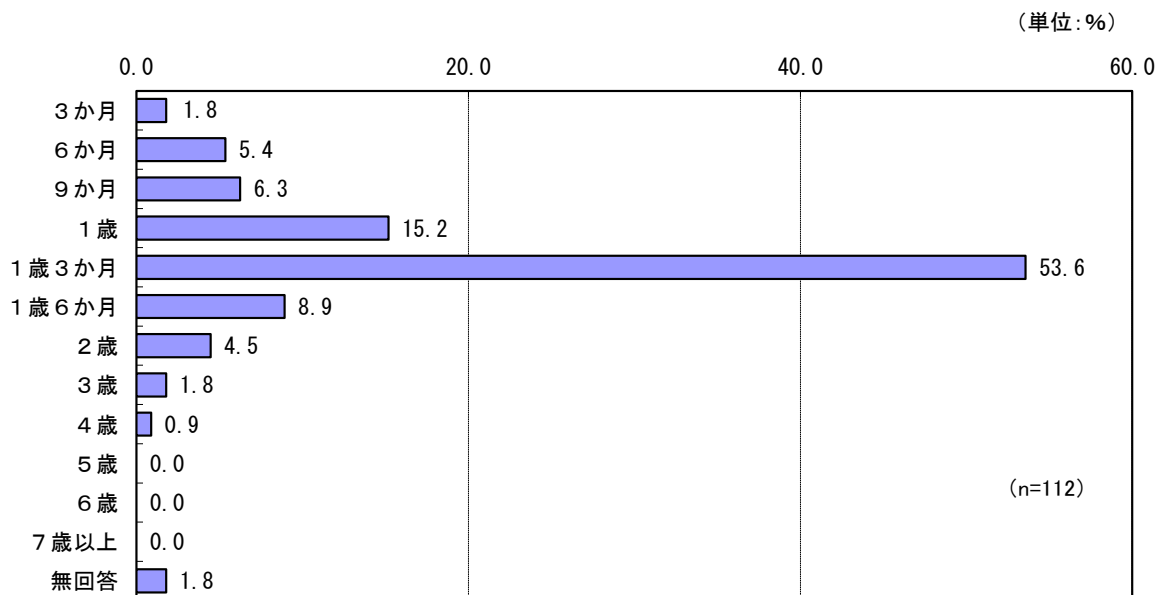
父親の場合は、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の回答はなく、「それ以外だった」が83.3%と大多数となっています。



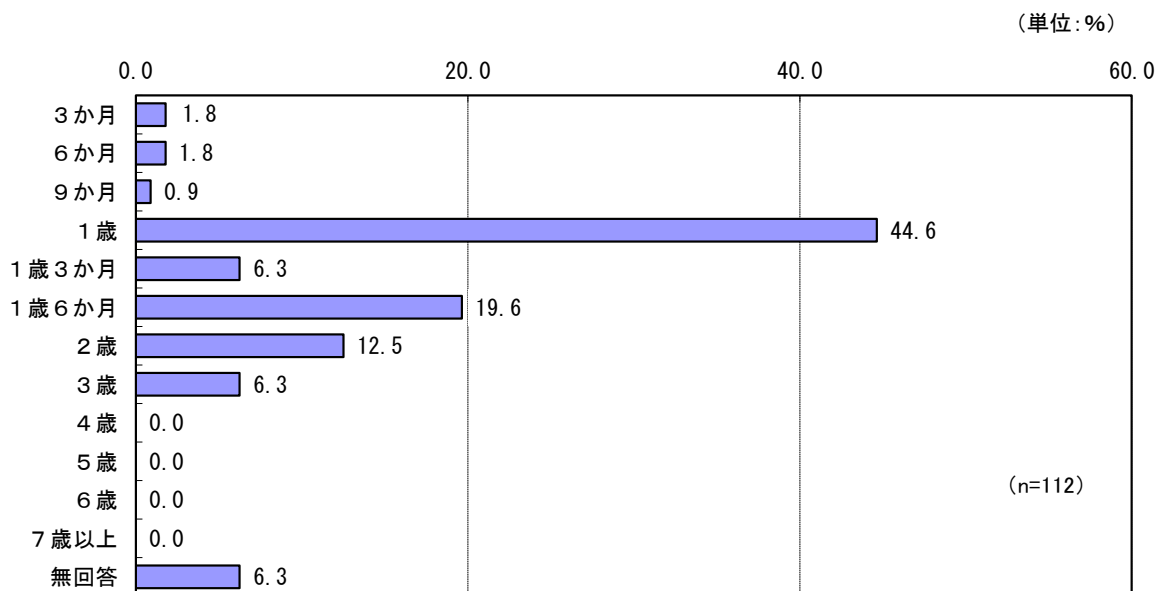
問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

(1) 母親

「1歳」が15.2%、「1歳3か月」が53.6%となっており、1歳をやや過ぎた時期が多くなっています。また、「1歳6か月」が8.9%、「9か月」が6.3%です。

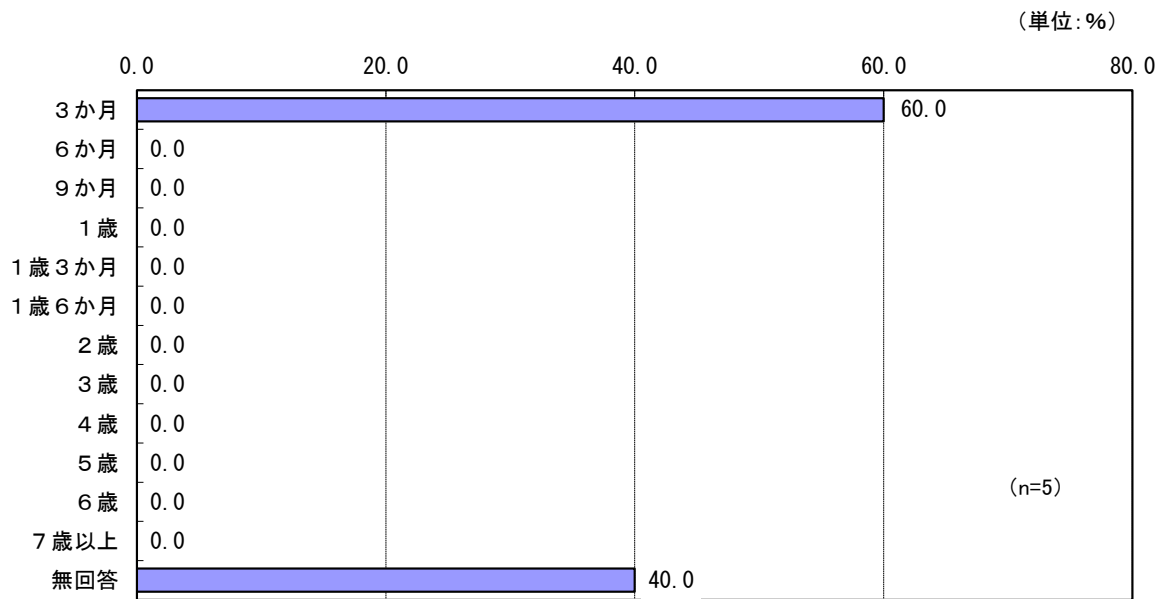


実際に取得したかった期間は、「1歳」までが44.6%と最も多く、「3か月」から「9か月」は大きく減少しています。逆に「1歳3か月」も実際の53.6%に比べると6.3%に大きく減少しています。

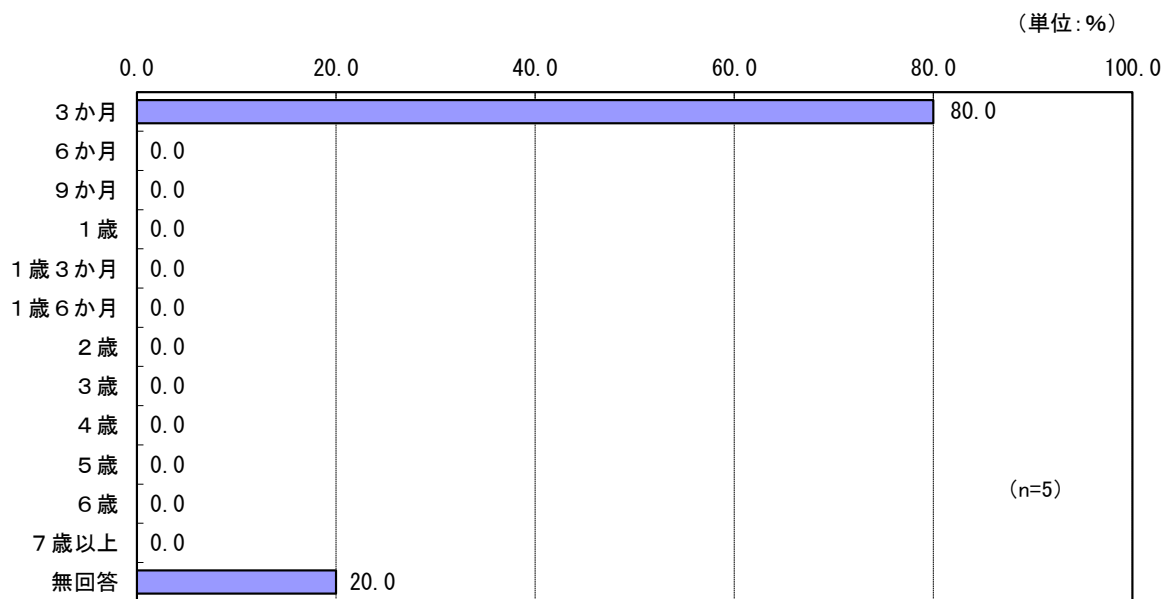


(2) 父親

実際の取得期間は「3か月」が60.0%となっています。



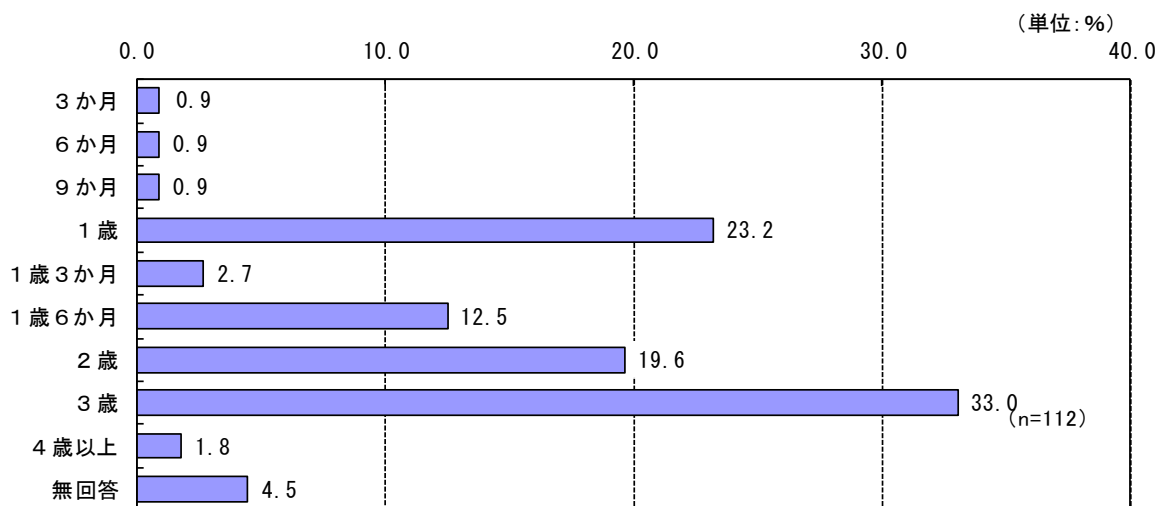
希望する取得期間も「3か月」が80.0%となっています。



問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としては
 お子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

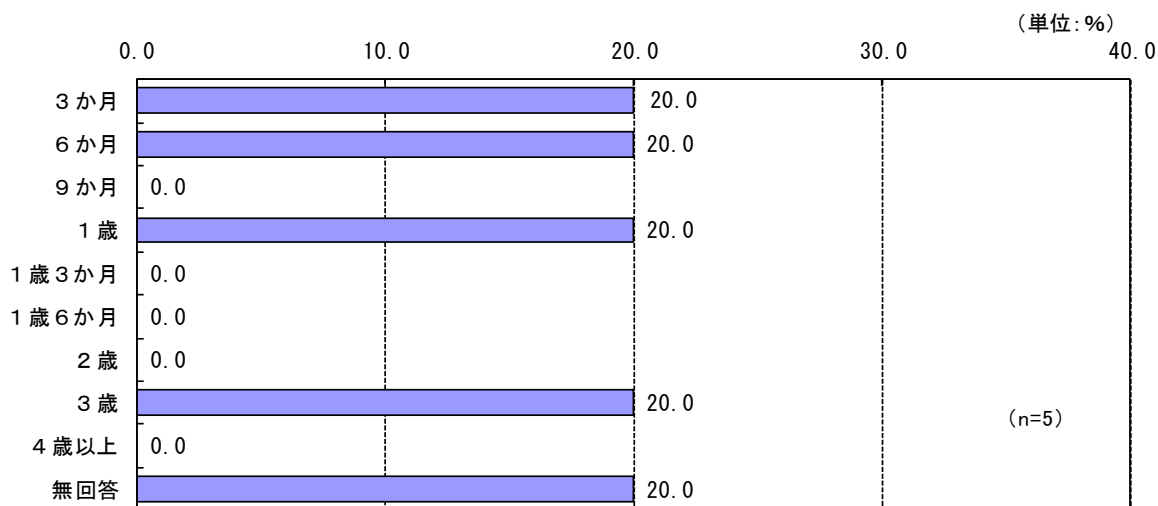
(1) 母親

「3歳」までが最も多く33.0%、「1歳」が23.2%となっています。また、「2歳」までが
 19.6%、「1歳6か月」が12.5%です。



(2) 父親

父親の回答者は5人のみであり、「3か月」、「6か月」、「1歳」、「3歳」の回答が各1人とな
 っています。



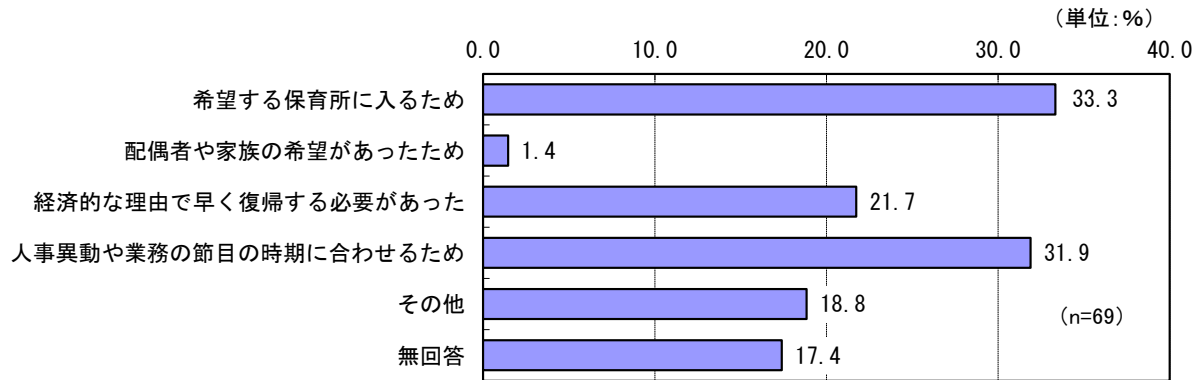
問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

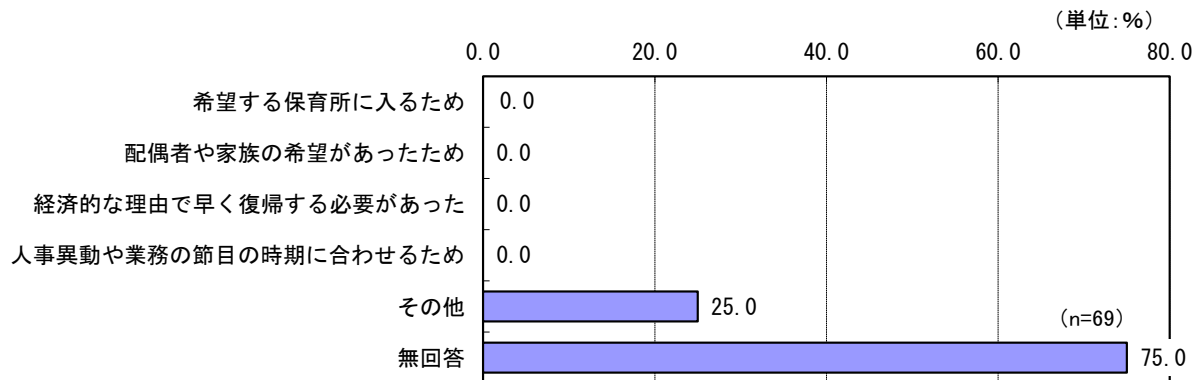
①母親

「希望する保育所に入るため」が 33.3%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 31.9%、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 21.7%です。



②父親

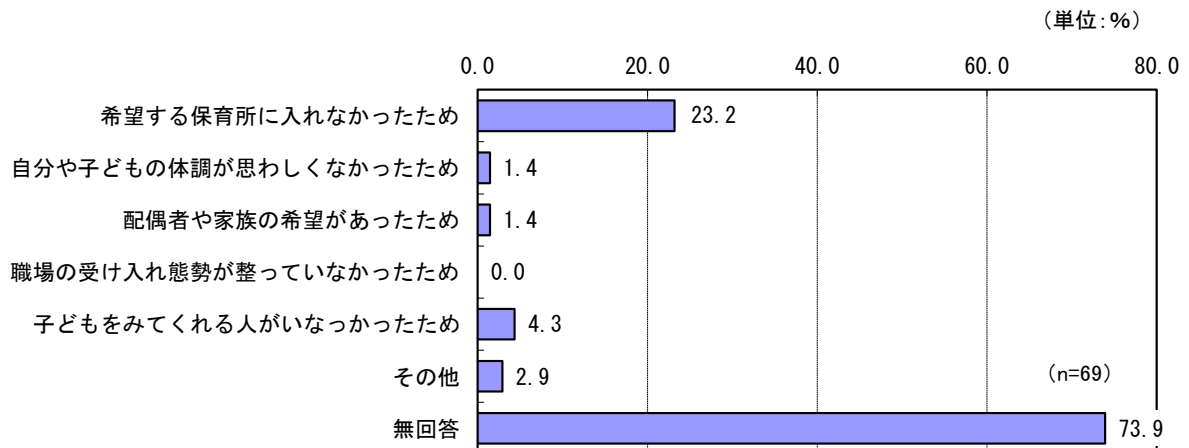
父親の場合は「無回答」が多く、「その他」の回答が 25.0%です。



(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

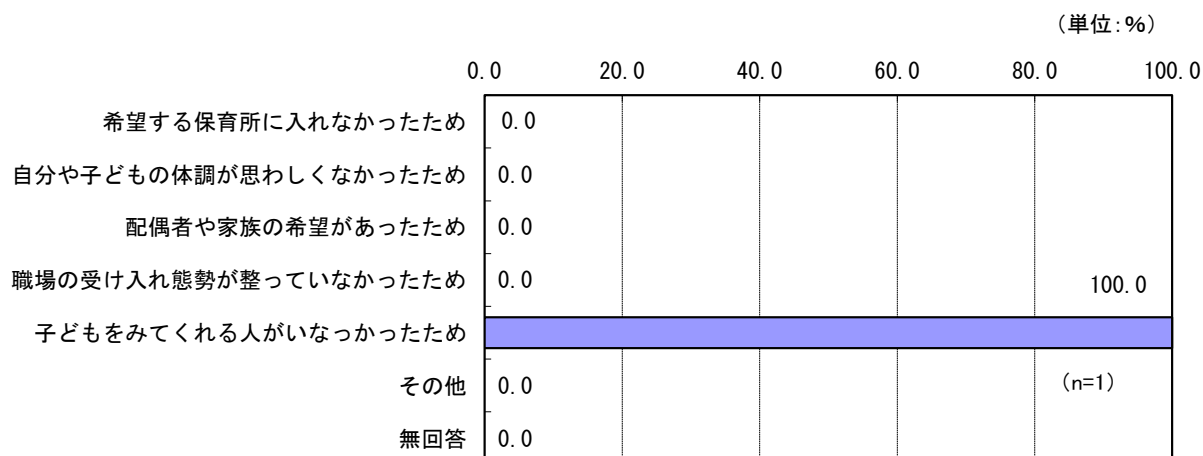
①母親

「希望する保育所に入れなかったため」が 23.2%です。



②父親

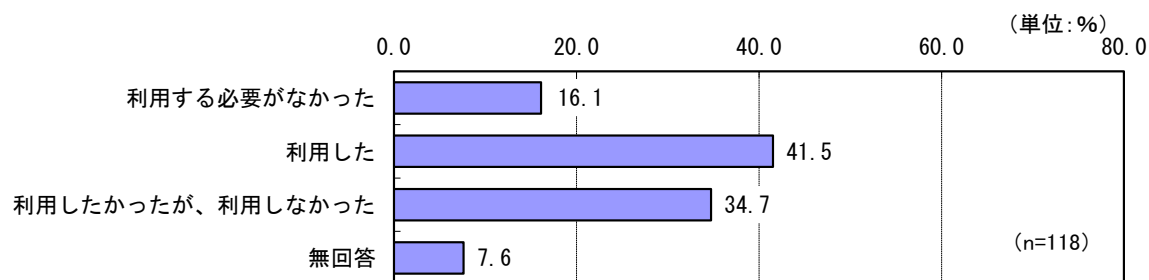
希望より遅く復帰した父親は1人のみで、「子どもをみてくれる人がいなかったため」と回答しています。



問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

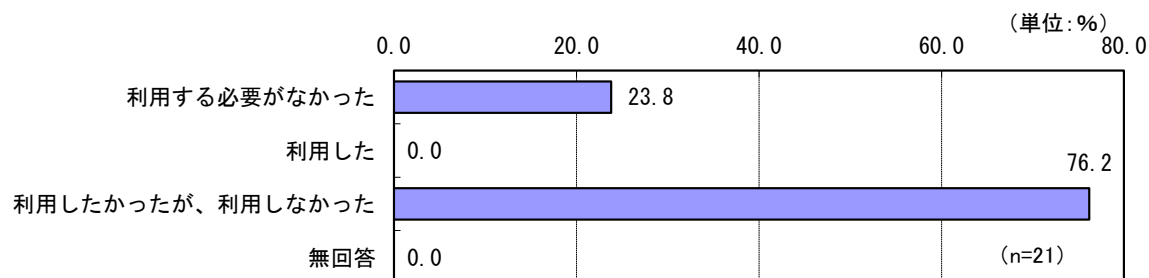
(1) 母親

「利用した」が41.5%、「利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)」が34.7%となっており、できた、できないに関わらず、利用希望は合わせて76.2%と高くなっています。



(2) 父親

父親は「利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)」が76.2%となっており、育児休業の利用者はすくないものの、短時間勤務制度の希望は高くなっています。

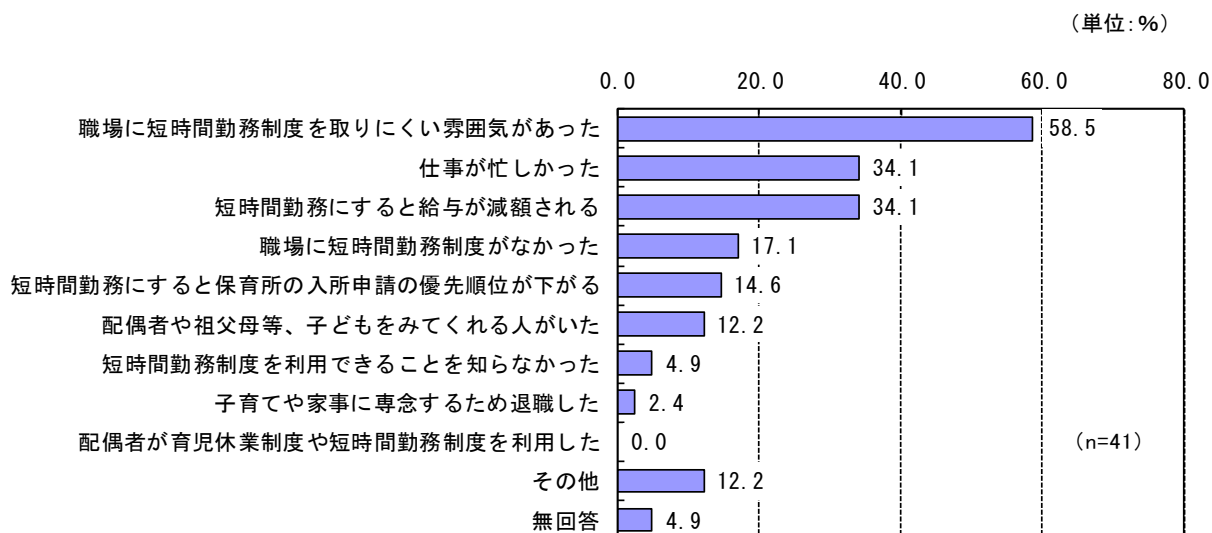


問 30-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

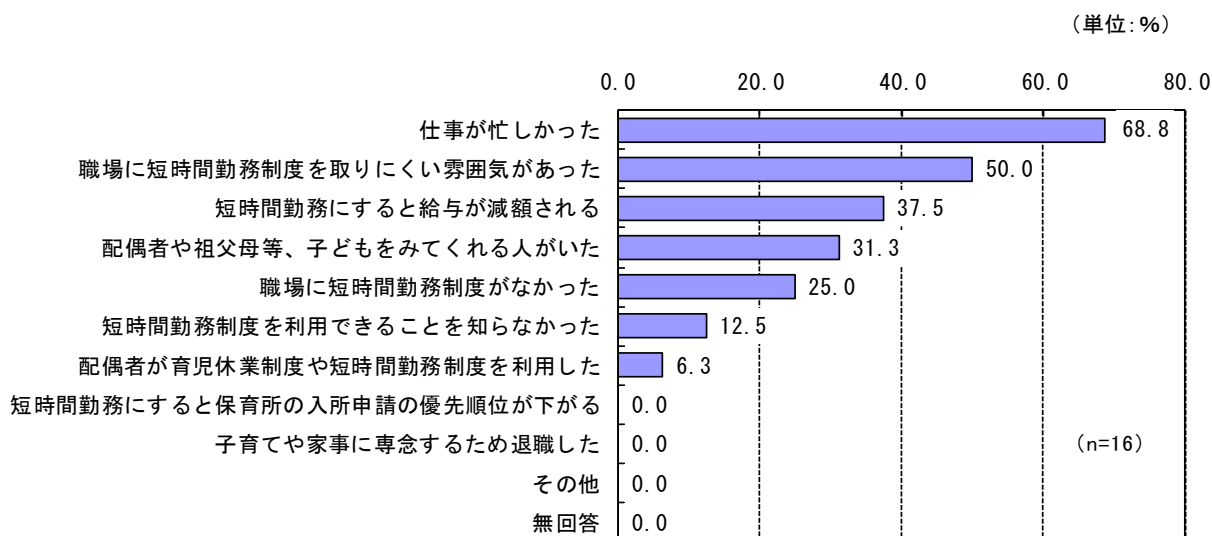
(1) 母親

母親が、短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 58.5%、「仕事が忙しかった」と「短時間勤務にすると給与が減額される」が 34.1%となっており、上位は就労や収入の問題があげられています。



(2) 父親

父親の場合は、「仕事が忙しかった」が 68.8%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 50.0%、「短時間勤務にすると給与が減額される」が 37.5%となっており、概ね母親と同様の選択肢が選ばれています。

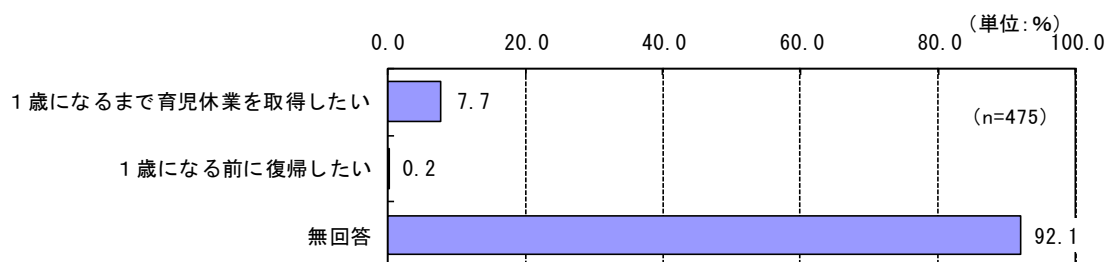


問 30-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

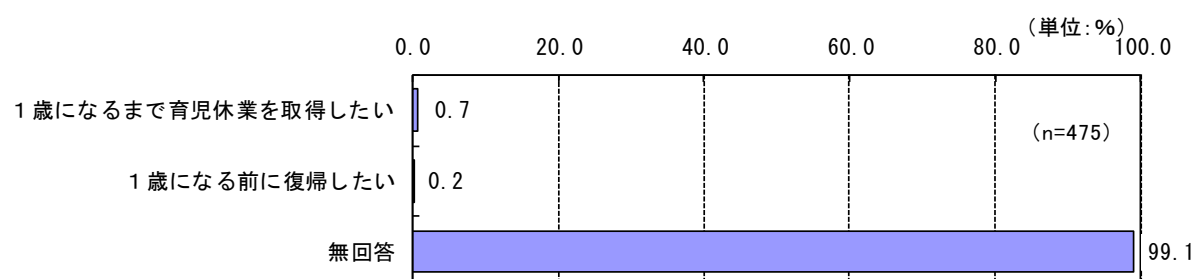
(1) 母親

母親は「1歳になるまで育児休業を取得したい」が7.7%、「1歳になる前に復帰したい」は0.2%です。



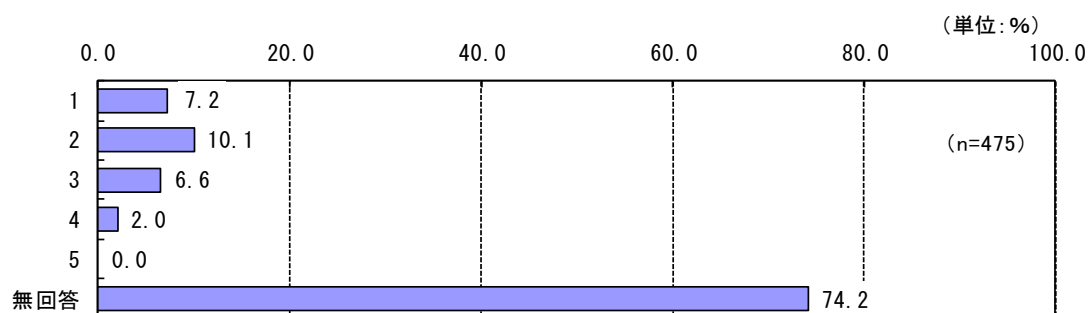
(2) 父親

父親は「1歳になるまで育児休業を取得したい」が0.7%、「1歳になる前に復帰したい」は0.2%です。



問 31 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

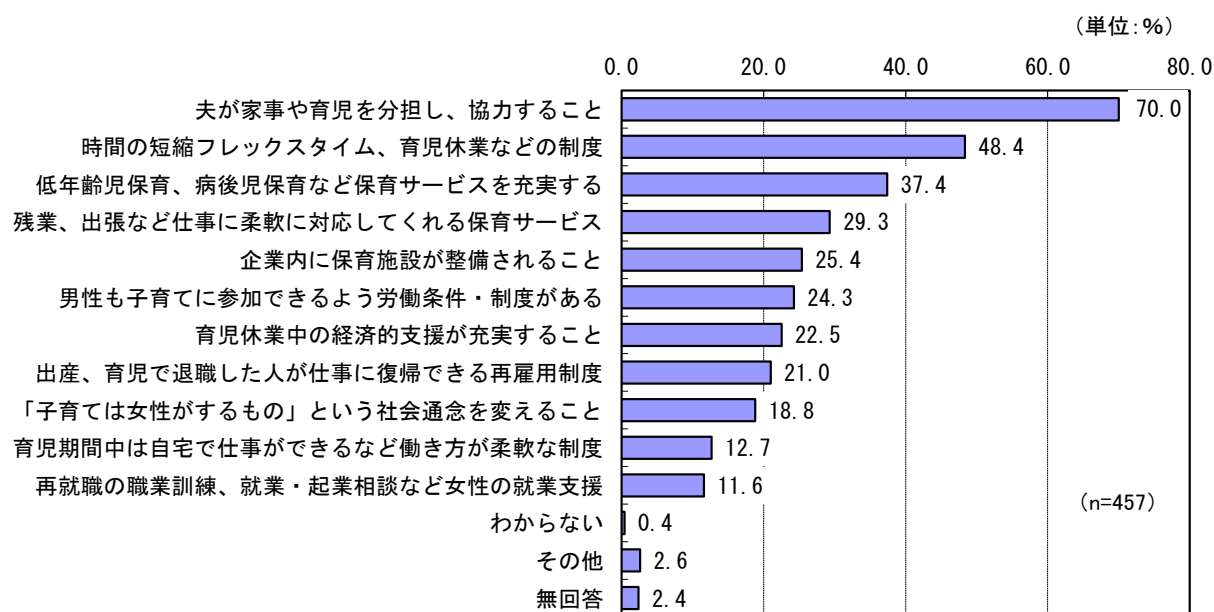
「1」が7.2%、「2」が10.1%、「3」が6.6%、「4」が2.0%で、平均は2.1となっています。



1 1 子育て環境

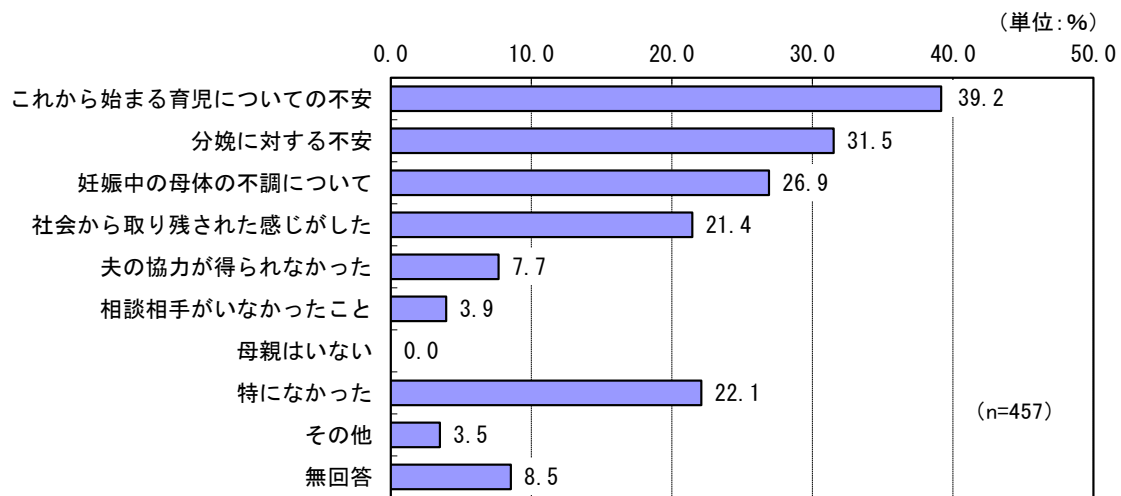
問32 女性にとって子どもを育てながら、働くために必要なことは何だと思えますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「夫が家事や育児を分担し、協力すること」が70.0%で最も多くなっています。次いで「勤務時間の短縮やフレックスタイムの導入、育児休業、看護休暇など子育て者に配慮した労働条件・制度があり、それが実際に活用できる職場環境であること」が48.4%、「低年齢児保育、病後児保育など多様な保育サービスを充実すること」が37.4%、「急な残業、出張などの仕事に合わせて柔軟に対応してくれる保育サービスの整備」が29.3%などとなっています。



問 33 宛名のお子さんの母親のこと（出産や育児の悩み等）についてお伺いします。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

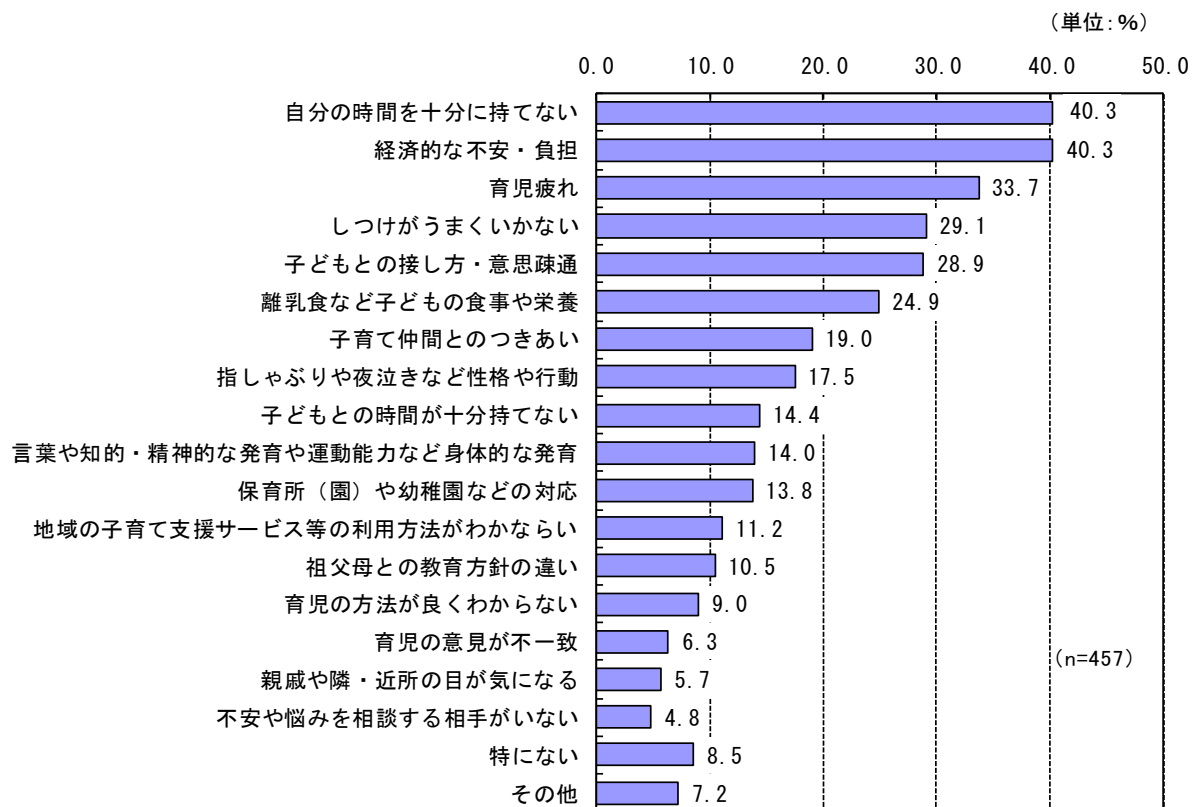
「これから始まる育児についての不安」が 39.2%、「分娩に対する不安」が 31.5%、「妊娠中の母体の不調について」が 26.9%、「社会から取り残された感じがした」が 21.4%などとなっています。



問 34 すべての方に育児に関する悩みについてお伺いします。育児の悩みはどの様なことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

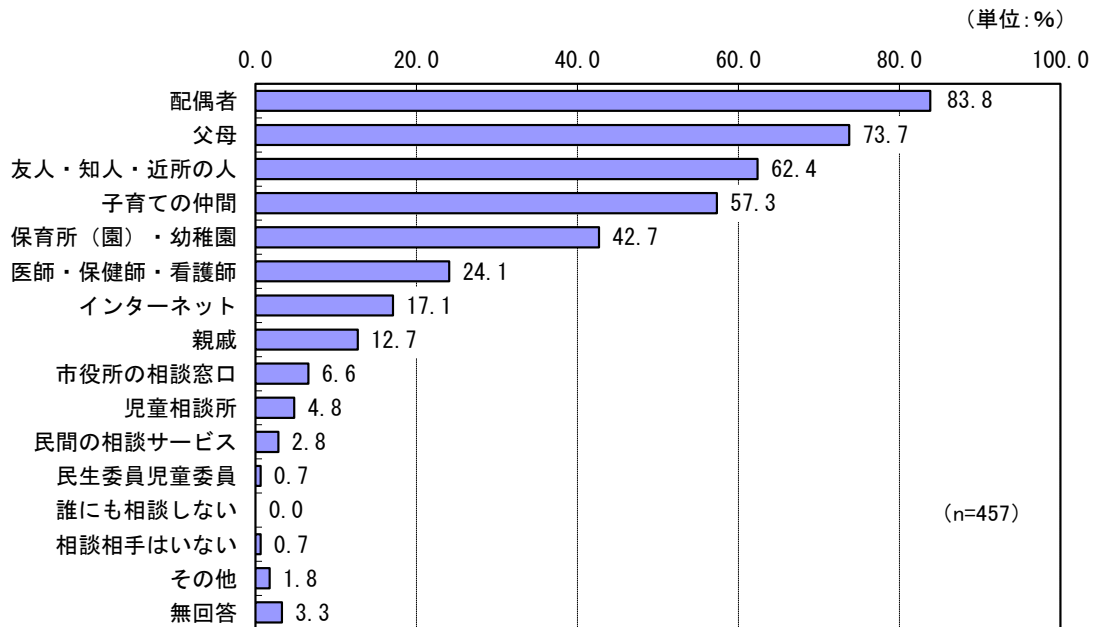
「自分の時間を十分に持てない」と「経済的な不安・負担」がともに40.3%、「育児疲れ」が33.7%と高い回答となっています。

次には「しつけがうまくいかない」が29.1%、「子どもとの接し方・意思疎通」が28.9%、「離乳食など子どもの食事や栄養」が24.9%など実際の子育ての課題があがっています。



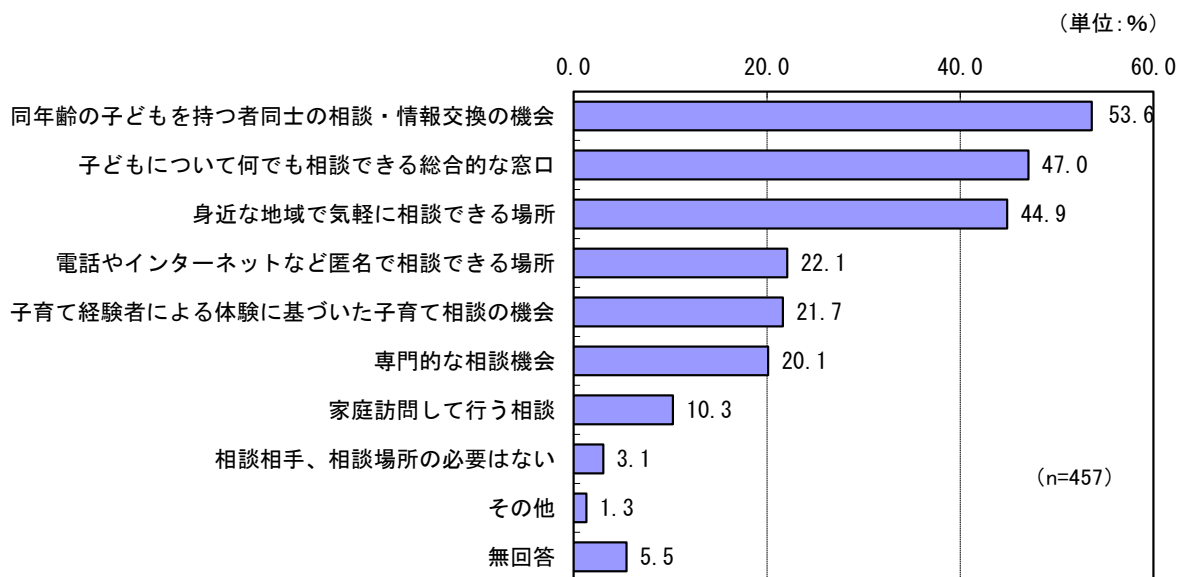
問 35 宛名のお子さんの子育てについての悩みや不安について、相談場所・相談相手はどのようなところですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「配偶者」が83.8%、「父母」が73.7%、「友人・知人・近所の人」が62.4%、「子育て中の仲間」が57.3%となっており、上位は家族と仲間が中心です。次は「保育所（園）・幼稚園」が42.7%となっています。



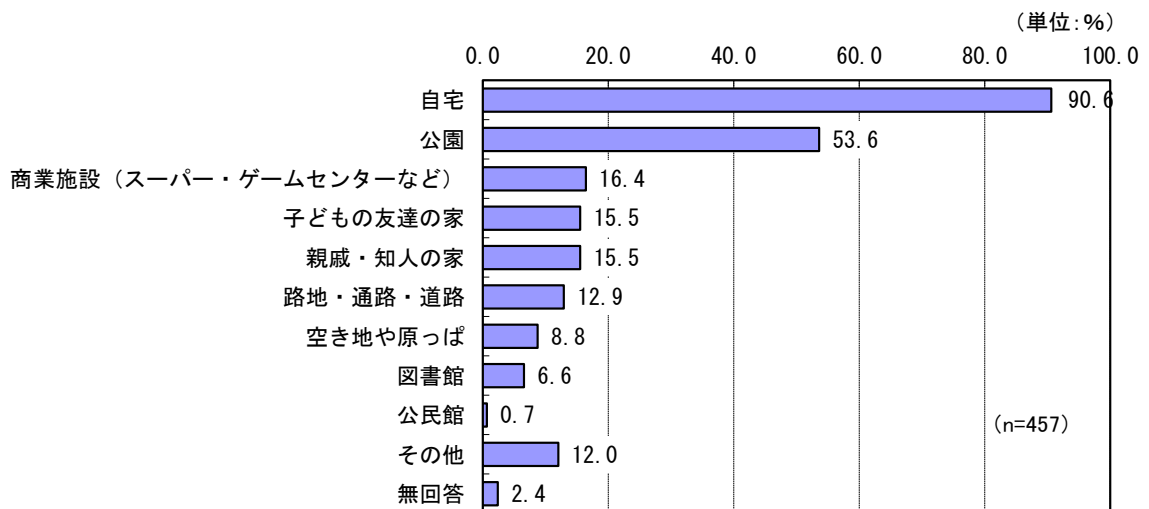
問 36 宛名のお子さんの子育てについて相談相手、相談場所として希望することは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「同年齢の子どもを持つ者同士の相互の相談・情報交換の機会」が53.6%、「子どもについて何でも相談できる総合的な窓口」が47.0%、「身近な地域で気軽に相談できる場所」が44.9%で、上位となっています。



問37 宛名のお子さんを平日どこで遊ばせることが多いですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

平日は、「自宅」が90.6%と大多数となっています。また、「公園」が53.6%です。

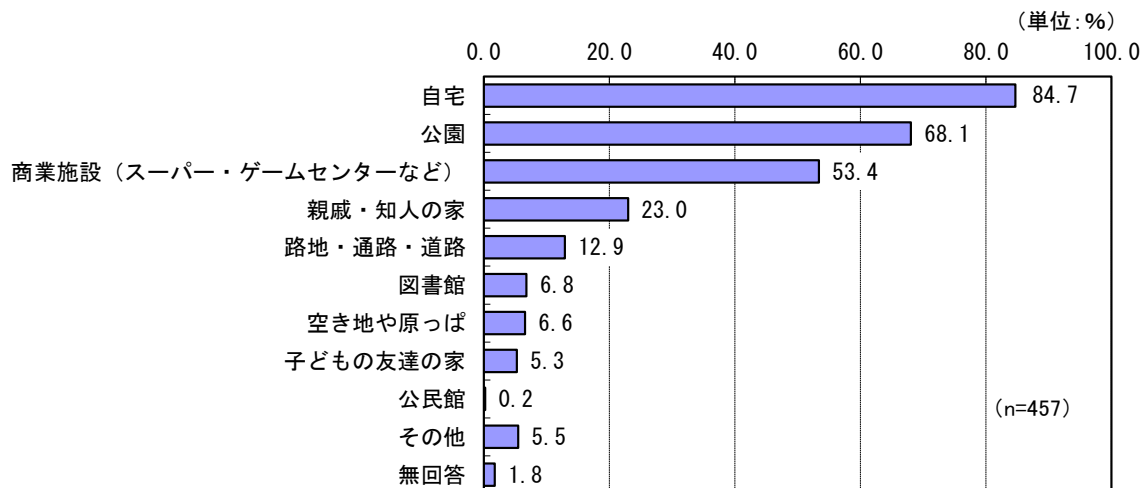


地区別では、「公園」は「十和地区」で77.6%と高く、「みらい平地区」でも64.1%の利用が見られます。「商業施設」は「三島地区」と「福岡地区」で33.3%となっています。また、「路地・通路・道路」は「谷井田地区」(32.1%)と「東地区」(30.0%)で高く、「親戚・知人の家」は「谷井田地区」(35.7%)が目立っています。

	自宅	路地・通路・道路	空き地や原っぱ	公園	子どもの友達の家	親戚・知人の家	公民館	図書館	商業施設(スーパー・ゲームセンターなど)	その他	無回答
全体	90.6	12.9	8.8	53.6	15.5	15.5	0.7	6.6	16.4	12.0	2.4
小張地区	92.9	10.7	3.6	46.4	3.6	17.9	0.0	3.6	7.1	10.7	3.6
豊地区	91.3	13.0	0.0	47.8	13.0	13.0	4.3	4.3	17.4	4.3	8.7
谷井田地区	89.3	32.1	14.3	35.7	17.9	35.7	0.0	14.3	21.4	7.1	0.0
三島地区	100.0	0.0	11.1	33.3	0.0	22.2	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
東地区	90.0	30.0	30.0	30.0	0.0	20.0	0.0	20.0	30.0	0.0	10.0
板橋地区	93.3	6.7	0.0	23.3	6.7	16.7	0.0	0.0	6.7	16.7	3.3
谷原地区	95.0	15.0	30.0	55.0	25.0	15.0	0.0	5.0	20.0	25.0	0.0
十和地区	100.0	22.2	0.0	77.8	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0
福岡地区	83.3	8.3	8.3	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3	8.3	8.3
小絹地区	90.3	9.7	6.5	51.6	17.7	11.3	0.0	9.7	17.7	12.9	0.0
みらい平地区	89.2	12.1	8.5	64.1	18.4	13.9	0.9	6.7	14.8	13.5	2.2

問38 宛名のお子さんを休日どこで遊ばせることが多いですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

休日は、「自宅」が84.7%、「公園」が68.1%、「商業施設（スーパー・ゲームセンターなど）」が53.4%です。

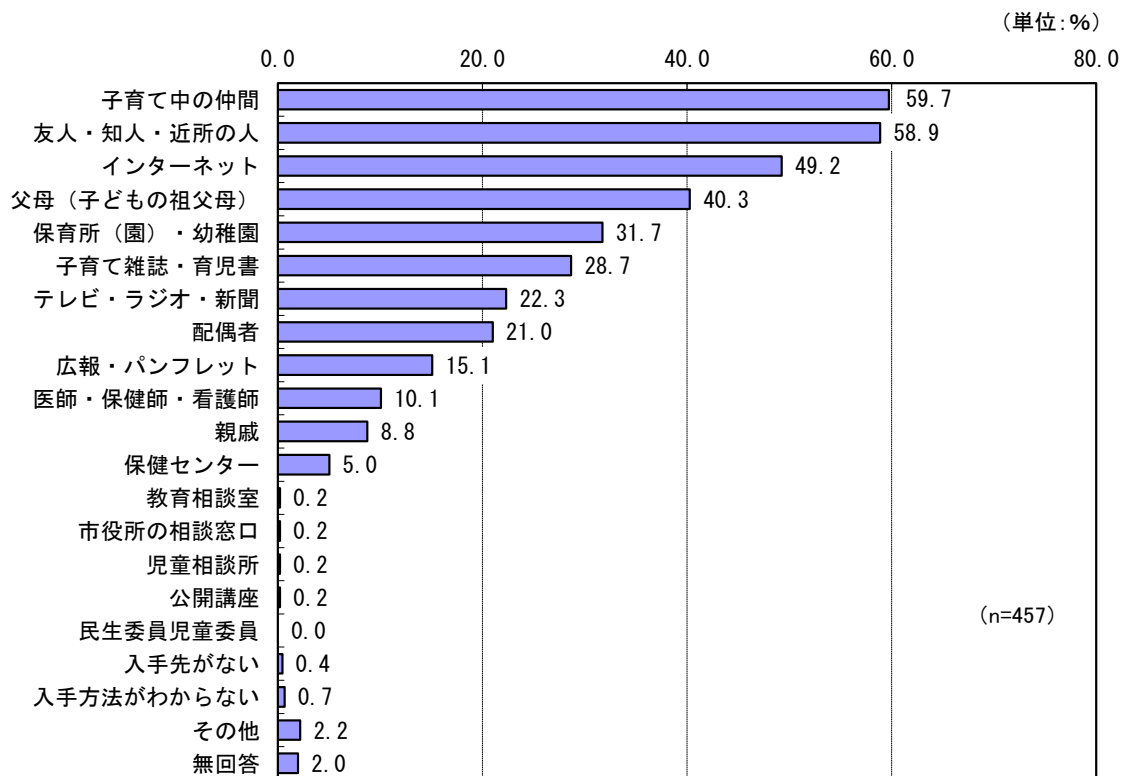


地区別では、「公園」は「十和地区」で88.9%、「みらい平地区」で73.1%などが目立っています。「商業施設」は「東地区」70.0%と高くなっています。「東地区」では「路地・通路・道路」と「空き地や原っぱ」が30.0%と他の地区より多くなっています。

	自宅	路地・通路・道路	空き地や原っぱ	公園	子どもの友達の家	親戚・知人の家	公民館	図書館	商業施設(スーパー・ゲームセンターなど)	その他	無回答
全体	84.7	12.9	6.6	68.1	5.3	23.0	0.2	6.8	53.4	5.5	1.8
小張地区	71.4	14.3	3.6	71.4	3.6	14.3	0.0	0.0	53.6	7.1	3.6
豊地区	78.3	8.7	0.0	65.2	4.3	30.4	4.3	17.4	47.8	0.0	4.3
谷井田地区	89.3	17.9	7.1	50.0	0.0	25.0	0.0	7.1	60.7	0.0	0.0
三島地区	88.9	11.1	11.1	55.6	11.1	22.2	0.0	11.1	66.7	0.0	0.0
東地区	60.0	30.0	30.0	50.0	0.0	20.0	0.0	30.0	70.0	10.0	10.0
板橋地区	83.3	13.3	0.0	46.7	6.7	23.3	0.0	10.0	53.3	6.7	3.3
谷原地区	95.0	10.0	25.0	70.0	20.0	20.0	0.0	5.0	65.0	5.0	0.0
十和地区	100.0	22.2	0.0	88.9	11.1	22.2	0.0	0.0	55.6	0.0	0.0
福岡地区	83.3	8.3	8.3	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	41.7	0.0	8.3
小絹地区	80.6	11.3	3.2	72.6	3.2	24.2	0.0	9.7	54.8	11.3	0.0
みらい平地区	87.0	12.1	6.3	73.1	4.5	23.3	0.0	4.9	51.1	5.4	1.3

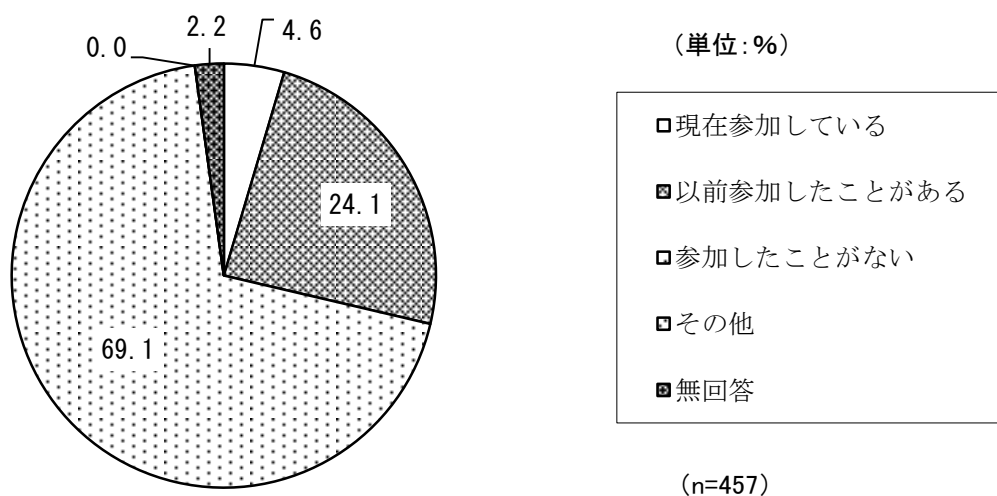
問 39 子育てに役立つ情報はどこから得ることが多いですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

役に立つ情報は、「子育て中の仲間」が59.7%、「友人・知人・近所の人」が58.9%で、半数を超え高い回答が見られます。また、「インターネット」が49.2%と利用されており、「父母（子どもの祖父母）」が40.3%などとなっています。



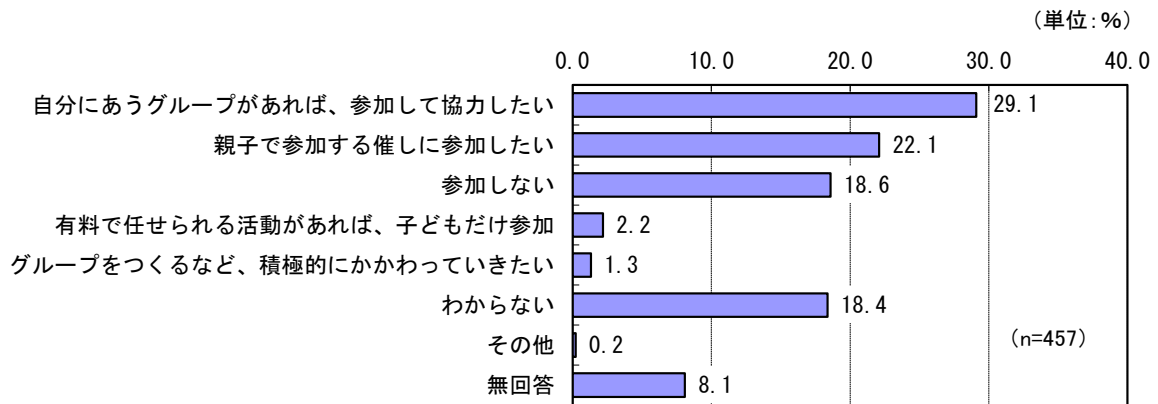
問 40 子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「現在参加している」は4.6%と少数です。「以前参加したことがある」は24.1%、「参加したことがない」が69.1%と7割を占めています。



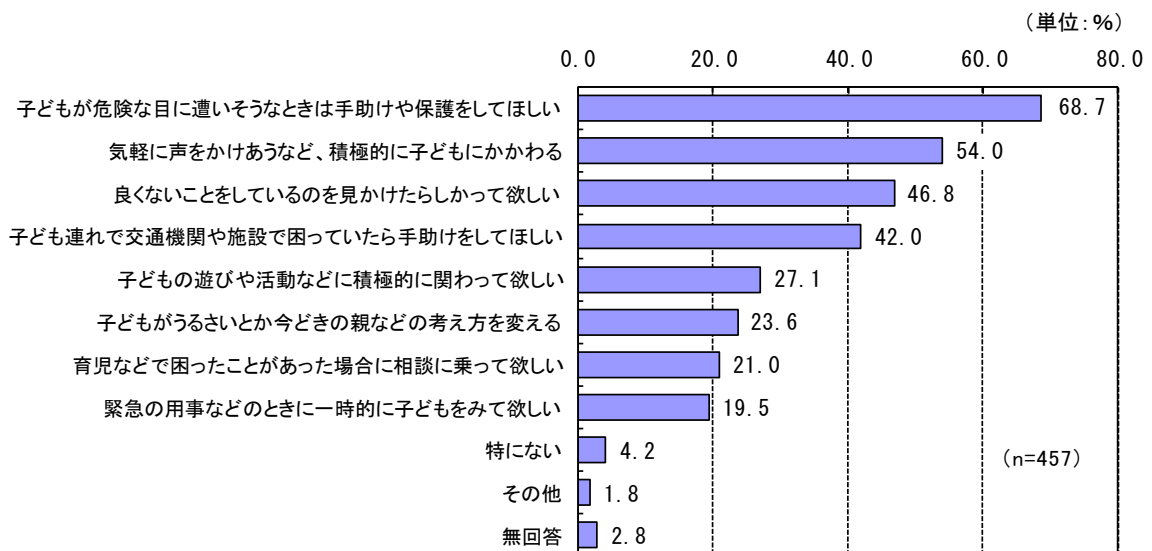
問41 今後、子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加するつもり（継続の場合も含む）はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「自分にあうグループがあれば、参加して協力したい」が29.1%、「親子で参加する催しに参加したい」が22.1%となっています。これに対し「参加しない」は18.6%です。



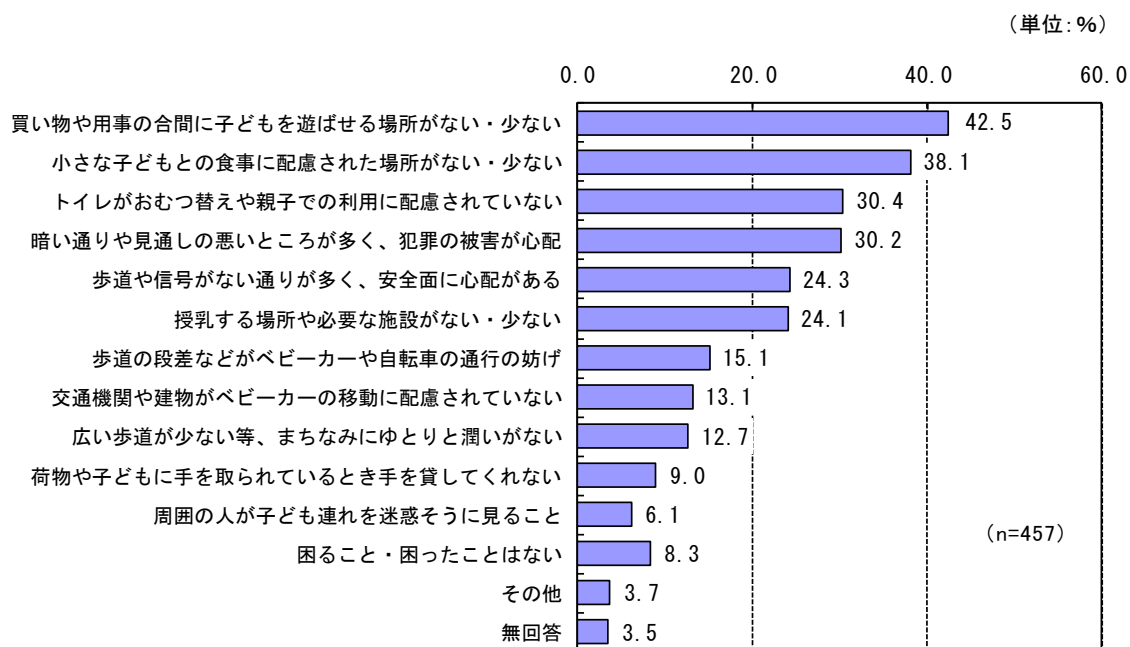
問42 子育てをする上で、地域全体にあなたが望むのはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもが危険な目に遭いそうなときは手助けや保護をして欲しい」が68.7%と最も多くなっています。第2位は「出会ったときに気軽に声をかけあうなど、積極的に子どもにかかわって欲しい」が54.0%、「子どもが良くないことをしているのを見かけたときは、積極的にしかって欲しい」が46.8%です。



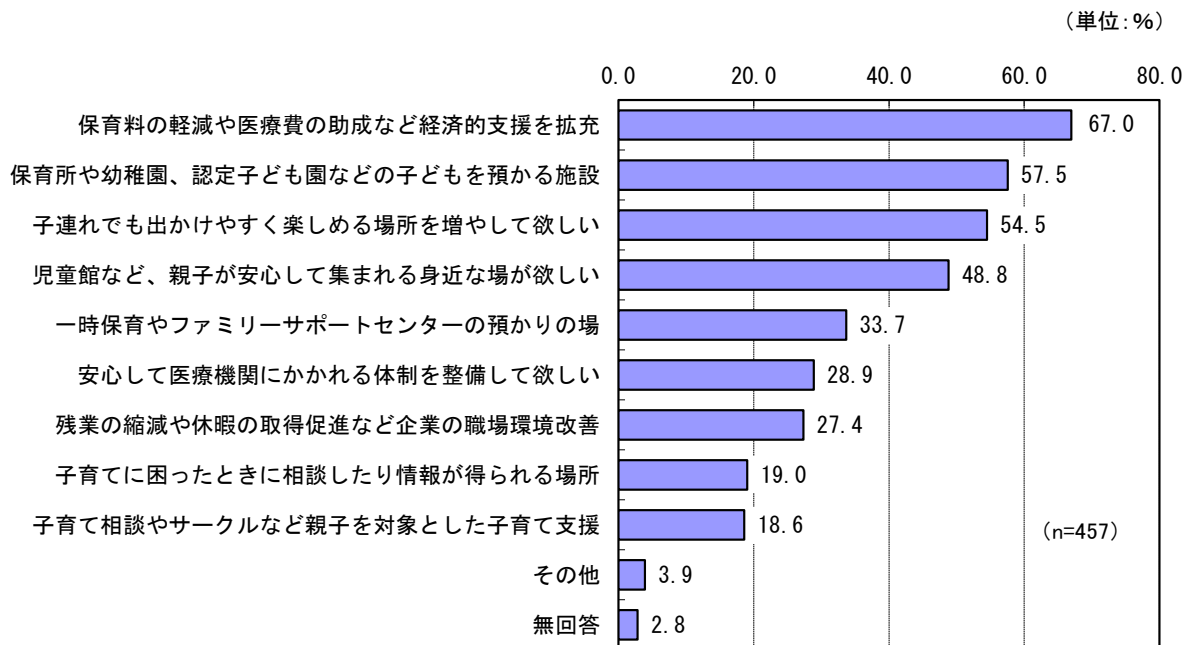
問43 子どもと外出するときに、困ること・困ったことは何ですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない・少ない」が42.5%、「小さな子どもとの食事に配慮された場所がない・少ない」が38.1%、「トイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」が30.4%、「暗い通りや見通しの悪いところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配」が30.2%などとなっています。



問 44 少子化対策として行政はどのような施策に力を入れるべきと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「保育料の軽減や医療費の助成など経済的支援を拡充して欲しい」が67.0%、「保育所や幼稚園、認定子ども園などの子どもを預かる施設を増やして欲しい」が57.5%、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」が54.5%、「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場が欲しい」が48.8%で、これらの回答が多く見られます。



問 45 自由意見

自由意見としては、以下のとおり回答がよせられています。

教育・保育

- ・3月に転居することになりこちらの自治体へ転入するためいろいろ調べた際、公立幼稚園には入園できないことがわかり困りました。幸い常総市の私立園でバス通園できるようになりましたが経済的負担は感じています。転勤の多い職業だと必ずしも希望通りの生活環境を得ることが難しいものですができれば就学の事を考えると市内で生活の大部分のことが済ませられると助かります。
- ・いつでも希望すれば入れる保育所の充実を希望します。子供をもっと産みたいと思っても保育所に入れない不安が先行して後ろ向きになります。また、働き市税を収めているにもかかわらず幼稚園児の方が優遇されている（バスがあり学費が安すぎる）ことにも不満があります。なぜ保育所の子は遠足のバスも有料なのでしょう？一方で幼稚園児はバス・給食を含んで9000円とは納得できません。
- ・いつも希望の時期に保育所に入所できず、待機児童となる。保育所の数を増やす、または収容人数を多くするなど、保育環境を充実して頂かないと、安心して子供を産めない。少子化対策にもっと力を入れて欲しい。
- ・つくばみらい市は人口増加し子どもも働く夫婦も増加しているのに入所できる保育所がなく認可外に入所させました。とても高く預けるのも大変な現状です。早く（10月）から入所希望をつのっても入れない子が多いのはとても重要な問題だと思います。
- ・まだ入園などしていませんが待機児童などがいないようにしてもらえると助かります。
- ・みらい平地域の子育て施設ばかりが新設され、自宅の近くで利用出来る所が少ない。保育園等も全てみらい平地域なので通勤を考えると働く地域が限られてしまい、育休取得後の復帰が難しく退職を考えてしまう。早朝や延長料金を支払うほど給料がないのに利用するしか働く方法がない。保育料が他地域より高い。
- ・みらい平地区は、数年前から急激に人口、子供の数が増えているのに、幼稚園の数が間に合っていない。小学校も同じようだ。先日も一番近い公立の幼稚園の入学希望者が定員オーバーで抽選になった。2分の1が抽選にはずれた。すごく嫌

- な思いをした。その後、あちこち探し、守谷市の私立幼稚園になった。妊娠中でもあって、子供を連れての幼稚園探しはきつかった。
- ・みらい平地区への幼稚園の設置。
 - ・もう少し保育施設を大きく作って受け入れ人数を増やしてほしいです。小学校に関しても、もっと大きく建設してもらえたら助かるのですが。つくばみらい市には児童館がないので作ってほしい。児童クラブの受け入れ人数も増やしてほしいです。女性が仕事復帰しやすいよう、配慮してほしいと思います。
 - ・駅近くに保育園 or 幼稚園を作って利用したい。
 - ・希望する子供が全員公立の幼稚園に入れるようにしてほしい。
 - ・希望する保育所に入れる、または送迎を充実させ車がなくても生活できるように配慮してほしい。
 - ・教育の面を充実させた保育所などを増やしてほしい。遅い時間まで預かってくれる幼稚園を増やしてほしい。習い事の施設を市内に増やしてほしい。（スイミング、音楽、習字など）室内で自由に遊ばせられる施設をつくってほしい（低年齢の子向けなど）。
 - ・教師、保育士の研修制度を充実させてほしい。他の地域との合同ワークショップなどを行うことでつくばみらい市の外から良い所を取り入れてほしい。最前線の教師、保育士の負担を減らしてほしい。
 - ・現在みらい平地区などにおいて急激な人口の増加(子供の増加) にもかかわらずつくばみらい市においては対応がきれていないと感じます。小・中学校のみならず、幼稚園、保育園などはかなりの問題があると思います。私の家庭では現在1年以上、保育園の待機児童中です。今後についてもあまり希望はあるとは思えません。近隣の守谷市などでは保育所入所の回答が12月頃にはくる、またその都度毎日市の方から連絡があるなど、また保育園入所の選考基準も一部公開していたりなど、対応が早く情報も公開しているのに、とにかくつくばみらい市は田舎で行政も何もまだ追いついていない、住むのに決して住みやすいとは言えないということはたしかです。
 - ・現在保育園に通っていますが2人目も希望ですがせっかく慣れた保育園を退所させるのはかわいそうだと思ってしまいなかなか踏み切れません。育休中は1年間は退所せずに済んだらもっと子どもも増えたりするのではないかと思ったり幼稚園でも延長があれば働く人にとっては子育てしやすい環境になると思っています。みらい平の方は発展しますが旧伊奈地域はまだ働くママにとっては厳しい事もあります。
 - ・公立（市立）幼稚園の入園ができない。増やしてほしい。なかなか入れないのに私立の補助金は少ない。少しは市にも負担してもらえれば助かる。つくばみらい市は幼稚園、保育園共に少ない。みらい平ばかり作らずに、谷和原地区小絹地区にも増やしてほしい。
 - ・公立の幼稚園は抽選で入れるだけで毎月の園費が安く、バス代が無料なのは納得できない。抽選にはずれたから私立に仕方なく通わせていてもほとんどの補助もなくありえない。差がありすぎる。バス代がなんで無料なのか理由がわかりません。小学校と違って義務教育ではないので親などが送迎する有料ににすべき。同じ税金を払っていて全くその恩恵がないのが同じ市民として不思議です。また陽光台地区の小学生の自転車マナーが悪すぎです。そういう点の指導は子育ての環境以前に教え整えるべきではないですか。
 - ・公立保育園、幼稚園を増やしてほしい。みらい平の人口が増加しているためその周辺に公園や小学校建設しているが福岡地区など既存の地区の環境をもっと整えてほしい。歩道もない公園も近くにない。子供が集まる場所を作ってほしい。子供がいるかない分からない状況なので。
 - ・公立幼稚園が少ないのに入園希望者が多く抽選になっている事実があるので早急に公立幼稚園を増やしてほしい。とくにみらい平地区に増設してほしい。一時保育の定員が少なすぎてなかなか一時保育の予約が取れない。
 - ・公立幼稚園の預かり保育の実施。公立幼稚園にもれた人が私立の幼稚園に行かなければならない場合の金銭負担を考えて欲しい。守谷の様に補助金や児童館、ゆめっこ等充実させてほしい。みらい平ばかりにお金つかわないで。
 - ・公立幼稚園をみらい平地区に造ったらどうでしょうか？谷和原のみわかくさのみしか選択できない地区にしたらみらい平地区の方が不公平に感じる。
 - ・今妊娠中で出産後育児休暇取得後に上の子と同じ保育所に入所させたいと考えています。みらい平地区の人口増加を考えると保育所に入れるかどうか不安です。保育所が別々になってしまうと仕事に影響が出てしまう可能性があります。保育所の預かり時間の延長や保育所の増設を希望しています。
 - ・昨日次男のこども園入園の「不承諾通知」が届き大変困っています。あずけなければ働けないし働かなければ長男もあずけられない。どの会社も3年ほど育休がとれたら良いですね。3才になれば入園できるところも（人数）増えますもんね。どんどん新しいマンション、アパートが建っていますが保育所も学校も間に合わず心配です。
 - ・産後の再就職の際に時間（保育所）がきまつるので苦労した。選べる仕事が少なくなった。出産前後の自宅でも十分時間があるのでスキルUPの時間に使える様な社会環境があればもっとよい。（講座や宅建e t c）急な病気で早退、休みを出すことがつらい。またか、と思われ休むたびおわび品（ビールやおかし1日当1万円分位）を買って謝罪する事が続いている。

- ・子供が安心、安全に暮らせるような社会をつくり少子化対策の予算を充実させてほしいです。災害などの緊急時でも、子供が安心して生活できるよう、学校、幼稚園、保育所等へ予算をかけて、新しくしてほしいです。
- ・市内の人口が増えているのに教育機関が少なすぎる。新小学校も規模が小さい。幼稚園にも安心して入れないのはおかしいと思う。幼稚園も増やすべき。
- ・市内の幼稚園が足りない。長子は、市内の幼稚園に入れず、仕方なく守谷まで通わせている。公立と私立では費用もちがいすぎるし、希望する人が入れるだけの公立幼稚園が必要。来年第2子を出産予定だが、幼稚園の事が一番不安。保育園ばかりでなく、ぜひ公立幼稚園を増やしてほしい。
- ・市立の幼稚園があるのは有難いが、保育時間が短い。夏季保育、延長保育があると大変助かる。
- ・私はもうすぐ夫とは離婚します。今は調停中です。つくばではシングルマザーなどはすぐに保育園（無料）で入れると聞きました。つくばみらい市ではそうゆうのは無く、2歳のむすめもいるので働けません。親と暮らしているので保育料も高くなると聞きました。今は働きたくても働けません。子供が夫に取られそうです。子供を安くあずかってくれる所があると本当に助かるのですが宜しくをお願いします。
- ・私立（公立）の幼稚園の増設。時間の延長。時代にあった、施設の改築（洋式トイレなど）。
- ・住宅が急激に増えているにも関わらず、保育施設が増えず待機児童が増えていることに不満を感じる。みらい平地区には住民が増えることが予想されていたのに、なぜ保育所・幼稚園等の施設への対応はすぐできなかったのか。小学校・中学校も足りずに他地区へ通わせるのは目に見えている。このことでふり回されている子ども達がかわいそう。対応を早急にしてほしい。
- ・上の子（現3歳）は、1歳になってすぐに保育所（市認可）に預けましたが、先生と合わずに、とても苦勞しました。今は楽しく保育所に行っていますが、言葉のわかる2歳6ヶ月くらいまでは、家でみてあげたかったと後悔しています。オムツ替えも、教室の真ん中でされたり、何かと不信感をいただくことがありました。
- ・上の子の幼稚園入園の際、入れるか入れないかという不安が大きかった。人口増加にともない保育園だけでなく幼稚園も増やしてほしいと思った。
- ・職場が遠く、通勤に時間がかかるので、預って頂ける時間を19時から20時まで延長してもらえたらありがたいです。
- ・親が仕事をしていてもしてなくても、預かり保育や学童保育を利用できるようにしてほしい。子供の医療費（18才まで）を無料に。学童保育を小学校の教室で行ってほしい（小絹小、空き教室が出ているはず。児童館は児童公民館にすればいい）。
- ・人を集める取り組み（戸建、マンション建設の誘致）に合わせて、保育、教育施設の充実を図って欲しい。現在は施設が間に合っておらず、待機児童数、遠方への通学が問題だと思う（現状、我が家も待機児童です）。早急な対応を望みます。
- ・待機児童を早急になくして欲しい。幼稚園を増やして欲しい。
- ・谷和原第2保育所で行っている一時保育を、他の公立保育所でも行って欲しい。または、利用可能な人数を増やして欲しい（いつもいっぱい利用できません）。私立の保育所等のサービスは、費用が多くなるので利用しにくい。幼稚園、保育所をもっと増やして、市外に通う子や待機児童がなくなるようにしてほしいです。妊婦のマル福を産後1年くらいまで使えるようにしてほしい。授乳中は市販の薬がなかなか飲めないのが辛いです。
- ・低年齢児の保育料が高すぎる。また、保育施設も少なく、保育士の不足も心配である。財源の確保は難しいとは思いますが、思い切った投資をしないと少子化に歯止めがかからないと思う。
- ・土日など子供を預かってくれる場所がない。道路に歩道が無く子供が歩くのに危険。
- ・土日勤務のため（夜間～22：00までのサービス業です）、土日夜勤預かってくれる場所がほしい。緊急時の病院が遠い。近くに欲しい。病児保育を利用したい（早急にお願いしたい）。本屋、ファミリーレストラン、育児用品（服など）買える場所を市内に作ってほしい。ベビーシッター、緊急時に手頃な値段で見ると良い。みらい平地区に子育て支援センターほか子育て施設が充実するとよい。
- ・働く親（働かなければならない状況）は多くなる一方だと思います。しかし、実際は入所待ちのまま半年待ちです。新しい学校を作るとか、支援サービスもわかりますが、保育所を充実させてほしいです。我が子は託児所にお世話になっていますが、認可してほしいと市に訴えても、何年もダメで。先生方は必死です。保護者も同じ思いです。市は何を？子育てするママにとって、弱者に厳しい市の対応だと思っています。
- ・保育園など早くふやしてほしい。
- ・保育園の延長保育が少し高いと感じます。駅近くに児童館等があれば便利と思います。子供の予防接種、健診等の補助がもう少し手厚くなれば良いと思います。
- ・保育園ばかり増やすのではなく幼稚園も増やして欲しい。公立の幼稚園に抽選で入れないのは不公平な気がするので民間の幼稚園に移行する事なども考えてほしい。
- ・保育園は会社に行く前に預けられるのですが、小学生になると、子供より先に家を出なくてはならなくなってしまうので、何か対策を取って頂きたいです。

- ・保育園や幼稚園、特に幼稚園が小張地区にはありません。働けるようにならないと保育園には入れない入園待ちの人がたくさんいる。どちらも施設を増やして欲しいです。幼稚園に入りたくても、クジ引きで入れない場合があると聞きました。どうにかして下さい。
- ・保育園入所の基準を国もしくは県単位で統一しきちんと公開してほしい。保育園に入所できなかった理由が通勤距離と言われ他の市町村ではそのような理由では入所できないということはないという意見が多く聞かれたので。つくばみらい市に関してはとてもあいまいだと思う。せめて判断時の点数などはきちんと事前に知らせてほしい。
- ・保育園入所の審査基準があいまいで公平性にかけているように思うのもっとわかりやすい基準を公開してほしい。駅周辺に住んでいるが子供の検診など市役所付近で行われるので車でないと行くことができない。もっと駅付近の環境を充実させてほしい。
- ・保育所（公立）の場合、移動があり、保育士さんがころころ代わるができれば代わらず、小さい頃から知っている環境であってほしい。アレルギー対応に関しては除去をして頂き保護者の負担なく安全に提供して頂き、本当に感謝しています。今後もアレルギー対応を今まで通り続けてほしいと願っています。保育における補助金削減で行事等が縮小していくのはとても残念です。子供の未来の為に保育所の施設・行事等を充実させてほしい。
- ・保育所が一杯で入所困難。予防接種等の助成が少ない。
- ・保育所は増設されるようで安心していますが子供が小学校へ上がった時の放課後保育の充実を期待しています。
- ・保育所新設されるようですが、それでも足りていないのではないのでしょうか。小学校も数年後足りないことが分かっているようなので、そちらもあわせて保育（学童）施設、教育施設への対応を早めをお願いしたいです。
- ・保育料が高い。市役所こども福祉課の対応が雑、やはりお役所と言われても仕方がない対応。もっと親身になってほしい。目が合うと忙しそうにして、受付してくれない。特に年配の方。
- ・保育料の見直しをぜひお願いしたい！
- ・幼稚園・保育園施設を増やしていただきたい。
- ・幼稚園が抽選ときいて今から不安です。子供の将来を考えると家から近い幼稚園に通わせ、家から近い友達ができたなら大人になっても地元感があってよいと思います。ぜひ幼稚園をふやして頂きたいです。
- ・幼稚園に入園する際の抽選を早く改善してほしい。今後、家族を増やしたいが、不安要素の1つになっている。現に抽選に外れてしまい、幼稚園探しに大変苦労しているという話を聞いているため。
- ・幼稚園の保育料が高く、来年度から2人私立の幼稚園に通わせる予定ですが、すごく大変です。保育料の軽減をして欲しい。マル福で以前はお金が返ってきたのに返って来なくなってしまったのでまた戻って欲しい。どうして、つくばみらい市は、インフルエンザの予防接種の助成金がないのか？地元の子供達が地元の幼稚園に通えないのが納得いかない。子育てする環境がすごく悪いと思います。
- ・幼稚園や小学校の受け入れ児童の数が子どもの数に対してとても少なく感じる。今後自分の子供が近くの幼稚園や小学校に通えるのか心配。
- ・幼稚園や保育所など、市外の施設に通わなくても大丈夫のように子供の数に応じて募集人数を増やしたり、施設を増やすなどの対応をしていただきたい。子供の数が確実に増えているのだから早急な対応をお願いしたい。アンケートを取ったら、その結果を開示していただきたい。小学校のアンケート結果は？そして決定は？
- ・幼稚園をもっと増やして欲しい。また家族で楽しめる場所（モール・ショッピング）も増やして欲しい。
- ・幼稚園を増やしてほしい。公園がイマイチ。アスレチックのある公園が身近にほしい。
- ・幼稚園を増やして欲しいと思います。子供とゆっくり過ごせる場所が欲しいです（飲食可能な）。
- ・隣の市は子育て支援がどんどん充実し医療費などの助成も進んでいく中、このつくばみらい市は新しく移り住んでくる人（若い家族）が増えているにもかかわらず全く子育ての事業が発展されていません。公園だけ増やして何になるのか。保育園増えても全く足りていない。もっと街全体が活性化しなければならぬと思います。みらい平駅周辺ももう少しファミリー層に合ったレストランやファーストフード店を出したり気軽に入れる（親子で）店を出店するなど環境を充実させるべきだと思います。特に医療費は今無料の所が多い中¥600は高すぎだと思います。

保健・医療

- ・医療費の助成（今の時期インフルエンザワクチン接種）が他の市はあるがつくばみらい市はなかったので今後良くしてもらいたい。子供の預かりの施設など情報があまりわからない。（引越してきたばかりなので）広報などでのせて欲しい。保育所などの入園方法なども細かくわからないので教えてほしい。
- ・近くの市に比べると医療の助成が遅れてると感じます。例えばインフルエンザの子供の助成。少子化は長い目で見て問題なので、子供をたくさん持っても不安でないような対策をきちんと考えて欲しい（経済面でも）。
- ・昨年つくばみらい市に引越してきて、今年初めての市内の医療機関でインフルエンザワクチンを受けました。子供は助成金がない事を知り、びっくりしました（以前住んでいたところは助成金が出たので）。毎年の事なので、助成金があると、うれしいです。

- ・子供の医療費負担をなくしてほしい。児童館など集まれる場所を増やしてほしい。
- ・子供の先の事を不安にさせないような行政の（幼稚園や小学校、どこに入れるのか）はっきりした方針を見せて下さい。
- ・子供の預かっただけの所、保育所認定子ども園等、待機待ちゼロをつくばみらい市目指して欲しいです。仕事をしたくても出来ない人が多くいると聞きます。宜しくお願い致します。
- ・小児科の救急病院が市外にしかないのが大変不便である。私立幼稚園でも時間外（延長）保育の導入を希望。
- ・精神科に通院しながら日中一人で子育てしているが、カウンセリング料も高く予約制なので困ったときすぐ受診できない。市の子育て支援の一つとして「ママのかけこみ寺」のような安くてすぐ利用できる、心のケアの施設がほしい。または親が急に不調になる等のとき、すぐかけつけてくれるようなサービスがあるとありがたい（子供を少し見てもらうため）。
- ・他の市ではインフルエンザの予防時期助成されているが、みらい平では、助成がない為、接種2回の出費が子供が多ければ大変です。特にインフルエンザは毎年の事なので子供たちを守る為、考えてほしい。私としては、自宅で子供の子育てをしながら、収入ができれば助かります。働きたい気持ちはありますが、時間がうまくとれません。
- ・他の市と比べて予防接種などの助成が遅れている。子供の人口が増え続けるのに対して小学校や幼稚園などの問題がはっきりしていないので困る。
- ・他の市はインフルエンザの予防接種が市で無料にできたりしていますが、つくばみらい市はなぜない？あと、待機児童がたくさんいるのに、入れなかったら認可外の料金を少し負担するとかしないの？つくばみらい市に住んで良かったと思えるようにしてください。
- ・中学校卒業までの医療費助成。放射能汚染に関する講座。専門の先生の講話など。市が主導のものでも良いので、子育てサークルが欲しい。市が作ったママフレ？もう少し有効に活用して欲しい。掲示板サービスなど。今のままではPCサイトと情報が変わらない。
- ・つくばみらい市の子供の医療費負担額が高い（1回600円）と思います。もっと安くして頂けると助かります。
- ・現在市外の幼稚園に通ったり、一年待つなど、希望するのに市内の幼稚園に通えない子供がたくさんいます。早急に幼稚園の増設をお願いします。
- ・予防接種（インフルエンザ）の助成をしてほしい。
- ・予防接種の助成範囲を広げてほしい（インフルエンザなど注意のもの）。2歳未満の子供が週一などで集まって工作などできる未就園児保育的なものを市で行ってほしい。みらい平地区に幼稚園を増やして欲しい。または私立の幼稚園に通園する場合の補助金の制度をもうけてほしい。
- ・予防接種の無料化。給食の無料化。保育所、小学校による学童の充実化→給食あり。
- ・予防接種はすべて助成されてほしい。上の子の時は、はぶけるものをはぶきました。インフルエンザがまさに今、子供2回はきついです。公立の幼稚園は民間にならずにこのままであってほしい。私は私立でイヤな思いをしたので、公立でのびのびしている教育がよかったので、選択肢を減らさないでほしいです。
- ・マル福についてですが、子供の医療費600円を0円にしてほしいです。どこの県を見ても料金を払うのはつくばみらい市くらい。お願いします。保育所など子供を預ける場所を増やしてほしい。

各種子育てサービス

- ・1歳以上の子供が集まる機会を増やして欲しい。ひよこ広場はとても良いと思います。
- ・このアンケートでファミリーサポートセンターのことを知りました。もっと分かりやすく内容も細かく表示してほしいです。公立の保育所など開演時間を伸ばしてほしい。19時まででは仕事できません。
- ・つくば市の桜子育て支援センターのように土曜日にも保育士さんがいて自由に遊ばせられる施設がほしい。つくばみらい市は曜日や時間の制約があり気軽に行けない。
- ・ひよこ広場などに参加する際、他の兄弟を遊ばせる場（預かってもらえる場）が同じ建物内にあると参加しやすい。カスマやとりせんの近くに遊べる室内（有料可）がほしい。天候などで子供が遊べる場所が限られるので、もっとのびのびできる場があれば利用したい。生活しやすい街だと思うので（スーパー、病院などが近い、子供が多いなど）今後も期待します。
- ・ファミサポには登録したものの、子供を車に乗せることはできないと聞き、保育園のお迎えを頼んだりしたかったが結局一度も利用できていない。この地域では車は必需品なのだから、ファミサポをしてくれる人にチャイルドシートをかし出すとか、そういう制度を整えてほしい（もちろん損害保険なども）。じゃないと使えない。守谷市に比べて、病児、病後児保育、子育てサークル、予防接種の補助など全てが劣っている。みらい平を開発するのはいいが保育園増設なども後手後手。とても子育て世代にやさしい町とはいえない。
- ・まだまだ子育てしやすい環境とはいえないです。子育て支援センターに多い時は週3~4通っていますが、車で20分程かかるので遠いです。陽光台周辺駅前と比べると道の整備も悪く、子供にとって危ない場所もたくさんあります。人口のかたよりによる進学不安や、もともと地元に住んでいる市民の声をもっと聞くべきです。同じ市なのに子育てしやすい

- 場所とそうでない場所がわかれているのはおかしいです。小学校や幼稚園がたくさんあるのに本やノートを買える場所がない。
- ・やはり一番は親（母）が具合悪くて病院に行きたい時子連れではとてもキツイです。運転するのもやっとなのに。なので市内数か所に一時預かり出来る施設を作ってください。マルフクは義務教育中は（中3卒業まで）実施して欲しい。
 - ・以前、ひよこ広場に参加していた。（1人目の子で不安もあり、知らない土地だったのでママ友がほしかった）実際、参加して見ると体重測定をしてあとは自由。すでにママ友グループができており、保健士？たんとうの人たちは何もしてくれなかった。この広場は意味があるのでしょうか。それ以来2人目を出産し、また希望を持ち参加したがかわってなかった。友達をつくるどころかますます自信をなくし帰宅したこと、今でも忘れられずにいます。
 - ・以前、子育て支援に通ったことがあります。子どもと2人きりが多く（ほぼ毎日）家には息詰まるので支援室に行くようにしていました。しかし、先生とも顔見知りになると「お母さんはこうしたほうがいいよ」など、アドバイスだとは思いますが、当時の私にしてみたらその時必要な支援ではありませんでした。数回続き、通うのもやめました。子育て支援を仕事として働いていたこともあります。一番は、育児中の母親は本当に過敏だと思います。お母さん一人一人に合った支援に対応できることが理想かと思います。
 - ・一時保育ですが預かってくれる場所が少なすぎます。少ないが為にいっぱいになかなか予約とれないです。ここに引越して失敗したと思いました。一時保育してくれる場を増やしてください。守谷みたく4時間で¥2000のファミリーサポートはすごくいいと思います。
 - ・一時保育の場が谷和原幼稚園にしかないので利用しづらいです。みらい平地区にも作ってほしいです。自分が急に具合が悪くなった時にすぐ利用できる施設があればうれしいです。今はなんとかがまんしています。気軽に義母に頼めないの
 - ・学童の子供でいじめる子がいる。指導員の方にはもっとしっかり見て欲しい。近所に同い年の子供がいると情報共有が出来て嬉しいので一つの地区に児童館が必ずあると良い。みらい平地区にはバス通学や新しいコミュニティセンターなどうらやましい内容である。新住民ばかり優遇しないで他地区にも優しくして欲しい。
 - ・高い授業料ではなく、試しにやってみようかなという金額で英会話教室やリトミック教室など主催してほしい。みらい平地区でも赤ちゃんをつれて交流できる施設が早く完成してほしい。乳幼児のコミュニティやイベントなど、広報にのせるだけでなく、専用の冊子（保存版のようなもの）を作成してほしい（病院一覧などを含む）。転入者に対しての情報提供の場が少ない気がするので、駅や不動産会社などに情報誌などがあると助かります。
 - ・子育てサポートをもっと充実してほしい。近くに保育所はあるが月1回の支援サポートがなく行っても保育所の子たちが遊んでいて保育士の方に相談したくても全くできず子供と毎日二人でいるのももう少し話をしながらサポートしていただけたらうれしい。私は車がないのでバスを利用しなくてはいけないので遠くに行く事ができないのももう少し近くで遊べるのができたらうれしいです。
 - ・子育て支援センターが少ないし現在行っている所は午前のみ自由参加のため夕方頃まで自由参加できる所があるとうれすうです。また歩いても行ける公園があると便利なので小さな公園等気軽に遊べる場所を増やして頂けるとありがたいです。
 - ・子育て支援センターなど、みらい平周辺は充実していますが、はずれの方（藤代寄り側）からは遠く、便もよくありません。なるべく近くにあるとありがたいです。保育園で一時預りをして頂けると助かります。郵送遅くなりまして申し訳ありませんでした。
 - ・子育て支援室フラワーに参加しましたが、保育園の一室に多くの子供がいるような状況で、グループも固まっており、利用しにくい印象でした。隣市にあるような交流センター（支援センター）があれば、もっとのびのびと子供を遊ばせられると思います。また、みらい平地区の方は公園を充実させたりと子育て家庭に力を入れているようですが、谷和原地区の方も古い公園の整備など、もっと力を入れていただきたいです。ファミサポ等もどう利用するかわかりません。子供が2人いると簡単に外出もできず、家の中で毎日過ごす環境を少しでも楽にするため、子育てサービスをもっと発信していただけると助かります。
 - ・市の子育て支援センターの開放と同時に駐在スタッフの配置をして見える関係づくりからの安心感、居場所づくりをするのはいかがでしょうか。また、ここに行けば子育てに関わる全ての情報がわかる！という状況にしておく様々な悩みをかかえた保護者が安心して子育てに専念できると思います。そして、親子体操、救急法、リトミック等のプログラムを提供することで人が集まってくると思います。
 - ・児童センターなど交流の場を増やしてほしい。ママ同士が集まれるような、飲食店がもっと増えるといい。
 - ・守谷市で3歳まで子育てをした経験をふまえて、つくばみらい市は子育て支援センターがまったく充実していない（施設数、場所、内容）。公園がどこも古くさくて、子供がいない（小絹地区）。予防接種の助成、医療費の助成、どれも遅れていてびっくりした。児童館も何が行なわれているか、まず情報をどこで得ればいいのかさえわからない。とにかく親子参加型行事、子育て支援イベント内容が貧しいです。
 - ・守谷市とくらべると、毎日の支援センターの数が少ないので1ヶ所に多くの人が集まりすぎると、待機児童になった時の補助金などやってほしい。

- ・出産した際、児童館が市内に一つもない事におどろきました。子供が無理で集まって遊べる場所や一時保育等のサポートをもっと作って下さい。
- ・祖父母が近くに住んでおらずすぐに頼れる環境ではありません。子供が病気になることはしょっちゅうでそのたびに仕事を母親が休んでいる状況です。病児保育が出来る場所がないのはとても不満です。また、母親が体調不良でも毎日の子育てはあるため、なかなか思うように回復しないです。困った時に気軽に預けられるサポートがあるといいです。
- ・転勤族の方は、子供を一時預かる所があつてほしいと思っています。今後増えるようにして頂きたいです。
- ・働きながら子育てをしている身として行政の子育てサービスはありがたく感じています。子どもの熱やちょっとした感染症の回復期に利用出来る病児・病後児保育サービスを利用しやすくなる事を希望します。
- ・小学生になってからの放課後の子供の安全が心配です。19時くらいまで学童もしくは児童館で見てもらえる、もしくは助けを求めやすい場所が近所に増えることを望みます。

家庭支援

- ・アンケート調査により子供を育てていく中で今現在保護者の方々が不安に思っている事や希望している事など多数意見が出てくるはず。市として前向きに子育ての環境の整備をして下さい。
- ・うちは共働きながら父親が育児に積極的だったので出産前から私語とに復帰できる体制を整えていましたが、実際にはいくらイクメンでも0歳児の育児は基本的に母親でないと結局は子どもがガマンするしかない状態になります。難しいです。育休がとれ、生活の心配がなく復帰が容易である社会環境があることが理想的であると思います。男性の育児参加重要であるけれども効率的ではないと思いました。助成の職場環境を整えないと離職した方がよいと考える人は多いと思います。
- ・つくばみらい市は助成などがなっていない！
- ・わがままになってしまうとは思いますが、子育て世代に優しい制度を充実させて欲しい。2人以上兄弟がいる場合に、保育園が別々になってしまうと非常に辛い。育休中も保育先の確保のことばかり気にかかる。
- ・育児ははじめての方も多く不安や心配はつきものなので、経験者や先輩達のアドバイスや経験談はありがたいものです。そんな交流の場が気楽にあると心強いです。
- ・育児は母親がするという概念を減らすため父親を自覚させるようなセミナーがあるといいと思います。
- ・基本的には家庭で子育てをしたいと思うし、その方がよいと思うので、経済的な支援と子育てしやすい労働環境があるといい(子供が病気の時くらいは心おきなく休みをとれる等)。就労時間の短縮。保育料値下げ。水道料金等公共料金の値下げ。
- ・子育てにはとにかくお金がかかります。子供が健康に生活するために予防接種は全て受けていますが、大きな出費です。定期接種以外の助成があれば、接種率も上がるのではないかと思います。つくばみらい市は、比較的に子育てがし易い所だと感じています。ただ、大型の商業施設があまりないため、つくば市や守谷市までいつも行っています。今後人口が増えればできるかもしれませんが、誘致をお願いします。
- ・児童手当について所得制限なしにして欲しい。高い税金を払っているんだから手当てがないのはおかしいと思う。保育園等数を増やして欲しい。
- ・親である私達一人一人が要望ばかりではなく自主的に支援制度等を調べ参加し、生活し易い環境を作る事も大事のと思われます。ただし、最近の近隣との希薄になりがちな環境に自主性を失いがちになり、内にこもる傾向になるのも事実です。トラブルを避けたいあまりに消極的になり易い世代でもある私達も変わらなくてはいいませんが、参加を募るイベントが多いと地域に溶け込みやすいかと思います。住み易い市になるように私達も協力しながら作っていただけると願います。
- ・地域とのかかわりは新興住宅地ではうすれており子育て中の親(とくに母親)は孤立しがちです。守谷のようにもっと積極的な支援(経済的にも精神的にも)を行政がしてもらえると助かります。(ワクチンの費用助成とか)地域差があるのでそれをなくしてほしいです(子育て広場等の充実とか)。
- ・妊娠中パパママ教室に申し込んだが、定員がいっぱいで参加できなかった。すぐに定員がいっぱいになってしまうようなので、定員を増やすか、回数を増やして、多くの人が利用できるようにして欲しい。

社会基盤整備

- ・1~3オレベルの遊具が公園に少ない。また、公園の遊具数も「とりあえずある」感が否めない。結果楽しむという配慮に欠けているのでは?と思う。
- ・いばらぎには観光できる有名な場所が少なく、子どもと遊ぶのはほぼ公園、ゆうえんち等。
- ・こどもたちが安心、安全に過ごせる街づくりをお願いします。
- ・つくばみらい市の中でまだまだ子育てする環境の格差があるので市全体で環境の見直しをしてほしい。市内の中で道路がせまかったり歩道がなかったり公園が整備されてない地域が多数ある。
- ・つくばみらい市の筒戸地区には、児童が多くいるにも関わらず、通学路の整理がされてなく心配です。大きな公園もないので、至急整備して頂けたらと思います。みらい平地区との格差がありすぎるように感じます。

- ・みらい平の駅ができて、住宅が増え、若者や子供が増えるのを知っていたはずなのに、何事も中途半端で遅い！今ごろ子育て支援アンケートとか、学校設立に対するアンケートなど、遅いと思います。もっと先を見据えた支援をしてほしい。学校を作るのはお金がかかるのではないかとそれによって税金など高くなるのは困ります。後、小学校予定地もなぜあの場所か？危ないと思います。せまいし、危ないし、先のことを考えてほしい。
- ・みらい平の方面ばかりが色々と出来て他の地区にあまり子供をあそぼせる所や保育所が無く困っている人達が沢山いると思うので他の地区にも目を向けていただけると助かります。
- ・みらい平駅周辺に子供が自由に遊べる遊び場（児童館）などがあればいい。みらい平は他の県や地域から引っ越してくる人が多いので、私も含めママ友が居ない人が多い。小さい子が遊べる所も（公園）ぐらいしかないで作ってほしい。
- ・みらい平駅前にファミリーレストランを作ってほしい。中学校をみらい平地区にも作ってほしい。病児保育施設をふやしてほしい。
- ・みらい平駅付近は、公園がたくさんあるのに、旧地域には、公園がない。不公平だ。新しい所ばかり目をむけず、旧地域も見てほしい。
- ・みらい平地区にはちょっとしたカフェやファミレスがあるとママ友になった人と会いやすい。子連れで車に乗せて移動するのは思っていた以上に大変。徒歩で行けるところにほしい。一息つける場所が少なすぎる。手続きなど市役所の対応がもう少しじゅうなんに時間を気にせず手続きしたい。
- ・みらい平地区には飲食店（子どもと一緒に入れる）少ないため、体調不良時に外食に行くことができない。スーパーのお惣菜にも限りがあるし、ラーメン屋と居酒屋以外のファミリーレストランを作って欲しい。できればプレイルームがついていると、ママ友とのちょっとした食事にも使いやすい。
- ・みらい平地区に住んでいるので、少子化とは無縁の場所ではありますが、逆に、子供に対する設備がまだまだ不足しているように思います。また、せっかく作った公園に雑草がひどかったり、歩道の間から草が出てきてしまったりと、街を作った後のメンテナンスがゆき届かず、かえって残念な設備も少なくありません。児童館や小学校等を作っていますが、アンケートだけでなく、広く面前（口頭）で意見をできる場があると良いと思います。
- ・みらい平地区に図書館がないので是非つくって頂きたいです。病児保育の施設がないので是非つくって頂きたいです。
- ・みらい平地区ばかりに、公園や保育施設、道路の整備など集中している様に感じます。昔からある公園を見直して下さい。
- ・みらい平地区はスクールバスが無料ででているが、既存地区は実費。行政は公平に対応すべきでは？みらい平地区にコミュニティセンターを建設し図書館も作るようですが現在ある伊奈公舎隣の図書館にも既存地区の子は遠くても行っています。非常に差別を感じます。通学路もそうです。既存地区の歩道の整備、ガードレールの設置などみらい平地区の開発もいいですが既存地区の整備をお願いします。京都のような事故が起きてからでは遅すぎます。公平な地域住民のサービスが行政の役目だと思います。
- ・みらい平地区は交通の便が悪く、子育て支援室に行きたくても行けない（車なし）。0歳児の一時保育をしている施設がなく、平日は用事をこなすににくい。市役所等にも授乳室やオムツ替えの台の設置をしてほしい。保健センターへ育児相談や離乳食教室に行く場合、シャトルバスの数を増やしてほしい（タクシーで有料になることが多い）。保育園の数を増やして欲しい。
- ・みらい平方面だけでなく旧谷和原地区にも街灯、歩道、道路の整備（路片のひび割れ）白線、などの補修や設置。保育所に入れなく待機児童になった子供への対応（来期には優先度が上がる、認可外保育所への子供への補助）。
- ・もう少し気軽に親子が集まれる場所があるとうれしい。
- ・駅周辺だけでなく他の地区も街灯をつけるなど犯罪安全に配慮してほしい。児童館を作ってほしい。
- ・駅前のゲームセンターやパチンコ店は不良のたまり場となり、治安が悪くなる要因である。保育環境を整えることも必要だが、安心して、子供たちを地域で教育できる環境を整えてほしい。現状のままでは、中学校からはつくば市の私立に行かせようと思う。また、みらい平地区の新設の小学校の学力レベルも比較的、高いものを目指してほしい。
- ・下平柳に住んでいます。0才、2才の子がいます。近くの（歩いて行ける）農村公園は遊具がありません。みらい平方面は沢山きれいな公園、（施設）が出来ました。谷井田方面特に市のはずれに住んでいる人はその施設を十分利用できません。（遠いので）小さくていいんです。新しい公園など作って下さい。かたよりすぎです。こちらにも小さな子（赤ちゃんも）増えてきました。あと、学校へのバス通学も利用したいので本当遠いので考えて欲しいです。
- ・家の近くに砂利道があるので、ベビーカー移動の時にその道を通るのが大変で遠回りになるので整備してほしい。子育て支援センターなど、室内で安全に遊べる場所がほしい。公園に犬のフンがあるのをどうにかしてほしい。
- ・過疎化地域の通学用バスを運行してほしい。通学路（途中）に人家が少なく非常に不安です。一方でみらい平地区の葉通学用バスが有り不公平を感じます。不満です。
- ・教育（幼稚園や保育所）、医療機関が少なすぎます。子育てをしている者としては、安心して、子育てが出来るような環境を早急に作って頂きたいです。小学校周辺の道路がせまく、歩道も整備されていないのは、将来的にとっても不安に感じました。

- ・近くに公園がなく平日気軽に遊ばせる場所がありません。ぜひ、谷井田地区にも公園を検討いただけませんか。転入して数か月経ちましたが地域の子とのコミュニケーションもとれると思うのですが。また学校や商業施設が充実しているだけに歩道が途中でなくなってしまっている箇所が多いのが気になります。散歩がてらや、車を動かす程でもない距離なので買い物や銀行へベビーカーを押して向かうのにヒヤヒヤしながら行きます。
- ・近くに遊ばせる公園がない。みらい平にはたくさんあるのに地域での格差を感じる。待機児童ゼロになるよう対策をしてほしい。
- ・近年の環境の変化（夏の猛暑や大気汚染）を考慮した、子供が安全に活動できる施設や場所が必要になると思います。子供がのびのびと遊べる環境づくりに力を入れていただきたいです。小学1年生からの英語教育も早く開始していただきたいです。新しい中学校（みらい平）の建設も希望します。
- ・絹の台地区の公園に新しい遊具の設置をしてほしい。撤去されて数が減り、中には遊具が何もない公園まである。又、滑り台しかない所もある。新しく出来たみらい平地区だけではなく、昔からある公園も遊具の検討を是非していただきたい。子ども達も外で体を動かして遊ぶことの楽しさが分からなくなってしまう。
- ・現在、通園している保育園にはとても満足しています。みらい平駅付近には新しい公園等がたくさんできていますが、それ以外は昔のままです。子供が楽しく安全に遊べる環境（公園等）を作ってほしいです。
- ・公園に時計を設置してほしい（子供自身が、時計をみて行動するようになると思うため）。
- ・公園に遊具が少なすぎる。近くに図書館（子供が声を出してもいい）がほしい。児童館などへのバスを増やしてほしい。
- ・公園を増やして欲しい。
- ・最近公園にタバコの吸殻やビールの空き缶 e t c が捨てられていることが多いです。またプラスチックの割れたゴミも多く落ちておりうちの子は公園内でははだして遊ぶ事が多いのでけがをしないか心配です。たまにゴミがないか見回りして頂けるとありがたいです。
- ・子育て世代の家庭がたくさん増えたが、まだまだ、教育制度、教育施設、商業施設がすごく少ないと思います。もっと力を入れてもらいたいです。
- ・子供（就学前）を持つ母親達が気軽に子供を連れて集まれるカフェ的な施設がほしい。市内に本屋やレンタルビデオ屋を作ってほしい。
- ・子供が少ない地域でも、歩道の整備をして頂きたい。地域それぞれによってよい所があると思うので、商業施設や公園をバランスよく配置し、新たな若い世代の入居を子供が少ない地域でも積極的にすすめてほしい。
- ・事件、事故がおこる前にパトロール的に市などがしないや学校の近くを1日数回パトロールしてほしい。警察でもよいと思う。夕方など暗くなりかける頃は特に多くパトロールしてほしい。
- ・自宅から小学校までの距離が遠く一緒に通う友達も少ないので非常に心配です。今後はスクールバス等の検討もしてほしいです。
- ・室内でも親子で遊べる施設があるとよい。
- ・実家が東地区なので、将来的に移住も考えていますが、人口の多いみらい平地区との子育て環境の格差が心配です。こどもの少ない地区にも利用できる支援や機会をふやしてほしいです。特に公園等。
- ・車がないと公園くらいしか平日昼間行くところがない。図書館もシャトルバスではなかなか利用しにくいので、移動図書館など実施してもらえるとうれしい。みらい平地区に子どもは沢山いるが、支援センターがないので、あるとうれしい。
- ・車社会であることはわかっていますが1台しかない車は主人が通勤で使う為平日は車で出かけられません。行政サービスを利用したくてもできないのが残念です。
- ・車社会なのに歩道やガードレールがない道路も多く、かつ県南はスピード過多な地域なので本当に不安です。いつか亀山市の様な事故が起きてしまうのではないのでしょうか？保育所など施設の拡充はもちろん、地域の安全面など街全体で子育てのしやすい環境になっていけば良いと思います。旧街区とみらい平の差がありすぎるのも気になってしまいます。
- ・住宅街なので、外灯を多くして明るくしてほしい。
- ・小張地区には公園がなく、車を使って公園に行きますが、車をとめる場所がない公園ばかりでなかなか平日に連れて行けません。
- ・信号や一時停止やミラーがない場所での事故が多いので早く整備してほしいです。小学生までは放課後夏休み土、日、祝も行ける場所が（みてもらえる場所）や習い事の送り迎えをまとめてバスなどを出して行かせるなどしてほしいです。
- ・新しい住宅地以外は公園等が少ない。車通りの多い道路しかなく、気軽に散歩に行けない。結果、家に居る事が多くなる。
- ・多様な生活スタイルや考え方があっていいと思いますので、ハード面は集中と選択で、必要最低限を整え、ソフト面での充実を図り、多様なニーズに応えることで、子育てに魅力ある街として、人が集まるのではと思います。
- ・筒戸に全く公園がないので子どもを遊ばせることができないので児童公園でいいのでつくってほしい。小絹小は人数も多い筒戸方面からの通学路は歩道もなく危険。新しい小学校をつくるか通学路の整備をしてほしい。みらい平ばかりでなくこちらにも環境を整えて下さい。
- ・同じくらいの子供が集まって遊べる場所を増やしてほしい。

- ・板橋地区からみらい平駅に行く道を早く整備して欲しい。あぶなくて子供が歩けない。

就労・ライフワークバランス

- ・以前、就労していた職場では、正社員だったのに子供の病気等で休む事が多くなってしまい、パートに降格させられました。金銭面の事もありますが、しかたなくパートに。新しい職場でもまた迷惑をかけるのではとフルタイムで働く事をためらってしまいます。私と同じ様な方を増やさない為にも保育施設等を充実させてほしいと思います。そして、企業の支援も増えてくれるとうれしいです。
- ・育児休業の見直しや待機児童をなくすなど働きやすい環境を整えて欲しい。予防接種を無料で受けられるようにして欲しい（守谷ではつくばみらいで有料なのも無料だと聞いたので）。
- ・子育て休暇などが職場にあっても、状況により（繁忙期が）取れないことがほとんど、代わりの人はいない、仕事はやらないといけない）難しい。女性ならまだしも、男性が取ることは（職種によるかもしれないが）現実、簡単ではない雰囲気職場、社会にあるようだ。妻にのみ負担をかけていて、心苦しいが、社会が変わらないと少子化は続いていくと思う。
- ・子供がいるとなかなか働けないのが現状で、一番の不安はやっぱり経済的なものです。具体的には思いつきませんが、不安に思わなくても安心して子育てでできたらいいな一つて思います。
- ・私自身は職場もあり産休後、職場の方でも（土日仕事）の為、託児所と契約してくれたり色々としてくれましたが知人で仕事を持たず就職したいが保育所では仕事を持っている人が優先。これからさがす人にはちょっときびしいですね。やはりあずかってくれる所はさまらなければ仕事をさがせないと思います。
- ・女性でも、子供とずっといる事が良いとは思えない。仕事を持つ事で育児が新鮮に感じたり、子供との時間をもっと大切にしたりできると思う。私個人としては育児の環境が恵まれた方だと思うが、正直、出産前に仕事を辞めたくなかった。2人ぐらい子供が欲しいので辞めてしまったが、子供とずっと一緒に自分の時間がないので、子供が小さいうちは自分を犠牲にするしかないときらめた。

その他

- ・アンケートの内容が長く、わかりづらい。
- ・このアンケートがマークシートなら、集計もすぐ出来て無駄な集計のための人件費も教育や子育て支援に回せるのではないかと思います。過去いろいろなサービスを希望した時（一時保育、サポーター、市立保育所）全てダメだったので子育て（特に小さい時）は孤立無援だと泣いてました。せめてこれからの人達の為に自分も支援する側になり、一緒に子育て出来る環境にしていきたいと思いました。
- ・このアンケートの結果が早い段階で子育て支援事業に反映され、ここに住んでいて良かったと思えるようになってくれれば良いと思います。
- ・この様なアンケートを集計するよりも、義務教育にかかる施設面等の充実を早急に解決すべきである。
- ・もともとみらい平にいた訳ではないので、この地区の学校事情が全く分からなくて不安、ふつうは小学校が近所にあるが、今はスクールバス通学なので学校の様子も、学校名さえも分からない。他の市町村では、地域に開かれた学校づくりのため、子育て世帯だけでなく全ての家に学校通信を配っているところもある。この調査も、子どもがいる家庭だけで行っているなら、全く無意味なのではないか？
- ・義務教育にかかる費用等免除してもらえると助かります。
- ・広報は読んでいますが、まだまだ知らない市のサービスや制度があれば利用したいし、知りたいので、載せて欲しいです。つくばみらい市が、より子育てしやすい環境になります様、今後共、宜しくお願い致します。
- ・江戸川区は子育て支援に力がいっています。参考にしてみてはいかがでしょうか。公立の幼稚園を増やしてほしいです。金銭的な補助がもっとほしいです。
- ・行政の方が、子育て少子化対策に力を入れている市町村（区）などを見学したり勉強されると良いと思います。そこで学んだ事などを市民に報告したり提案したり、取り入れられる物は取りいれたいし、良いのではないのでしょうか。
- ・子どもにとって最も大切なのは親の愛情。スキンシップや語りかけを親が積極的におこない保育園任せにしないことが大切。環境が許すなら3歳までは親が育てるのが望ましいと思う。私は1才6ヶ月で職場復帰予定。本当は一緒にいてあげたい。3歳までに親からどれだけの深い愛情や触れ合い、語りかけを得たかどうかで、子どもの一生が変わってくると思う。3才の育休があたり前の日本となりますように。
- ・子供が多くなっているのに対応が遅いと思います。
- ・市で運営しているサークル活動を、大人だけでなく、もっと子供用のサークルも充実させて欲しい。例えば2才〜できる体操教室や英会話、学習教室や絵画教室、ピアノ教室等々。小学校にあがる前の幼児が習える教室があれば助かる。
- ・質問がわかりづらいです。
- ・小学校に通うのにバスに乗って行かなくちゃならないような事はなくなれば良いと思います。
- ・小学校の建築がおくれないようにがんばってほしいです。

- ・少子化をなんとかしないと近い将来日本人がいなくなってしまう。ということをどれくらいの人が真剣に考えているのだろうか（100年後には他民族になっているかも）。経済的な面でもっとサポートしてもらいたいです。3人目からは高校まで無償化するとか。経済的に余裕がなく、子供を作らない人はかなり多いはず。
- ・障害のある子供もそうでない子供も一緒に教育をうけられる環境になると良いと思います。小さな頃から障害児とふれ合うことで障害者に対する偏見がなくなると思います。（親も含めて）それにとまって、街のあらゆる施設や環境が健常者目線ではなくハンディのある方目線のつくりが変わっていけば本当に日本は素敵な国になると思います。そのためにまずつくばみらい市が日本一の福祉都市を目指してほしいと願います。
- ・障害者のしおりに明記してあるも実施していない項目について早急に対応してほしいです。どのように育てていく方法があるのか障害児についての保育にくわしい方がつくばみらい市に多数いてもらえるととても助かります。
- ・税金や医療面など子育てに優しい町作りをしてもらいたい。
- ・問44は愚問だ。社会保障の充実しか考えられない。

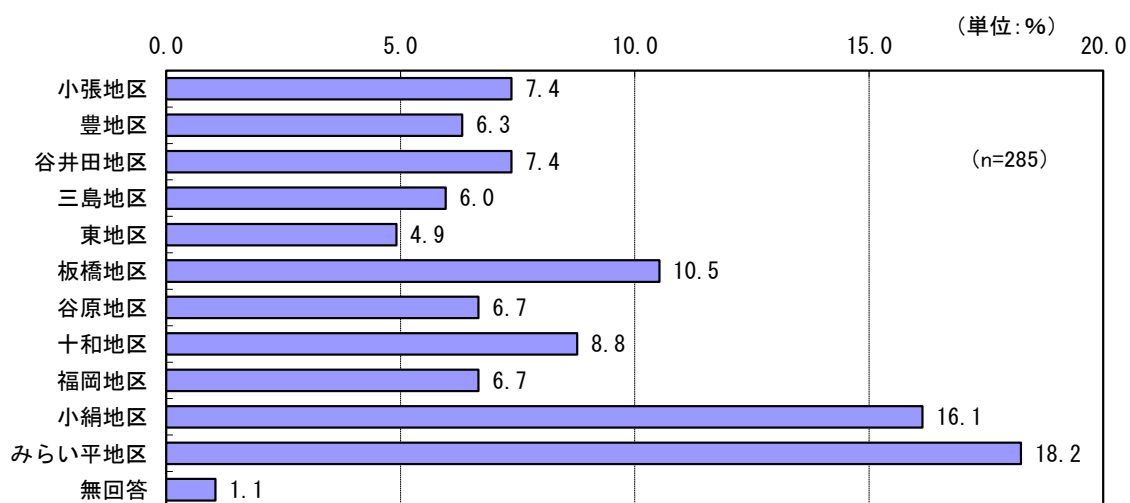
第3章

就学児童調査

1 回答者の属性

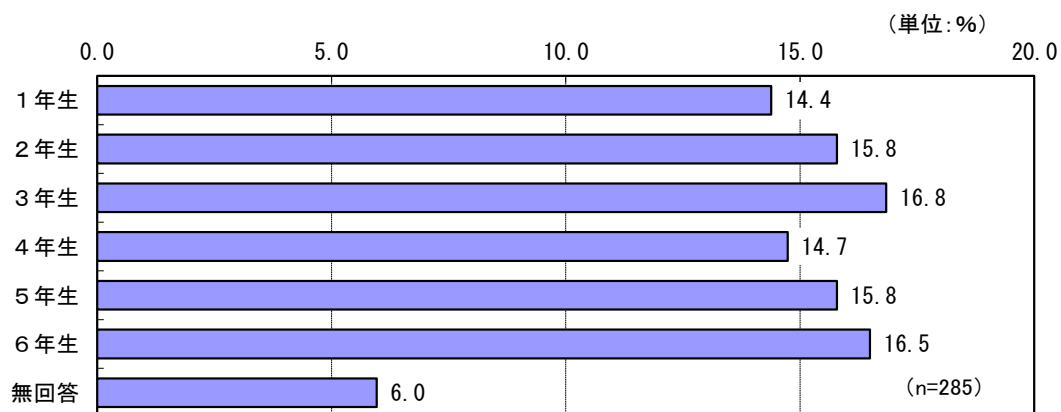
問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

今回調査回答者の居住地区は次のとおりです。就学前調査と同様に人口増加地区の「みらい平」の割合が高くなっています。



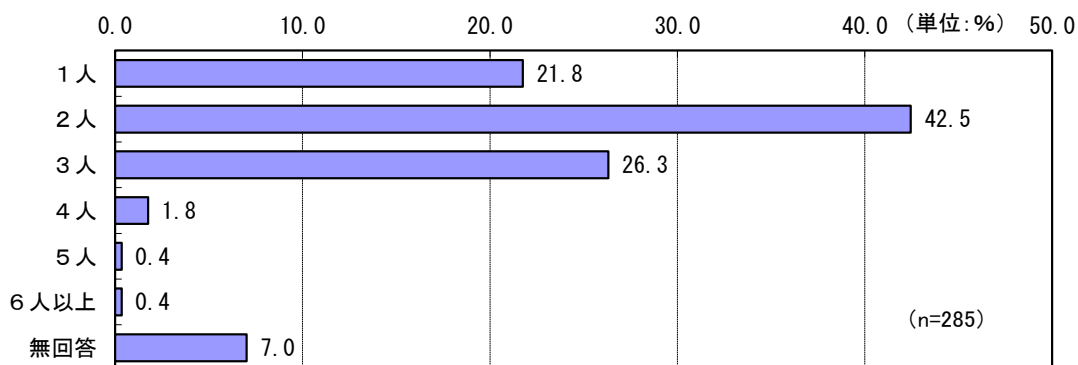
問2 宛名のお子さんは何年生ですか。番号1つに○をつけてください。

調査の学年別の割合は次のとおりです。概ね均等に分布しています。

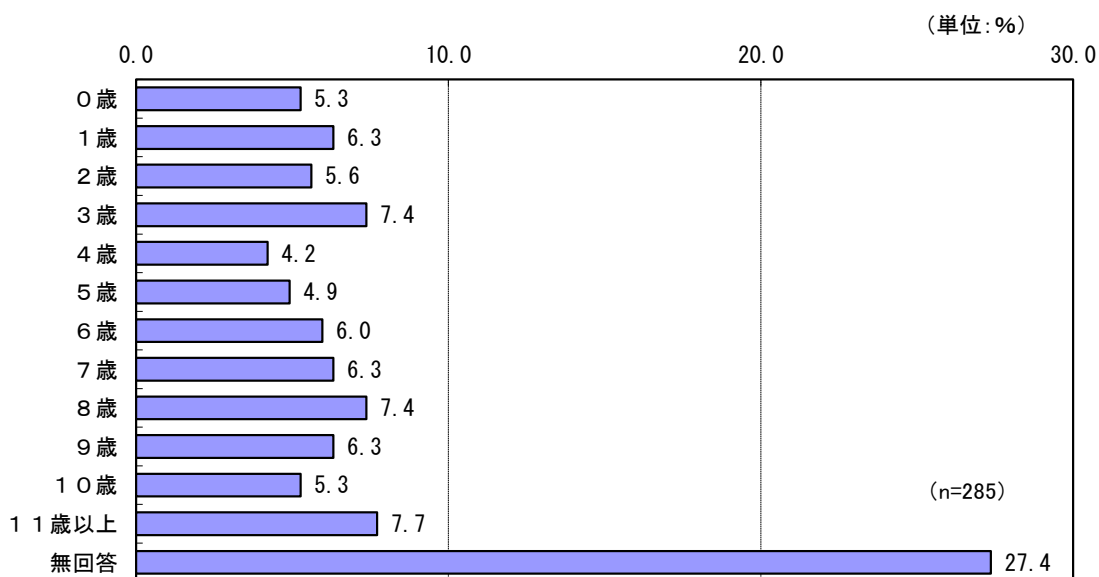


問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだいは「2人」が42.5%と最も多く、「3人」が26.3%です。

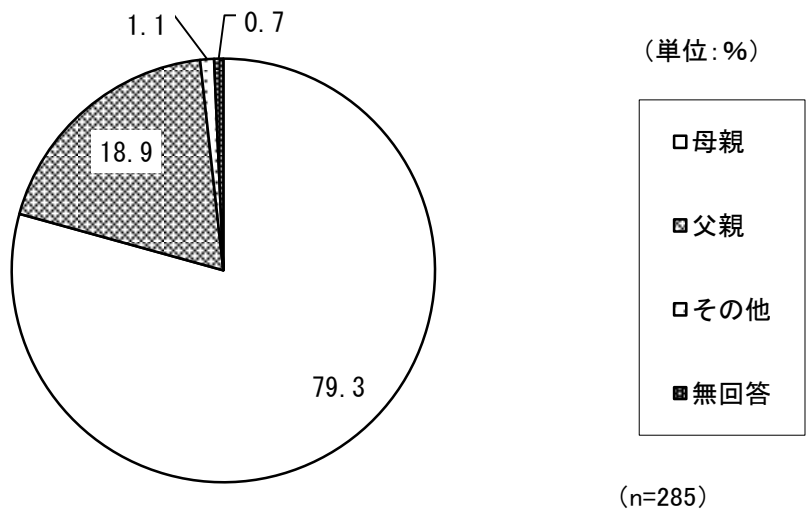


末子の年齢は分散しており、際だって数の多い年齢層はみられません。



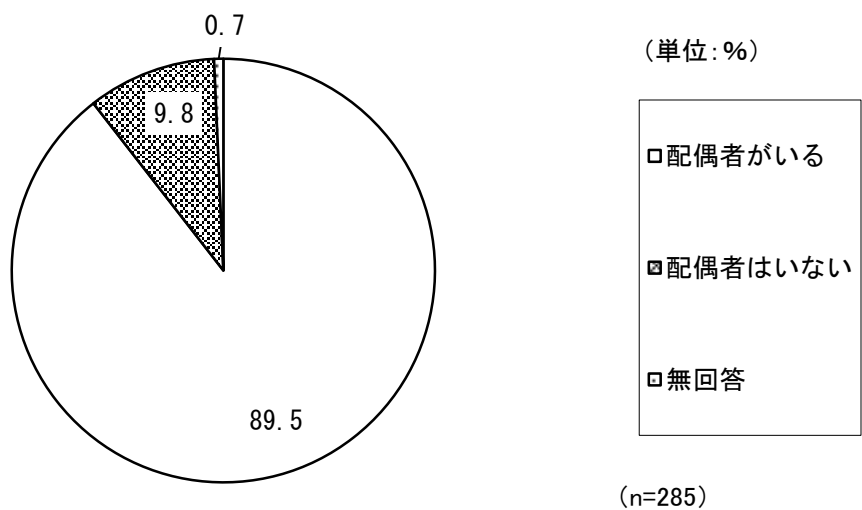
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」が79.3%と8割を占めています。「父親」は18.9%です。



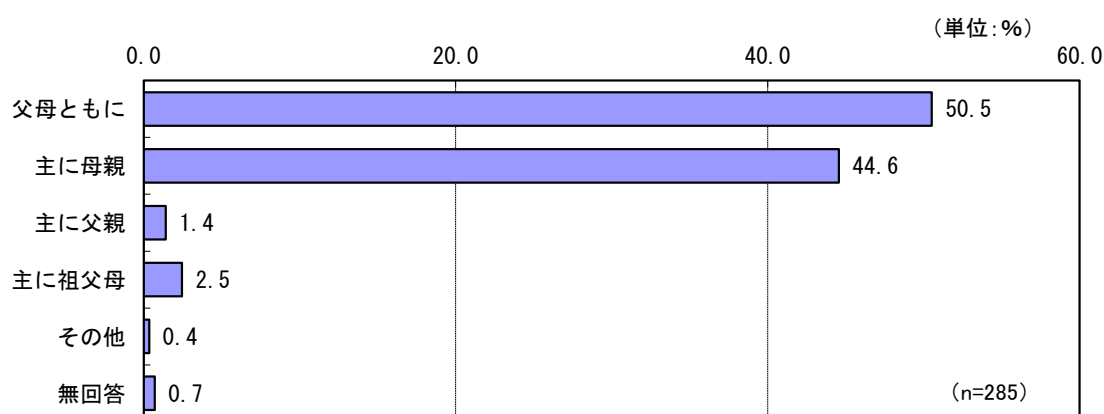
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」が89.5%、「配偶者がいない」が9.8%です。



問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

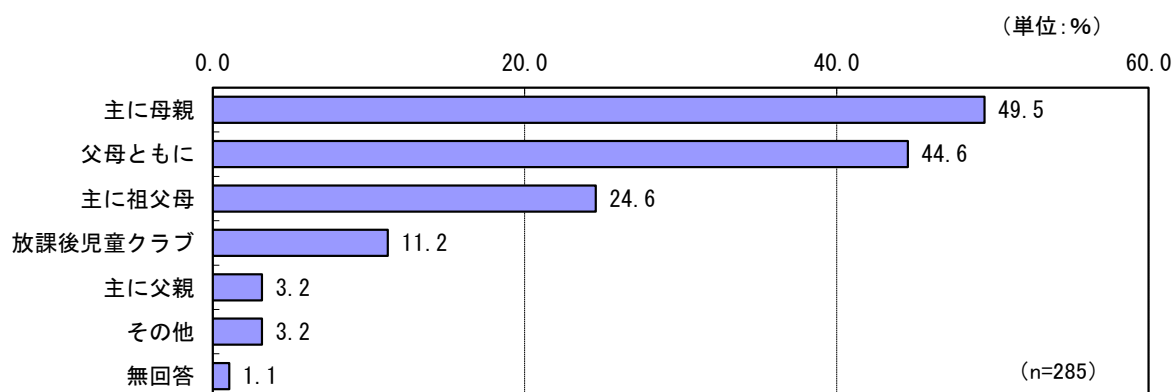
「父母ともに」が50.5%、「主に母親」が44.6%となっています。



2 子どもの育ちをめぐる環境

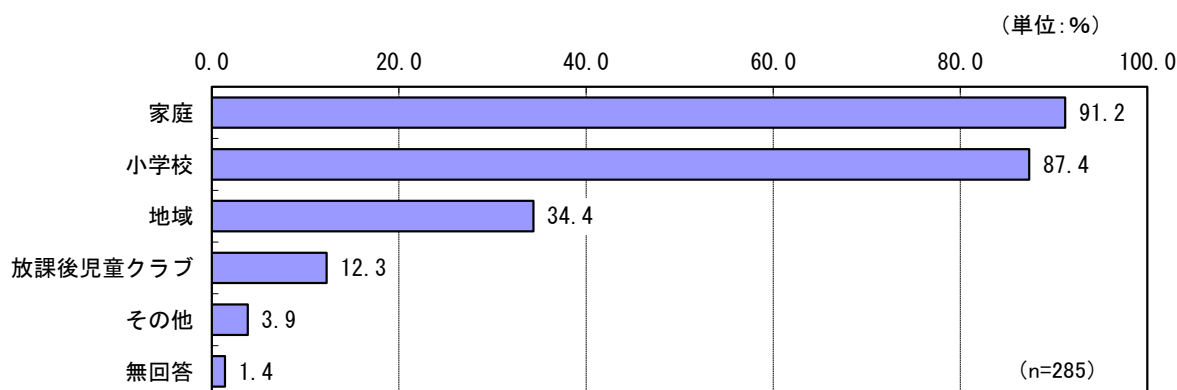
問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。小学校を除いて、お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「父母ともに」が49.5%、「母親」が44.6%で半数ずつを占めています。



問8 宛名のお子さんの子育てに、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

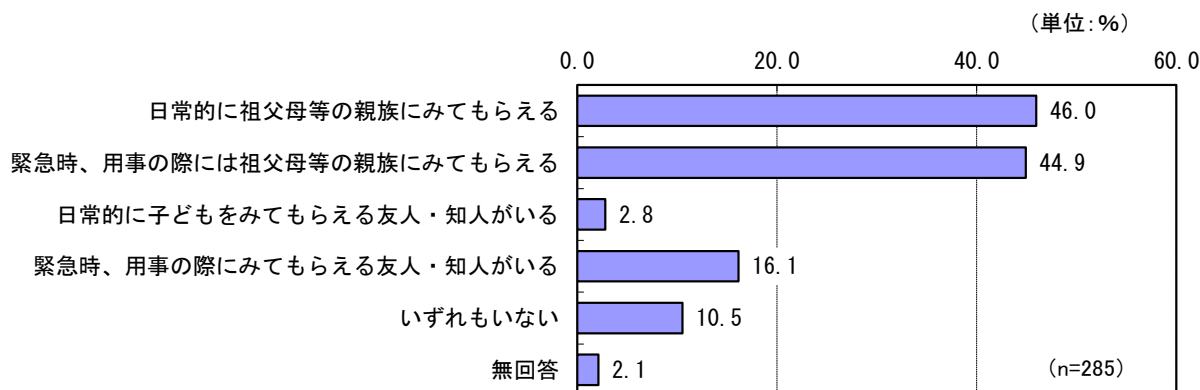
「家庭」が91.2%、「小学校」が87.4%とともに9割前後の大多数を占めています。また、「地域」が34.4%となっています。



問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

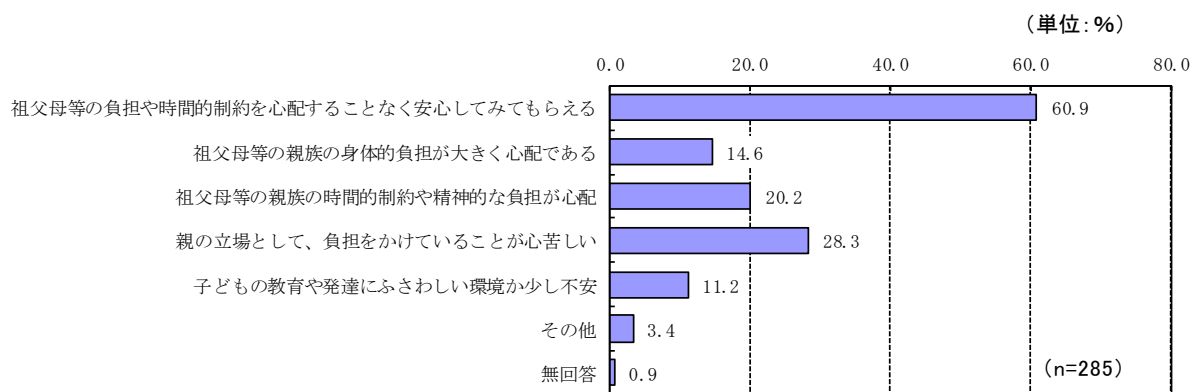
祖父母等の親族が「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が46.0%、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が44.9%と高い回答となっています。

友人・知人は「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が16.1%、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」は2.8%と少数です。



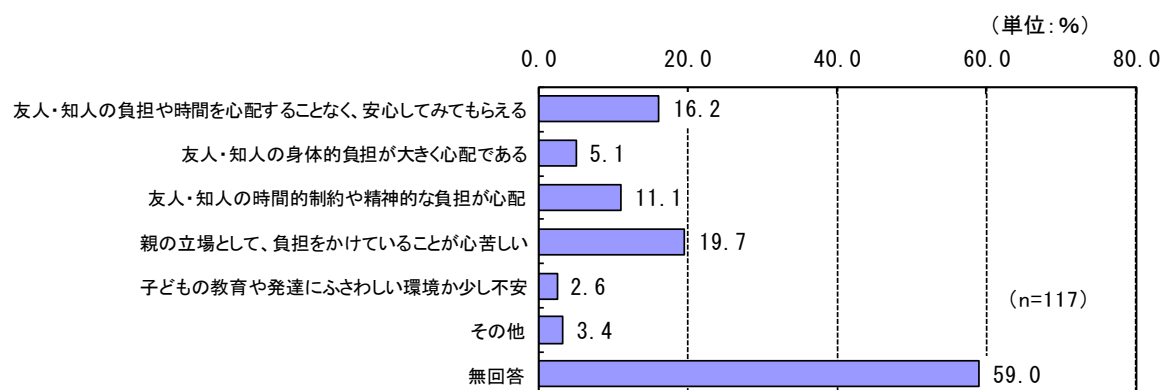
問9-1 問9で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

祖父母等の親族については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が60.9%と高い回答となっている一方で、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が28.3%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が20.2%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が14.6%など、不安も見られます。



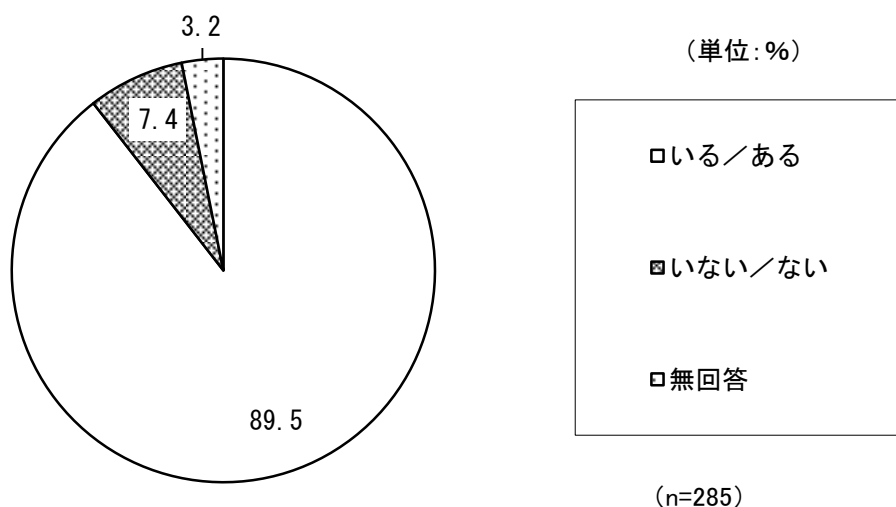
問9-1 問9で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

友人・知人に対しては、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が19.7%と最も多く、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」は16.2%と親族に比べ大きく低下しています。また、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」は11.1%です。



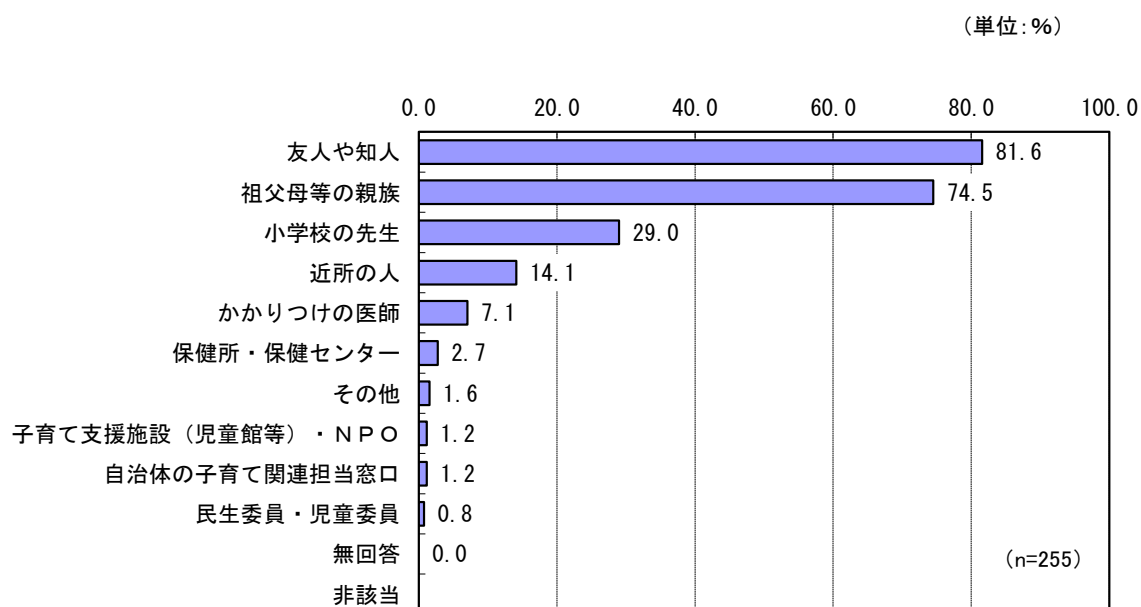
問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」が89.5%と大多数となっています。「いない／ない」は7.4%です。



問10-1 問10で「1. いる／ある」に○をつけた方にかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人や知人」が81.6%、「祖父母等の親族」が74.5%と大きな役割を果たしています。第3位は「小学校の先生」で29.0%となっています。「近所の人」は14.1%です。



問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

子育て支援

- ・「SOSレター」というものを子供が学校から持ち帰り先生にも相談したけど「SOSレター」も利用した時がありました。相談の返信が手紙か電話かが選べ子供が手紙を選んだので手紙の返信がありました。保護者むけのがあると良いと思います。
- ・いろいろな経験をつんだ有識者等とふれあえる（話が聞ける）機会が数多くあると良いと思う
- ・いろんな意見が聞ける所がほしい
- ・しつけをどの様にしているのか。
- ・ファミリーサポートのような近所に何かあった際に数時間でもお願いできる人がいるとありがたい。親族も遠く誰にも頼めない。シニア世代や子育て経験者にも登録してもらい利用したい人と契約する（市が取り仕切る）。
- ・ボランティア活動及びNPO。
- ・以前住んでいた地域（県外）には児童館がありそのセンターの方や教育センターの方に子どもの相談をしていました。こちらには何もなくてがっかりです。
- ・一時保育の回数を増やして欲しい。又そういう所で気軽にいつでも相談できる環境が欲しい。
- ・一人で子育てや悩むことがない様に子育てを共有できる場があると良いと思う。
- ・気軽に子どもをみてもらうことは現実的には難しく、よほどのことがないとできない。小さな幼児がいて地域や学校、幼稚園での役員仕事をするのは交流も持て、学ぶことも多く良い経験だが心身共に負担は大きい。周囲に対して迷惑もかけて心苦しい。
- ・気軽に声をかけられるようになればいいが。
- ・気軽に預けることが出来る場所があれば緊急の際（病気など）に親は安心出来ると思う。
- ・共働きが増える中で高学年になっても学童の保障や税金は上がるのに収入は変わらない。ので手当の保障など手厚くしてほしい。共働きの1人っなら大学入学まで見越して余裕かもしれないが兄弟が多い家庭はきびしい。状況もはあくしてほしい。
- ・緊急時の対応でいつも悩む事が多い。周りの人との関わりを大事にしたいと思う。
- ・近くでもっと集まれる場所があるといい。車がなくても行ける所を作ってもらいたい。
- ・近所でも子供が少なく自治会でも子供会もなく学校以外接触する事もない。同時に親同士も会える事が少ない。仕事してる人も多いのでコミュニケーションセンターで2週～1ヶ月に1度集う場をもってもらえるようにしてほしい。公園もない子供たちの遊ぶ場が減っている。
- ・近所の同じくらいの年の子と接する機会を作って欲しい。自分が嫁に来てお友達作りがとても大変だったので。近所に居ても会う機会がなくきっかけ作りをしてもらえたらうれしいです。
- ・具体的な情報（保育、学校、こども講座、いちいち担当の課ではなく）をワンストップで即情報提供してほしい。乳幼児をかかえていると本当に時間がおかしい。一回ですべてわかりたいです。工夫して下さい。
- ・現在は特にサポートを必要としていない。サポートが必要な時はお願いしたいと思う。
- ・公立幼稚園でも緊急時には預かり保育ができると急用や父親に頼れない我が家のような家庭には助かります。
- ・行政担当者など子育てに詳しい方のサポートがあると心強く相談などをしてみたいと思いますが恥ずかしい気持ちもあり名前や住所などを言うのに抵抗があります。
- ・今思っている事は相談できる場が身近に全く感じられない。現在迄自分（母親1人で決断したり両親で相談し合う）で決断して来たがもしサポートが必要になった時、全く情報が身近になっていないので探したり調べたりするのがわからない。
- ・困った時にすぐ預けられるような場所。守谷だと児童センターで託児があったりする。子供が病気の時（軽い風邪など）に看てもらえるなど。
- ・仕事をしたいのですが、子供の病気、カゼなどの時に看てもらえる人がいないので仕事につけないでいます。そういったところをサポートしていただきたいです。
- ・子どもが急病になった時のサポート（仕事を休まないですむような状況づくり）。
- ・子どもが小さいころは他人いあずけることができず、悩んでいる事が多かったので気軽に1時間でもあずけられる場があるとよい。児童クラブや放課後教室も早い時間にお迎えをしないといけなないのでフルタイムで働く人にとってはあずけにくい。
- ・子どもの成長に関してトータルで相談や支援を受けられる体制を整えていただきたい。
- ・子育て教育に特化せず普段から気軽に立ち寄れる場所があれば、そこで相談できるだろうと思う。現在そのような場は身近にない。

- ・子育て支援センター？のような所に専門の相談にのってくれる方とお年寄り（やさしく話を聞いてくれ昔の知恵を伝えてくれる方）がいてサポートしてくれる。
- ・子育て支援施設や屋内で軽スポーツができたり、児童書やマンガを置いて子ども達が自然と集まって遊べる施設があればと思います。また施設には教職員を対象としたような経験のある方が子どもの様子を見守ったり時には親からの相談に乗ってもらえるような関わりがあればと思います。
- ・子供がカゼをひいた時やカゼをひいていなくても学級閉鎖になった場合、仕事を休むしかない為預け先があると助かる。
- ・子供が安全に遊べる場所（児童館・図書館）を見守ってくれる人（施設のスタッフ）。
- ・子供が小さい時、夜高熱を出して市外の病院までつれていって大変だった。病気をすると不安なのでそんな時にサポートがあるといい。
- ・子供会を作り年1回位は子ども同士で1泊の野外学習の取り入れ。地域を担当する人を作ってもらい月1回位を目安に父・母とのコミュニケーションを持つ。
- ・私自身は祖父母と同居しているため、困った時には手助けしてもらえましたが親が近くに居ない友人は特に子供が病気になった時、とても困っていました。どうしても仕事が休めない時など利用出来る。システムがあると良いですね。
- ・児童館や公園など親の不在時でも子供が安心してすごせる場所があったら助かります。
- ・児童精神科医など専門の先生に子育て相談や悩み話などできる場所が欲しい。保健センターの保健師さんと相談しづらい。
- ・児童相談所等から定期的に「御用聞き」とか色んな催し物（親子で参加できるもの）の案内があるとよい。
- ・自分から相談事や悩みを言い出しにくい性格なので「どうですか？」と電話の1本でもあったら嬉しいなと思います。
- ・小さい子が安心してあそべる公園や体育館、児童センターなどがあるといい。
- ・小学校や幼稚園に子どもの生活態度や行動での悩みを相談できるカウンセラーの人がいつもいてくれると安心して子育てが出来ると考えています。
- ・小絹小の「個人情報記載」先生のような学校側、行政側ではなく子供や親に誠意のある対応をしてくださるプロフェッショナルな人が福祉課や市役所等で相談を受けてくれる事（学校では子供に見つかり、子供にも親も集中できない）他の先生方もいらっしやる中では本音を出せない事もあるため。
- ・心技体ではありませんがゲームをする子供が多くなった時代だからこそ外で遊び体を動かすことが大切だと感じます。勉強も勿論大切ですが体育の授業だけではなく部活やクラブ活動を大いに作り（学校）全校生徒が平等に入れるようにすると親が心配している「当番」の心配もなくなり学校の授業の一環としてやっただと良いと思います。
- ・親が働いていない人は学校がおわれば習い事（くもんピアノなど）行く事ができて働いていて帰りが遅いとどうしてもつれていけない。勉強の差、体験をする差がでてくるので親が働いていてもやってくれる時間があればいいと思う（もちろん有料でもよい）。
- ・親同士の理解。教育や活動に経済的な心配がなくなるといい。
- ・身守り。どのようなサポートがあるか知らせてほしい。
- ・天災等による休校や遅刻時に預けられたら助か（仕事を休んだり遅れたりが減る）。昔の様にどこの子供かなど関係なしに子どもが悪い事や間違った事をした時にしっかりと注意してくれる大人がいてほしい。（特におじいちゃんおばあちゃんの方が上手にしかってくれる気がします）
- ・土・日・祝年末年始も休みのない仕事のためその間に子供をどうしようかと悩みます。（土は児童クラブ利用していますが）台風などで休校の時学級閉鎖の時など児童クラブもお休みになりますがとても困ります。児童クラブの休みは保育園などと一緒にしてほしい。
- ・同じ様な経験があったり指導できる方の意見が聴きたい。
- ・悩み相談等気軽に出来る施設があったらよい。
- ・費用の負担が無く苦手科目の学習を教えてくれる施設や家庭教師。頑固親父的な存在でしかってくれる高齢者の存在。
- ・母子が孤立しないようなサポート。親族がいないかた、なかなか外に出ていけない方も多いかと思います。
- ・母子家庭です。プリント配布される時タイトルが「父親と」や「パパと」などの特定した題のプリントは配布しないか、配慮してほしい。子供が困っていた、悲しんだ・学校からのフォローがない。（こちらから聞くまで）
- ・母子家庭も父子家庭もおなじだと思う。早出、残業も出来ず給料は下がり、大変です。もう少し手厚い手当が欲しいですね。
- ・放課後の学習を見てもらえるなど。
- ・無料で預けられるサポート。子供達が自由に遊ぶ事の出来るスペースを身近な所に作って欲しい。公園など。
- ・夕方最近では暗くなるのが早いので地域のチャイムの時間を16:30（現在17:00）にしてもらいたい。冬の間だけ変えてほしい。

小学校

- ・学校が近くの子とちがうので早く同じ学校にしてほしい。保育園とかに入れず託児所などに入れた場合市などからほじょみたいなのでしてほしい。
- ・学校で行事がある時、学校で子供が待機できるように教員以外の人を手配するシステムをつくってほしいです。
- ・学校の先生ではなく行政の方に気軽に学校の事先生の事ママ友などの事を聞く事のできるシステムがあると良いかも。
- ・学校の都合で午前授業などの場合、人にみてもらうのが悪い気がするので安くみてもらえる施設などがあると助かる。一度（一回）に500円ぐらいだと助かります。
- ・学校関係の人。

施設整備等

- ・通学路の整備。安全確保。
- ・本を読む機会や公園の水道、夜の灯などの良い設置

放課後児童クラブ

- ・4年生になってからも希望があれば児童クラブに入れると良い。1人で家にいて留守番させるのは心配だから。
- ・みらい平地区における放課後児童クラブの開設
- ・今は共働きの家庭が多く他の市では児童クラブを6年生まで利用出来る為つくばみらい市も6年生まで利用出来るようにしていただきたい
- ・児童クラブが小学校3年生までになっているが、6年生まで預かってくれるシステムにしたいとありがたいと思います。地震もあり、家に1人で子供を待たせることは心配です（地震、不審者）。児童クラブの預けられる年齢制限をしないでほしい。子供の安全の為どうぞよろしくお願い致します。
- ・児童クラブ以外でもっと気軽に子供を預けられる場所がほしい。
- ・小学6年生まで児童クラブなどでお世話になりたい。兄弟もいなくみらい平地区のように近所に子供もいない。子園もないためとても心配です。引越せるものなら引っ越したいくらいです。つくばや守谷のように小学校のちかくに児童館など欲しい。
- ・小学校でも急な用事の際には利用できる児童クラブの様なものがあるといい。午前授業時など普段はクラブに入れていないので困ってしまう。仕事をやすまざるをえない為。
- ・単発で1日単位で放課後児童クラブを利用できると助かる。幼稚園の延長保育のようなものがあると助かる。

その他

- ・丸福を20才までにしてもらいたい。

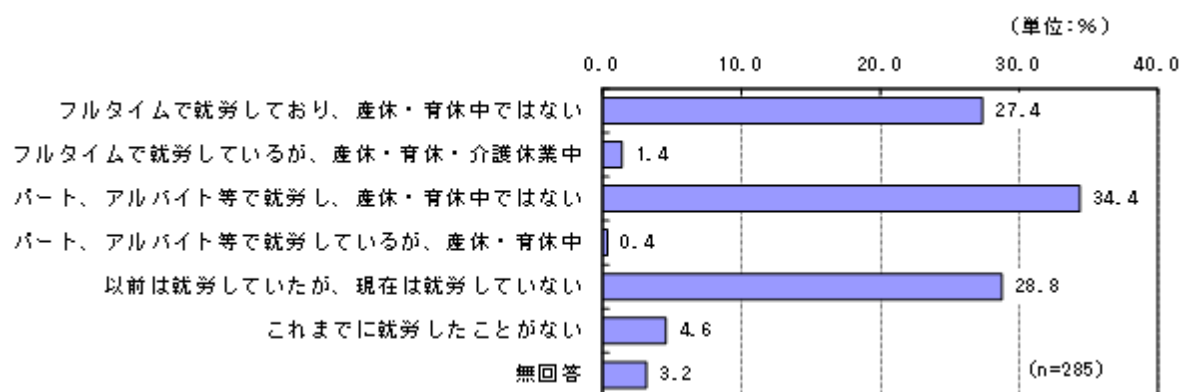
3 保護者の就労状況

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

フルタイムは「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が27.4%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が1.4%で合わせて28.8%、パートタイムは「パート、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が34.4%、「パート、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が0.4%であわせて34.8%となっており、パートタイムのほうがやや多くなっています。また、「以前は就労していたが、現在は就労していない」も28.8%と多く見られます。

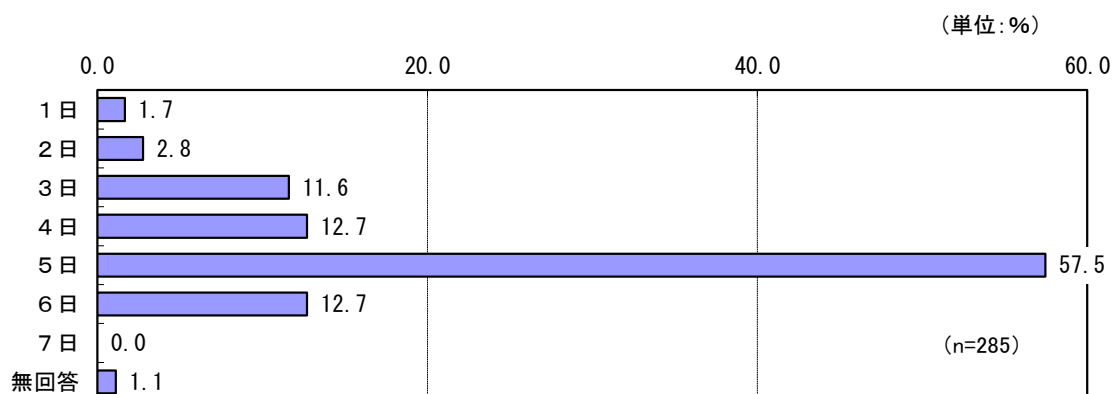
「これまでに就労したことがない」は4.6%とわずかです。



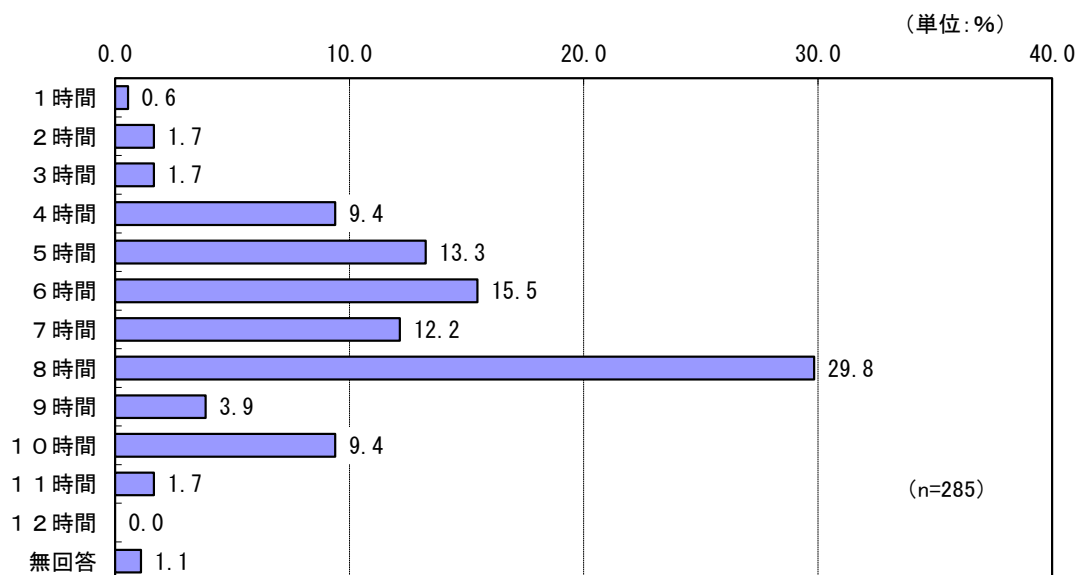
(1)-1 (1)で「1. ~4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たりの日数は、「5日」が57.5%で最も多く、「4日」と「6日」が12.7%、「3日」が11.6%となっています。



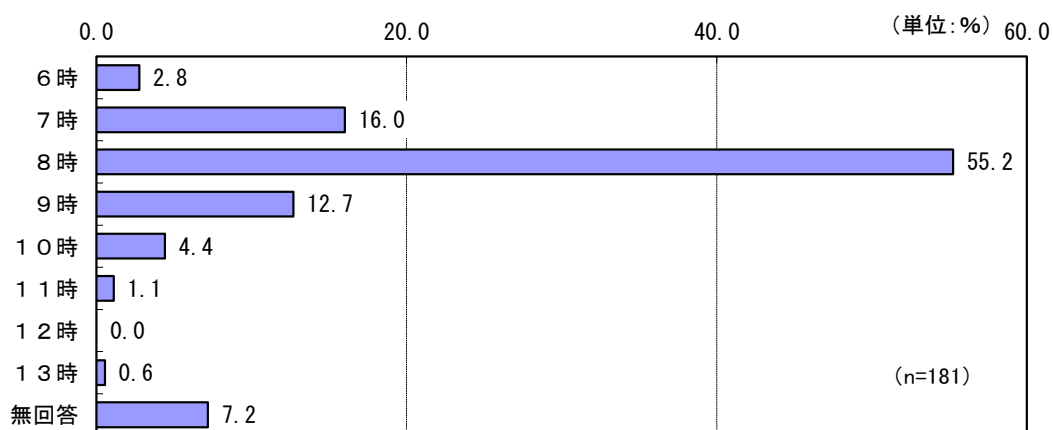
1日当たりの時間は「8時間」が29.8%と最も多くなっていますが、母親の場合は、アルバイト・パートも多く、「6時間」が15.5%、「5時間」が13.3%、「7時間」が12.2%などとなっており、平均は7.0時間となっています。



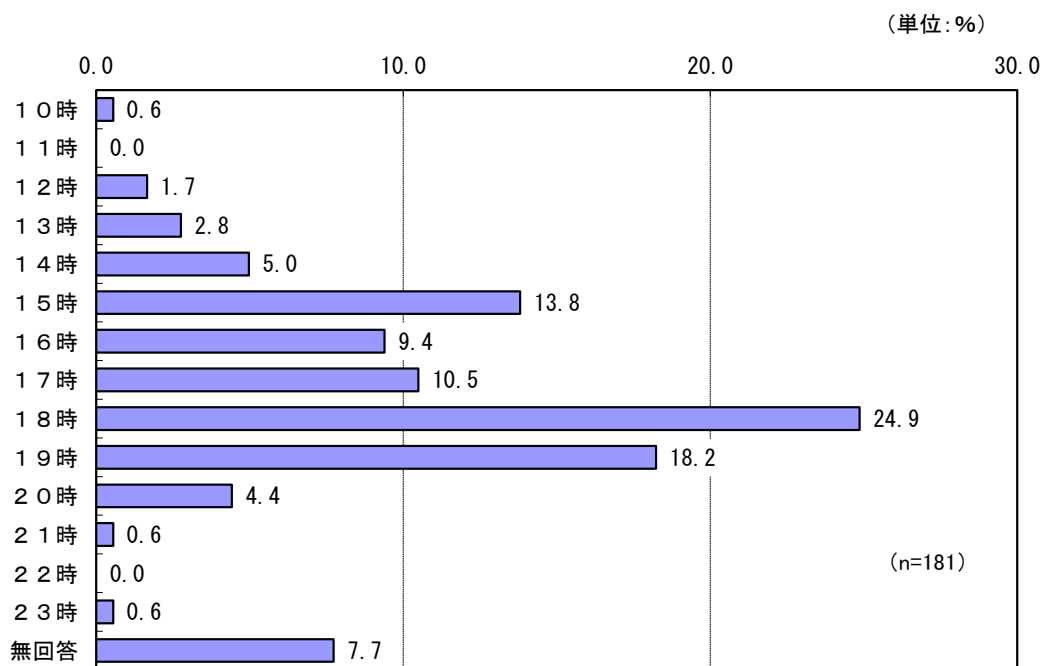
(1)-2 (1)で「1. ~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

家を出る時刻は「8時」台が55.2%と半数となっています。「7時」台が16.0%、「9時」台が12.7%です。

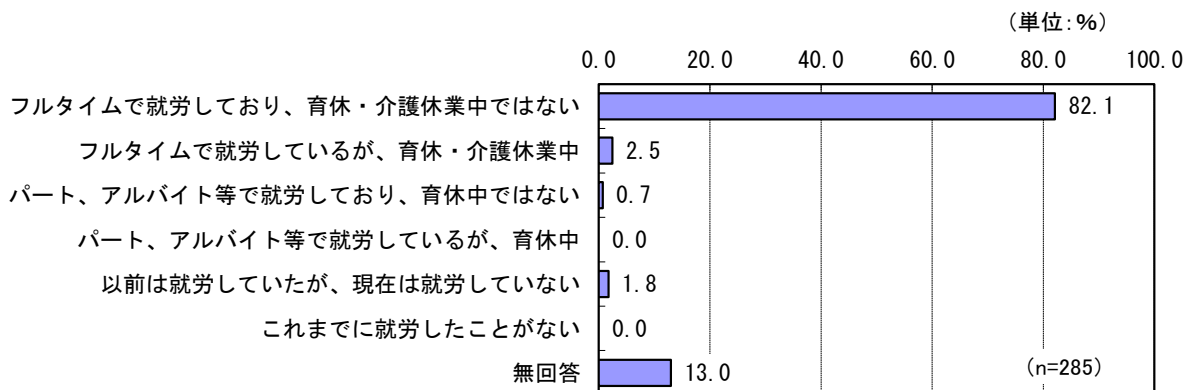


また、帰宅時刻は「18時」までが24.9%と最も多く、「19時」が18.2%、「15時」が13.8%など、母親の場合、パート・アルバイトも多いためか、家を出る時刻に比べ、時間は分散しています。



(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

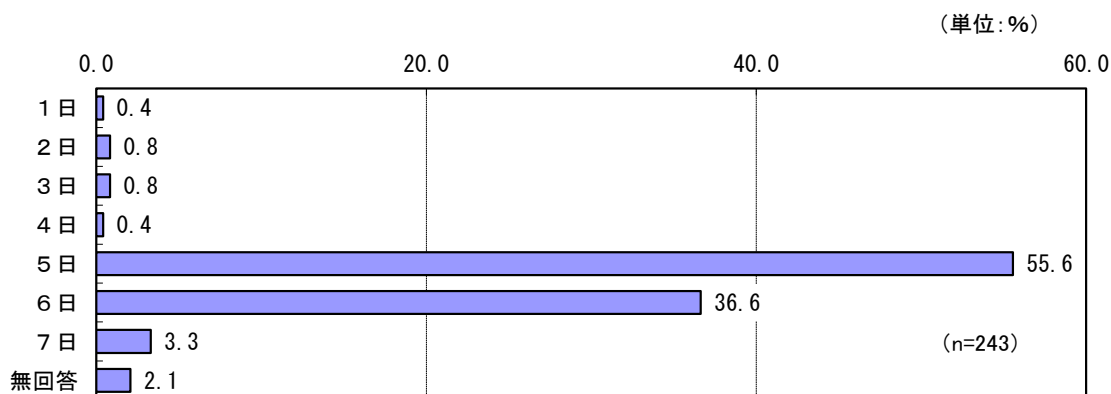
父親の場合は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が82.1%と大多数です。「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である」は2.5%と少数です。



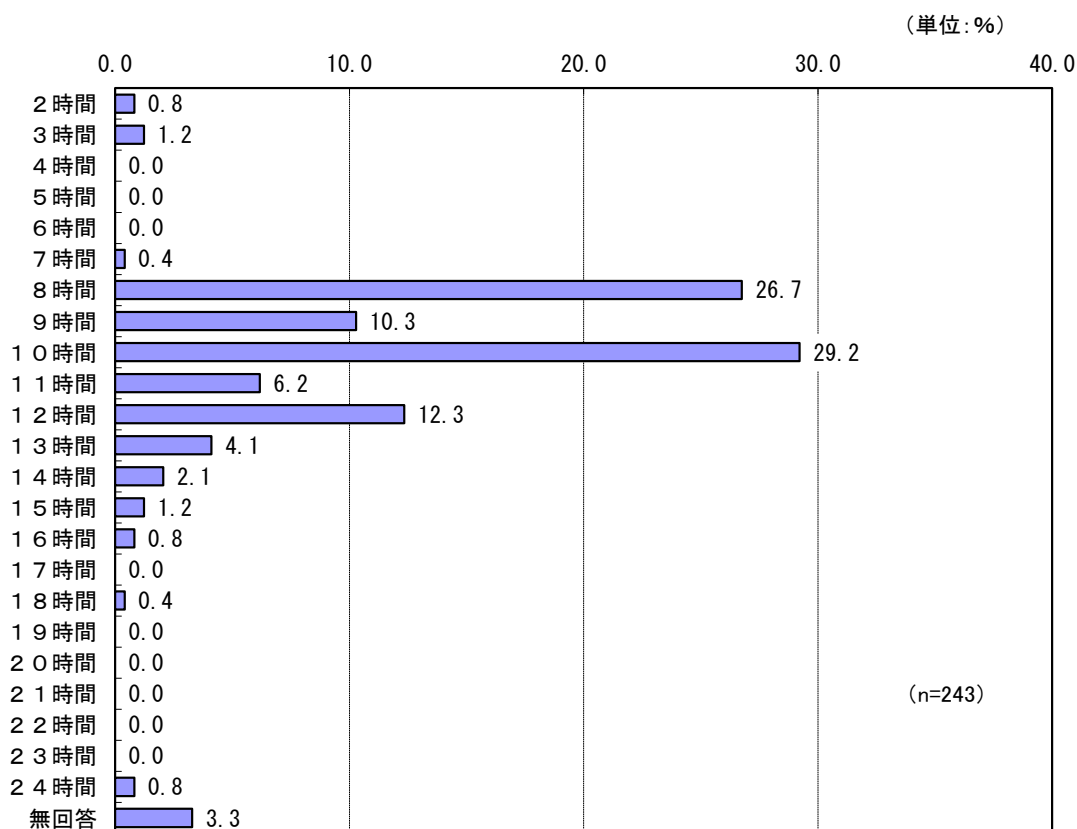
(2)-1 (2) で「1. ~4. 」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育
休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1 週間の就労日数は「5日」が 55.6%、「6日」が 36.6%です。



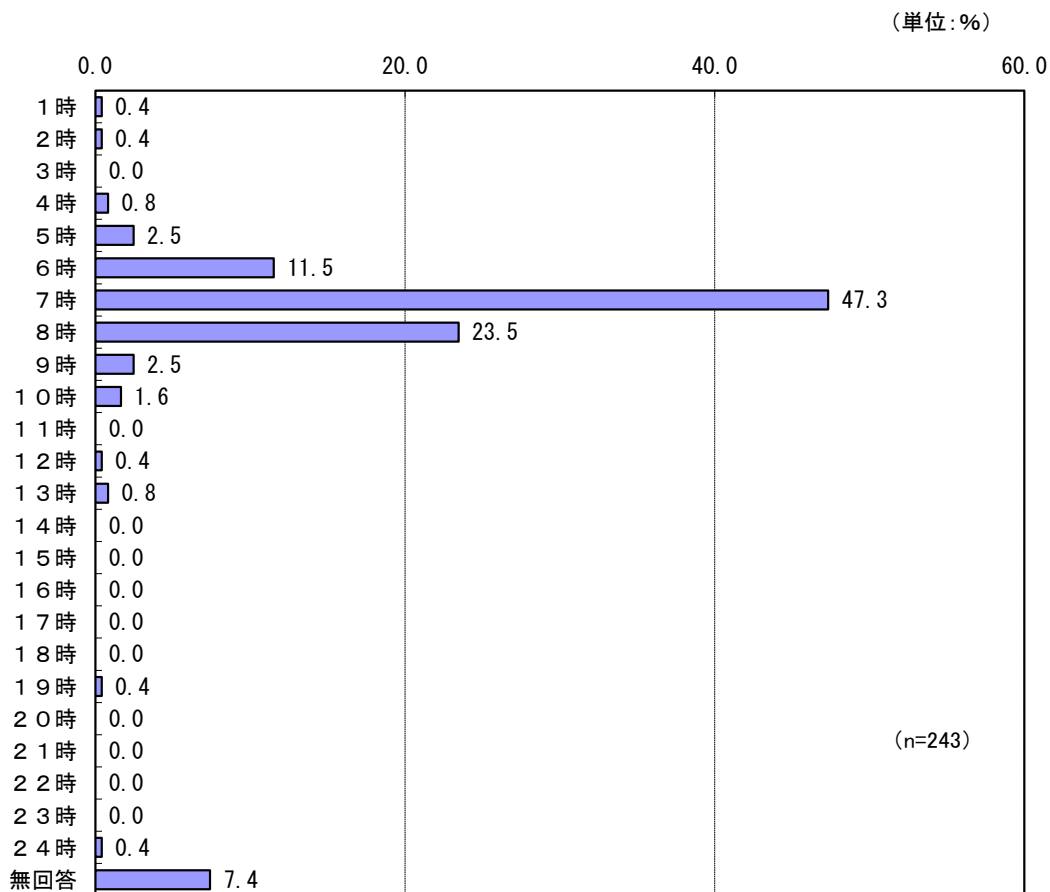
1日の就労時間は、「10時間」が 29.2%、「8時間」が 26.7%です。



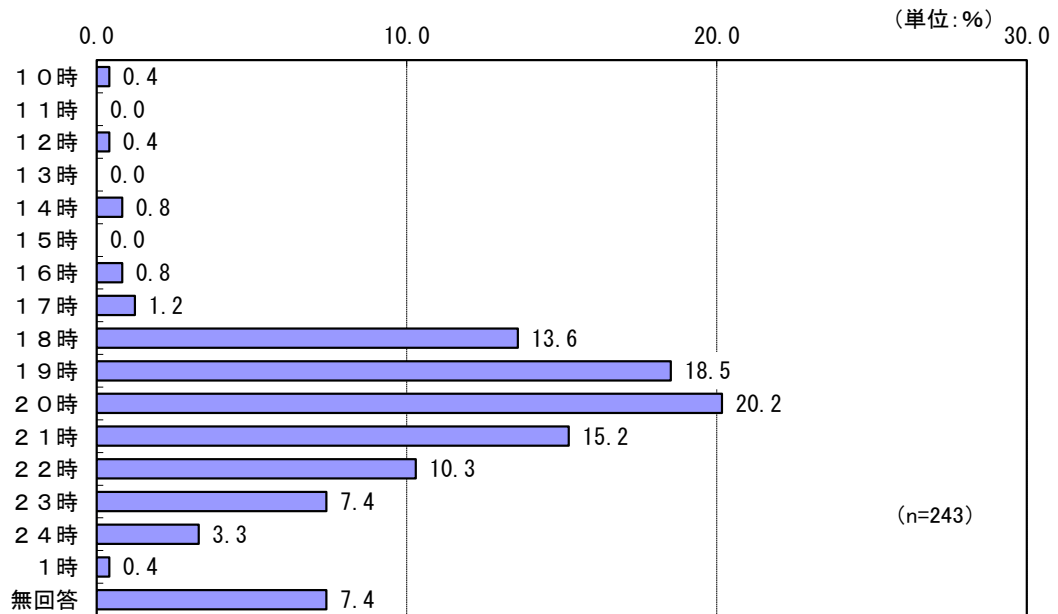
(2)-2 (2)で「1. ~4. 」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

家を出る時刻は「7時」が47.3%と最も多く、「8時」が23.5%となっています。就労形態の多様化からか数は少ないものの深夜からの勤務者も見られます。



帰宅時刻は「20時」が20.2%、「19時」が18.5%、「21時」が15.2%などとなっています。

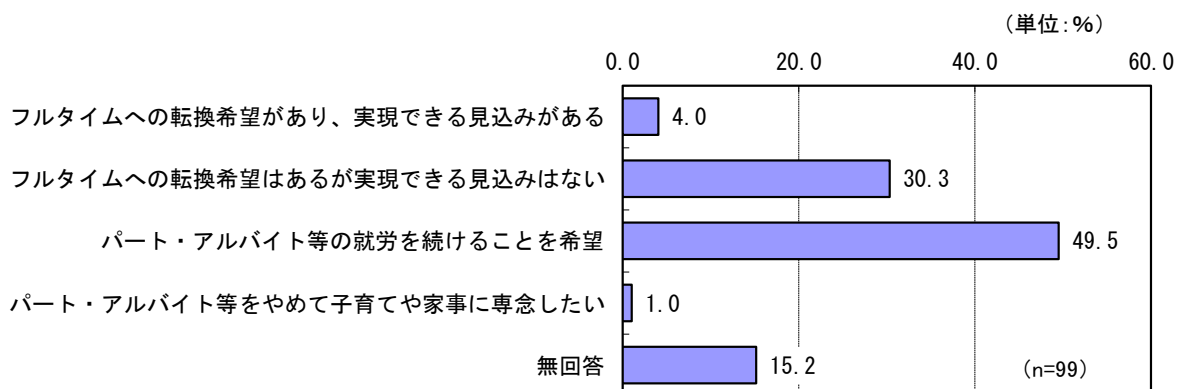


問13 問12の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方
にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

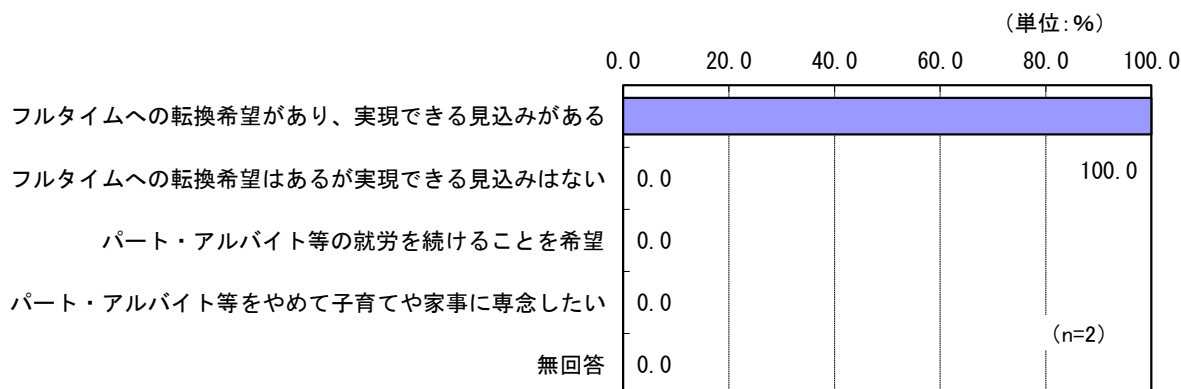
(1) 母親

パート・アルバイト等で就労している母親の希望は「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)の就労を続けることを希望」が49.5%と半数を占めています。また、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が30.3%となっています。



(2) 父親

父親の場合はパート・アルバイト等で就労している人は2人だけであり、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」と回答しています。

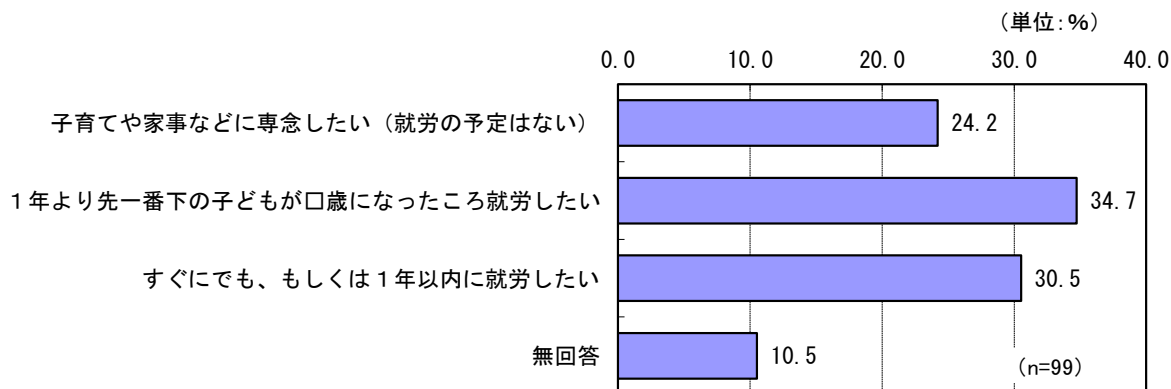


問14 問12の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は問15へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。(数字は一枠に一字)。

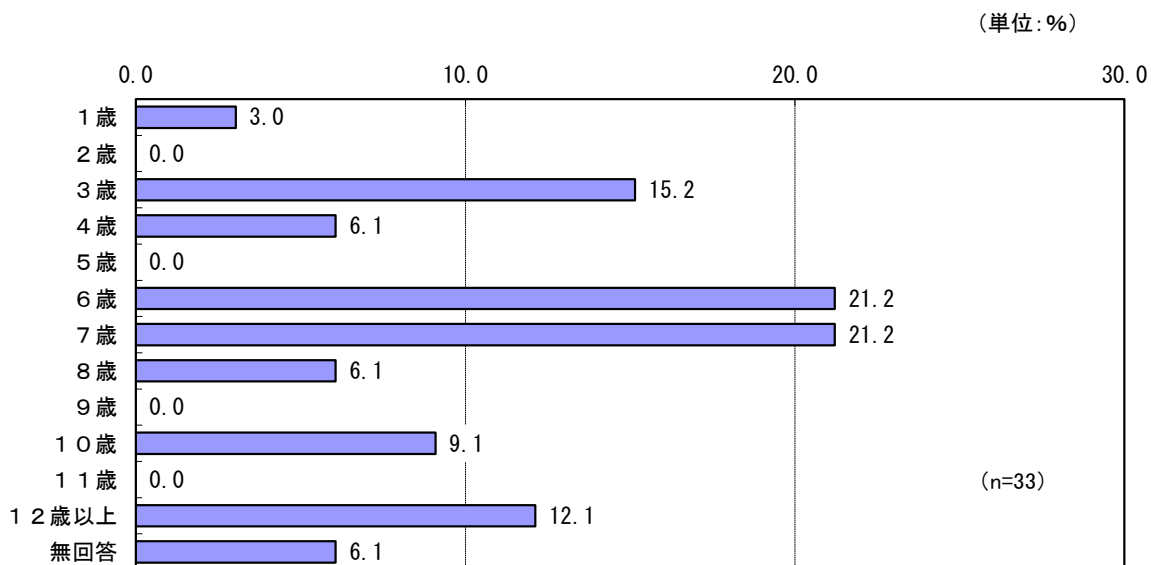
(1) 母親

「1年より先、一番下の子どもが○歳になったころに就労したい」が34.7%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が30.5%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が24.2%となっており、回答は分散しています。



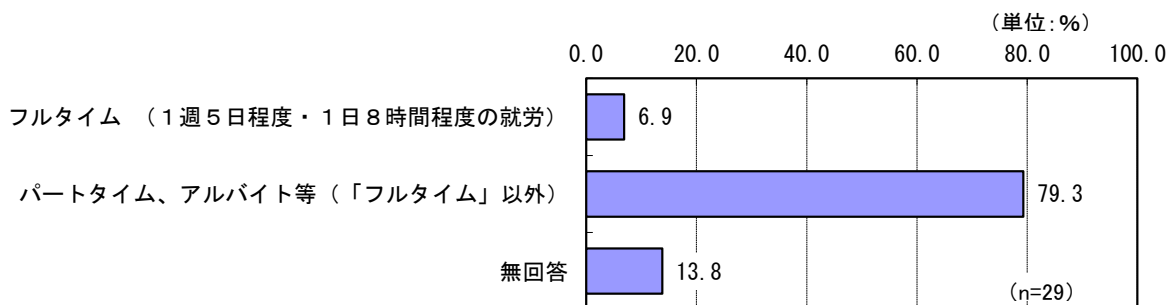
2 「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」の選択者

2の選択者33人の就労希望は、子どもの年齢が「6歳」と「7歳」となったときが21.2%となっています。

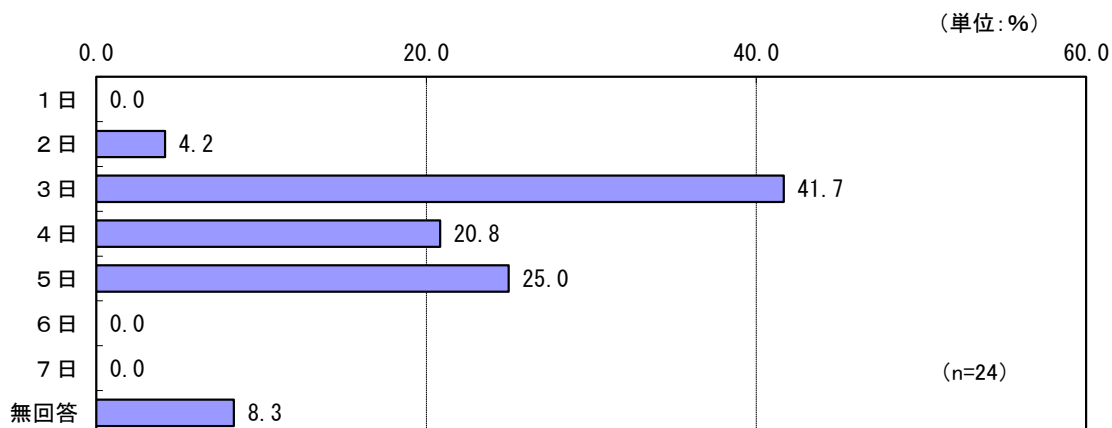


3 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の選択

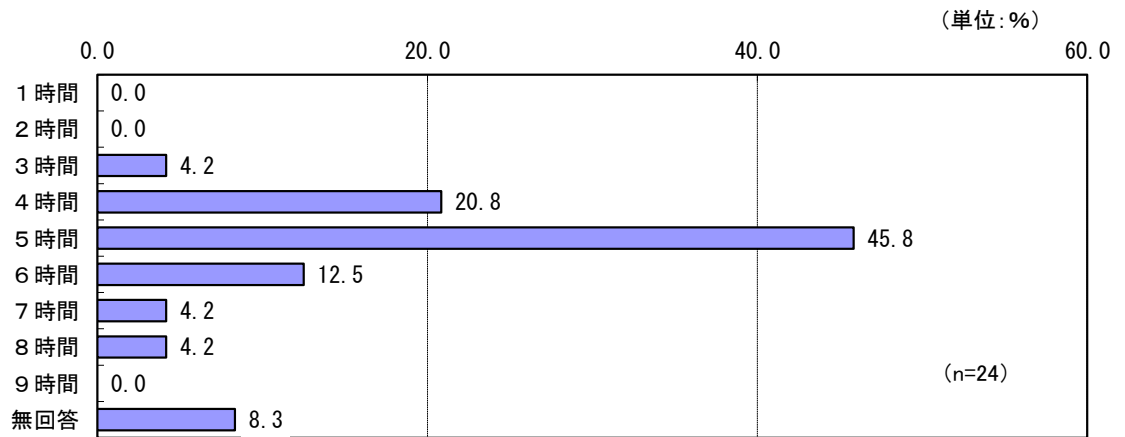
3の選択者の希望は「パートタイム、アルバイト等」が79.3%と、ほぼ8割を占めています。



また、パートを希望する母親の希望日数は「3日」が41.7%、「5日」が25.0%です。

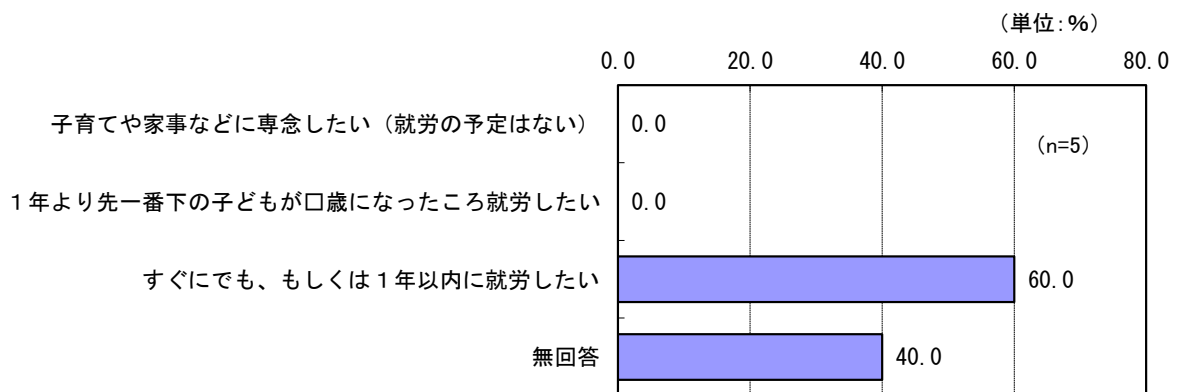


時間は「5時間」が45.8%、「4時間」が20.8%となっています。

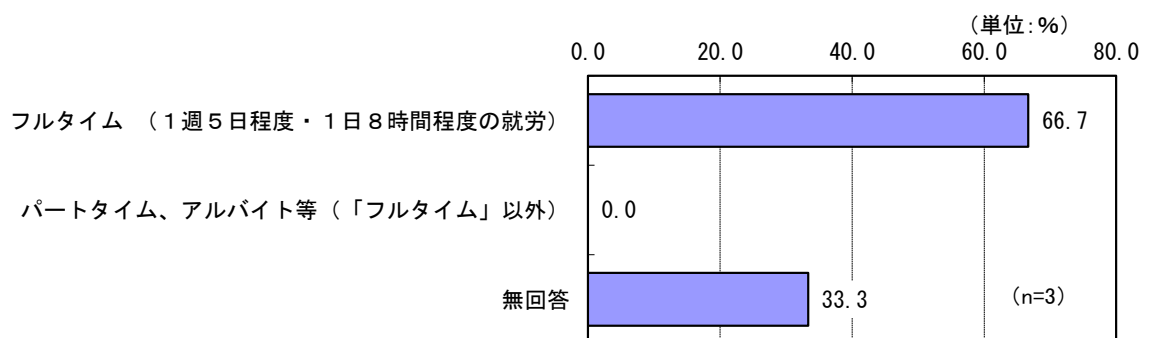


(2) 父親

就労していない父親は5人だけであり、うち3人(60%)が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答しています。



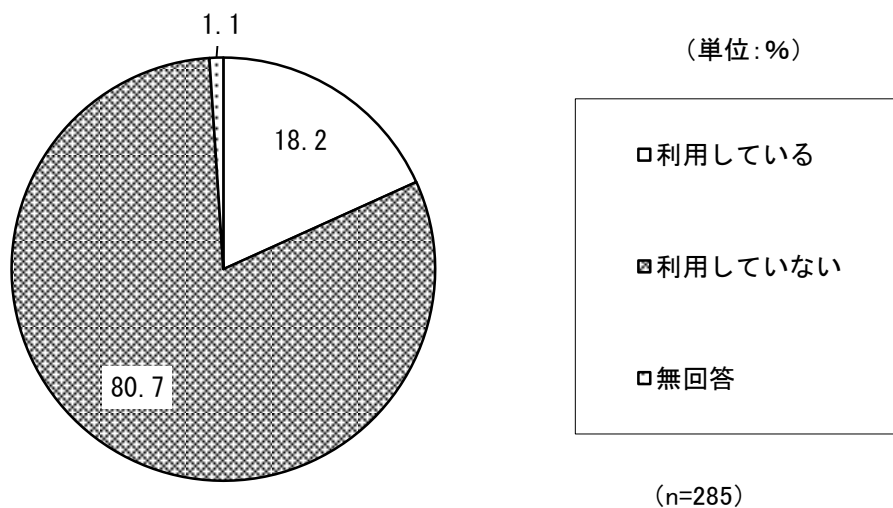
その場合の就労形態は、3人中2人が「フルタイム」を希望しています。



4 放課後児童クラブの利用

問15 宛名のお子さんは現在、放課後児童クラブを利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

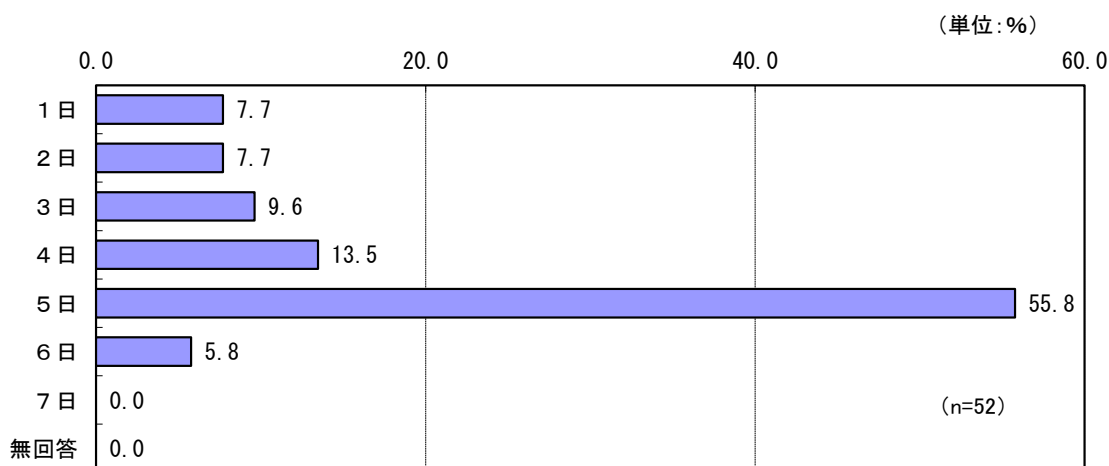
「利用している」が18.2%、「利用していない」が80.7%となっています。



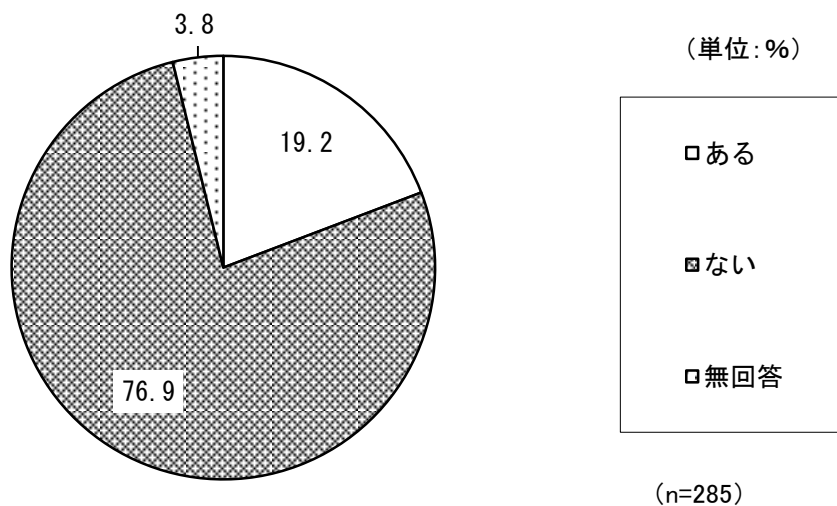
問15-1は、問15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問15-1 問15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんの1週間の放課後児童クラブの利用日数はどれくらいですか。該当する□内には数字をご記入ください。また、利用している理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

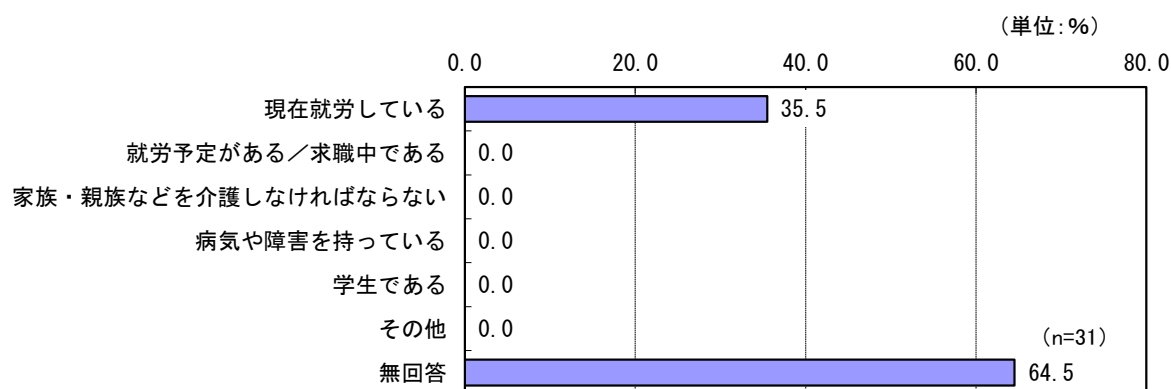
放課後児童クラブの利用日数は「5日」が55.8%と半数を超えています。「4日」が13.5%です。



このうち土・日の利用は「ある」が19.2%、「ない」が76.9%となっています。



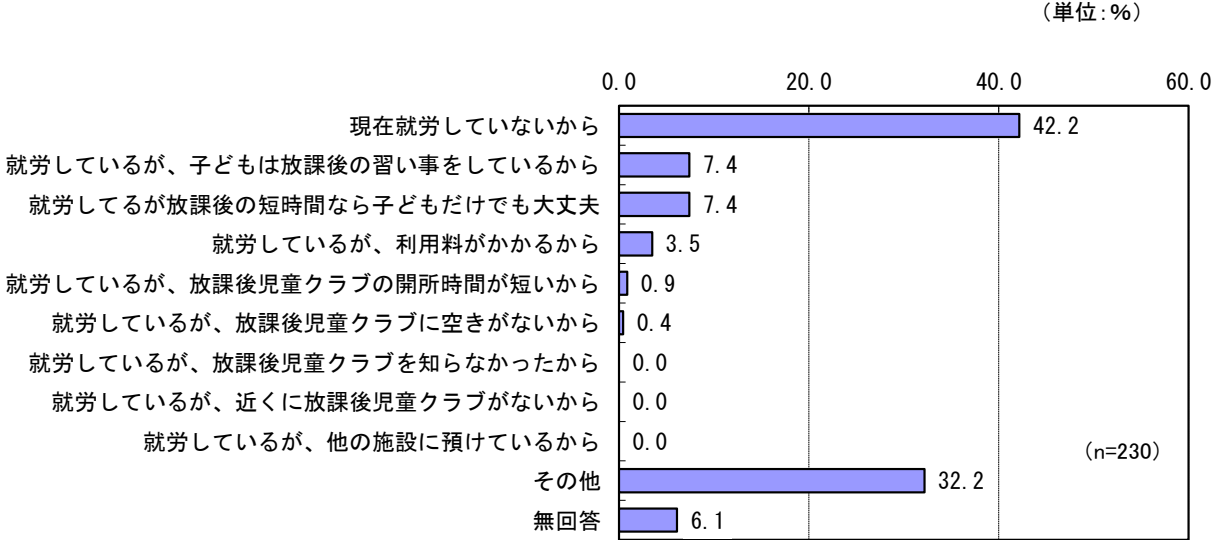
土・日に放課後児童クラブを利用する理由は、「現在就労している」が35.5%です。



問 15-2～問 15-4 は、問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

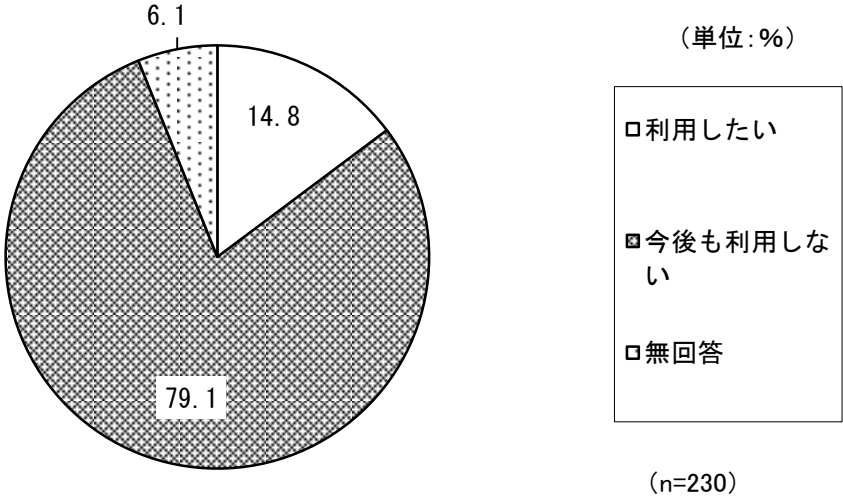
問15-2 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

放課後児童クラブを利用していない人は、子どもの身の回りの世話を主にしている方が「現在就労していないから」が42.2%と最も多くなっています。

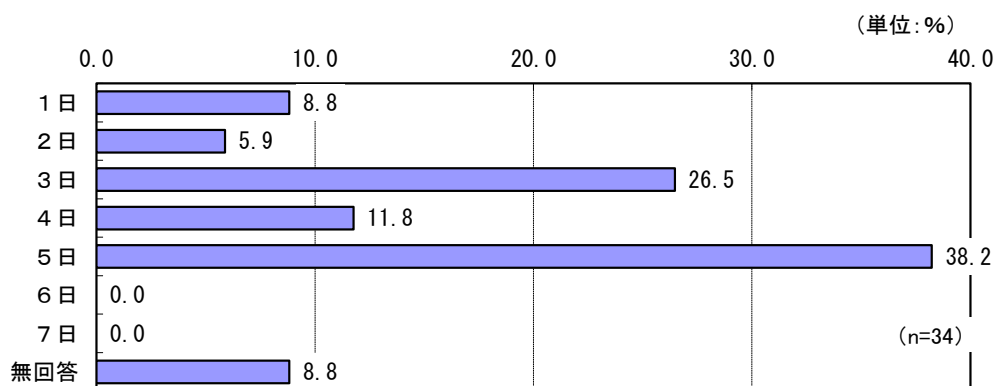


問 15-3 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、今後放課後児童クラブを利用したいとお考えですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用を希望される方は、一週間の利用希望日数を口内に数字でご記入ください。(数字は一桁に一字) さらに、土日の利用希望について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

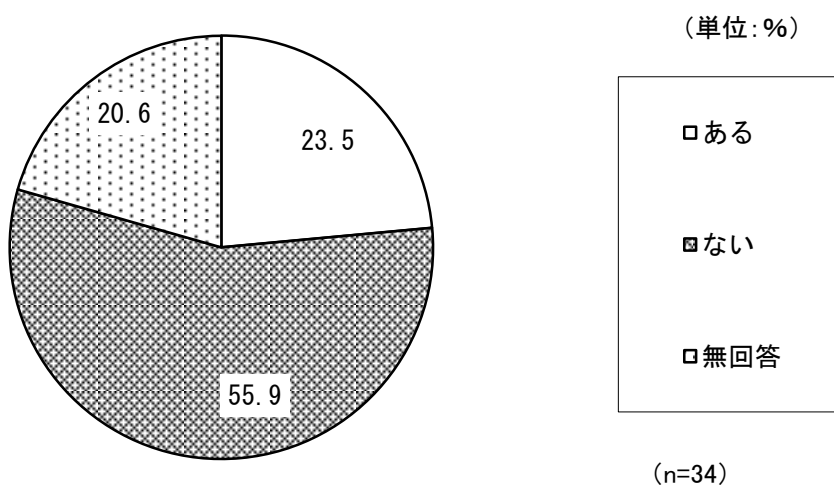
「利用したい」は14.8%で、「今後も利用しない」が79.1%となっています。



現在利用していない人で、今後利用したい人の利用希望は「5日」が38.2%、「3日」が26.5%です。

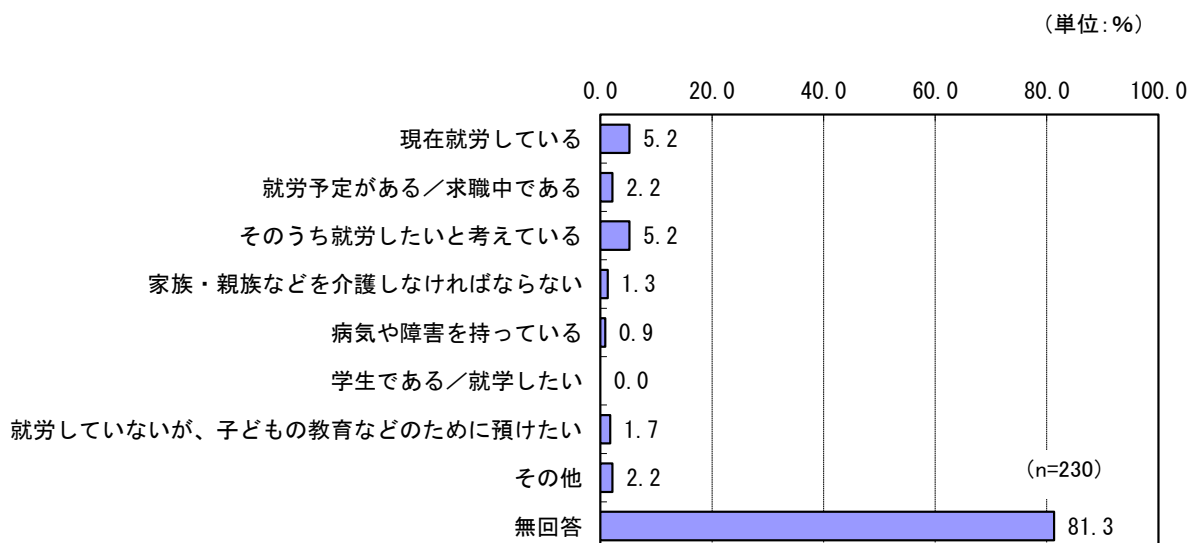


利用希望者の土・日の利用希望は、「ある」が23.5%、「ない」が55.9%です。



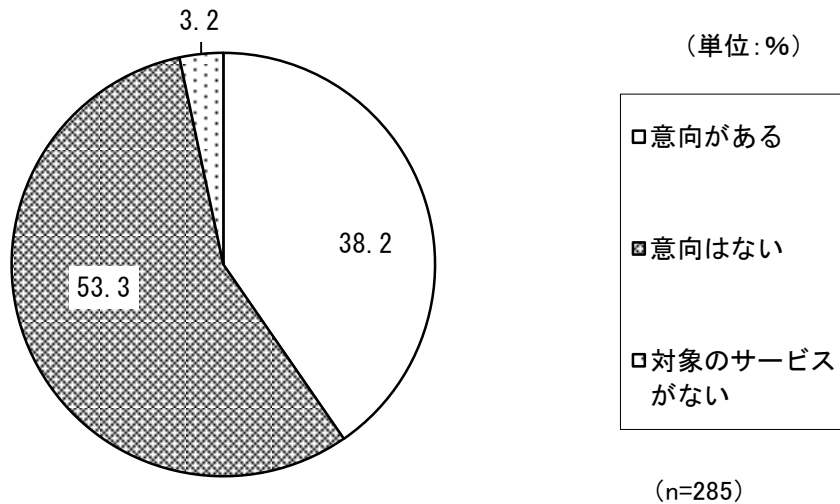
問15-4 問15で「2. 利用していない」に○をつけた方にかがいます。今後、放課後児童クラブを利用したい理由について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

利用していない人が将来利用したいと考える理由は「現在就労している」と「そのうち就労したいと考えている」がともに5.2%見られます。

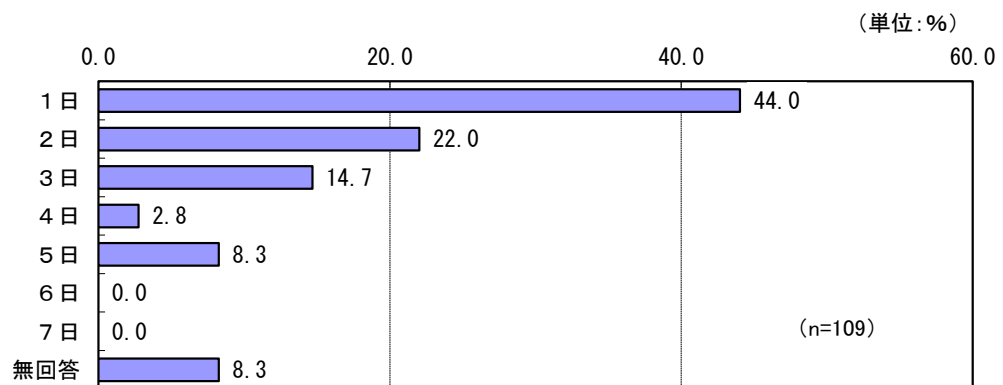


問16 地域によっては、放課後児童クラブと連携して行うサービスとして『放課後子ども教室』がありますが、その利用意向はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用を希望される方は1週間の利用希望日数を、口内に数字でご記入ください。

「意向がある」が38.2%、「意向はない」が53.3%となっており、やや「意向はない」のほうが多く見られます。

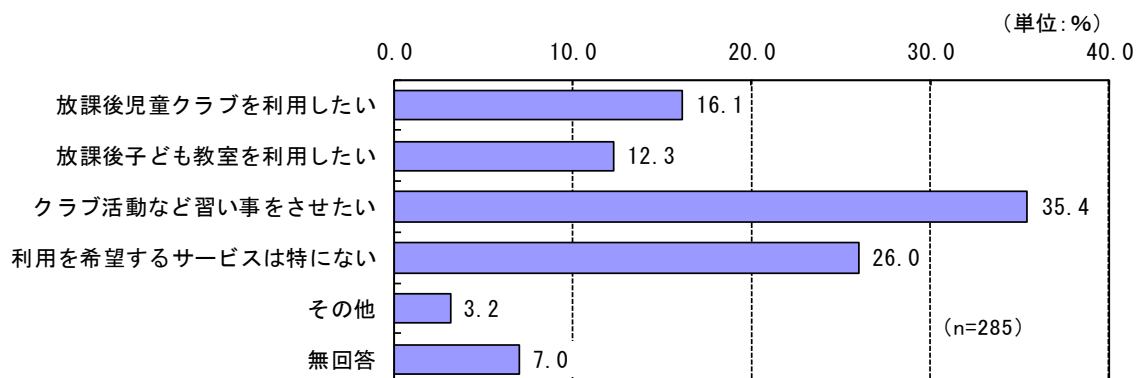


また、利用希望者の1週間の利用希望日数は、「1日」が44.0%、「2日」が22.0%、「3日」が14.7%となっています。

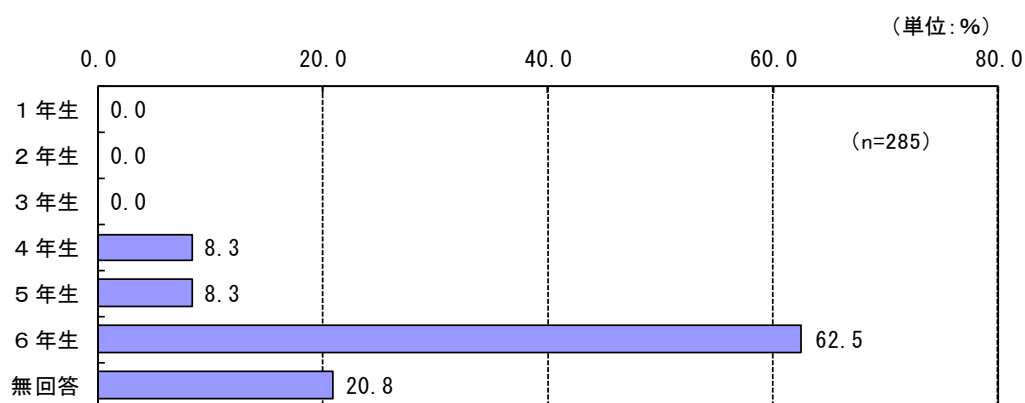


問 17 宛名のお子さんについてお伺いします。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

4年生以降の放課後の過ごし方は、「クラブ活動など習い事をさせたい」が35.4%と最も多く、「放課後児童クラブを利用したい」は16.1%、「放課後子ども教室を利用したい」は12.3%です。「利用を希望するサービスは特にない」が26.0%と4人に1人となっています。



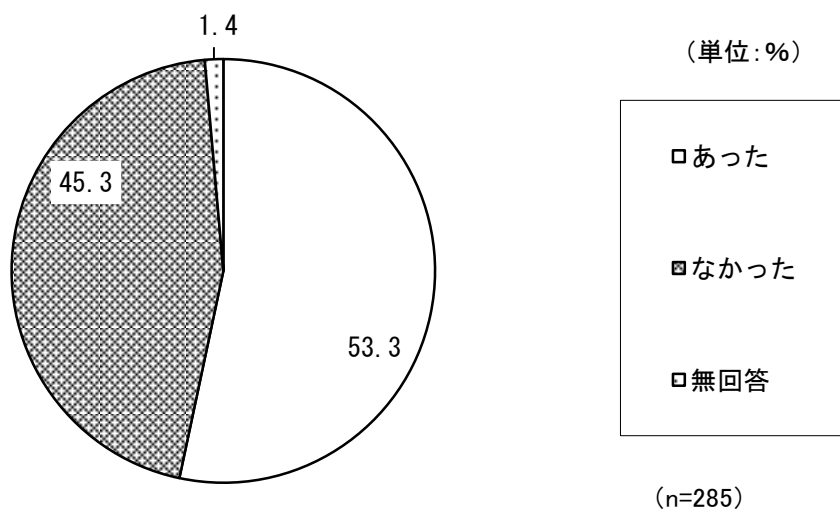
「放課後児童クラブを利用したい」人では「6年生」までが62.5%と最も多くなっています。



5 病気の時の対応

問 18 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「あった」が53.3%と半数となっています。「なかった」は45.3%で、「あった」のほうが多く見られます。

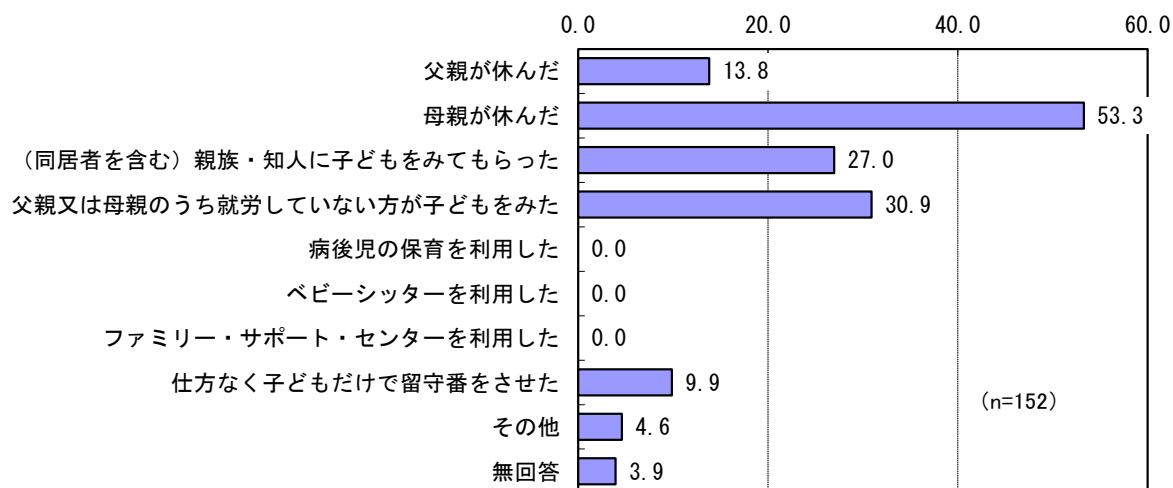


この1年間の、お子さんが病気やケガで学校を休んだり、放課後児童クラブなどの預かりサービスが利用できなかった場合の対処方法と、仕事を休んだ日数はどれくらいありましたか。父親、母親等それぞれについてお答えください。

問 18-1 この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

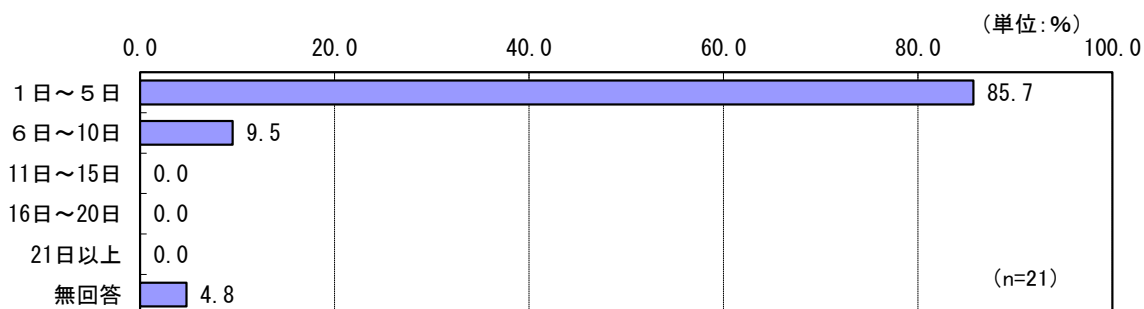
「母親が休んだ」が53.3%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が30.9%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が27.0%となっています。「父親が休んだ」は13.8%です。

(単位: %)



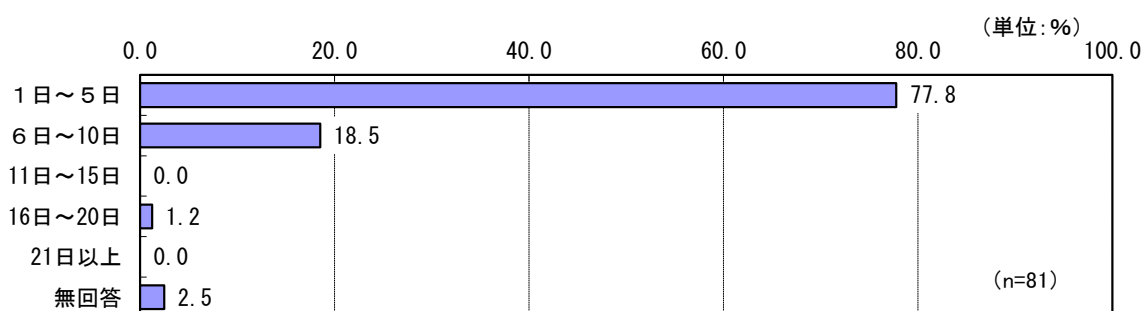
1. 父親が休んだ

父親の場合は、「1日～5日」が85.7%と大多数となっています。平均は3.0日です。



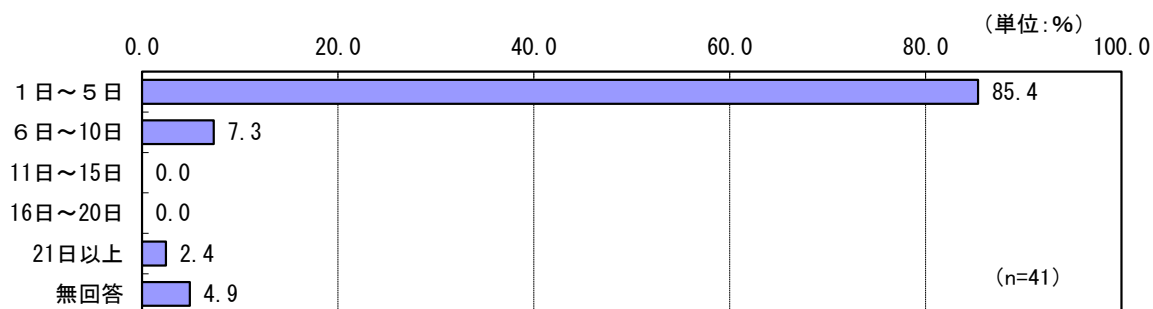
2. 母親が休んだ

母親の場合も「1日～5日」が多く77.8%となっています。平均は4.0日と父親より長くなっています。



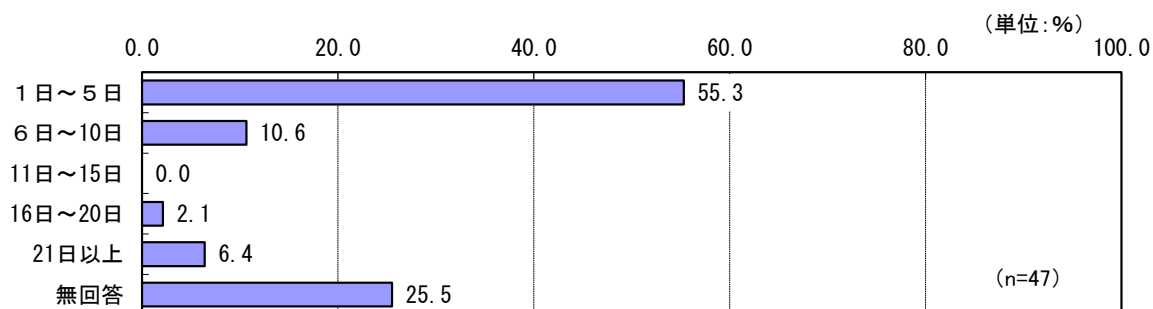
3. (同居者を含む) 親族・知人に預けた

「1日～5日」が85.4%と大多数となっています。平均は3.5日です。



4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた

「1日～5日」が55.3%と半数と減少し、「6日～10日」が10.6%となっています。平均は9.9日と今回調査の選択肢のうち最も長くなっています。



5. 病児・病後児の保育サービスを利用した (保育所で実施しているサービスを含む)

回答はありませんでした。

6. ベビーシッターを頼んだ

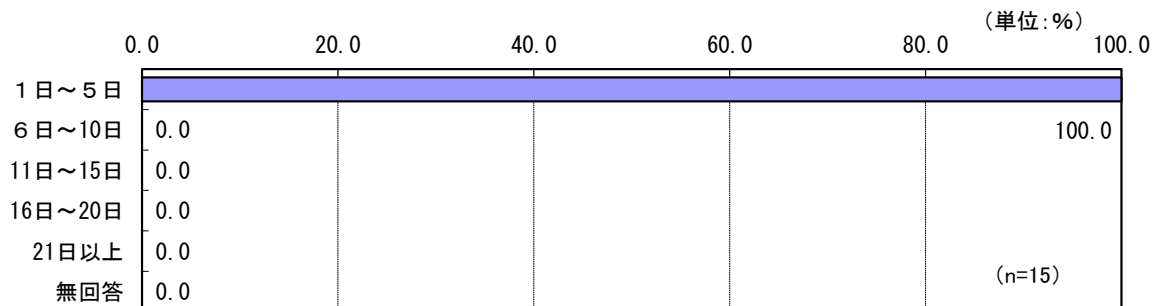
回答はありませんでした。

7. ファミリー・サポート・センターにお願いした (地域住民による子どもの預かりサービス)

回答はありませんでした。

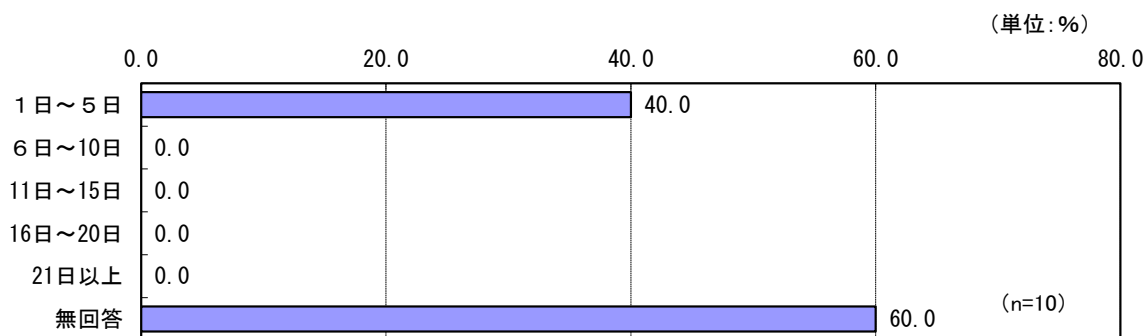
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

回答者全員が「1日～5日」と回答しています。平均は1.7日です。



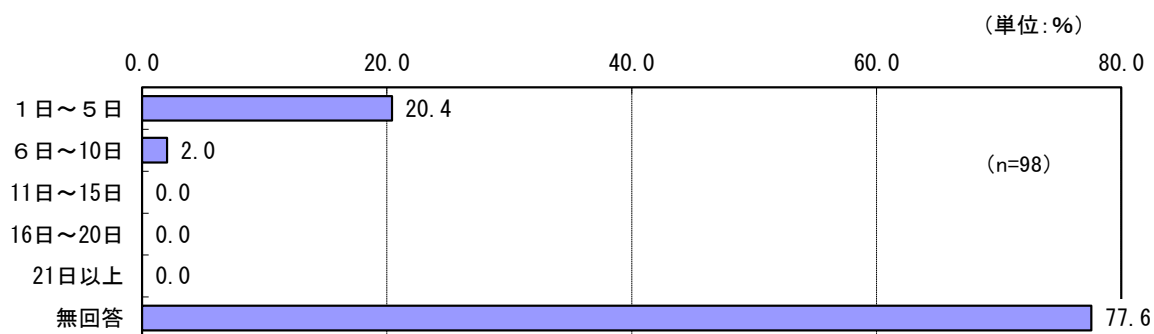
9. その他

「1日～5日」が40%となっています。平均は1.7日です。



問18-2 問18-1で、「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」「3. (同居者を含む)親族・知人に預けた」を選んだ方におうかがいします。その際できれば施設に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。口内に日数をご記入ください。

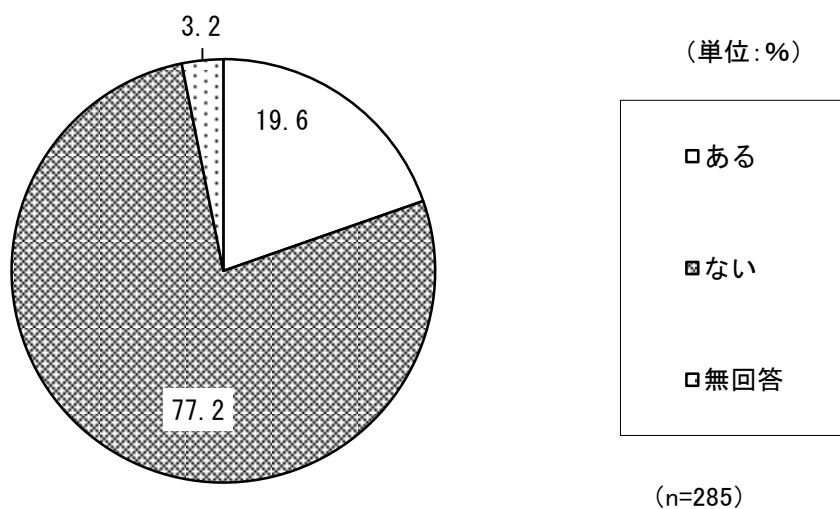
父親、母親、あるいは親族がみた場合で、施設に預けたかった日数は「1日～5日」が20.4%となっており、平均は1.9日となっています。



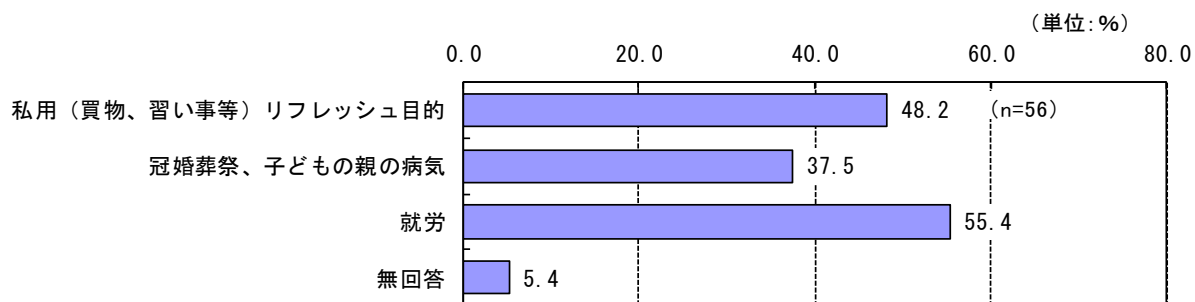
6 一時預かり

問19 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。「1. ある」を選んだ方は、日数をご記入ください。

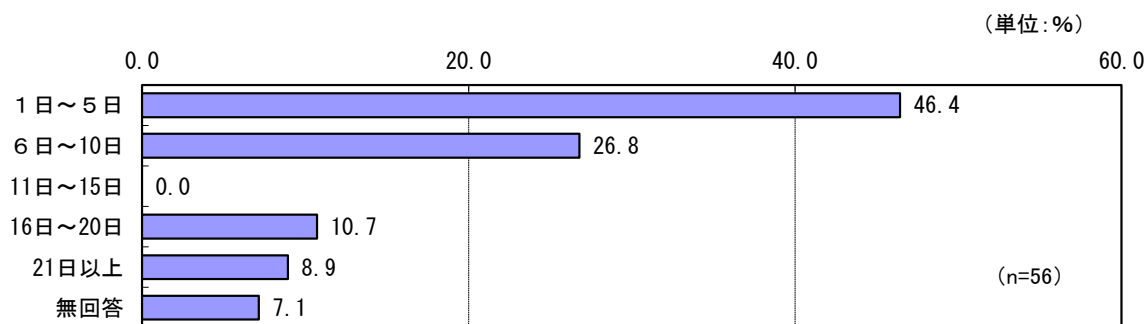
「ある」が19.6%、「ない」が77.2%となっています。



「ある」という人の理由は、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が48.2%、「冠婚葬祭、子どもの親の病気」が37.5%、「就労」が55.4%と分散しています。

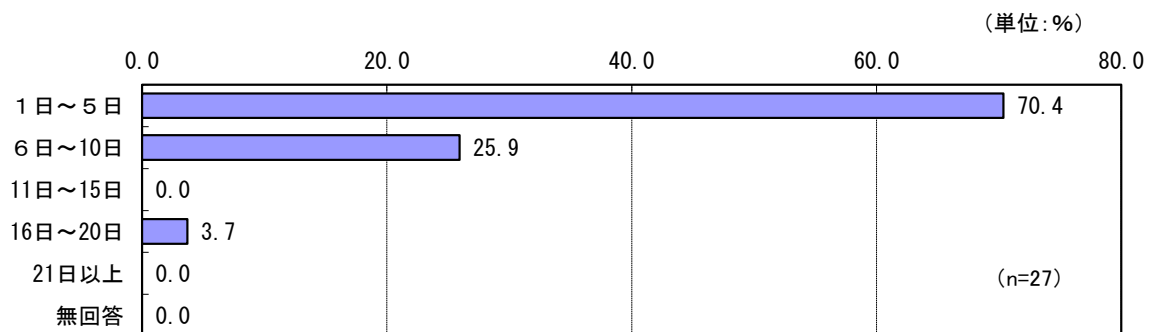


日数の合計は「1日～5日」が46.4%、「6日～10日」が26.8%です。平均は10.3日となっています。



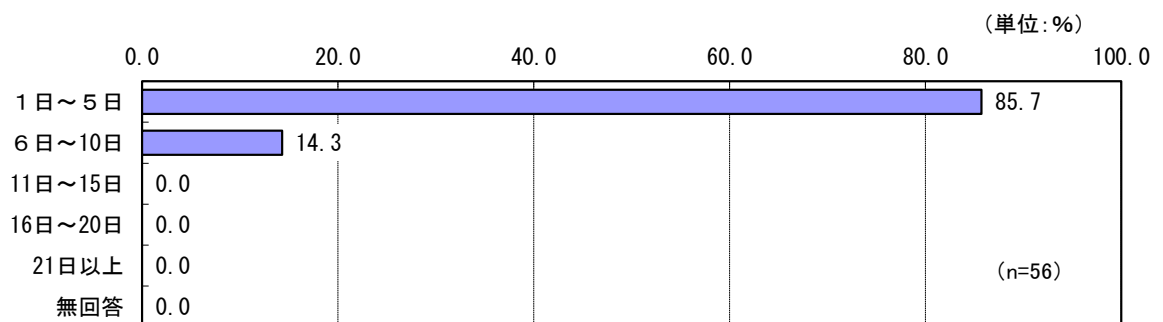
1 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的

私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的で利用した人は「1日～5日」が70.4%、「6日～10日」が25.9%で平均は4.7日です。



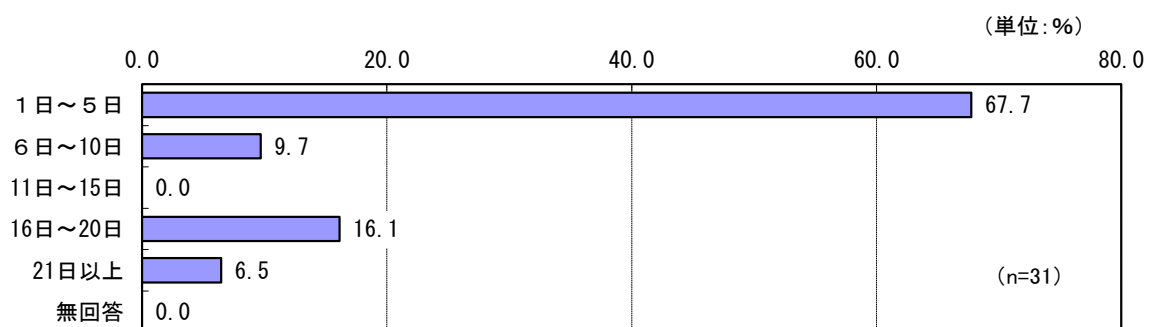
2 冠婚葬祭、子どもの親の病気

冠婚葬祭や子どもの親の病気の場合は「1日～5日」が85.7%となっています。平均は2.7日です。



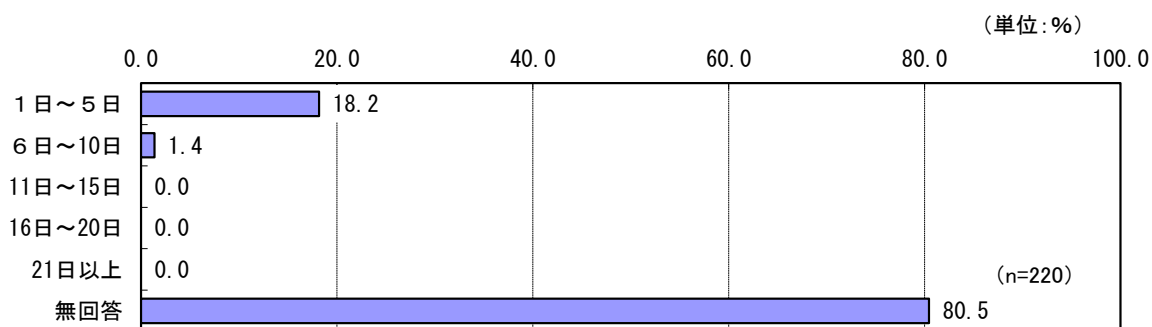
3 就労

就労の場合は「1日～5日」が67.7%と最も多くなっていますが、「16日～20日」が16.1%と長期にわたる人も少なからず見え、平均は最も長い11.5日となっています。



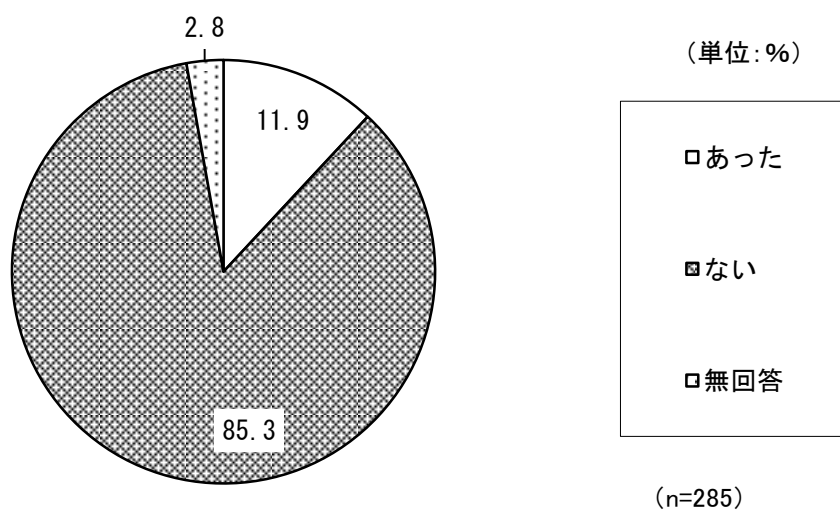
問20 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある方は口内に数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。

今は利用していないが、できれば利用したい人の希望日数は「1日～5日」が18.2%です。平均は2.3日です。



問21 この1年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならぬことはありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

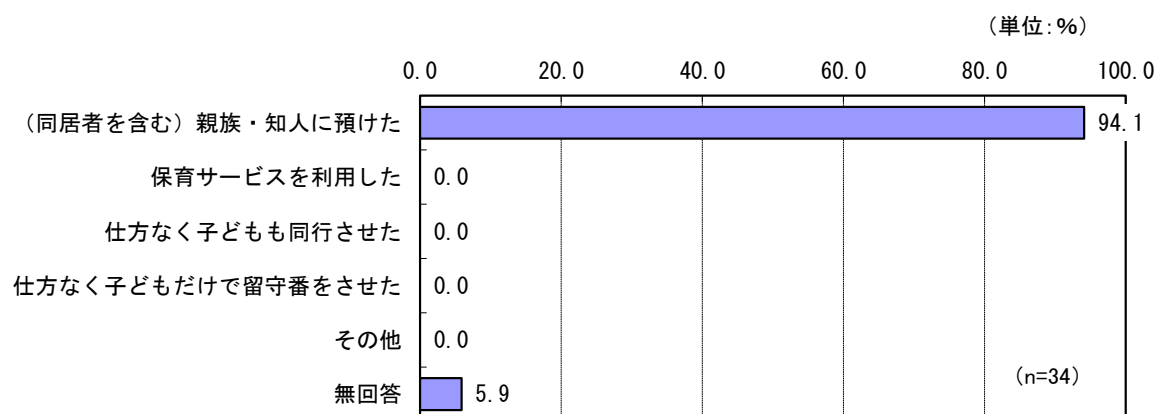
「あった（預け先が見つからなかった場合を含む）」が11.9%、「なかった」が85.3%となっています。



問21-1は、問21で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

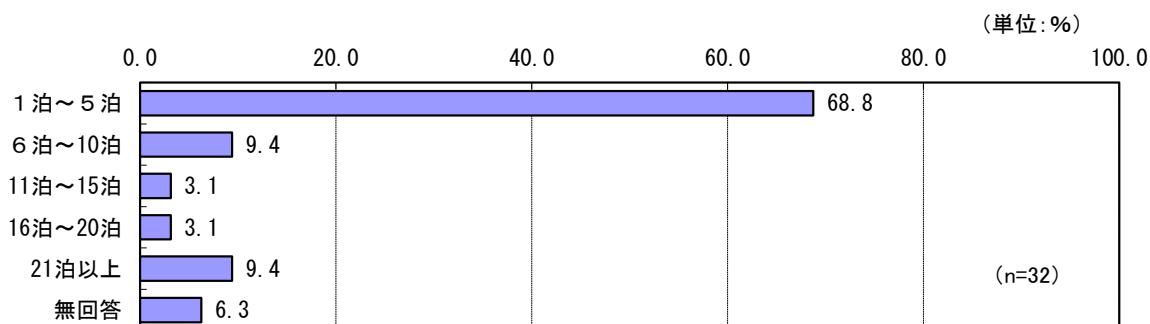
問21-1 問21で「1 あった」を選んだ方におうかがいします。この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は何泊くらいですか。当てはまる番号すべてに○をつけて、選んだ回答にそれぞれの泊数を口内に記入してください。

対処方法は、「(同居者を含む)親族・知人に預けた」が94.1%と大多数となっています。そのほかは「無回答」でした。



1. (同居者を含む)親族・知人に預けた

回答は32件で「1泊～5泊」が68.8%です。「21泊以上」も9.4%見られるなど、長い人も見られ、年間の平均は8.7日となっています。



2. 保育サービスを利用した

回答はありませんでした。

3. 仕方なく子どもも同行させた

回答はありませんでした。

4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

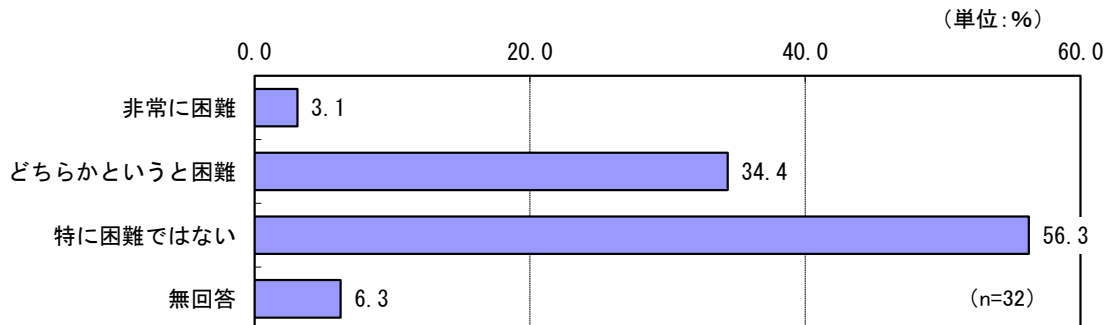
回答はありませんでした。

5. その他

回答はありませんでした。

問 21-2 問 21-1 で「1 親族・知人に預けた」を選んだ方におうかがいします。その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

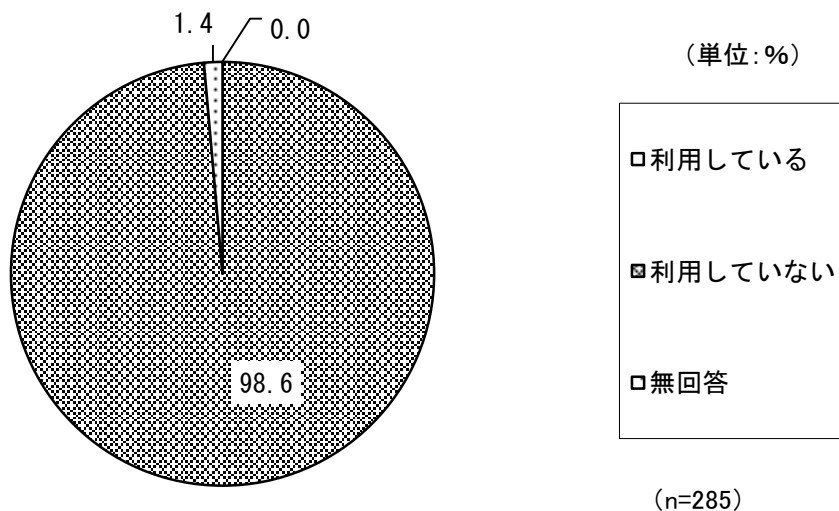
「非常に困難」は 3.1%と少数ですが、「どちらかというと困難」が 34.4%で困難を感じている人はあわせて 37.5%です。「特に困難ではない」が 56.3%と半数を超えています。



7 ファミリー・サポート・センター

問 22 宛名のお子さんはファミリー・サポート・センターを利用していますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「利用している」はいませんでした。



問 22-1～問 22-3 は、問 22 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 22-1 問 22 で「1 利用している」を選んだ方におうかがいします。どのような目的で利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

回答はありませんでした。

問 22-2 問 22 で「1 利用している」を選んだ方におうかがいします。利用状況について1月当たりの日数と1回当たりの時間を数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

回答はありませんでした。

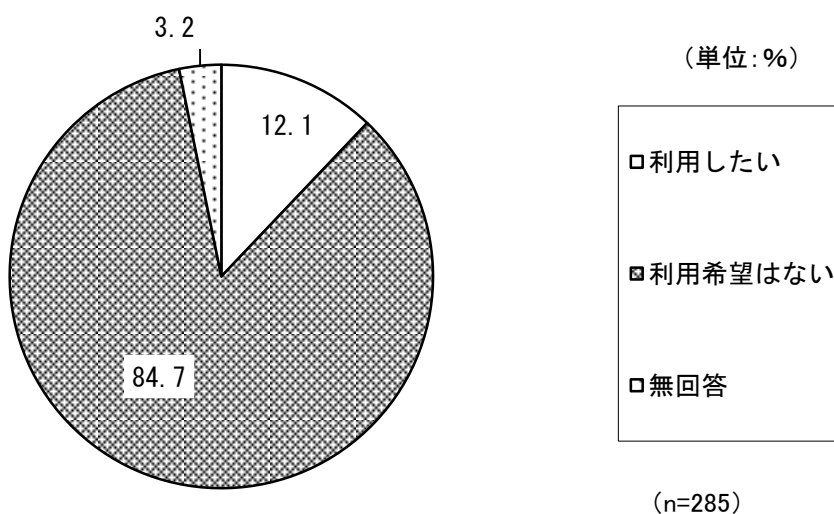
問 22-3 問 22 で「1 利用している」を選んだ方におうかがいします。今後利用を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。（※増やしたい希望がある方は増やした場合の1月当たりの日数と1回当たりの時間数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

回答はありませんでした。

問 21-4 は、問 21 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 22-4 問 22 で「2 利用していない」を選んだ方におうかがいします。今は利用していないが今後できれば利用したいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用希望がある方は希望する日数と1回当たりの時間数を口内に数字でご記入ください。

利用していない人では、「利用したい」が12.1%となっています。「利用希望はない」は84.7%です。

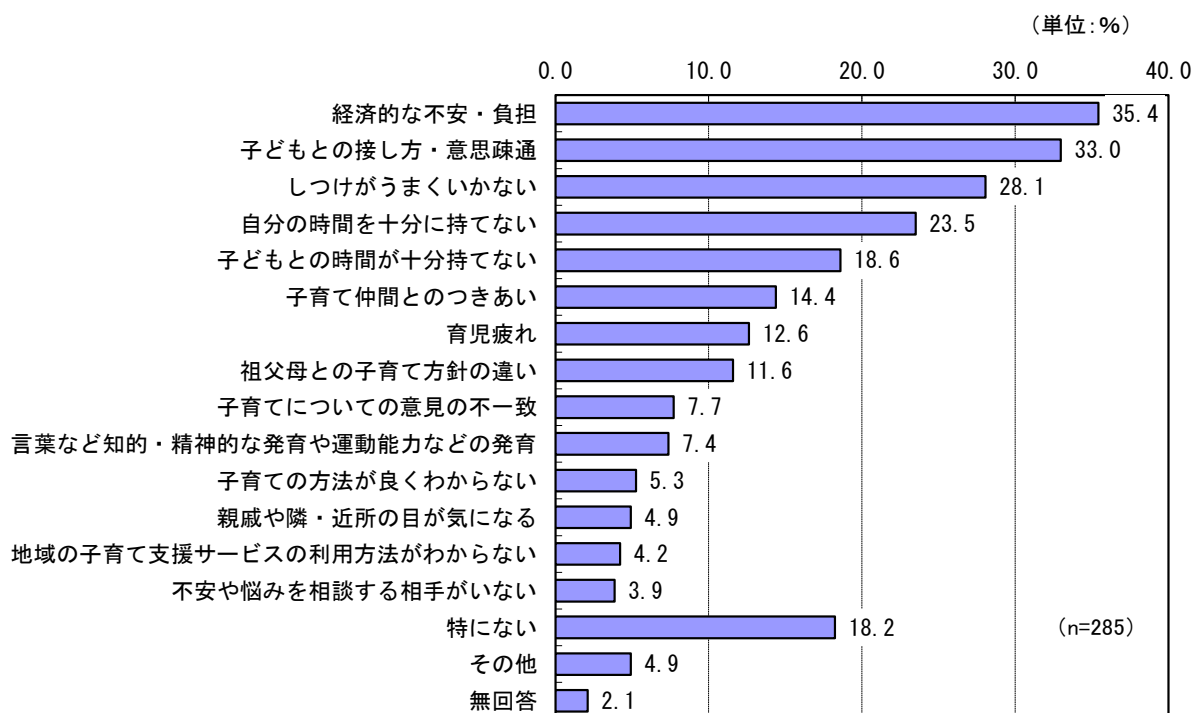


8 子育て環境

問23 すべての方に育児に関する悩みについておうかがいします。育児の悩みはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

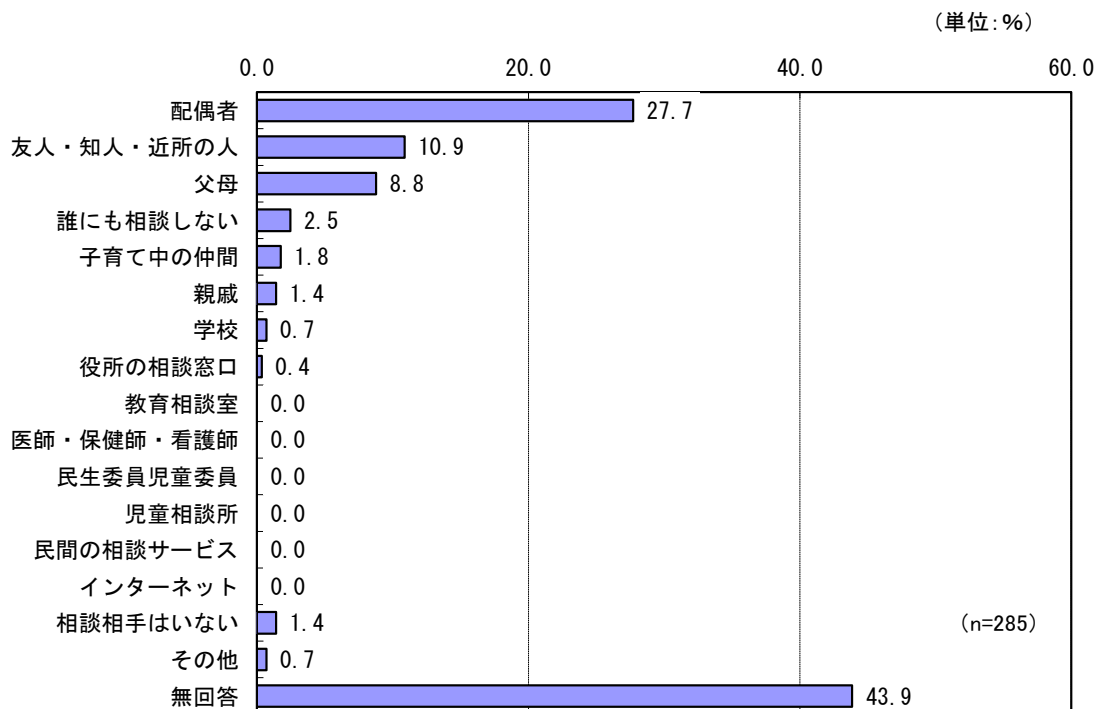
「経済的な不安・負担」が35.4%、「子どもとの接し方・意思疎通」が33.0%、「しつけがうまくいかない」が28.1%となっています。また、「自分の時間を十分に持てない」が23.5%、「育児疲れ」が12.6%など自分自身のことや「子育て仲間とのつきあい」（14.4%）や「祖父母との子育て方針の違い」（11.6%）など子育てをめぐる人間関係などの問題なども見られます。

「特にない」は18.2%です。



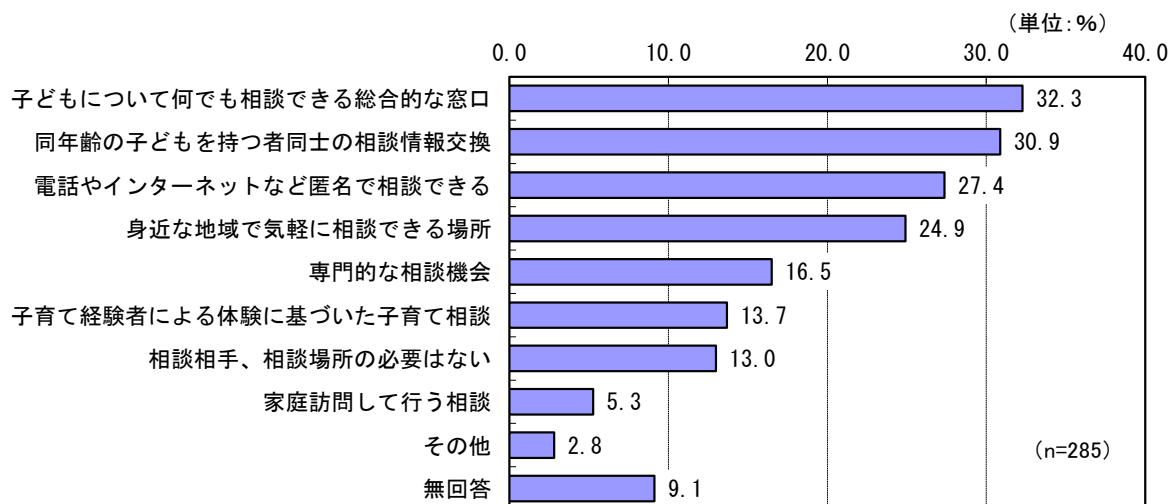
問24 問23のような悩みや不安について、相談場所・相談相手はどのようなところですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者」が27.7%と最も多く、「友人・知人・近所の人」が10.9%、「父母」が8.8%です。「誰にも相談しない」が2.5%です。



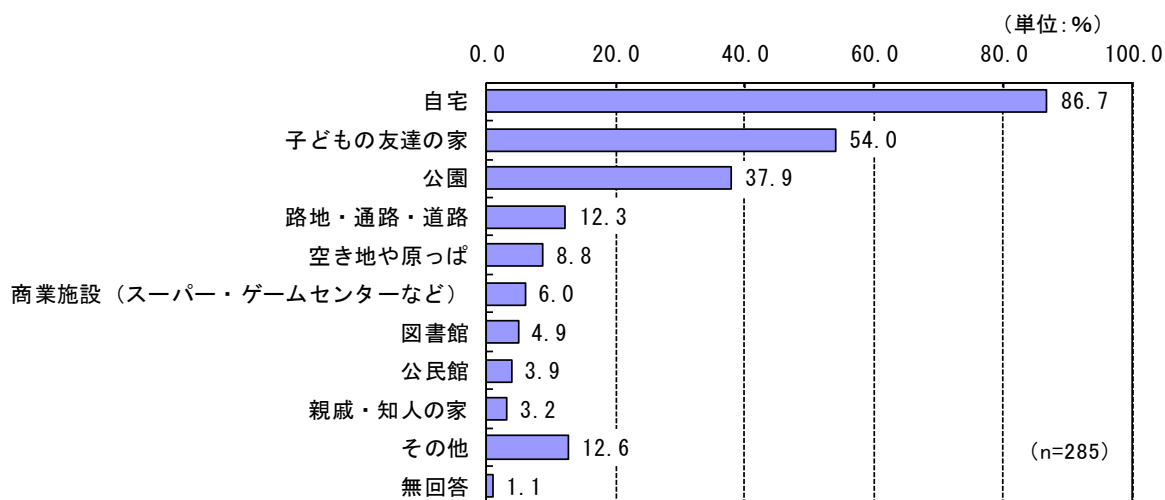
問25 宛名のお子さんの子育てについて相談相手、相談場所として希望することは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもについて何でも相談できる総合的な窓口」が32.3%、「同年齢の子どもを持つ者同士の相互の相談・情報交換の機会」が30.9%、「電話やインターネットなど匿名で相談できる場所」が27.4%、「身近な地域で気軽に相談できる場所」が24.9%で上位となっています。



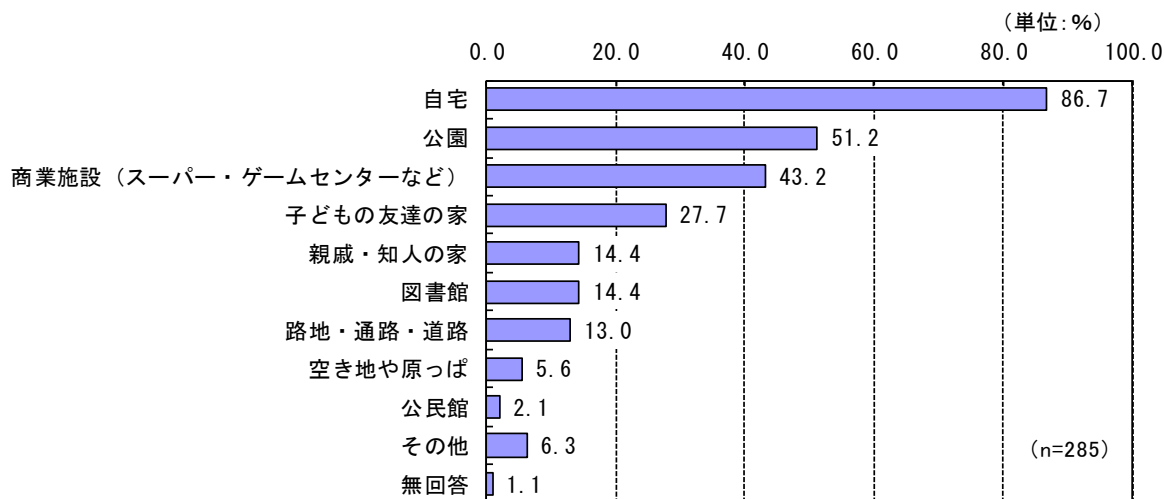
問26 宛名のお子さんを平日どこで遊ばせることが多いですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

平日は「自宅」が86.7%、「子どもの友達の家」が54.0%、「公園」が37.9%です。



問27 宛名のお子さんを休日どこで遊ばせることが多いですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

休日も「自宅」が最も多く86.7%で、「公園」が51.2%、「商業施設 (スーパー・ゲームセンターなど)」が43.2%と増えています。

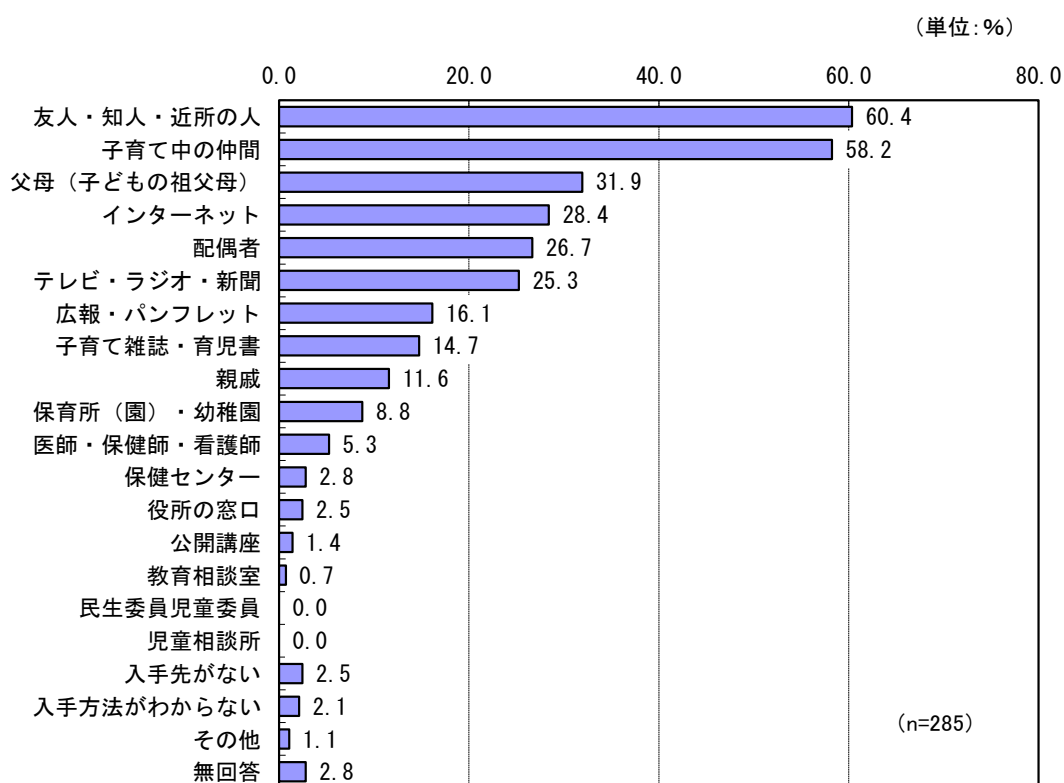


問28 子育てに役立つ情報はどこから得ることが多いですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人・近所の人」が60.4%、「子育て中の仲間」が58.2%でともに6割を占め、高い回答となっています。

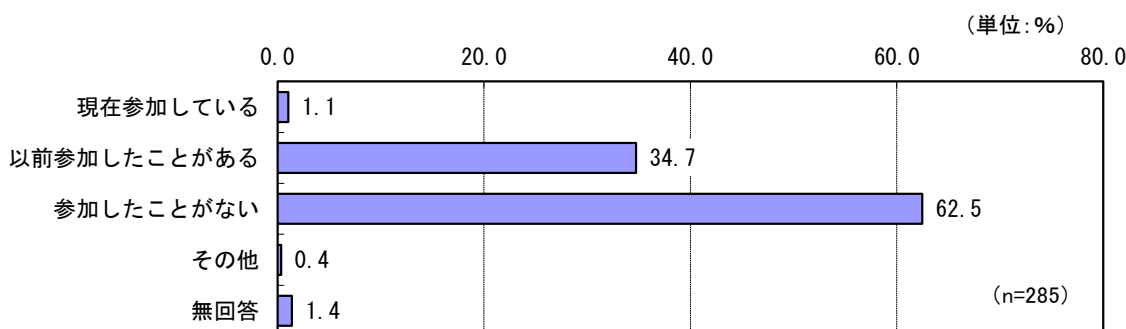
次いで「父母（子どもの祖父母）」（31.9%）、「配偶者」（26.7%）など身内や「インターネット」（28.4%）、「テレビ・ラジオ・新聞」（25.3%）など一般のメディアなどが見られます。

「入手先がない」は2.5%、「入手方法がわからない」は2.1%で少数です。



問29 子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

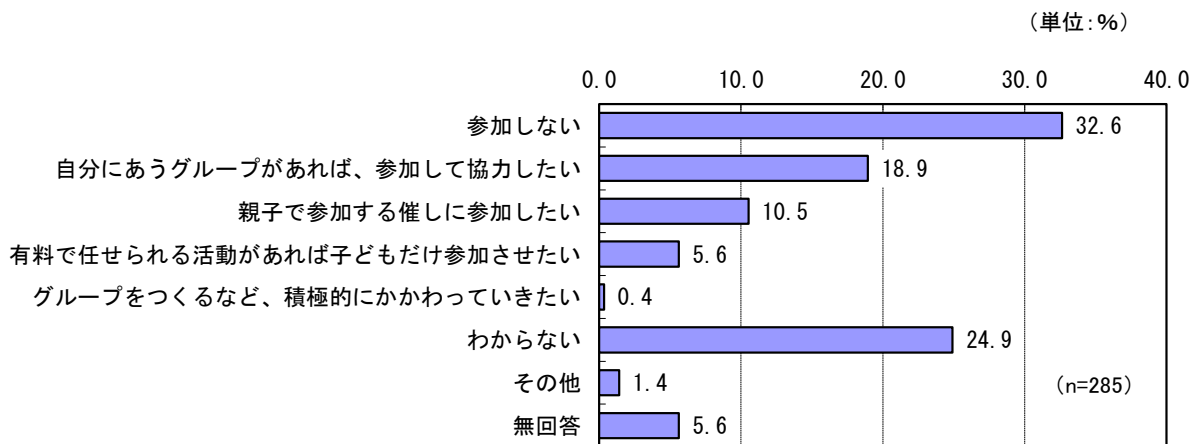
「現在参加している」はわずか1.1%、「以前参加したことがある」が34.7%で経験者は35.8%です。「参加したことがない」は62.5%となっています。



問30 今後、子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加するつもり（継続の場合も含む）はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「参加しない」が最も多く32.6%となっています。

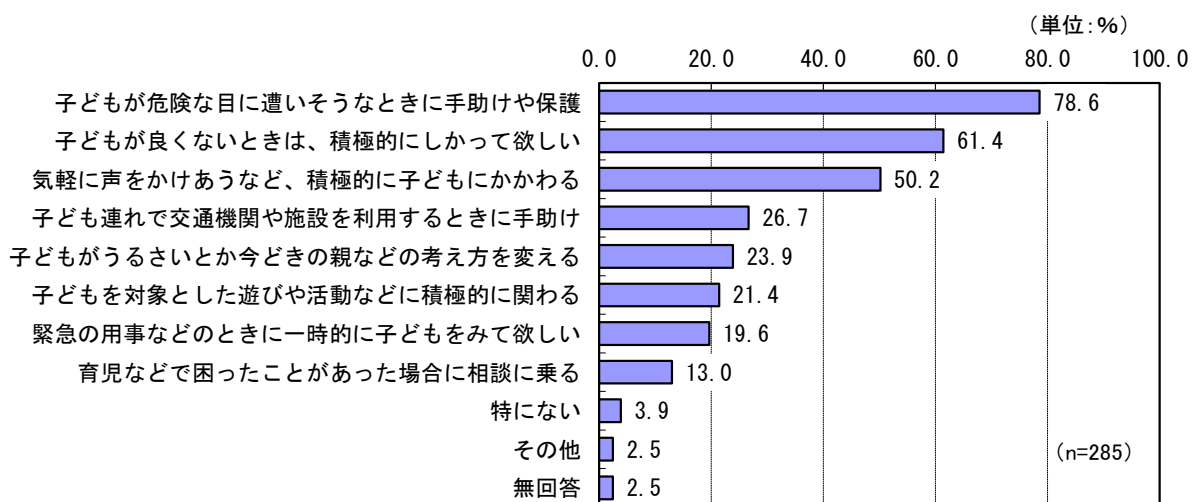
参加希望者では、「自分にあうグループがあれば、参加して協力したい」が18.9%、「親子で参加する催しに参加したい」が10.5%、「有料で任せられる活動があれば子どもだけ参加させたい」が5.6%となっていますが、「グループをつくるなど、積極的にかかわっていききたい」は0.4%と少数です。



問31 子育てをする上で、地域全体にあなたが望むのはどの様なことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもが危険な目に遭いそうなときは手助けや保護をして欲しい」が最も多く78.6%となっています。また、「子どもが良くないことをしているのを見かけたときは、積極的にしかって欲しい」が61.4%、「出会ったときに気軽に声をかけあうなど、積極的に子どもにかかわって欲しい」が50.2%でこの3つの選択肢が半数を超えて多くの回答が見られます。

「特にない」は3.9%とわずかです。

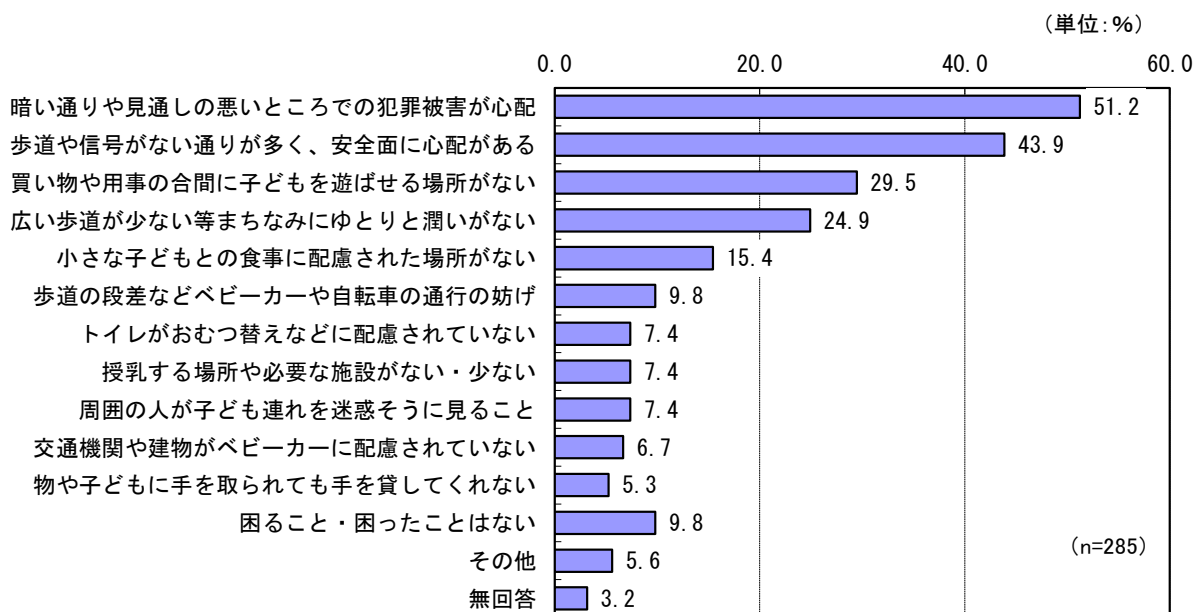


問32 子どもと外出するときに、困ること・困ったことは何ですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「暗い通りや見通しの悪いところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配」が51.2%、「歩道や信号がない通りが多く、安全面に心配がある」が43.9%となっており、問31に続き子どもの安全対策が上位となっています。

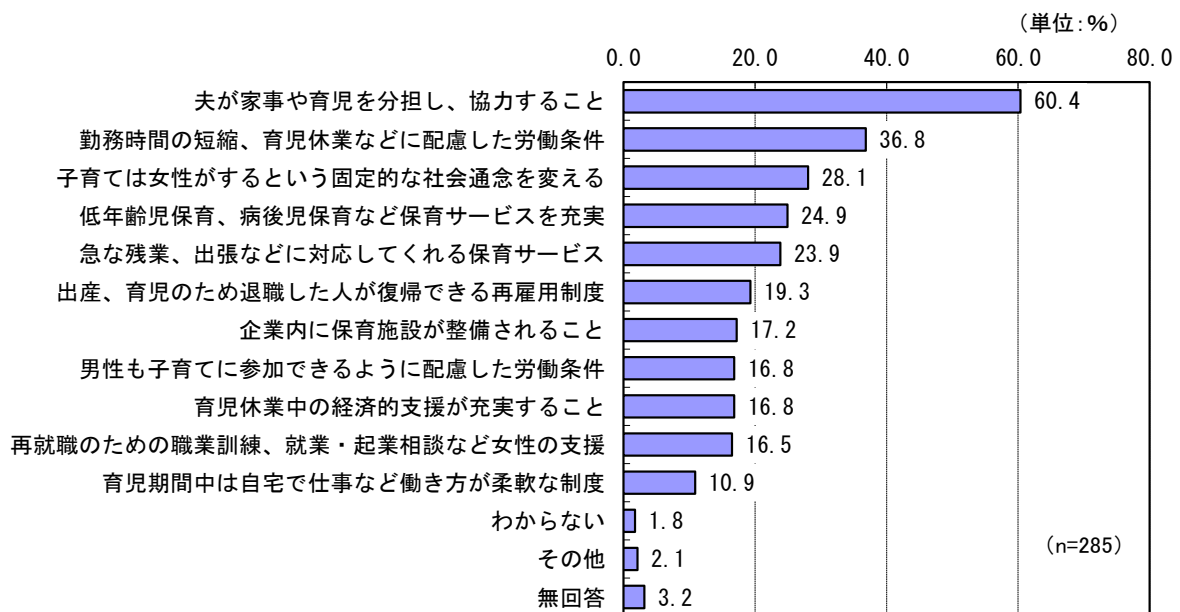
第3位以下では「買い物や用事の合間に子どもを遊ばせる場所がない・少ない」が29.5%、「広い歩道が少ない等まちなみにゆとりと潤いがない」が24.9%などとなっています。

「困ること・困ったことはない」は9.8%です。



問33 女性にとって子どもを育てながら、働くために必要なことは何だと思えますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「夫が家事や育児を分担し、協力すること」が60.4%と最も多くなっています。2番目は「勤務時間の短縮やフレックスタイムの導入、育児休業、看護休暇など子育て者に配慮した労働条件・制度があり、それが実際に活用できる職場環境であること」が36.8%で、労働条件の問題があげられています。「子育ては女性がするもの」という固定的な社会通念を変えることが28.1%、「低年齢児保育、病後児保育など多様な保育サービスを充実すること」が24.9%などとなっています。



問34 自由意見

自由意見としては、以下のとおり回答がよせられています。

教育・保育施設

- ・子どもも小6になると必要なサービスなどはあまり無いんだと思う。小さな子を育てている人にとってはやはり保育施設の充実が何より有難いのではないかと思う。
- ・子供を安心して預けられ仕事に専念できるよう保育時間を延長。土曜日を小学校開放して自由に勉強ができるよう場所の提供。補習を兼ねて分からない所を教えてもらう時間。表現だけでなく子供に対する支援金を十分にあててほしい。もっと小学校に冷暖房設備完備など。これからの時代には必要かと。
- ・待機児童が出ない様な対応。子供の成長や発達に関する相談機会・窓口の充実。公園(子供が遊べるような)を増やす。児童相談所等に行くのは勇気がいる部分もあるので「御用聞き」のようなことを定期的にやってくれるとありがたい。安心して自転車が乗れるように歩道を整備してほしい。
- ・病気の時にも安心して子供を預けられる保育サービスが利用できるようにしてもらいたい。放課後児童クラブはもう少し環境の改善をして欲しい。有料にしても構わないので先生を増やすか資格保有者等、子供ときちんと接することができる人に預けたい。
- ・保育園等未就園児の受け入れ先が近隣市町村と比べて少ないので是非拡大していただきたい。
- ・幼稚園が少ない事。
- ・幼稚園でももう少し長い時間預けられたら働きに行けて経済的に軽くなる。消費税が上がるので保育環境を見直して欲しい。
- ・幼稚園のみらい平地区につくってもらいたい。保育園はたくさんできるのに幼稚園がたりまいと思う。
- ・翌年入園予定の3才児を対象とした未就園児教室を週1日(2時間程度)あれば利用したかった。(所沢市では市立幼稚園が2年保育のため3才~4才児を対象とした無料の教室が公民館で行われていました。集団生活への練習の場として利用していました。)

小学校

- ・PTA関係についてです。先日PTA主催のソフトバレーボール大会が行われました。私達チームはバレー経験者も少なく人数も集まらず急ぎで集められたチームでした。ルールもあいまいで各チームから審判等もやらないといけなくてルールも経験もない私達チームはとても審判などできるものではありませんでしたが案の定審判をやる番になると他の小学校チーム（M）の男性から罵声をあげられとても嫌な気分になりました。趣旨はケガをせず楽しい交流の場というお話でしたので多少のルールのちがいは大目に見て気持ち良く過ごせるものと思っていましたがとても気持ちのよいものではありませんでした。寄せ集めで集まったPTAチームでしたので仕方ないのですが他にも同じようなチームはあったと思います。
- ・いじめ、までいかなくても子供同士のトラブルがあったとき担任の先生以外で学校関係者（副担任）などきがるに話を聞いてくれる人がほしい。気軽にというかどこまでしんこくな状態であるのか子供の話だけに留まらず第三者の目線で学校の様子をきかせてもらえると助かる。担任の先生はいつも忙しそうで多数のクラス全員を一人で見ているのかと思うとモンスターペアレンツになっているようで気軽に相談しづらくつらい。
- ・みらい平地区の人口増加はめまぐるしく中学校開校を早くすすめてほしい。義務教育において行政の手立ての遅れに不安があります。
- ・以前もこのようなアンケートがありました。つくばみらい市の状況はまったくかわっていないように思います。
- ・学校の教育として昔から伝わる伝統をとり入れてほしい。（華道、茶道、礼儀など）いろいろな用事ができて子供を連れて行けない時など頼れる所があるといいなと日頃感じています。
- ・学校の先生がもう少し子供を理解してほしい。また先生も入れ替えをしていただきたいです。
- ・現実問題として2年後に通う事になる中学校について。伊奈中にしても谷和原中にしても通学路が危険すぎるし学区がいつまでもあいまいである。小学校問題も後手後手で何をしているのだという気持ちが強いが教育に関して、もう少し真剣にとりこんで欲しい。さくら公園も放置したまままだどうなっているんだ！と怒りさえ覚える対応だ。
- ・子どもたちが少しでも生活しやすい教育環境、保育環境の充実を心より願います。
- ・子どもの人数の増加によって小学校・中学校があふれてきている。（場所によりますが）人数が増えてきている地域には学校や児童センターなどをもっともっと増やしてほしい。また、公園なども増えてきてはいるが街路の安全性を考慮して街灯を増やしたり地域の人達によるパトロールなどを行ったりしてより安全な子育てが出来るよう環境を整えてほしい。
- ・児童が減り、子供だけの登下校が難しくなってきた。子供が1人で登下校するのは今の時代危険が多いのでどうしても親の送迎が必要になり親の負担が増えている様に思う。
- ・諸学校の授業参観後の懇談は子供の帰宅後に行われるので安心して参観できない。子供の弟を連れて行くのも大変なので民間の一時保育に預けている。親と同居をしていない家庭が増える中せめて学校や幼稚園での一時的なサポートが欲しいと思う。
- ・小学校でカウンセラーの方がきて相談にのってくれる時がありますが、友人にきいたところ、先生に具体的な内容などを伝えなければならずプライバシーが守られないのではと思い、私は申込みませんでした。先生方も専門的な知識があればいいのですが、相談したことによって変な目で見られたりするのではと不安に思いました。もっと気軽にすぐ託児できるころがあればいいです。みらい平に児童館ができるそうですが託児施設も作ってほしいです。
- ・東は小規模な小学校です。でも明らかに先生の人数が足りない。先生方はとても良く指導して下さい。市でもっと配慮してほしい。
- ・東地区において教育や地域交流の拠点である東小学校の斜面側の校庭がひび割れにより立ち入り禁止になっています。先日、11月16日三世代交流会の時には東小学校に片庭市長が来られていました。校庭の現状は見ていただけののでしょうか。早期の補修工事を強くお願いします。
- ・中学校も早めに検討して欲しい。

保健・医療

- ・インフルエンザの予防接種への補助があると有難いです。
- ・近隣の地域ではマルフクが中学生までの所が多いがいまだに小学生までというのは遅れている。部活動に加入すると小学生よりケガが多くなるので困っている。
- ・近隣市町村では中学3年まで医療費の助成制度があるようですが、つくばみらい市はマル福のみである。今後TX効果で人口増が見込まれ税収も増加すると思われます。子育て世代が住み良い街となるためには学校保育所等の施設整備も大切だが近隣市町村が実施しているマル福の拡充ぐらいは早急に実施してほしいものである。

子育て支援サービス

- ・ファミリーサポートがあるのかどうか分かりませんが使いづらいものではなく使いやすいサポートが早急に出来ると良いです。病児保育もないのでフルタイムを希望してもむずかしいと感じます。

- ・現在は児童クラブを利用させていただきとても助かっています。4年生からは利用できないとのこととても不安です。家に祖父母はおりますが仕事をしておりお願いするには心苦しい点もあります。地域で家が離れており子供1人で遊ばせるのも心配です。仕事をしていて同じ思いの方は多いと思います。
- ・子育てをしていてにっちもさっちもいなくなった時に子供と少し離れたと思うが未就学児に関しては急に対応してくれそうな所がない。一時保育は回数が決まっているし、保育所は働いていないと入れないので困っている。小学生に関しては全くそういう対応が出来ない現状。保健センターに相談しても小学生に関しては対応出来ないという事でした。小学生だからそんなに問題のある子はいないという様な判断をされているのではないのでしょうか。今の小学生は昔とは全く違う現状をわかって欲しいです。
- ・児童クラブが4年生までまたお盆は休みなどという中途半端はただちにやめてほしいです。夫婦フルタイム勤務で安心して育てられることが子育ての基本です。祖父母も友人も親ではない。フルタイムで2人で働いていたら6年生になっても児童クラブはなくては本当に困るし、お盆を必ず休めなんてあまりにも田舎の感覚では？利用が少ないからではなく利用できないからあきらめてきた人たちを早く救って下さい。変化は大変だけど子供はどんどん大きくなってしまふ。がんばって下さい。つくばみらい市。
- ・児童クラブのスタッフの質の向上をしてほしい。子供のしかり方が？と感じる時がある。お迎えに行った時の子供（うちの子ではなく）への会話「○○ちゃんそんな事しているとママに言いつける」と、そんなしかり方は？子供たちも悪いのかもしれないが先生方がなめられているように感じます。「おこってもきかないんです」と親へ。もっときびしくしかってもいいと思う。見るに見かねて私が他の子を怒ってしまう事もあります。親の不在の時間、子供を見てくれているのはとてもありがたいのですが、もう少しすつの良い環境？にあずけたいと感じます。
- ・児童クラブは3年生まで！と言われ運動会や授業参観、創立記念日などの平日休みの時預けられるところがないので結局母親が休まなければならない。そういうときの為だけの預け先がないから困ります。（両親（祖父母）と同居していませんので）そういう親のために何とかしてほしいです。
- ・児童館などあるといい。遊べる広場が地区によってかたよりがある。
- ・児童館を建設してほしい。
- ・取手市・守谷市等他の市町村では放課後の児童クラブの利用が6年生までなのに対しつくばみらい市は3年生までという事でこまっています。仕事をしているので4年生になると5時過ぎまで自宅にひとりというのは危険な気がします。出来れば6年生までの利用に増やしてほしいです。とくに豊小児童クラブは利用数はかなり少ないのもったいないと思います。車どおりが多いのに歩道がないのは危険すぎます。
- ・守谷市のように5時まで預かりが出来る放課後子ども教室(週5日間)があると働きに出やすくなると思う。児童クラブは費用も多くかかるため預けにくい。
- ・声を上げて行政が動かなければ何も変わらないし、「こんなサービスをしています」的なアピールが少なすぎる。特に小学生までのサービスであれば学校を通じてサービス内容を知らせる等お金をかけずにアピールしたい人に知らせる手段を取っていない。もう立前の「福祉」ではなく「頼れる福祉」を実現してほしいです。アンケートが「私達は色々考えています」のパフォーマンスにならない事を心から祈ってます。是非「茨城のつくばみらい市発の新しい育児サービス」として全国に取り上げられる様がんばって下さい。
- ・柏などでは小学校の放課後に部活のようなものが4年生からあるようです。私も子供の頃にしていてそのおかげで体力、運動能力が向上したと思います。つくばみらい市の子供達にもそのような場を提供してほしいです。宜しくお願いします。
- ・病後児保育は特に強く希望します。

家庭支援

- ・1人で働きながら子供を育てている母子家庭、父子家庭をちゃんと援助して下さい。再婚することばかりが良しとするような風潮で実家にも頼らず1人で頑張っている人をないがしろにしてるような感じがします。児童扶養手当の所得制限の金額もそれでは生活出来ないんじゃない？という設定で疑問を感じます。皆平等に安心して子育てが出来る環境作りを目指してほしいです。
- ・共働きの場合、子供が遊ぶ場所に友達の家等遊ぶ相手の家の負担を考えると。コミュニティーセンターを広く活用出来る様に子供を見てくれるボランティアが常駐し放課後の子供達を安心して遊ばせられる場所にしてほしい。又興味をもって遊べるイベントや移動図書があってもいいと思う。
- ・教育、保育環境施設（児童公園など含む）の充実。
- ・今は仕事をしていませんが近くに親や親族などがいない為子供が病気になったりして仕事を急に休まなくては行けない状況になった時の事を考えるとなかなか仕事をという気持ちがむずかしい。そのあたりのサポートがもっと充実すると子供を育てていく事ももう少し楽になると思う。
- ・他県に住んでいた時には、新生児サービスがあり、入浴や食事作り、買い物、そうじなど手伝っていただいた事がとても有り難く助かりました。このようなサービスが市でもあれば良いと思います。また子育てに一端仕事を離れるとなかなか次の仕事に就けなかったり子供の預かり先に困ったりと「にわとりと玉子」の関係が続きました。子供たちが放課後に天

候に関係なく集って遊べる地区の公民館などがなく家庭にこもりつきりになっている現状もあります。まだまだこの市はお年寄りに手厚い行政だと感じております。

- ・働きながら子供を育てるのはとても大変です。私のように仕事場が家ならそれに仕事の内容も子供が寝ている時にやったりで大丈夫だったので4人育てることが出来ました。何よりも子供が一番なので、3才くらいまではしっかり親が見てあげられるような環境にしてあげてください。
- ・父子家庭にももっと、もっと支援して欲しい事。男も大変です。
- ・母子家庭へのめんじょが少なくなってきた。医療についても一時負担金が600円のもどりや、インフルエンザの予防接種にも返金されたが今現在その制度はない。父親がいないのはしかたない。だが、子供が傷つかない様学校でフォローしていない様な気がする（プリント類など）。

基盤整備

- ・ガードレールがない道が多く子供が自転車で遊びに行く時、とても心配。街灯も少ない。公園が近くにない。
- ・つくばみらい市に来て車が無ければ参加したい集まりにも行けずなのに相談しに来てくださいねって言われ。谷和原でのサークルなど多いのに谷井田ではなかったりなので地区ごとのあれば嬉しい。歩道が無く自転車ではしていても車優先で危ない。トラックも多いバイクでうるさい音で走っているのにけいさつもうごかずに子供を育てていてもあぶない。
- ・つくばみらい市はまだ子供の遊び場が少ないと思います。とくにみらい平は子供1人で行ける公民館や児童館がなくてびっくりしました。対応を考えてほしいです。
- ・つくばみらい市は守谷市に比べて保育園や保育の環境が整ってないと思います。教育面に関してはかなり力を入れていただいて満足していますが街灯が少なく薄暗い場所が多すぎます。これから冬にむかいどんどん暗くなってきますので早急に街灯を増やして子供たちの安全の為お願い致します。つくばみらい市絹の台地区。
- ・みらい平周辺を重要化しすぎ。板橋・伊奈東・狸穴・谷井田、前からある所、地区をなぜ見捨てるのか。なぜ新しい場所しか目を向かないのか。他の地区にも人は住んでいる。老人も子供も住んでいる。板橋コミュニケーションセンターを造っても子供の遊べる所も本も何もない。公園もないしあっても古くいつ壊れてもおかしくない様。新しく来る人新しい造る町だけでなく、前からいる人、ある町を第一に見て欲しい。守ってほしい。造って欲しい。大切にしたい。
- ・みらい平地区に児童館や図書館が出来るとの事、児童クラブへ通えなくなる年齢がくることを考えるととても有難いです。子供達が楽しく通えるよう、イベントやワークショップなど充実した施設にして頂けるとうれしいです。又、小さな幼児とお母さんがゆっくり遊べて交流出来る場もぜひお願いします。以前の市ではいつ来て帰ってもよく100円はらってハーブティーを飲みながら母親同士話しながら子供が遊べる場所がありとても助かりました。
- ・もっと自由に学校のグラウンドあき教室などが使えればいいと思う。イスとテーブルとトイレがあれば友だちとあつまって話をしているだけで楽しく過ごせる感じがする。1度帰宅してから子供たちが自分の力で行ける場所に集まれる場所があればたのしいと思う。学校のなかにあると安心だと思う。児童クラブは低学年までは利用したけど子供が大きくなると本人がいきたがらなくなるが親は心配のまま。
- ・環境面で道路の整備、みらい平地区だけでなくもっと神生方面の道路をどうにかしてほしい。子供が少ないとはいえとてもキケンです。草ものびほうだいでせめてキレイにしてほしい。
- ・公園がだいぶ増えてはきましたが、幼児や小さい子目線の公園ばかりで小学校高学年～中学生たちも使えるようなグラウンド的なバスケットゴール、テニスの壁打ち、サッカーゴールなど設置してもらいたい。もう他人の手を必要としない子供たちもたくさんいます。学校のグラウンドも放課後は今自由に使えない様な状況なので気軽に行ける近所のグラウンドが欲しいです。球技ができる広場希望します。
- ・公民館や児童館の事業を守谷市に頼りすぎていると思います。つくばみらい市も勉強を重ねてハード、ソフト両面で頑張ってください。
- ・子どもが集える場所や子ども同士が関わりを持って遊べるような施設が少なすぎるので早急な建設を期待しています。また、子どもが徒歩、もしくは自転車で通えるような場所が数か所あれば子どもの居場所ができコミュニケーションも増えるのではないかと思います。
- ・子ども達が自分の足（自転車etc）で行ける距離に市民プールやスポーツができる施設がほしいです。小学校にもスポーツの部活動などもっとスポーツを身近なものにできるように力を入れてほしいと思います。（千葉から引っ越してきましたが以前は部活動（4年生より）が盛んでした。
- ・子供が安全に自由に自力で行ける公園や公共の遊び場が全くない！外で遊ばせたくてもできない。親と一緒にないと遠くへ行けない。小学校に遊具を導入し、地域の子供達が集えるような環境を早急に求めます。みらい平地区だけ開発を進めるのはおかしい。つくばみらい市の行政は人を集めるだけで何一つ整備がおいついていない。おかしい。もっと能力のある人間でしっかりとビジョンを早急に話し合ってください。子供達はこうしている間にも大きくなっていったらいいです。実行力がなさすぎます。
- ・子供と一緒に遊べる施設やカフェ、レストランなど母親が息抜き出来る施設が出来ると交流の場となって良いと思います。子供の教育の為、本屋や文房具も増やして欲しいです。特にみらい平地区には何も無くみなさん困っています。人も増えて

来ましたので子育てに優しい町作りを宜しくお願い致します。あと家の前に街灯が無く真っ暗です。子供達の帰宅時が心配です。街灯を増やしてください。

- ・徐々に子供が少なくなってしまう地域でも子供達が淋しくないように伸々と生活して行ける地域作りをして欲しいです。子供達の通っている学校では下校時先生や親がパトロールをしなければなりません。親にも先生にも負担です。子供達を守るためですがパトロールをしなくても良い安全な環境にしていけたらなあと考えています。
- ・人口が増えているのに行政が追いついてない。必要が有るのに声を出して伝えていても実際は始まるのに5年かかっていた。口では検討中と終わりにさせられましたので皆さんが必要な事は行動を早くして頂きたいです。
- ・図書館を利用したいのですがみらい平からは遠く一度も利用した事がありません。現在建設中の紫峰が丘コミュニティセンターに図書館が併設されるということなので一日でも早い完成を待ち望んでいます。子供と一緒に利用出来る日を楽しみにしています。
- ・他の市に比べ歩道が少ない。公園など気軽に遊ばせる所がなく不便。
- ・地域にかたよりことなく平等に支援サービスや環境などを整えて欲しい。
- ・中学校への通学路が歩道や自転車用通路がまだ整備されていないようで心配である。また、暗く人通りの少ない通学路もありつれさりなどが心配である。
- ・通学路（福岡小）が非常に危険です。対策をお願いします。
- ・道が暗くあぶない所が多い。安心して遊べる公園をもう少し多く作ってほしい。学校の教室にエアコンを入れてほしい。トイレをきれいにしてほしい。
- ・板橋地区には公園が少ない。（みらい平地区しか充実していない）コミュニティーのとなりなどにも作ってほしかった（谷井田のように）。
- ・豊地区には公園がなく子どもが安全に遊べる場所がほとんどありません。また歩道のない道路があり友だちの家に遊びに行かせるのも毎回ヒヤヒヤしています。みらい平にコミュニティセンターが建設される様ですがみらい平には公園が多く子ども達は今のままでも安心して遊べると思っています。豊地区の子供達にも安全に遊べる場所の提供を考えていただきたいと思っています。

就労

- ・子どもがいると就職はむずかしいようです。何人かの知人が子どもが小さい事を理由に面接で断られました。
- ・子育て支援や手当などその場限りでなく共働きがあたりまえになり、多くの会社が子育てに前向きに保障をする。できる社会にしてほしい。安心して子どもが産める。育てられる経済的にも社会にしてほしい。（長い見通しにしてください。幼～高まで）行政は事務的に考えるのではなく自分の立場に立って考えて欲しいです（男の人は自分が子育てをし子を送り迎えをする事を想像して下さい！）。
- ・正社員の仕事をしたいと思っていますが、子供の授業参観や病気等の時休みを取りにくいと感じるのでパートでの仕事をしています。子供が大きくなる頃には年がじゃまをして転職は難しいのではと思っています。

その他

- ・こどもの成長に関して一体的に担当する期間を設置してほしい。
- ・つくばみらい市にも知的障害者の子どもが安心して預けられる場所をつくってほしいと思えます。スタッフに専門の方がいてくれると安心ですしスタッフ人数も多いと良いと思えますし、そんな安心して預けられる場所を作ってほしいと思えます。守谷市には色々あるようです。
- ・もう子供が大きいのでアンケートの内容が今の自分には合わない様な気がします。小さい子の保護者を対象にした方が良いと思いました。が以前も同じ様なアンケートをしたような気がしましたが市としては何も変わってないと思えます。アンケートをとるならちゃんとそれなりの成果を見せてほしいです。
- ・学童からお迎えまで子供のみで帰宅する送迎免除を作してほしい。

